

ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相
—学習能力の進化に基づく実証的研究—
領域番号 1201

平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費助成事業・科学研究費補助金
(新学術領域研究) (研究領域提案型)
研究成果報告書

平成 29 年 3 月
領域代表者 赤澤 威
高知工科大学・総合研究所・教授

目 次

はしがき	2
1. 研究組織	3
2. 交付決定	5
3. 研究発表	6
領域出版図書	6
計画研究 A01 「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」	10
雑誌論文	10
学会発表	15
図書	41
計画研究 A02 「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」	73
雑誌論文	73
学会発表	76
図書	87
計画研究 B01 「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」	101
雑誌論文	101
学会発表	114
図書	127
計画研究 B02 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」	146
雑誌論文	146
学会発表	158
図書	168
計画研究 C01 「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」	179
雑誌論文	179
学会発表	182
図書	191
計画研究 C02 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」	203
雑誌論文	203
学会発表	206
図書	214
4. 研究成果	226

はしがき

本報告書は、2010 平成 22 年度～2014 平成 26 年度に実施した、文部科学省科学研究費助成事業・科学研究費補助金新学術領域研究、研究課題「ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相—学習能力の進化に基づく実証的研究」（領域番号 1201）の研究成果をまとめたものである。

本研究は、20 万年前アフリカで誕生した新人サピエンスがその後(10 万年前以降)、ユーラシア大陸各地へ移住拡散する先々で遭遇したネアンデルタール人たち(旧人と称する)と交替していった経緯を交替劇と呼び、その舞台のシナリオを書くことであった。

旧人と新人交替劇の真相は 20 世紀の後半から人類学、考古学、遺伝学などの専門家の間で、とりわけ欧米世界で脚光を浴びるテーマとなり盛んに研究されてきた。そして、その経緯がさまざまな角度から調査され、交替原因が、「競合説」「疾病説」「環境仮説」「生存戦略説」「生業仮説」「神経仮説」などと称される仮説モデルで説明されてきた。

そして近年、ネアンデルタール人と現代人のゲノム解読から、ネアンデルタール人と新人サピエンスが交雑していたことが分かり、ネアンデルタール人は、私たちの身体に宿って生き続けているという新事実が明らかになり注目されている。すなわち、旧人ネアンデルタール人は新人サピエンスによって一掃され忽然と消えていったとする単純な交替劇シナリオは見直され、新たに「同化吸収説」「混血説」などと称される交替劇仮説が提唱され、実証的研究に付されているのが現在の状況である。

このような世界的な交替劇論争の世界にわれわれは、これまで誰も唱えたことのない作業仮説を定義し、チャレンジしたのである。それが、「学習仮説」(Learning Hypothesis)である。

学習仮説のポイントは、交替劇を演じた新人サピエンスと旧人ネアンデルタールのあいだには、人間が生きてゆく上で欠かせないもっとも基本的な能力、「学習」能力にもともと違いがあったとする主張(=仮説)に基づいている。その違いが結局、両者の命運を分けることになった。以上が学習仮説の骨子である。

本研究の目的は、旧人と新人の交替劇の主因を、両者の学習能力の違いにあったとする「学習仮説」を実証的に検証することであった。それを、考古学、文化人類学、数理科学、環境科学、生体力学、神経科学諸分野が連携する独創的な研究体制のもとに取り組んだ。この種のアプローチは交替劇研究において例がなく、世界的に注目された。そして、学習仮説は、交替劇の経緯を説明するさまざまな既設仮説を根源にさかのぼって検証するベースとなる作業仮説として評価され、世界的な交替劇論争にインパクトを与えることになった。

本報告書の構成は以下の通りである。

1. 研究組織
研究課題を推進した研究チーム(総括班・計画研究 6 チーム)の構成メンバー(代表者・分担者・連携研究者・研究協力者・海外共同研究者および研究領域評価委員)、招待研究者(公募研究)を紹介する。構成メンバーの所属機関および職名等は、研究プロジェクト終了時点(2015 平成 26 年 4 月)で提出した実績報告書に基づく。
2. 交付決定額
研究課題の推進に向けて受けた科学研究費補助金の年度別総額(直接経費・間接経費)
3. 研究発表
プロジェクトの研究進捗状況と研究成果を発信するために行った諸活動の成果物を網羅的にリストアップしたものである。領域出版図書と研究チーム(計画研究 6 チーム)の成果物である。(2016 平成 28 年 12 月現在で発表予定のものを含む)。
4. 研究成果
研究課題の全体構想および目的達成のために取り組んだ研究の種類内容、そして学習仮説の検証結果と関連する新知見の要点である。

1. 研究組織

領域代表者：赤澤 威 (高知工科大学・総合研究所・教授)

【総括班】

研究代表者：赤澤 威 (高知工科大学・総合研究所・教授)
 研究分担者：森 洋久 (国際日本文化研究センター・准教授)
 研究協力者：近藤康久 (総合地球環境学研究所・研究高度化支援センター・准教授)
 連携研究者：西秋良宏 (東京大学・総合研究博物館・教授)
 寺嶋秀明 (神戸学院大学・人文学部・教授)
 青木健一 (東京大学・名誉教授)
 米田 穰 (東京大学・総合研究博物館・教授)
 萩原直道 (慶應義塾大学・理工学部・准教授)
 田邊宏樹 (名古屋大学大学院・環境学研究科・教授)
 評価委員：甘利俊一 (理化学研究所・脳科学総合研究センター・特別顧問)
 石井紫郎 (日本学術振興会・学術研究センター・相談役)
 内堀基光 (放送大学・教養学部・教授)
 木村 賛 (東京大学・名誉教授)
 古市剛史 (京都大学・霊長類研究所・教授)
 Ofar Bar-Yosef (米国・ハーバード大学・教授)
 Nicholas J. Conard (ドイツ・チュービンゲン大学・教授)
 Ralph L. Holloway (米国・コロンビア大学・教授)
 Anne-Marie Tillier (フランス・ボルドー大学・教授)

【計画研究】

計画研究 A01 「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」

研究代表者：西秋良宏 (東京大学・総合研究博物館・教授)
 研究分担者：加藤博文 (北海道大学・アイヌ・先住民研究センター・教授)
 門脇誠二 (名古屋大学・総合博物館・助教)
 連携研究者：小野 昭 (明治大学黒耀石研究センター・センター長)
 大沼克彦 (国士舘大学・教授)
 松本直子 (岡山大学・社会文化科学研究科・教授)
 研究協力者：高倉 純 (北海道大学・埋蔵文化財調査センター・助教)
 佐野勝宏 (東京大学・総合研究博物館・特任助教)
 長沼正樹 (北海道大学・アイヌ・先住民研究センター・准教授)
 仲田大人 (青山学院大学・文学部・講師)
 長井謙治 (東北芸術工科大学・講師)
 近藤康久 (総合地球環境学研究所・研究高度化支援センター・准教授)
 石井龍太 (城西大学・経営学部マネジメント総合学科・助教)
 海外共同研究者：Olaf Jöris (ドイツ・ローマ・ゲルマン中央博物館・研究員)

計画研究 A02 「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」

研究代表者：寺嶋秀明 (神戸学院大学・人文学部・教授)
 研究分担者：小山 正 (神戸学院大学・人文学部・教授)
 窪田幸子 (神戸大学大学院・国際文化学研究科・教授)
 今村 薫 (名古屋学院大学・現代社会学部・教授)
 大村敬一 (大阪大学大学院・言語文化研究科・准教授)
 亀井伸孝 (愛知県立大学・外国語学部・准教授)
 山上榮子 (神戸学院大学・人文学部・准教授)
 連携研究者：安藤寿康 (慶應義塾大学・文学部・教授)
 市川光雄 (京都大学・名誉教授)
 高田 明 (京都大学大学院・アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授)

早木仁成 (神戸学院大学・人文学部・教授)
 研究協力者：林 耕次 (京都大学・アフリカ地域研究資料センター・特任助教)
 園田浩司 (京都大学大学院・アジア・アフリカ地域研究研究科)
 Peng Yujie (京都大学大学院・アジア・アフリカ地域研究研究科)
 海外共同研究者：Barry S. Hewlett (米国・ワシントン州立大学・人類学部・教授)
 Bonnie Hewlett (米国・ワシントン州立大学・人類学部・客員教授)
 Yasmine Musharbash (オーストラリア・シドニー大学・准教授)

計画研究 B01 「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」

研究代表者：青木健一 (東京大学・名誉教授)
 研究分担者：川崎廣吉 (同志社大学・文化情報学部・教授)
 若野友一郎 (明治大学・総合数理学部・准教授)
 木村亮介 (琉球大学・大学院医学研究科・准教授)
 小林 豊 (高知工科大学・マネジメント学部・准教授)
 研究協力者：山口今日子 (英国・リヴァプール ジョン モールズ大学・専任講師)
 大泉 嶺 (厚生労働省政策統括官・人口問題専門官)
 海外共同研究者：Marcus W. Feldman (米国・スタンフォード大学・教授)
 Laurent Lehmann (スイス・ローザンヌ大学・准教授)

計画研究 B02 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」

研究代表者：米田 穰 (東京大学・総合研究博物館・教授)
 研究分担者：阿部彩子 (東京大学・大気海洋研究所・准教授)
 小口 高 (東京大学・空間情報研究センター・教授)
 川幡穂高 (東京大学・大気海洋研究所・教授)
 森 洋久 (国際日本文化研究センター・准教授)
 近藤康久 (総合地球環境学研究所・研究高度化支援センター・准教授)
 連携研究者：横山祐典 (東京大学・大気海洋研究所・准教授)
 研究協力者：Stephen P. Obrochta (秋田大学・国際資源学部・准教授)
 Chen Wing-le (東京大学・大気海洋研究所・特任研究員)
 Song Wonsuh (東京大学・空間情報研究センター・特任研究員)
 大森貴之 (東京大学・総合研究博物館・特任研究員)
 海外共同研究者：Tezer M. Esat (オーストラリア・オーストラリア国立大学)
 Masa Kageyama (フランス・気候環境学研究所)
 Gilles Ramstein (フランス・気候環境学研究所)
 Enrico R. Crema (英国・ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン)

計画研究 C01 「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」

研究代表者：荻原直道 (慶應義塾大学・理工学部・准教授)
 研究分担者：近藤 修 (東京大学・大学院理学系研究科・准教授)
 鈴木宏正 (東京大学・大学院工学系研究科・精密工学専攻・教授)
 連携研究者：久保大輔 (筑波大学・体育系・特任助教)
 森口昌樹 (中央大学・理工学部・助教)
 道川隆士 (大阪大学・環境イノベーションデザインセンター・特任助教)
 石田 肇 (琉球大学・医学部・教授)
 深瀬 均 (北海道大学・大学院医学研究科・特任講師)
 海外共同研究者：Christoph P.E. Zollikofer (スイス・チューリッヒ大学・教授)
 Marcia Ponce de Leon (スイス・チューリッヒ大学・特別講師)
 Emiliano Bruner (スペイン・国立人類進化研究所・教授)

計画研究 C02 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」

研究代表者：田邊宏樹 (名古屋大学大学院・環境学研究科・教授)
 研究分担者：定藤規弘 (生理学研究所・大脳皮質機能研究系・教授)

河内山隆紀 (ATR-Promotions・脳活動イメージングセンタ・研究員)
 三浦直樹 (東北工業大学・工学部・准教授)
 星野孝総 (高知工科大学・工学部・准教授)
 研究協力者：長谷川国大 (名古屋大学大学院・環境学研究科・PD)
 三谷慶太 (高知工科大学大学院・工学研究科・博士後期課程)

【公募研究】

研究代表者：大石龍太 (国立極地研究所・北極観測センター・特任研究員)
 大槻 久 (総合研究大学院大学)
 川道拓東 (生理学研究所・大脳皮質機能研究系・特任助教)
 小林 靖 (防衛医科大学校・解剖学講座・教授)
 嶋田 誠 (藤田保健衛生大学・総合医科学研究所・講師)
 杉浦元亮 (東北大学・加齢医学研究所・准教授)
 高倉 純 (北海道大学大学院・文学研究科・助教)
 高橋伸幸 (北海道大学大学院・文学研究科・准教授)
 中丸麻由子 (東京工業大学・社会理研・准教授)
 早川敏之 (九州大学・基幹教育院・准教授)
 日暮泰男 (近畿大学・医学部生理学教室・研究員)
 堀内史朗 (山形大学・COC推進室・准教授)
 水野 敬 (理化学研究所・ライフサイエンス技術基盤研究センター・上級研究員)
 山内太郎 (北海道大学・大学院保健科学研究所・教授)
 研究分担者：松井利康 (防衛医科大学校・解剖学講座)

2. 交付決定額 (配分額)

	直接経費	間接経費	合計
平成 22 年度	127,900,000	38,370,000	166,270,000
平成 23 年度	138,400,000	41,520,000	179,920,000
平成 24 年度	145,400,000	43,620,000	189,020,000
平成 25 年度	132,100,000	39,630,000	171,730,000
平成 26 年度	115,700,000	34,710,000	150,410,000
合計	659,500,000	197,850,000	857,350,000

3. 研究発表

領域出版図書

【研究大会報告書 (Proceedings) シリーズ】 (日・英文)

Takeru Akazawa (ed.)

2010 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1. 70 pp. Proceedings of the 1st Conference on RNMH. October 23-24, 2010. National Center of Sciences Building, Tokyo (赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 1. 70 pp. 「交替劇」第1回研究大会報告書. 2010.10. 23-24. 東京：学術総合センター).

Hideaki Terashima (ed.)

2011 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1. 64 pp. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH. February 19-20, 2011. Kobe Gakuin University, Kobe. (寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 2. 64 pp. 「交替劇」第2回研究大会報告書. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学).

Yoshihiro Nishiaki (ed.)

2011 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3. 72 pp. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH. April 23-24, 2011. National Center of Sciences Building, Tokyo (赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 3. 72 pp. 「交替劇」第3回研究大会報告書. 2011.23-24.2011. 東京：学術総合センター).

Hiroki Tanabe (ed.)

2011 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4. 142 pp. Proceedings of the 4th Conference on RNMH. December 10-11, 2010. Okazawa Conference Center, Okazaki (田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 4. 142 pp. 「交替劇」第4回研究大会報告書. 2011.12. 10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター).

Naomichi Ogihara (ed.)

2012 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1. 70 pp. Proceedings of the 5th Conference on RNMH. April 14-16, 2012. National Center of Sciences, Hitotsubashi, Tokyo (荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 5. 93 pp. 「交替劇」第5回研究大会報告書. 2012.4.14-16. 東京：一ツ橋学術総合センター).

Minoru Yoneda (ed.)

2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6. 157 pp. Proceedings of the 6th Conference on RNMH. January 12-14, 2013. The University of Tokyo, Tokyo (米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 6. 157 pp. 「交替劇」第6回研究大会報告書. 2013.12.12-14. 東京：東京大学).

Kenichi Aoki (ed.)

2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7. 99 pp. Proceedings of the 7th Conference on RNMH. May 11-12, 2013. The University of Tokyo, Tokyo (青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 7. 99 pp. 「交替劇」第7回研究大会報告書. 2013.5. 11-12. 東京：東京大学).

Hideaki Terashima (ed.)

2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8. 131 pp. Proceedings of the 8th Conference on RNMH. December 21-23, 2013. Inamori Zaidan Kinenkaikan, Kyoto University, Kyoto (寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 8. 131 pp. 「交替劇」第8回研究大会報告書. 2013.12. 21-23. 京都：京都大学稲森財団記念会館).

Yoshihiro Nishiaki (ed.)

2014 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9. 121 pp. Proceedings of the 9th Conference on RNMH. May 10-11, 2014. Koshiba Hall, School of Science, The University of Tokyo, Tokyo (西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 9. 121 pp. 「交替劇」第9回研究大会報告書. 2014.5.10-11. 東京：東京大学理学部小柴ホール).

Takeru Akazawa (ed.)

2015 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10.

126 pp. Proceedings of the 10th Conference on RNMH. March 7-8, 2015. Kochi Kaikan, Kochi (赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』No. 10. 126 pp. 「交替劇」第10回研究大会報告書. 2015.3. 7-8. 高知：高知会館).

【計画研究報告書シリーズ】

計画研究 A01 「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」

西秋良宏編

2011『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究』No. 1. 76 pp. 「交替劇」A01 班 2010 年度研究報告. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2012『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究』No. 2. 110 pp. 「交替劇」A01 班 2011 年度研究報告. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2013『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究』No. 3. 125 pp. 「交替劇」A01 班 2012 年度研究報告. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2014『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究』No. 4. 111 pp. 「交替劇」A01 班 2013 年度研究報告. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2015『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究』No. 5. 134 pp. 「交替劇」A01 班 2014 年度研究報告. 東京：東京大学総合研究博物館.

計画研究 A02 「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」

寺嶋秀明編

2011『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究』No. 1. 79 pp. 「交替劇」A02 班 2010 年度研究報告. 神戸：神戸学院大学人文学部.

寺嶋秀明編

2012『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究』No. 2. 126 pp. 「交替劇」A02 班 2011 年度研究報告. 神戸：神戸学院大学人文学部.

寺嶋秀明編

2013『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究』No. 3. 129 pp. 「交替劇」A02 班 2012 年度研究報告. 神戸：神戸学院大学人文学部.

寺嶋秀明編

2014『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究』No. 4. 162 pp. 「交替劇」A02 班 2013 年度研究報告. 神戸：神戸学院大学人文学部.

寺嶋秀明編

2015『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究』No. 5. 136 pp. 「交替劇」A02 班 2014 年度研究報告. 神戸：神戸学院大学人文学部.

計画研究 B01 「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」

青木健一編

2011『ヒトの学習能力の進化モデルの研究』No. 1. 50 pp. 「交替劇」B01 班 2010 年度研究報告. 東京：東京大学大学院理学系研究科.

青木健一編

2012『ヒトの学習能力の進化モデルの研究』No. 2. 109 pp. 「交替劇」B01 班 2011 年度研究報告. 東京：東京大学大学院理学系研究科.

青木健一編

2013『ヒトの学習能力の進化モデルの研究』No. 3. 107 pp. 「交替劇」B01 班 2012 年度研究報告. 東京：東京大学大学院理学系研究科.

青木健一編

2014『ヒトの学習能力の進化モデルの研究』No. 4. 109 pp. 「交替劇」B01 班 2013 年度研究報告. 東京：明治大学知財戦略機構.

青木健一編

2015『ヒトの学習能力の進化モデルの研究』No. 5. 77 pp. 「交替劇」B01班 2014年度研究報告. 東京：明治大学知財戦略機構.

計画研究 B02 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」

米田 穰編

2012『旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析』50 pp. 「交替劇」B02班 2010年度研究報告. 東京：東京大学新領域創成科学研究科 (Ninoru Yoneda (ed.) 2012 *Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Change*. 50 pp. Research Report 2010, Research Team B02. Tokyo: Graduate School of Frontier Sciences, University of Tokyo).

計画研究 C01 「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」

荻原直道編

2015『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元』135 pp. 「交替劇」C01班 2010-2014年度研究報告. 横浜：慶応義塾大学理工学部機械工学科.

計画研究 C02 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」

田邊宏樹編

2012『旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』56 pp. 「交替劇」C02班 2010-2011年度研究報告. 名古屋：名古屋大学大学院環境学研究科.

【国際会議報告書シリーズ】

Takeru Akazawa (ed.)

2012 *RNMH Project 2010-2014*. RNMH Project Series No. 001. 137 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

Takeru Akazawa and Yochihiro Nishiaki (eds.)

2012 *RNMH2012: The First International Conference*. Abstracts publication of the First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. November 18 – 24, 2012. Tokyo RNMH Project Series No. 002. 168 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

Yoshihiro Nishiaki (ed.)

2013 *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. Abstracts publication of the International Workshop of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. 36 pp. November 22 – 23, 2013. Tokyo: The University Museum, The University of Tokyo.

Takeru Akazawa, Yoshihiro Nishiaki, and Kenichi Aoki (eds.)

2013 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*. 277 pp. Tokyo: Springer Japan.

Takeru Akazawa and Yoshihiro Nishiaki (eds.)

2014 *RNMH2014: The Second International Conference*. Abstracts publication of the Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. November 30 – December 6, 2014. Hokkaido: Date City. RNMH Project Series No. 003. 182 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

Takeru Akazawa, Naomichi Ogihara, Hiroki C. Tanabe, and Hideaki Terashima (eds.)

2014 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*. 243 pp. Tokyo: Springer Japan.

Alex Mesoudi and Kenichi Aoki (eds.)

2015 *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*. 169 pp. Tokyo: Springer Japan.

Hideaki Terashima and Barry S. Hewlett (eds.)

2016 *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*. 318 pp. Tokyo: Springer Japan.

【公開シンポジウム報告書シリーズ】 (シンポジウム予稿集含む)

西秋良宏編

2012『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』30 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2012.6.16-17. 東京大学理学部小柴ホール. 東京：東京大学総合研究博物館.

佐野勝宏編

2013『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』12 pp. 計画研究 A01/A02/B02 連携公開シンポジウム予稿集. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2013『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』203 pp. 東京：六一書房.

西秋良宏編

2013 『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』 30 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2013.7.6-7. 東京大学理学部小柴ホール. 東京：東京大学総合研究博物館.

荻原直道編

2014 『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』 8 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2014.9.28. 東京大学理学部 2 号館講堂. 横浜：慶応義塾大学理工学部.

門脇誠二編

2014 『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』 5 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2014.3.15. 名古屋大学野依記念学術交流館. 名古屋：名古屋大学博物館.

門脇誠二編

2014 『ホモ・サピエンスの起源とアフリカの石器時代—ムトングウエ遺跡の再評価』 70 pp. 計画研究 A01 シンポジウム. 2012.6.16-17. 東京大学理学系部小柴ホール. 名古屋：名古屋大学博物館.

西秋良宏編

2014 『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』 185 pp. 東京：六一書房.

佐野勝宏編

2015 『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』 12 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2015.2.7. 東京大学理学部 2 号館講堂. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2015 『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 189 pp. 東京：六一書房.

西秋良宏編

2015 『なぜネアンデルタール人はいなくなったのか—学習仮説からの展望』 8 pp. 公開シンポジウム予稿集. 2015.7.5. 東京大学理学部 2 号館講堂. 東京：東京大学総合研究博物館.

西秋良宏編

2015 『ネアンデルタール・ミッション—日本人研究者による旧人遺跡の調査』 8 pp. 計画研究 A01 シンポジウム. 2015.11.28. 東京大学理学部 2 号館講堂. 東京：東京大学総合研究博物館.

【Replacement of Neanderthals by Modern Humans Project Series】 (交替劇報告書シリーズ)

Takeru Akazawa (ed.)

2012 *RNMH Project 2010-2014*. RNMH Project Series No. 001. 137 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

Takeru Akazawa and Yochihiro Nishiaki (eds.)

2012 *RNMH2012: The First International Conference*. Abstracts publication of the First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. November 18 – 24, 2012. Tokyo RNMH Project Series No. 002. 168 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

Takeru Akazawa and Yoshihiro Nishiaki (eds.)

2014 *RNMH2014: The Second International Conference*. Abstracts publication of the Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. November 30 – December 6, 2014. Hokkaido: Date City. RNMH Project Series No. 003. 182 pp. Kochi: Kochi University of Technology.

【Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series】 Springer Publication Series

Takeru Akazawa, Yoshihiro Nishiaki, and Kenichi Aoki (eds.)

2013 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*. 277 pp. Tokyo: Springer Japan.

Takeru Akazawa, Naomichi Ogiwara, Hiroki C. Tanabe, and Hideaki Terashima (eds.)

2014 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*. 243 pp. Tokyo: Springer Japan.

Alex Mesoudi and Kenichi Aoki (eds.)

2015 *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*. 169 pp. Tokyo: Springer Japan.

Hideaki Terashima and Barry S. Hewlett (eds.)

2016 *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*. 318 pp. Tokyo: Springer Japan.

【ホームページ】

交替劇プロジェクトウェブサイト (日・英・韓・中文)

<http://www.koutaigeki.org/>

【放送大学特別講義】

『ネアンデルタール人滅亡—われわれは何を学ぶべきか』2013年度から

『ネアンデルタール人なぜ滅びたのか—交替劇プロジェクトの探求』2015年度から

計画研究 A01 「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」

【雑誌論文】

2016

- Fujita, M., S. Yamasaki, C. Katagiri, I. Oshiro, K. Sano, T. Kurozumi, H. Sugawara, D. Kunikita, H. Matsuzaki, A. Kano, T. Okumura, T. Sone, H. Fujita, S. Kobayashi, T. Naruse, M. Kondo, S. Matsu'ura, G. Suwa, and Y. Kaifu
2016. Advanced maritime adaptation in the western Pacific coastal region extends back to 35,000–30,000 years before present. *Proceedings of the National Academy of Sciences*. doi: 10.1073/pnas.1607857113(査読)
- Kadowaki, S., K. Ohnishi, S. Arai, F. Guliyev, and Y. Nishiaki
2016 Mitochondrial DNA analysis of ancient domestic goats in the southern Caucasus: a preliminary result from Neolithic settlements at Göytepe and Hacı Elamxanlı Tepe. *International Journal of Osteoarchaeology*. 26: 1-16. (published online) (査読)
- Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2016 New Epipalaeolithic assemblages from the middle Euphrates and the implications for technological and settlement trends in the northeastern Levant. *Quaternary International* 396: 121-137. (査読)
- Nakao, H., K. Tamura, Y. Arimatsu, T. Nakagawa, N. Matsumoto, and T. Matsugi
2016.3 Violence in the prehistoric period of Japan: the spatio-temporal pattern of skeletal evidence for violence in the Jomon period. *Biology Letters*. DOI: 10.1098/rsbl.2016.0028(査読)
- 赤澤威、西秋良宏
2016 「旧人新人交替劇の真相を探る」『現代思想』44(10): 83-105.
- 門脇誠二
2016 「揺らぐ初期ホモ・サピエンス像—出アフリカ前後のアフリカと西アジアの考古記録から」『現代思想』5月号: 112-126.
- 門脇誠二
2016 「書評 海部陽介・出穂雅実・テッド ゲーベル・佐藤宏之・小野 昭編『旧石器時代のアジアにおける現代人的行動の出現と多様性』『旧石器研究』12: 233–240. (査読)
- 長井謙治
2016 「朝鮮半島における過去5万年の石器群変遷—年代精査に基づく編年的考察—」『旧石器研究』12:185-206. (査読)
- 仲田大人
2016 「日本旧石器時代の現代人的行動と交替劇」『現代思想』5月号: 130-144.
- 仲田大人
2016 「後期旧石器時代開始期における石器伝統とその意味」『古代』早稲田大学考古学会.
- 仲田大人
2016 「関東地方の旧石器・縄文移行期をめぐる問題」『旧石器研究』12: 135-154.
- 長沼正樹
2016 「考古学から見た人類活動の変化—旧石器時代の物質文化を中心に」『現代思想』44(10):127–139.
- 西秋良宏
2016 「松谷敏雄先生と東京大学イラク・イラン遺跡調査団」『西アジア考古学』17: 192-195.
- 西秋良宏
2016 「シリア文化遺産保全のための国際ネットワーク shirin について」『西アジア考古学』17: 169-172.
- 西秋良宏
2016 「国際共同展示『Qafqaz Neoliti –東京大学アゼルバイジャン考古学調査 2008-2015』によせて」『ウロボロス』21(1): 6-7.

2015

- Kadowaki, S., L. Maher, M. Portillo, R. M. Albert, C. Akashi, F. Guliyev, and Y. Nishiaki
2015 Geoarchaeological and palaeobotanical evidence for prehistoric cereal storage in the Southern Caucasus: The Neolithic Settlement of Göytepe (mid 8th millennium BP). *Journal of Archaeological Science* 53: 408-425. (査読)
- Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2015 New Epipalaeolithic assemblages from the middle Euphrates and the implications for technological and settlement trends in the northeastern Levant. *Quaternary International* xxx: 1-17. (In Press) (査読)
- Kadowaki, S., T. Omori, and Y. Nishiaki
2015 Variability in Early Ahmarian lithic technology and its implications for the model of a Levantine origin of the Protoaurignacian. *Journal of Human Evolution* 82: 67-87. (査読)
- Nishiaki, Y. and T. Akazawa
2015 Patterning of the early Middle Paleolithic occupations at Douara Cave and its implications for settlement dynamics in the Palmyra basin, Syria. *L'anthropologie* 119: 519-541. (査読)
- Nishiaki, Y., F. Guliyev, and S. Kadowaki
2015 Chronological contexts of the earliest Pottery Neolithic in the Southern Caucasus: Radiocarbon dates for Göytepe and Hacı Elamxanlı Tepe, West Azerbaijan. *American Journal of Archaeology* 119(3): 279-294. (査読)
- Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki, Y. Arimatsu, Y. Hayakawa, K. Shimogama, T. Miki, C. Akashi, S. Arai, and S. Salimbeyov
2015 Hacı Elamxanlı Tepe: Excavations of the earliest Pottery Neolithic occupations on the Middle Kura, Azerbaijan, 2012. *Archäologische Mitteilungen aus Iran und Turan* 45: 1-25. (査読)
- Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki, V. Alakbarov, T. Miki, S. Salimbeyov, C. Akashi, and S. Arai
2015 Investigating cultural and socioeconomic change at the beginning of the Pottery Neolithic in the Southern Caucasus – The 2013 Excavations at Hacı Elamxanlı Tepe, Azerbaijan. *Bulletin of the American Schools of Oriental Research* 374: 1–28. (査読)
- Nishiaki, Y., F. Guliyev and S. Kadowaki
2015 Chronological contexts of the earliest Pottery Neolithic in the Southern Caucasus: Radiocarbon dates for Göytepe and Hacı Elamxanlı Tepe, West Azerbaijan. *American Journal of Archaeology* 119(3): 279–294. (査読)
- Nishiaki, Y., F. Guliyev, and S. Kadowaki
2015 The origins of food production in the southern Caucasus: Excavations at Hacı Elamxanlı Tepe, Azerbaijan. *Antiquity* 348: Project Gallery, <http://antiquity.ac.uk/projgall/nishiaki348>
- Sano, K., and M. Oba
2015 Backed point experiments for identifying mechanically-delivered armatures. *Journal of Archaeological Science* 63: 12-23. (査読)
- 門脇誠二
2015 「ワディ・ハラール 16R 遺跡とムトングウェ遺跡—新人拡散元における技術革新の再検討」『異貌』32: 20–39.
- 門脇誠二、大西敬子、西秋良宏
2015 「南コーカサス最古の農村遺跡から採取された家畜ヤギ骨の炭素 14 年代」『名古屋大学加速度質量分析計業績報告書』26: 33–38.
- 山崎真治、黒住耐二、佐野勝宏、片桐知亜紀、藤田祐樹
2015 「旧石器時代の貝製ビーズ—沖縄県南城市サキタリ洞遺跡からの報告」『旧石器研究』11: 97-105.

2014

- Azizi Kharanaghi, M.H., H. Fazeli Nashli, and Y. Nishiaki
2014 The second season of excavations at Tepe Rahmatabad, Southern Iran: The absolute and relative chronology. *Ancient Near Eastern Studies* 51: 1-32. (査読)
- Henry, D., S. Kadowaki, and S. Bergin
2014 Reconstructing early Neolithic social and economic organization through spatial analysis at Ayn Abu Nukhayla, Southern Jordan. *American Antiquity* 79(3): 401-424. (査読)
- Nishiaki, Y.
2014 Comments. The sounds of pounding: Boulder mortars and their significance to Natufian burial customs by Danny Rosenberg and Dani Nadel. *Current Anthropology* 55: 804-805. (査読)

- Nishiaki, Y.
2014 The second season of excavations at Tepe Rahmatabad, Southern Iran: The absolute and relative chronology. *Ancient Near Eastern Studies* 51: 1-32. (査読)
 - Nishiaki, Y.
2014 Dating simple flakes: Early Bronze Age flake production technology on the Middle Euphrates steppe, Syria. *Journal of Lithic Studies* 1(1): 197-212. doi:10.2218/jls.v1i1.781. (査読)
 - Nishiaki, Y.
2014 The development of architecture and pottery at the Neolithic settlement of Tall-i Jari B, Marv Dasht, southwest Iran. *Marlik: Persian Journal of Iranian Studies (Archaeology)* 2/3(5/6): 49-61. (in Persian). (査読)
 - Ono, A.
2014 Modern hominids in the Japanese Islands and the early use of obsidian: The case of Onbase Islet. *World Heritage Papers* 39: 156-163. (査読)
 - Ono, A.
2014 Two patterns of obsidian exploitation in the Upper Palaeolithic of the Japanese Islands. *The Dolni Vestonice Studies* 20: 41-44. (査読)
 - Portillo, M., S. Kadowaki, Y. Nishiaki, and R. M. Albert
2014 Early Neolithic household behavior at Tell Seker al-Aheimar (Upper Khabur, Syria): A comparison to ethnoarchaeological study of phytoliths and dung spherulites. *Journal of Archaeological Science* 42: 107-118. (査読)
 - Sato, T., F. Khenykenova, A. Simakova, G. Danukalova, E. Morosova, K. Yoshida, D. Kunikita, H. Kato, K. Suzuki, E. Lipnina, G. Medvedev, and N. Martynovich
2014 Paleoenvironment of the Fore-Baikal region in the Karginian interstadial: Results of the interdisciplinary studies of the Bol'shoj Naryn site. *Quaternary International* 333: 146-155. <http://dx.doi.org/10.1016/j.quaint.2013.12.050>. (査読)
 - 加藤博文
2014 「シベリアの旧石器時代」『季刊考古学』126: 45-48.
 - 佐野勝宏、大場正義
2014 「狩猟法同定のための投射実験研究(2) —背付き尖頭器」『旧石器研究』10: 129-149.
 - 高倉 純
2014 「北海道での押圧細石刃剥離技術出現以前の石器群における剥離方法の同定」『北大史学』54: 1-25.
 - 西秋良宏
2014 「現生人類の拡散と東アジアの旧石器」『季刊考古学』126: 33-36.
- 2013**
- Nishiaki, Y., M.H. Azizi Kharanaghi, and M. Abe
2013 The late Aceramic Neolithic flaked stone assemblage from Tepe Rahmatabad, Fars, Southwest Iran. *Iran* LI: 1-15. (査読)
 - 佐野勝宏、洪 恵媛、張 思熠、鹿又義隆、阿子島香、柳田俊雄
2013 「山形県高倉山出土ナイフ形石器に残る狩猟痕跡の研究」『Bulletin of the Tohoku University Museum』12: 45-76.
 - 高倉 純、金成太郎、杉原重夫
2013 「北海道東部の続縄文時代における黒曜石利用」『考古学と自然科学』64.
 - 西秋良宏
2013 「共同制作『HUNTERS—渡辺 仁博士の民族学資料収集』展によせて」『ウロボロス』17(4): 6-8.
- 2012**
- Azizi Kharanaghi, M.H., M. H., Y. Nishiaki, and M. Khanipur
2012 Tepe Rahmatabad, Pasargadae: The absolute and relative chronology. *Iran Nameh* 27(2-3): 78-101. (査読)
 - Kadowaki, S.
2012 A household perspective towards the Pre-Pottery Neolithic to Late Neolithic cultural transformation in the southern Levant. *Orient* 47: 3-28. (査読)
 - Kondo, Y., T. Omori, and P. Verhagen

2012 Developing predictive models for palaeoanthropological research: A preliminary discussion. *Technical Report, Department of Computer Science, Tokyo Institute of Technology*: 1-10. TR12-0001:110. <http://www.cs.titech.ac.jp/~tr/reports/2012/TR12-0001.pdf>

- Nishiaki, Y., S. Kadowaki, S. Kume, and K. Shimogama
2012 Archaeological survey around Tell Gahnem Al-'Ali (V). *Al-Rafidan* 33: 1-6. (査読)
- Nishiaki, Y., Y. Kanjo, S. Muhsen, and T. Akazawa
2012 Temporal variability of Late Levantine Mousterian assemblages from Dederiyeh Cave, Syria. *Eurasian Prehistory* 9(1/2): 3-27. (査読)
- Sano, K.
2012 Functional variability in the Magdalenian of North-Western Europe: A lithic microwear analysis of the Gönnersdorf K-II assemblage. *Quaternary International* 272/273: 264-274.
doi:10.1016/j.quaint.2012.02.057. (査読)
- 加藤博文、長沼正樹、鈴木建治、S.N. Astakhov、S.S. Makarov
2012 「ロシア連邦トゥーヴァ共和国採集の旧石器資料」『旧石器研究』8: 155-164.
- 佐野勝宏
2012 「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代遺跡の時空間分布」『日本旧石器学会第10回講演・研究発表シンポジウム予稿集 旧石器時代遺跡・立地・分布研究の新展開』63-66.
- 佐野勝宏、傳田惠隆、大場正善
2012 「狩猟法同定のための投射実験研究(1) —台形様石器」『旧石器研究』第8号: 45-63.
- 佐野勝宏、鹿又喜隆、洪 惠媛、川口 亮、張 思熠、阿子島香、柳田俊雄
2012 「山形県舟形町高倉山遺跡第3次発掘調査」『第26回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』69-78.
- 高倉 純
2012 「モンゴル高原に旧石器遺跡を探る」『北方博物館交流』23・24: 20-22.
- 高倉 純
2012 「札幌市 K39 遺跡医学部陽子線研究施設地点の発掘調査」『日本考古学』33: 113-122.
- 傳田惠隆、佐野勝宏
2012 「高倉山遺跡出土資料のファブリック解析」『旧石器考古学』76: 69-82.

2011

- Fujimoto, Y., Y. Kondo, A. Kaneda, Y. Seino, H. Yamaguchi, and T. Uozu
2011 Organizing diverse and dispersed information on the endangered cultural properties by a voluntary initiative: consortium for the earthquake-damaged cultural heritage (CEDACH). *ISPRS SC Newsletter* 5(1): 4.
- Guliyev, F. Y. Nishiaki, F. Huseinov, S. Kadowaki, K. Shimogama, C. Akashi, S. Kume, and O. Zamanov
2011 Archaeological excavations of a Neolithic site of Göytepe. *Archaeological Researches in Azerbaijan* 2010: 52-58.
- Jamous, B. and Y. Nishiaki
2011 Neolithic caves in the Jebel Ansarieh, West Syria. *Neo-Lithics* 11(2): 16-18.
- Nishiaki, Y.
2011 Excavations at Tell Seker al-Aheimar, Hassake, Tenth season, 2009. *Chronique Archeologique en Syrie* 5: 61-67.
- Nishiaki, Y., M. Abe, S. Kadowaki, S. Kume, and H. Nakata
2011 Archaeological Survey around Tell Ghanem al-'Ali (II). *Al-Rāfidān* 32: 189-205. (査読)
- Nishiaki, Y., S. Kadowaki, H. Nakata, K. Shimogama, and Y. Hayakawa
2011 Archaeological survey around Tell Gahnem Al-'Ali (IV). *Al-Rāfidān* 32: 125-133. (査読)
- Nishiaki, Y. and K. Nagai
2011 Obsidian knappers at the Late PPNB consumer settlement of Tell Seker Al-Aheimar, Northeast Syria. *Paleorient* 37(2): 91-105. (査読)
- Sano, K.
2011 Mobility and Lithic Economy in the Terminal Pleistocene of Central Honshu. *Asian Perspectives* 49(2). (査読)
- Sano, K., A. Maier, and S.M. Heidenreich
2011 Bois Laiterie revisited: Functional, morphological and technological analysis of Glacial hunting camp in north-western Europe. *Journal of Archaeological Science* 38(7): 1468-1484. (査読)

- Takakura, J.
2011 Refitted materials and consideration of lithic reduction sequence among the microblade assemblages: a view from the Okushirataki-1 site, northern Japan. *Asian Perspectives* 49(2): 332-347. (査読)
- 小野 昭
2011 「旧石器時代の人類活動と自然環境」『第四紀研究』50: 85-94.
- 加藤博文
2011 「旧石器考古学から見たベーリング海峡」『旧石器考古学』75: 93-100.
- 門脇誠二
2011 「北レヴァント地方における終末期旧石器時代中葉の石器製作伝統」『オリエント』54(2): 134-135.
- 門脇誠二
2011 「南レヴァントの後期新石器集落における空間アクセスの分析と世帯間関係の考察—タバカト・アルブーマの遺跡構造研究から」『西アジア考古学』12: 1-13.
- 門脇誠二
2011 「大地にさぐる人類史」東京外語大学アジア・アフリカ言語文化研究所編『フィールドブラス』6: 18-19.
- 佐野勝宏
2011 「石器に残される狩猟痕跡認定のための指標」『考古学ジャーナル』614: 20-25.
- 佐野勝宏
2011 「彫器再考: 彫刀面打撃の役割に関する機能論的検討」『旧石器研究』7: 15-35.
- 高倉 純
2011 「石器からみた縄文から続縄文時代への変容」『北海道考古学』47: 17-32.
- 長井謙治
2011 「旧石器時代終末から縄文時代草創期の北陸」『考古学ジャーナル』610: 25-29.
- 長井謙治
2011 「石器づくりの考古学-実験考古学と縄文時代の始まり」『石器文化研究』16: 44-46.
- 長井謙治
2011 「鈴木報告へのコメント」『石器文化研究』16: 81-82.
- 長井謙治
2011 「〈用語解説〉実験考古学 (experimental archaeology)」『知能と情報』23(1): 121.
- 長井謙治
2011 「第3回アジア旧石器協会国際シンポジウム」『旧石器考古学』74: 105-106.
- 長井謙治
2011 「前・中期旧石器時代の石器製作技術—所謂『鈍角剥離』の再検討から」『旧石器研究』7: 93-106.
- 長井謙治
2011 「捏造問題からみた『モノ』」『Digging Up』21: 7.
- 西秋良宏、門脇誠二、下釜和也
2011 「ユーフラテス河中流域の先史時代-第四次踏査報告」『オリエント』52(2): 215.

2010

- Akazawa, T., Y. Kanjo, Y. Nishiaki, H. Nakata, M. Yoneda, O. Kondo, K. Tanno, and S. Muhesen
2010 The 2007-2008 seasons' excavations at Dederiyeh Cave, Afrin, Northwest Syria. *Chronique Archeologique en Syrie* 4: 31-38.
- Gibbs, K., S. Kadowaki, and E. B. Banning
2010 Excavations at a Late Neolithic and Early Bronze I al-Basatin in Wadi Ziqlab, northern Jordan. *American Journal of Archaeology* 54: 461-476. (査読)
- Guliyev, F., Y. Nishiaki, F. Fuseinov, S. Kadowaki, K. Tanno, Y. Hayakawa, N. Hacizade, T. Babayeva, S. Kume, K. Shimogama, Y. Arimatsu, and C. Akashi
2010 Excavations of a Neolithic settlement at Goytepe. *Archaeological Researches in Azerbaijan* 2009: 45-54. (査読)
- Kadowaki, S.
2010 Holocene book review: A Holocene prehistoric sequence in the Egyptian Red Sea area: The Tree Shelter, edited by Pierre M. Vermeersch, Leuven: Leuven University Press. *The Holocene* 20(2): 304-305.

(査読)

- Nishiaki, Y.
2010 The architecture and pottery developments at the Neolithic settlement of Tall-i Jari B, Marv Dasht, Southwest Iran. *Archäologische Mitteilungen aus Iran und Turan* 42: 113-127. (査読)
- Nishiaki, Y.
2010 Early Bronze Age flint technology and flake scatters in the North Syrian steppe along the Middle Euphrates. *Levant* 42 (2): 170-184. (査読)
- Nishiaki, Y.
2010 Excavations at Tell Seker al-Aheimar, Hassake: The 2008 season. *Chronique Archeologique en Syrie* 4: 67-74.
- Nishiaki, Y.
2010 Archaeological evidence of the Early Bronze Age communities in the Middle Euphrates steppe, North Syria. *Al-Rafidan*, Special Issue: 37-48. (査読)
- Nishiaki, Y.
2010 A radiocarbon chronology of the Neolithic settlement of Tall-i Mushki, Marv Dasht plain, Fars, Iran. *Iran* 43: 1-10. (査読)
- Nishiaki, Y.
2010 The development of architecture and pottery at the Neolithic settlement of Tall-i Jari B, Marv Dasht, Southwest Iran. *Archäologische Mitteilungen aus Iran und Turan* 42: 113-126.
- Nishiaki, Y. and M. Abe
2010 Archaeological survey around Tell Ghanem Al-Ali (III). *Al-Rafidan* 31: 125-128.
- Nishiaki, Y., M. Abe, S. Kadowaki, S. Kume, and H. Nakata.
2010 Archaeological survey around Tell Ghanem Al-Ali (II). *Al-Rafidan* 31: 115-118 (in Arabic). (査読)
- 加藤博文
2010 「シベリアにおける細石刃石器群: 北方狩猟採集民の適応戦略として (下)」『旧石器考古学』72.
- 門脇誠二
2010 「西アジア新石器時代の製粉具に関する技術研究: アイン・アブ・ネケイレ遺跡の事例」『論集忍路子』3: 1-36.
- 近藤康久
2010 「オマーンバート遺跡群」『考古学研究』57(2): 118-120.
- 長井謙治
2010 「〈新刊紹介〉愛媛県上黒岩遺跡の研究」『旧石器考古学』73: 57-58.
- 長沼正樹
2010 「いわゆるナイフ形石器文化をめぐる学説史と方法論的展望」『論集忍路子』3: 37-58.
- 西秋良宏
2010 「シリア、デデリエ洞窟」『考古学ジャーナル』602: 31-33.
- 西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、石井理子、佐々木智彦、Y. Kanjou、S. Muhesen、赤澤 威
2010 「シリア、デデリエ洞窟の先史人類学的発掘—2009 年度調査報告」『高知工科大学紀要』7(1): 57-69.

【学会発表】

2016

- Arai, S., F. Guliyev and Y. Nishiaki
2016 Evolution of worked bone industry in the Neolithic Southern Caucasus. Paper presented at *the 11th Meeting of the Worked Bone Research Group, the International Council for Archaeozoology*, Iasi, May 23–28, 2016.
- Nagai, K.
2016 Variability in East Asian pressure flaking techniques on bifaces during the Final Paleolithic and Early Neolithic: Understanding of the knappers' kinesiological differences as an indicator of culturally learned behavior. *7th Worldwide Conference of the Society for East Asian Archaeology (SEAA)*. 2016.6. 9.-12. 2016. Harvard University, Cambridge/Boston, USA.
- Nishiaki, Y.
2016 Towards a high-resolution chronology of the Neolithisation processes of the Southern Caucasus. *The*

- 8th World Archaeological Congress*, Doshisha University, Kyoto, August 28–September 2, 2016.
- Nishiaki, Y.
2016 The emergence and development of the Mlefaatian lithic industry in the Iranian Zagros. *The 8th Conference on PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East*. Nicosia, November 23–27, 2016.
 - Nishiaki, Y.
2016 Obsidian circulation among the early Neolithic societies in the Southern Caucasus. *The 8th Conference on PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East*. Nicosia, November 23–27, 2016.
 - Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero
2016 Session: Multidisciplinary approach in the definition of high-resolution events to interpret past human behaviour. *The 8th World Archaeological Congress*, Doshisha University, Kyoto, August 28–September 2, 2016.
 - Sano, K.
2016 Towards a better documentation and understanding of microwear and residues using the high-speed image stitching function: A case study from the middle Upper Palaeolithic site of Shimohara-Fujimicho, Tokyo, Japan. *World Archaeological Congress 8 Kyoto*. 2016.8.28-9.2, 2016. Doshisha University, Kyoto, Japan.
 - Sano, K.
2016 Evidence for mechanically-delivered armatures on early Upper Palaeolithic trapezoids from Japan. *The 8th Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2016.6.24-28, 2016. Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan.
 - Lee, Gi-Kil, and K. Sano
2016 Functional and morphometric analyses of tanged points from the Jingeuneul site in Korea. *The 8th Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2016.6.24-28, 2016. Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan.
 - 門脇誠二
2016 「ホモ・サピエンスの拡散と西アジアにおける上部旧石器文化のはじまり」『日本考古学協会第 82 回総会』2016.5.5.29 東京：東京学芸大学.
 - 下釜和也、F. Guliyev、門脇誠二、仲田大人、赤司千恵、新井才二、西秋良宏
2016 「南コーカサス地方の新石器時代—第 8 次発掘調査 (2015 年)」『第 23 回西アジア発掘調査報告会』2016.3.26. 東京：池袋サンシャイン文化会館.
 - 長沼正樹
2016 「人類の進化と北方への進出—考古学の証拠から」『北海道立北方民族博物館第 31 回特別展—北からの文化の波北海道の旧石器からオホーツク文化まで関連講座・開催記念講演』2016.7.16. 網走：北海道立北方民族博物館.
 - 長沼正樹
2016 「旧石器考古学へのいざない—私たちはどこから来たか」『朝日カルチャーセンター／朝日 JTB・交流文化塾札幌 2016 年公開講座』2016.5.21. 札幌：朝日カルチャーセンター札幌教室.
 - 西秋良宏
2016 「ユネスコ主催第 2 回シリア文化遺産専門家会議報告」『文化遺産国際協力コンソーシアム第 27 回西アジア分科会』2016.7.4. 東京文化財研究所.
 - 西秋良宏
2016 「イラン新石器時代の展開とムレファティアン石器群」『日本西アジア考古学会第 21 回総会・大会』2016.6.25-26. 東京：立教大学.
 - 西秋良宏
2016 「ネアンデルタール人の石器」『知の回廊開館記念連続講演会第 9 回』2016.6.25. 東京大学総合研究博物館
 - 西秋良宏
2016 「南コーカサスの新石器時代」『公開セミナー：アゼルバイジャン考古学の展開』2016.5.14. 東京大学総合研究博物館.
 - 西秋良宏
2016 「西アジアの先史部族社会の調査 2007-2011」『東京大学総合研究博物館ボランティアの会講演会』2016.1.13. 東京大学総合研究博物館

- 西秋良宏
2016「西アジア発、新石器革命とその拡散」『2016年度西洋史研究会大会』2016.11.19-20. 東北大学
- 西秋良宏・O. Aripdjanov, A. Rajabov, B. Sayfullayev・仲田大人・赤司千恵・新井才二
2016「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—第3次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2015年)」『古代オリエント世界を掘る-第23回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会. 2016.3.26-27. 東京：池袋サンシャインシティ.
- 松本直子
2016「こころとモノの境界はどこにあるのか—認知考古学的視点—」『人間環境学府 学際シンポジウム「こころを掘り起こす」』2016.2.14. 福岡：九州大学

2015

- Akashi, C., Y. Nishiaki, and F. Guliyev
2015 The plant remains from Göytepe, a Neolithic settlement in Western Azerbaijan. *International Congress of Young Archaeologists*. 2015.10.11–14, 2015. Tehran University, Tehran, Iran.
- Akazawa, T., Y. Kanjo, and Y. Nishiaki
2015 The Palaeolithic Cave Site of Dederiyeh, Afrin, Northwest Syria. *ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*. 2015.12.3-6. 2015. Gefinor Rotana Hotel, Beirut, Lebanon.
- Arai, S., S. Kadowaki, K. Ohnishi, F. Guliyev, and Y. Nishiaki
2015 Early animal husbandry in Azerbaijan: Implications for the origin and development of Neolithic culture in the Southern Caucasus. Paper presented at the *12th International Symposium on the Archaeozoology of Southwest Asia*. 2015.6.10–14, 2015. Groningen, Netherland.
- Kadowaki, S.
2015 Early Upper Palaeolithic lithic technology in the Syrian Desert and its implications for the dispersal of *Homo sapiens*. *International Union for Quaternary Research, XIX Congress*. 2015.7.26–8.2, 2015. The Nagoya Congress Center, Japan.
- Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, Wing-Le Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2015 A combination of ecological niche models and cost surface analysis figures out routes and rapidity of the dispersal of early modern humans. *International Union for Quaternary Research, XIX Congress*. 2015.7.26–8.2, 2015. The Nagoya Congress Center, Japan.
- Naganuma, M.
2015 Migration routes of *Homo sapiens* and beginning of the Upper Paleolithic cultures in eastern Eurasia. "Introductory Course to Prep Subjects RJE3 Program", 2015.6.4. Irkutsk State University, Irkutsk, Russia.
- Nishiaki, Y.
2015 The Pre-Pottery to Pottery Neolithic settlement of Tell Seker-Aheimar, Hassake, Syria: Excavations from 2000 to 2010. *ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*. 2015.12.3-6. 2015. Gefinor Rotana Hotel, Beirut, Lebanon.
- Nishiaki, Y.
2015 The steppe exploitation during the Palaeolithic to Bronze Age in the Middle Euphrates Valley: 2007—2011 surveys. *ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*. 2015.12.3-6. 2015. Gefinor Rotana Hotel, Beirut, Lebanon.
- Nishiaki, Y.
2015 Development of the Neolithic industries in the Iranian Zagros. *International Congress of Young Archaeologists*. 2015.10. 11–14, 2015. Tehran University, Tehran, Iran.
- Nishiaki, Y.
2015 The Zagros Neolithic seen from the excavations of Tell Seker al-Aheimar, northeast Syria. *Invited Lecture by the Archaeological Society of Kermanshah*. 2015.10. 18. Kerman Hotel, Kermansha, Iran.
- Ono, A.
2015 Northeast Asian records of early symbolic behavior. Invited lecture of *The 57th Hugo Obermaier-Gesellschaft*, Heidenheim, Germany, 2015. 4. 8.
- Sano, K.
2015 Evidence for mechanically-delivered armatures from early Upper Palaeolithic sites in Japan. *European Society for the study of Human Evolution 5th Annual Meeting*. 2015.9.10-12. London, UK.
- Takakura, J.
2015 Identification of blade and microblade flaking techniques and its significance for the Upper Paleolithic

- research in northeastern Asia. *International Conference on the Method for the Study of Stone Artifacts*. 2015.11.16-18. The Institute of the Material Culture History, Russian Academy of Science, St.Petersburg, Russia.
- Takakura, J.
2015 Rethinking small: a difference between before and after the appearance of microblade technology in northeastern Asia. *The 5th Annual Meeting of the European Society for the Study of Human Evolution*. 2015.9.9-11. The British Museum, London, UK.
 - Takakura, J.
2015 The Tougeshita method reconsidered: a technological assessment of the microblade assemblages in Hokkaido, Northern Japan. *The 19th Congress of the International Union for Quaternary Research*. 2015.8.10-14. Nagoya, Japan.
 - Takakura, J.
2015 Rethinking the blade and microblade technologies in the middle Upper Paleolithic of Hokkaido, Northern Japan. *The 19th Congress of the International Union for Quaternary Research*. 2015.8.10-14. Nagoya, Japan.
 - 新井才二、O. Aripdjanov、仲田大人、三木健裕、大森貴之、R. Suleymanov、西秋良宏
2015 「ウズベキスタン、アンギラク洞窟出土の動物骨にみる中期旧石器時代人の動物利用」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 加藤真二、國木田大、高倉 純、森川 実、芝康次郎、長沼正樹、尾田識好
2015 「華北土器出現期に関する予察」『第16回北アジア調査研究報告会』2015.2.22. 東京：東京大学.
 - 門脇誠二
2015 「考古学から見た学習仮説—新人と旧人の文化格差はいつ生じたか」『なぜネアンデルタール人はいなくなったのか-学習仮説からの展望』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.7.5. 東京：東京大学.
 - 門脇誠二
2015 「ネアンデルタール人の消滅と新人サピエンスの拡散」『第四紀年代学、古気候学、考古学が解き明かす人類進化史の真相—ネアンデルタールの消滅とホモ・サピエンスの拡散』国際第四紀学連合第19回大会記念一般普及講演会. 2015.7.26. 名古屋：名古屋大学野依記念学術交流館.
 - 門脇誠二、大森貴之、西秋良宏
2015 「新人は技術革新に促進されて西アジアからヨーロッパへ拡散したのか？：石器技術からの展望」『日本西アジア考古学会第20回総会・大会』2015.6.13-14. 名古屋：名古屋大学野依記念学術交流館.
 - 門脇誠二、大西敬子、西秋良宏
2015 「新石器時代ヤギのDNA系統解析：家畜ヤギの西アジア起源説への示唆」『日本西アジア考古学会第20回総会・大会』2015.6.13-14. 名古屋：名古屋大学野依記念学術交流館.
 - 近藤康久
2015 「ネアンデルタール人とホモ・サピエンスの環境適応能力：彼らは共存できたのか」『第四紀年代学、古気候学、考古学が解き明かす人類進化史の真相—ネアンデルタールの消滅とホモ・サピエンスの拡散』国際第四紀学連合第19回大会記念一般普及講演会. 2015.7.26. 名古屋：名古屋大学野依記念学術交流館.
 - 近藤康久、佐野勝宏、大森貴之、阿部彩子、W. Chen、大石龍太、門脇誠二、長沼正樹、小口高、西秋良宏、米田 穰
2015 「旧人・新人の生態ニッチモデリング共同研究のまとめ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 近藤康久、佐野勝宏、門脇誠二、長沼正樹、西秋良宏
2015 「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベース Neander DB 構築のまとめ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 佐野勝宏
2015 「ネアンデルタール人の絶滅プロセスとその背景」『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』

科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.2.7. 東京：東京大学.

- 高倉 純
2015「ニセコ町内の旧石器時代遺跡」公開講演会ニセコ町の先史時代遺跡. 2015.12.6. ニセコ：有島記念館.
- 高倉 純
2015「フラクチャー・ウィングの分析と押圧細石刃剥離技術の研究」岩宿フォーラム 2015『石器製作技術』. 2015.10.31-11.1. みどり：岩宿博物館(群馬県).
- 高倉 純
2015「『細石刃』剥離技術をどのように定義すべきか」第13回日本旧石器学会大会. 2015.6.20. 仙台：東北大学.
- 高倉 純
2015「旧石器時代遺跡にみる石器製作技術伝達のための学習行動の変異」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 高倉 純
2015「広郷型細石刃核を伴う石器群での剥離技術分析」第16回北アジア調査研究報告会. 2015.2.22. 東京：東京大学.
- 長沼正樹
2015「ホモ・サピエンスの拡散と各地への適応」『人類進化の跡をたどる－考古学の証拠から－朝日カルチャーセンター／朝日 JTB・交流文化塾札幌 2015 年秋季講座』2015.12.9. 札幌：朝日カルチャーセンター札幌教室.
- 長沼正樹
2015「旧人文化と新人の登場」『人類進化の跡をたどる－考古学の証拠から－朝日カルチャーセンター／朝日 JTB・交流文化塾札幌 2015 年秋季講座』2015.11.25. 札幌：朝日カルチャーセンター札幌教室.
- 長沼正樹
2015「初期人類の出現とかれらの暮らし」『人類進化の跡をたどる－考古学の証拠から－朝日カルチャーセンター／朝日 JTB・交流文化塾札幌 2015 年秋季講座』2015.11.11. 札幌：朝日カルチャーセンター札幌教室.
- 長沼正樹
2015「エミランに類似する石器群の問題」『北海道旧石器文化研究会』. 2015.6.27. 札幌：北海道大学.
- 長沼正樹
2015「考古学とアイヌ」『平成 26 年度第三期イオル伝承者（担い手）育成事業研修考古学講座』2015.3.23. 白老：アイヌ民族博物館（白老）.
- 長沼正樹、加藤博文
2015「草原景観と旧石器時代における人類移住ルートの可能性」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 西秋良宏
2015「東ユーラシアのネアンデルタール人—ウズベキスタン現地調査から」『ネアンデルタールミッション—日本人研究者による旧人遺跡の調査』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.11.28. 東京：東京大学本郷キャンパス理学部 2 号館講堂.
- 西秋良宏
2015「東京大学のシリア調査」『シリア内戦下の文化財危機シンポジウム』2015.2.22-23. 東京：サンシャインシティ文化会館.
- 西秋良宏
2015「考古学からみた交替劇」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 西秋良宏、O. Aripdjanov、R. Suleymanov、仲田大人、三木健裕、新井才二

2015 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—ウズベキスタン旧石器遺跡調査 (2014 年)」『古代オリエント世界を掘る—第 22 回西アジア発掘調査報告会』2015.3.22-23. 東京：サンシャインシティ文化会館.

- 西秋良宏
2015 「考古学のフィールドから見た文化財保護活動のあり方」『危機の中の文化遺産—ムニール・ブシュナキ氏を迎えて』世界文化遺産コンソーシアム.2015.11.6. 東京: TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町.
- 西秋良宏
2015 「メソポタミア先史時代の建築伝統—シリア、セクル・アル・アヘイマル遺跡で発見された先土器新石器時代泥壁住居をめぐって」『日本西アジア考古学会第20回総会・大会』2015.6.13-14. 名古屋：名古屋大学野依記念学術交流館.
- 日暮泰男
2015 「槍先端部の質量が槍の飛距離におよぼす影響」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 松本直子
2015 「農耕文化拡散過程における人口動態と文化传播」『日本進化学会第17回大会 (ワークショップ 3 「日本の考古遺物を中心とした文化進化的考察」)』2015.8.20. 東京：中央大学後樂園キャンパス

2014

- Higurashi, Y.
2014 On the mechanics of the spear thrower. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kadowaki, S.
2014 Diffusion or progressive integration?: Re-considering the widespread distributions of early UP/LSA bladelet technologies from west Asia to south Europe and from east Africa to south Asia. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2014 Middle Epipalaeolithic technological variability in the northern Levant: New data from the middle Euphrates. *The Society for American Archaeology 79th Annual Meeting*. 2014.4.26. Austin, USA.
- Kadowaki, S., Y. Nishiaki, and F. Guliyev
2014 Tracing the origins of early agricultural settlements in the southern Caucasus: New evidence from Hacı Elamxanlı Tepe (Azerbaijan) in the 2012 and 2013 seasons. *The 9th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. 2014.6.13. Basel, Switzerland.
- Kato, H., M. Naganuma, and T. Sato
2014 Results of the archaeological excavation from Hamanaka-2 site 2011 and 2013 field years. *Workshop May Baikal Hokkaido Archaeology Project*. 2014.5.5. Edmonton, Canada.
- Kobayashi, Y., S. Kadowaki, and M. Naganuma
2014 A population-genetics based model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kondo, Y., K. Sano, S. Kadowaki, M. Naganuma, T. Omori, M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2014 Assessing environmental factors to the replacement of Neanderthals by Modern Humans in terms of ecocultural niche modelling. *European Geosciences Union General Assembly 2014, SSP4.2 Always Look on the Bright Side—Environmental Constraints of Early Human Expansions*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Lipnina, E., G. Medvedev, F. Khazykhenova, K. Yoshida, D. Kunikida, T. Sato, and H. Kato
2014 The exploitation and adaptation in the Asian Arctic and Paleolithic in the Baikal Siberia. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Nakata, H.
2014 The Emergence of the Upper Palaeolithic in the Japanese Archipelago. *RNMH 2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary*

- Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Nishiaki, Y.
2014 Recent progress in the archaeology of Palaeolithic caves in Japan. *The 32nd National Geoscience Congress and the 1st International Speleology Congress*. 2014.2.16-19. Geological Survey in Iran, Tehran and Hamedan.
 - Nishiaki, Y.
2014 The RNMH project: A summary. *RNMH 2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Nishiaki, Y. and T. Akazawa
2014 The Middle Palaeolithic of the Palmyra Basin, Syria. Intra-site spatial patterning at Douara Cave. *The XVII UISPP World Congress*. 2014.9.1-7. Burgos, Spain.
 - Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, and R. Suleimanov
2014 The late Middle Palaeolithic occupations at Anghilak Cave, southern Uzbekistan. *The 7th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association Conference*. 2014.11.12-16. Gongju, Korea.
 - Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, R. Suleymanov, H. Nakata, S. Arai, T. Miki, and J. Ismailova
2014 New insight into the end of the Middle Palaeolithic in Central Asia. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Nishiaki, Y., Y. Kanjou, and T. Akazawa
2014 The Neanderthal occupations at Dederiyeh Cave, Syria. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Nishiaki, Y., Y. Kanjo, S. Muhesen, and T. Akazawa
2014 The "Natufian" in northern Levant: The Late Epipalaeolithic of Dederiyeh Cave, Afrin Valley, northwest Syria. *The XVII UISPP World Congress*. 2014.9.1-7. Burgos, Spain.
 - Omori, T. and K. Sano
2014 Spatiotemporal pattern of the Middle to Upper Paleolithic transitional lithic industries in Europe: A new approach for reliability assessment of radiocarbon data. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Ono, A.
2014 Two patterns of obsidian exploitation in the Upper Palaeolithic of the Japanese Islands. *Mikulov Anthropology Meeting*. 2014.8.27-29. Mikulov, Czech Republic.
 - Ono, A.
2014 Natural resource environment and humans around obsidian exploitation in the Central Highland, Japan. *The 7th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association Conference*. 2014.11.12-16. Gongju, Korea.
 - Sano, K.
2014 Micro- and macroscopic analysis of Upper Palaeolithic backed knives from Japan. *XVII World UISPP Congress 2014*. 2014.9.1-7. Burgos, Spain.
 - Sano, K. and T. Omori
2014 Replacement process of Neanderthals by modern humans in Europe. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Takakura, J.
2014 The technological and behavioral transformation in the middle Upper Paleolithic in Hokkaido, Northern Japan: Interpreting the emergence of pressure microblade production and its significance. *The XVII UISPP World Congress*. 2014.9.1-7. Burgos, Spain.
 - Takakura, J.
2014 Tanged points and the middle Upper Paleolithic assemblages in Hokkaido, Northern Japan. *The 7th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association Conference*. 2014.11.12-16. Gongju, Korea.
 - Takakura, J.
2014 Identifying the pressure microblade production using the fracture wings: recent research from the Middle Upper Paleolithic Hokkaido, Northern Japan. *International Workshop on Paleoecology and Human Behavioral Adaptation around the LGM in Eurasia*. 2014.11.28. Tokyo, Japan.
 - Takakura, J.

- 2014 Toward an understanding of learning strategy in the Upper Paleolithic: A case study in Hokkaido, Northern Japan. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- 小野 昭
2014「信州の黒曜石研究と世界の黒曜石」『信州の黒曜石研究のいま—明治大学・信州大学連携協定第1回講演会』2014.12.7. 諏訪：諏訪市文化センター.
 - 門脇誠二
2014「新人拡散期の石器伝統の変化：アフリカ，西アジア，ヨーロッパ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - 門脇誠二
2014「南コーカサスにおける新石器時代の打製石器技術：ハッジ・エラムハンル遺跡の事例」『日本西アジア考古学会第19回大会』2014.6.14-15. 鎌倉：鎌倉女子大学.
 - 門脇誠二
2014「新人拡散期の西アジアとアフリカの石器文化」『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』2014.3.15. 名古屋：名古屋大学.
 - 門脇誠二
2014「西アジアの旧石器時代」『西アジア考古学連続講義—発掘現場からのメッセージ』2014.2.1. 京都：龍谷大学.
 - 近藤康久、佐野勝宏、阿部彩子、大森貴之、大石龍太、門脇誠二、W. Chen、長沼正樹、小口高、米田 穰、西秋良宏
2014「生態ニッチ確率の逆数を負荷係数とする移動コスト分析によって大陸スケールでの人類拡散速度を推定する」『第68回日本人類学会大会：若手会員大会発表. 招待講演 2』2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 佐野勝宏
2014「狩猟具から読み解く人類の歴史」『地底の森ミュージアム平成26年度特別企画展ザ・ハンター—狩人の石器—記念講演』. 2014.9.13. 仙台：太白区中央市民センター大会議室.
 - 佐野勝宏
2014「東北地方における後期旧石器時代狩猟具の投射方法に関する実験研究」『日本旧石器学会第12回講演・研究発表シンポジウム』. 2014.6.21-22. 東京：ルネこだいら小平市民文化会館.
 - 佐野勝宏
2014「ヨーロッパにおける交替劇プロセス」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - 高倉 純
2014「後北 B-C1 期の遺跡形成と石器群」『北海道考古学会 2013 年度 1 月月例研究会』2014.1.25. 札幌：北海道大学.
 - 高倉 純
2014「北海道の石刃鍬石器群再考」『科学研究費助成事業『環日本海北回廊の考古学的研究』研究集会』2014.2.16. 東京：東京大学.
 - 高倉 純
2014「北海道中央部における続縄文時代の黒曜石利用」『第15回北アジア調査研究報告会』2014.3.2. 札幌：札幌学院大学.
 - 高倉 純
2014「新大陸への新人拡散—交替劇への示唆」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - 仲田大人
2014「日本列島における後期旧石器時代」『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』2014.3.15. 名古屋：名古屋大学.
 - 長沼正樹
2014「北海道考古学とアイヌ (1)」『北海道大学アイヌ・先住民研究センター無料公開連続セミ

- ナー「アイヌを学ぶ」(上級コース)』2014.10.7. 札幌：北海道大学アイヌ・先住民研究センター。
- ・ 長沼正樹
2014「新人拡散期の石器伝統の変化：ユーラシア東部」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - ・ 西秋良宏
2014「中東ネアンデルタール社会の人口変化—中期旧石器時代の文化進化をめぐって」『日本オリエント学会第56回大会』2014.10.25-26. 東京：上智大学.
 - ・ 西秋良宏
2014「考古学資料からネアンデルタール人と新人サピエンスの交替劇を考える」『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2014.9.28. 東京：東京大学.
 - ・ 西秋良宏
2014「旧人と新人の学習能力を比較する上での考古学的論点」『2014年度人類学関連学会協議会合同シンポジウム』2014.5.17. 千葉：幕張メッセ.
 - ・ 西秋良宏
2014「旧人と新人の文化的交替とインタラクション」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - ・ 西秋良宏、O. Aripdjanov、R. Suleymanov、仲田大人、三木健裕、新井才二
2014「ウズベキスタンのムステリアン遺跡、アングラク洞窟の発掘」『日本西アジア考古学会第19回大会』2014.6.14-15. 鎌倉：鎌倉女子大学.
 - ・ 西秋良宏、O. Aripdjanov、R. Suleymanov、長沼正樹、仲田大人、三木健裕
2014「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2013年)」『古代オリエント世界を掘る—第21回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会. 2014.3.22-23. 東京：サンシャインシティ文化会館.
 - ・ 日暮泰男
2014「槍先端部の質量による投擲された槍の運動の変化：2014年度の研究計画と予備的結果」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - ・ 日暮泰男、藤原英大、熊倉博雄
2014「投槍器のしくみ：身体から投射体への動力伝達」『第68回日本人類学会大会』2014.10.31-11.3. 浜松：アクトシティ浜松.
 - ・ 松本直子
2014「縄文から弥生への文化変化」『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』2014.3.15. 名古屋：名古屋大学.

2013

- ・ Higurashi, Y.
2013 Reconstruction of hunting behavior with projectile weapons in Neanderthals and early modern humans based on differences in skeletal morphology: annual research plan 2013-14. *The 7th Conference on the RNMH Project of the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- ・ Jöris, O.
2013 The Lower to Middle Paleolithic transition: from imitation to the origins of tradition. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- ・ Jöris, O.
2013 The origins of settlement and society: The Upper Paleolithic roots of modern human spatial behavior. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- ・ Kadowaki, S.
2013 Dispersals of early Homo sapiens into Europe: A view from the Levantine Upper Palaeolithic. *The 7th Conference on the RNMH Project of the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo,

- Japan.
- Kadowaki, S.
2013 Approaching learning behaviors in the replacement of Neanderthals by modern humans: a view from African and Levantine archaeological records. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Kadowaki, S.
2013 Re-examination of archaeological records during the terminal Middle Palaeolithic and the early and the early Upper Palaeolithic in west Asia: A view of lithic technological variability. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Kadowaki, S. and K. Sano
2013 Towards a clarification of the process of *Homo sapiens* dispersals into Europe. *The 7th Conference on the RNMH Project of the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Kato, H.
2013 Archaeological heritage and Hokkaido Ainu: Ethnicity and research ethics. *International Workshop, "Archaeology of 'Us' and 'Them': Debating of the Ethics and Politics of Ethnicity and Indigeneity in Archaeology and Heritage Discourse,"*. 2013.10.24. University of Uppsala, Sweden.
 - Kato, H.
2013 Mobile or settled: Cultural functional diversity of prehistoric pottery in Hokkaido Island. *Circumpolar Ceramics: Hunter-Gatherer Pottery Technology and the 'Foraging Spectrum,' The 78th Annual meeting of Society of American Archaeology*. 2013.4.6. Honolulu, USA.
 - Kato, H.
2013 Ainu ethnohistory from the archaeological perspectives. Asian Archaeology, Art and Culture Seminar Series, School of Archaeology. 2013.2.20. University of Oxford, UK.
 - Kondo, Y., S. Kadowaki, K. Sano, M. Naganuma, K. Nagai, K. Shimogama, H. Kato, A. Ono, and Y. Nishiaki
2013 Recent progress of the 'Replacement of Neanderthals by Modern Humans' lithic industry database. *The 41st Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology: ACROSS SPACE AND TIME Conference, CAA 2013*. 2013. 3.25-28. The University Club of Western Australia, Perth, Australia.
 - Kondo, Y., S. Sano, M. Kadowaki, K. Naganuma, T. Omori M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2013 Eco-cultural niche modelling for the replacement of Neanderthals by modern humans based on a collaboration of the archaeology and palaeoenvironment teams. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Naganuma, M.
2013 The emergence of modern behaviors in North, Central, and Eastern Asia: issues of the non-European archaeological record. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Nakata H.
2013 The Aira caldera eruption and cultural evolution in the palaeolithic of central Japan. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Nishiaki, Y.
2013 Introduction. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Nishiaki, Y.
2013 Neanderthals and their environments at Dederiyeh Cave, Syria. *France-Japan Academic Forum: Interplay between Hominids and Environment over Geological Time, Muséum national d'Histoire naturelle*. 2013.10.23-26. Paris, France.
 - Nishiaki, Y.
2013 The Middle Palaeolithic of Iran as seen from the Levant. *The International Conference on the Paleolithic of Iran*. 2013.4.21. University of Tsukuba, Ibaraki, Japan.
 - Nishiaki, Y., Y. Kanjo, S. Muhesen, and T. Akazawa
2013 Variability in the core reduction and processing technology of the Levantine Mousterian industry at Dederiyeh Cave, Syria. The 5th Arheoinvest Symposium—'Stories Written in Stone': *International Symposium on Chert and Other Knappable Materials*. 2013.8.20-24. Iasi University, Romania.
 - Omori, T. and K. Sano

- 2013 Reconsidering radiometric chronology of the European Paleolithic industries. *The 7th Conference on the RNMH Project of the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Sano, K., S. Kadowaki, M. Naganuma, Y. Kondo, K. Nagai, K. Shimogama, K. Nagai, H. Nakata, T. Omori, M. Yoneda, H. Kato, A. Ono, O. Jöris, and Y. Nishiaki
2013 Dispersal processes of modern humans from Africa into western and eastern Eurasia: Preliminary results of RNHM project. *The 3rd Annual Meeting of European Society for the Study of Human Evolution*. 2013.9.19-21. Vienna, Austria.
 - Sano, K.
2013 Problems and prospects the studies on RNMH in Europe. *The 7th Conference on the RNMH Project of the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Sano, K.
2013 Projectile Technology of the Japanese Late Palaeolithic Hunters, *International Conference of the UISPP Commission for the Final Palaeolithic of Northern Eurasia*. 2013.11.5-7. Schleswig, Germany.
 - Sano, K.
2013 Dispersal of modern humans and demise of Neanderthals: a view from spatiotemporal patterns of the European transitional industries. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Sano, K., S. Kadowaki, M. Naganuma, Y. Kondo, K. Shimogama, K. Nagai, H. Nakata, T. Omori, M. Yoneda, H. Kato, A. Ono, O. Jöris, and Y. Nishiaki
2013 Modern Human Dispersal into Eurasia: Preliminary Results of the Multi-Disciplinary Project on the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. *Abstracts of 3rd Annual Meeting of European Society for the study of Human Evolution (ESHE)*. 19-21 September, Vienna, Austria.
 - Takakura, J.
2013 Testing and skill learning: a case study of the Upper Paleolithic assemblages at the Shirataki sites in Hokkaido, Northern Japan. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Takakura, J.
2013 Metalearning process: An archaeological perspective. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Tanno, K., G. Willcox, Y. Nishiaki, and T. Akazawa
2013 Preliminary results of analyses of charred plant remains from Late Natufian site of Dederiyeh, northwest Syria. *The 16th Conference of the International Work Group for Palaeoethnobotany*. 2013.6.17-21. Thessaloniki, Greece.
 - 大森貴之、佐野勝宏
2013 「ヨーロッパ後期旧石器インダストリーにおける理化学年代の再整理」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013. 5.11-13. 東京：東京大学.
 - 小野 昭
2013 「組み合わせ狩猟具が出現するまで：シェーニンゲンの木製槍とその対象獣」『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 連携公開シンポジウム. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
 - 小野 昭
2013 「石器の接合」『日本列島における細石刃石器群の起源』2013.9.14-15. 北佐久：浅間文明ミュージアム.
 - 加藤博文
2013 「考古学的資料から見た北極圏への人類集団の進出」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 加藤博文、長沼正樹
2013 「北ユーラシアにおける現代人的行動の時空分布とその特徴」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 門脇誠二

- 2013「西アジアの旧石器時代」『西アジア考古学連続講義—発掘現場からのメッセージ』
2013.11.9. 東京：早稲田大学.
- ・ 門脇誠二
2013「西アジアからヨーロッパへの現生人類拡散と移行期文化」『第 67 回日本人類学会大会』
2013.11.2. 茨城：国立科学博物館.
 - ・ 門脇誠二
2013「初期ホモ・サピエンスの文化進化：アフリカ、西アジア、ヨーロッパの旧石器文化編年か
らの展望」『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学から見た学習』科学研究費補助金「新学術領域研
究」A01 公開シンポジウム. 2013.7.6-7. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二
2013「南コーカサスにおける新石器化：ハッジ・エラムハンル遺跡からの展望」『日本西アジア
考古学会第 18 回大会』2013.6.1-2. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二
2013「シリア内陸部における上部旧石器時代前半の石器文化変遷」『日本西アジア考古学会第 18
回大会』2013.6.1-2. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二
2013「黒曜石を知るヒト、知らないヒト」『人間と黒曜石—ナイフになったマグマ』蒲郡市生命
の海科学館市民講演会. 2013.1.14. 蒲郡：蒲郡市生命の海科学館.
 - ・ 門脇誠二
2013「アフリカにおける初期ホモ・サピエンスの文化多様性と「交替劇」への新たな展望」『ネ
アンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補
助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二
2013「グローバルでより正確な「新人・旧人交替劇」の理解に向けて：アフリカ、西アジア、ヨ
ーロッパ、の考古記録の統合」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化
に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14.
東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二
2013「レヴァントの旧石器文化からさぐるヨーロッパへの新人拡散」『ネアンデルタールとサピ
エンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究
「交替劇」第 7 回研究大会. 2013. 5.11-13. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二、佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける交替劇の解明に向けて」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真
相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研
究大会. シンポジウム 2. 2013. 5.11-13. 東京：東京大学.
 - ・ 門脇誠二、赤司千恵、西秋良宏
2013「新石器時代農耕民による穀物貯蔵の地考古学的研究：ギョイテペ遺跡の事例（南コーカサ
ス）」『日本オリエント学会第 55 回大会』2013.10.26-27. 京都：京都外国語大学.
 - ・ 近藤康久
2013「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベースの改良」『ネアンデルタールとサピエンス交
替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」
第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - ・ 近藤康久、丸川雄三、小口 高、赤澤 威
2013「RNMH-iii: 交替劇プロジェクトにおける研究情報統合事業」『ネアンデルタールとサピエ
ンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交
替劇」第 8 回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - ・ 近藤康久、佐野勝宏、門脇誠二、長沼正樹、大森貴之、米田 穰、西秋良宏
2013「A01 班と B02 班の共同研究による「交替劇」進行期の生態文化のニッチモデリング」『ネ
アンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補
助金新学術領域研究「交替劇」第 8 回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - ・ 佐野勝宏

- 2013「旧人・新人の移動パタン」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 佐野勝宏
2013「複合的狩猟技術が出現するまで：新人のイノベーション」『旧人と新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 連携公開シンポジウム. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
 - 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける旧人インダストリーの時空間変遷」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 佐野勝宏
2013「ヨーロッパ旧人遺跡に見る学習の証拠」『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学から見た学習』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01 公開シンポジウム. 2013.7.6-7. 東京：東京大学.
 - 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける交替劇研究の課題と展望」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 高倉 純
2013「北海道白滝遺跡群の石器接合資料における技量差の判定と学習行動」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 高倉 純
2013「北海道における押圧細石刃剥離技術の出現」『日本列島における細石刃石器群の起源』2013.9.14-15. 北佐久：浅間文明ミュージアム.
 - 高倉 純
2013「考古資料科から見たメタ学習」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 仲田大人
2013「日本列島における現代人的行動とその背景」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 仲田大人
2013「細石刃石器群と文化伝達」『日本列島における細石刃石器群の起源』2013.9.14-15. 北佐久：浅間文明ミュージアム.
 - 仲田大人
2013「始良火山の噴火と文化進化：日本列島中央部の例」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 長沼正樹
2013「北ユーラシアにおける現代人の拡散と細石刃の出現」研究会『東亜旧石器時代人類文化的交流』2013.2.28. 香港：香港中文大学中国文化研究所.
 - 西秋良宏
2013「考古学資料にもとづく旧人・新人学習行動の実証的研究（2013年度）」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 西秋良宏
2013「ネアンデルタール人の石器文化」『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学から見た学習』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01 公開シンポジウム. 2013.7.6-7. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏

- 2013「ナトゥーフイアンから新石器時代へ」『交替劇フォーラム』科学研究費補助金「新学術領域研究」2013.6.23. 東京：東京大学.
- 西秋良宏
2013「西アジア北縁の新石器化-趣旨説明」『日本西アジア考古学会第 18 回大会』2013.6.1-2. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏、Y. Kanjou、S. Muhesen、赤澤 威
2013「レヴァント地方中期旧石器時代石器群の技術的変異に関する考察」『日本旧石器学会第 11 回大会』2013.6.15-16. 平塚：東海大学湘南キャンパス.
 - 西秋良宏、Y. Kanjou、S. Muhesen、赤澤 威
2013「シリア、デデリエ洞窟出土の中期旧石器時代初頭石器群」『日本西アジア考古学会第 18 回大会』2013.6.1-2. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏
2013「ネアンデルタール人石器群の技術的型式的変異」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研究大会. 2013. 5.11-13. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏
2013「はじめに」『交替劇データベースの現状と課題』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01 研究会. 2013.5.10. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏
2013「交替劇への認知考古学的アプローチ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏
2013「パプア・ニューギニア狩猟採集民にみる弓矢製作の学習スケジュール」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 西秋良宏
2013「考古学資料にもとづく旧人・新人学習行動の実証的研究（2012 年度）」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 日暮泰男
2013「投槍器を用いた槍投げにおける上肢の動きー生体力学的知見から過去の人類における投槍器の習得について考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 日暮泰男
2013「旧人・新人の投擲運動：生体力学的検討」『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 連携公開シンポジウム. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
 - 日暮泰男
2013「ネアンデルタールとサピエンスの骨格の形態差から探る飛び道具使用行動の差異：2013 年度の研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 日暮泰男
2013「投槍器を用いた槍投げにおける投射角と運動エネルギーの伝達」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 8 回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 松本直子
2013「交替劇研究への認知考古学の貢献と論点」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研

究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.

- 松本直子

2013 「「芸術」はどのような状況で生まれるのか—考古学的検証」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

2012

- Hayashi, K., R. Ishii, Y. Nakamura, H. Terashima, and Y. Nishiaki
2012 Technical Transmission of Hunting Tool Manufacture: A Case of Spear Hunting Among Modern Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Higurashi, Y.
2012 Aimed Spear-Throwing in Modern Humans: A Preliminary Study of Upper Limb kinematics. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kadowaki, S. and K. Sano
2012 From the Beginning: Tracing the Patterns of Cultural Changes of Early Homo Sapiens in Africa, West Asia, and Europe. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kadowaki, S. and Nishiaki, Y.
2012 Does speed matter? Reexamining patterns of cultural changes in the Middle and Upper Palaeolithic of the Levant. Colloque UISPP, Modes de contacts et de déplacements au Paléolithique eurasiatique. 2012.5.29-31. Université de Liège, Belgium.
- Kato, H.
2012 Хирофуми "Социокультурные последствия Фукусимской катастрофы." *Российско-Японский семинар «Фукусима: социокультурные последствия катастрофы»*, МИОН, ИГУ. 2012.12.15. Irkutsk, Russia.
- Kato, H.
2012 Ainu culture around sea and forest: Its origin and diversity. *Seminar on Sami and Ainu, Sami & Ainu Culture Festival*. 2012.10.1. University of Tromso, Norway.
- Kato, H.
2012 Indigenous archaeology of the Ainu. *The 17th JSPS "Science in Japan Forum": Routes of Indigenous Research*. 2012.6.12. Cosmos Club, Washington DC, USA.
- Kato, H. and M. Naganuma
2012 Thinking the Beginning of Early Upper Paleolithic in Siberia and Central Asia. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kondo, Y.
2012 Neander DB 2.0: Improvement of the "Replacement of Neanderthals by Modern Humans" Lithic Industry Database. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kondo, Y.
2012 Potential of geographical information sciences in prehistory: case studies from Paleolithic archaeology. Paper Presented at the 1st international conference of Asian Network of Historical GIS. 2012.12.1-2. Tokyo, Japan.
- Kondo, Y. and T. Oguchi
2012 Ecological niche modelling for archaeological prediction: Case studies from the Pleistocene Levant and Holocene East Japan. *Paper presented at the 40th annual conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology*. 2012.3.26-30. Southampton, UK.
- Kondo, Y., T. Oguchi, T. Omori, W. Song, and M. Yoneda
2012 Spatially bridging paleobotany and paleoanthropology: GIS-based data integration for the project "Replacement of Neanderthals by Modern Humans." Poster presented at IPC VIII /IOPC IX. 2012.8.23-30, Tokyo, Japan.
- Naganuma, M.
2012 The Osipovka Culture: One of the Earliest Emergence of Pottery in the North Eastern Asia—Russian Lower Amur Region—. 『蘭州大学西部環境与气候变化研究院先端学術報告 2012-02 期』 2012.3.1.

蘭州大学祁連堂, China. (招待講演).

- Nakata, H.
2012 The Initial and Early Upper Paleolithic of the Japanese Archipelago. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Nishiaki, Y.
2012 PPN-PN lithic changes in the Fars, Southwest Iran. *The Seventh International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East*. 2012.2.14-17. Barcelona: Autonomia University.
- Nishiaki, Y.
2012 "Gift" as a Means of Cultural Transmission: An Archaeological Implication of Bow and Arrow Technology in Papua New Guinea. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Nishiaki, Y.
2012 The archaeological Database for the RNMH Project. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Nishiaki, Y.
2012 Early-Middle Bronze Age steppe exploitation as seen from an archaeological survey of the Middle Euphrates, Syria. *The Eighth International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. 2012.4.30-5.4. Warsaw University, Poland.
- Nishiaki, Y.
2012 Introduction to the Neolithic sites of Fars and their chronology. International Workshop: The Late Prehistory of Southwest Iran. 2012.12.11. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Nishiaki, Y.
2012 The Neolithisation of the South Caucasus. *Public Lecture, the Archaeological Society of Iran*. 2012.1.3. Tehran University, Iran.
- Ono, A.
2012 Modern Human dispersals in the Japanese islands: Emergence of edge-ground stone adzes and the exploitation of obsidian. *UNESCO World Heritage Thematic Programme, Human Evolution: Adaptations, Dispersals and Social Developments (HEADS), "Human Origin Sites in Asia and the World Heritage Convention"*, 2012.9. 24-27, Jeongok Prehistory Museum, Yeonchon, Korea.
- Oguchi, T., Y. Kondo, Y. Takaya, and M. Kawabata
2012 WebGIS for mapping information from paleoenvironmental literature. *Poster presented at the 32nd International Geographical Congress (IGC) 2012*. 2012.8.26-30. Cologne, Germany.
- Sano, K.
2012 Projectile experimentation for identifying hunting methods with replicas of Upper Palaeolithic weaponry from Japan. *International Conference on Use-Wear Analysis*. 2012.10.10-12. Universidade do Algarve, Portugal.
- Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2012 PaleoGeo: A WebGIS for distributing information from paleoenvironmental literature. Poster presented at *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Takakura, J.
2012 Upper Paleolithic in Hokkaido, Northern Japan: Recent Achievement. 『蘭州大学西部環境与気候変化研究院先端学術報告 2012-02 期』 2012.3.1. 蘭州大学, China.
- Takakura, J.
2012 New Insights into the Skill Learning Processes in the lithic Production: An Analysis of the Refitted Material from the Kyushirataki 15 Site in Hokkaido, Northern Japan. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Takakura, J.
2012 Lithic Refitted Materials and Identification of Technical Skill Level: Lessons from the Upper Paleolithic Assemblages of the Shirataki Sites in Hokkaido, Northern Japan. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- 安倍雅史、M.H. Azizi Kharanaghi、西秋良宏

- 2012「ザグロス南部ファールス地方ラハマタバード遺跡出土石器資料の研究」『日本オリエント学会第54回大会』2012.11.24-25. 平塚市：東海大学湘南キャンパス.
- ・ 加藤博文
2012「狩猟対象から儀礼対象へ」『食と儀礼を巡る世界の旅：先住民文化からみたシベリアとアメリカ』日本文化人類学会公開シンポジウム. 2012.11.20. 仙台：東北大学.
 - ・ 加藤博文
2012「パブリック考古学の課題と展望：研究は誰のためのものか」第66回日本人類学会大会. シンポジウム 12. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - ・ 加藤博文
2012「環境適応行動はどのように推定できるのか：考古学からの視点」『新学術領域研究「交替劇」A01班・B01班合同シンポジウム』2012.8.29. 札幌：北海道大学遠友学舎.
 - ・ 加藤博文
2012「シベリアに進出したデニソワ・ネアンデルタール人」『第2回交替劇プロジェクト公開講座』2012.6.30. 東京：キャンパス・イノベーションセンター東京国際会議室.
 - ・ 加藤博文
2012「シベリアにおける旧石器編年と交替劇」『新学術領域研究「交替劇」公開シンポジウムホモサピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』2012.6.16-17. 東京：東京大学.
 - ・ 加藤博文
2012「北海道の先史文化のダイナミズムと環境」『新学術領域研究環太平洋の環境文明史シンポジウム 環太平洋の環境と文明を考える』2012.6.2. 札幌：札幌大学.
 - ・ 加藤博文
2012「人類の起源と進化」『中小企業同友会第60回同友会大学』2012.5.22. 札幌：一般社団法人北海道中小企業家同友会.
 - ・ 加藤博文
2012「シベリアにおける旧人・新人「移行期仮説」の検証」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - ・ 加藤博文
2012「シベリアにおける旧人・新人「移行期仮説」の検証」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - ・ 門脇誠二
2012「墓前儀礼としての石器づくり？ユーフラテス河中流域における青銅器時代墓地と石器散布の空間関係」『メソポタミア青銅器時代の葬制』日本西アジア考古学会 2012年度ワークショップ. 2012.12.8. 東京：国士舘大学.
 - ・ 門脇誠二
2012「石の観測知—岩石からみる石器文化」『Hands On 3：観測知にふれるハンズオン・ギャラリー（第4回）』2012.10.20. 名古屋：名古屋大学博物館.
 - ・ 門脇誠二
2012「レヴァント地方上部旧石器文化の多様性：ユーフラテス川中流域の新資料から」『日本オリエント学会第54回大会』2012.11.25. 平塚市：東海大学湘南キャンパス.
 - ・ 門脇誠二
2012「石の観測知—岩石からみる石器文化」『Hands On 3：観測知にふれるハンズオン・ギャラリー（第1回）』2012.7.8. 東京：東京大学総合研究博物館.
 - ・ 門脇誠二
2012「アフリカの中・後期石器時代とレヴァントの中・後期旧石器時代の編年と現代人的行動の出現に関する予備的考察」『日本旧石器学会第10回大会』2012.6.23-24. 奈良：奈良文化財研究所.
 - ・ 門脇誠二
2012「アフリカと西アジアの旧石器文化編年からみた現代人的行動の出現パターン」『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学から見た交替劇』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01 公開シンポジウム. 2012.6.16-17. 東京：東京大学.

- 門脇誠二
2012「進化からみるヒトのからだ」『達人とはなそう—ヒトとからだ』名古屋市生涯学習推進センター連携講座. 2012.5.26. 名古屋：名古屋大学博物館.
- 門脇誠二
2012「アフリカの中期石器時代における現代人的行動の時空分布」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 門脇誠二、久米正吾、下釜和也、西秋良宏
2012「ユーフラテス河中流域の先史時代—第5次調査（2011）」『古代オリエント世界を掘る—第19回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会. 2012.3.24-25. 東京：サンシャインシティ文化会館.
- 門脇誠二
2012「乾燥地における先史居住民の通時的検討：ユーフラテス川中流域の考古学調査から」『ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民：考古学、民族学、文献史学の視点から』2012.3.3-4. 東京：国土館大学.
- 近藤康久
2012「旧石器データベース Hacks!」『日本旧石器学会第10回大会』シンポジウム「遺跡・立地・分布論の新たな展開—『日本の旧石器時代遺跡』データベースの到達点と展望」2012.6.23-24. 奈良：奈良文化財研究所平城宮跡資料館.（基調講演）
- 近藤康久、阿児雄之
2012「ソーシャルメディアでつながる・はじまる・ひろがる新しい学際研究：考古学 GIS の事例から」『日本地球惑星科学連合 2012 年大会』セッション MTT-38「ソーシャルメディアと地球惑星科学」2012.5.20-25. 千葉：幕張メッセ.
- 近藤康久、大森貴之、亀井宏行、小口 高
2012「生態文化ニッチモデルの改良：ヨーロッパの旧石器遺跡を例に」『第66回日本人類学会大会』セッション2「旧人・新人の交替劇における古気候変動の影響：地球物理学・空間情報科学・年代学からのアプローチ」2012.11.2-4. 横浜：慶応義塾大学日吉キャンパス.
- 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2012「進化しつづける「交替劇」遺跡データベース」『日本地球惑星科学連合 2012 年大会』セッション BPT-24「人類進化と気候変動」2012.5.20-25. 千葉：幕張メッセ.
- 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代インダストリーの編年的・地理的分布パターン」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代遺跡の時空間分布」『日本旧石器学会第10回講演・研究発表シンポジウム』2012.6.23-24. 奈良：奈良文化財研究所.
- 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける旧石器文化編年からみた現代人的行動の出現パターン」『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学から見た交替劇』2012.6.16-17. 東京：東京大学.
- 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける石器接合研究」『研究集会 石器接合資料研究の諸問題』2012.3.17. 札幌：北海道大学.
- 高倉 純
2012「石刃・細石刃剥離にかかわる接合資料分析」『研究集会 石器接合資料分析の諸問題』2012.3.17. 札幌：北海道大学.
- 高倉 純
2012「分節された剥離過程の単位と技量レベルの同定」『ネアンデルタールとホモ・サピエンス交替劇の真相—学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 高倉 純

- 2012「動作連鎖と技量習熟・伝達の民族誌考古学」科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」A02 班 2012 年度第 1 回研究会. 2012.7.1. 札幌：北海道大学.
- ・ 高倉 純
2012「石器作りの学習と文化伝達—細石刃石器群を例に」科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」B01 班 2012 年度第 1 回研究会. 2012.8.27. 札幌：北海道大学.
 - ・ 高倉 純
2012「黒曜石製石器における剥離技術研究」2012 信州黒曜石フォーラム. 2012.12.2. 諏訪：諏訪市博物館.
 - ・ 高倉 純・金成太郎
2012「続縄文時代における石器石材の入手と選択」日本考古学協会第 78 回総会・研究発表会、2012.5.27. 東京：立正大学.
 - ・ 高倉 純・小杉 康
2012「北海道における旧石器遺跡の分布と立地」『第 10 回日本旧石器学会研究大会』2012.6.24. 奈良：奈良文化財研究所.
 - ・ 長井謙治
2012「韓国旧石器データベースへの取り組み：その方法と見通し」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - ・ 長沼正樹
2012「ロシア語圏の旧石器資料—データベース入力作業の経過」交替劇 B01 班 2012 年班会議. 2012.8.28. 札幌：北海道大学遠友学舎.
 - ・ 長沼正樹
2012「学習行動の物質化を検討する—遠い過去を実証的に研究するために—」交替劇 A02 班 2012 年第 1 回班会議・研究会. 2012.7.1. 札幌：北海道大学.
 - ・ 長沼正樹
2012「中央アジアにおける旧石器編年と旧人・新人交替劇」『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』2012.6.16-17. 東京：東京大学.
 - ・ 長沼正樹
2012「両面石器の接合を考える—事例からみた可能性と限界」研究集会「石器接合資料研究の諸問題」2012.3.17. 札幌：北海道大学.
 - ・ 新美倫子、乾 茂年、大谷茂之、門脇誠二
2012「北海道オホーツク海沿岸の縄文時代貝塚の年代」『日本考古学協会第 78 回総会』2012.5.26-27. 東京：立正大学.
 - ・ 西秋良宏
2012「海外学術調査の魅力」『文京学院大学生涯学習センター 東大博物館に学ぶ第 2 弾』2012.12.3. 東京：東京大学総合研究博物館.
 - ・ 西秋良宏
2012「ネアンデルタール人の成長と石器製作技術の習得」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 15. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - ・ 西秋良宏
2012「中東ネアンデルタール人の文化進化」『日本西アジア考古学会第 17 回総会・大会』2012.6.9-10. つくば：筑波大学.
 - ・ 西秋良宏
2012「ネアンデルタール DB と旧石器インダストリーの時空分布再構築」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - ・ 西秋良宏
2012「文化からみた旧人・新人交替劇」『交替劇公開講座』2012.3.24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 西秋良宏
2012「ユーフラテス川中流域青銅器時代のステップ開発」『シンポジウム ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民：考古学、民族学、文献史学の視点から』2012.3.3-4. 東京：国士舘大学.

- 西秋良宏、ファルハド・キリエフ、門脇誠二、下釜和也、小高敬寛、有松唯、赤司千恵
2012「南コーカサス地方の新石器時代：ギョイテペ遺跡の第4次発掘調査」『第19回西アジア発掘調査報告会』2012.3.24. 東京：池袋サンシャイン文化会館.
- 日暮泰男
2012「投擲運動の学習プロセスの解明：2012年度の研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 日暮泰男、熊倉博雄
2012「投擲運動のキネマティクス」第66回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.

2011

- Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2011 New Research at Goytepe, Azerbaijan. *International Conference: New Research on the Neolithic in the Circumcaspien Regions*. 2011.11.27-30. Georgian National Museum, Tbilisi, Georgia.
- Kadowaki, S.
2011 Lithic Technology in the Wadi Rabah Period: A Perspective from Wadi Ziqlab. *International Symposium on Perspectives from the Periphery: Galilee in the Cultural Changes through Ages*. 2011.5.28. Rikkyo University, Tokyo, Japan.
- Kato, H.
2011 The potential for Archaeology in Hokkaido Island: New Approach of Baikal-Hokkaido Archaeology Project. *Special Lecture in Oxford Center for Asian Archaeology, Art and Culture*. 2011.11.29. Institute of Archaeology, University of Oxford, Oxford, UK.
- Kato, H.
2011 Dispersal of ancient human groups and replacement from Neanderthal to Modern Human in Siberia. *2011 Seoul National University and Hokkaido University Joint Symposium*. 2011.11.19. Seoul National University, Seoul, Korea.
- Kondo, O.
2011 An application of fourier and wavelet transforms to two-dimensional images: quantification of human vertebral tuberculosis. *2nd International Symposium on Biological Shape Analysis*. 2011.9.7-9. Okinawa, Japan.
- Kondo, Y., A. Kaneda, Y. Fujimoto, Y. Seino, H. Yamaguchi, and T. Uozu
2011 Cultural resource management in the disaster zone: a report on a voluntary initiative for the information-gathering of the earthquake-damaged cultural heritage in Japan. *The 39th annual conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology*. 2011.4.12-16. Beijing, China.
- Kondo, Y., S. Kadowaki, H. Kato, M. Naganuma, A. Ono, K. Sano, and Y. Nishiaki
2011 Network computing in archaeology: a case study from the "Replacement of Neanderthals by Modern Humans" lithic industry database project. *The 39th annual conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology*. 2011. 4.12-16. Beijing, China.
- Kondo, Y., G. Matsumoto, Y. Seino, T. Ako, W. Fukui, M. Sugiura, T. Uozu, and H. Yamaguchi
2011 A Union of dispersed knowledge and people: achievements of Archaeo-GIS Workshop 2007-2010. *The 39th annual conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology*. 2011.4.12-16. Beijing, China.
- Nagai, K.
2011 Similarities of Pressure Flaking Techniques during the Final Upper Paleolithic and Early Neolithic: Toward an Understanding of Cultural Relationships Between Jeju Island, South Korea and Southwestern Japan. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Nagai, K.
2011 Flintknapping for Public Archaeology. *The 3th International Workshop of Heritage Education and Site Preservation for Commemorating the 19th Chongokni Paleolithic Culture Festival*. 2011.5.6-7. Institute of East Asian Archaeology. Prehistoric sites in Jeongok-ri, Yeoncheon County, Gyeonggi-do, Korea.
- Nagai, K.
2011 Traits in Stone Flaking Technology at Kanedori, Iwate, Japan. *The 2nd International Symposium of Bifaces of the Lower and Middle Pleistocene of the World*. 2011.4.30-5.5. Yeoncheon county, Gyeonggi-do, Korea.

- Nishiaki, Y.
2011 Discussion for Session 1: Neolithic Period and Early Bronze Age. *International Symposium on Perspectives from the Periphery—Galilee in the Cultural Changes through Ages*. 2011.5.27-29. Rikkyo University, Tokyo, Japan.
- Nishiaki, Y. and S. Kadowaki
2011 Patterns of cultural change in the Middle and Upper Palaeolithic of the Levant. *Workshop on the evolutionary theory of learning*. 2011.11.28. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Nishiaki, Y., Y. Kanjou, S. Muhesen, and T. Akazawa
2011 The Lower and Middle Paleolithic Assemblages of the Dederiyeh Cave, Syria. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Oguchi, T. and Y. Kondo.
2011 GIS applications for an interdisciplinary project: Replacement of Neanderthals by Modern Humans. *UGI 2011*. 2011.11.14-18. Santiago, Chile.
- Portillo, M., S. Kadowaki, Y. Nishiaki and R. M. Albert
2011 Early Neolithic husbandry practices at Tell Seker al-Aheimar (Upper Khabur, Syria): an ethnoarchaeological study of phytoliths and dung spherulites. *The 8th International Meeting on Phytolith Research*. 2011.9.14-18. Colorado, USA.
- Sano, K.
2011 Functional Variability in Magdalenian of North-Western Europe, *XVIII. INQUA (International Union for Quaternary Research) Congress*. 2011.7.22-27. Bern, Switzerland.
- Sano, K., Y. Denda, and M. Ohba
2011 Experiments in fracture patterns and impact velocity with replica projectile points from Japan, *Multidisciplinary Scientific Approaches to the Study of Stone-Age Weaponry*. 2011.9.19-22. Mainz, Germany.
- Sano, K., Y. Denda, M. Ohba, and I. Radu
2011 Projectile Experiments in Fracture Patterns and Impact Velocity: Towards Understanding to Hunting Evolution, *The 4th Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.26-12.01. National Museum of Nature and Science. Tokyo, Japan.
- Sano, K., Y. Denda, M. Ohba and R. Iovita
2011 Projectile experiments in fracture patterns and impact velocity: towards understanding to hunting evolution. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.12.26. National Museum of Nature and Science. Tokyo, Japan.
- Sato, T., F. Khenzkhenova, A. Simakova, N. Martynovich, H. Kato, K. Suzuki, K. Yoshida, E. Lipnona, and G. Medvedev
2011 Interdisciplinary Research of the Bol'ŝoj Narin Site, East Siberia. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.26-12.1. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- 阿児雄之、近藤康久
2011 「芽生え始めたアカデミック・ソーシャルメディア：Archaeo-GIS Workshop がおくる USTREAM "友引 Night!!"」『日本地球惑星科学連合 2011 年大会』2011.5.24. 千葉：幕張メッセ.
- 大沼克彦
2011 「ネアンデルタール人石器の製作実演」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 小口 高、近藤康久
2011 「インターネット GIS を用いた人類進化と気候変動に関する情報の発信」『日本地球惑星科学連合 2011 年大会』2011.5.26. 千葉：幕張メッセ.
- 小口 高、近藤康久
2011 「インターネット GIS を用いた考古・古環境情報の発信」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- 小口 高、近藤康久、早川裕弐

- 2011「地球惑星科学の社会への普及に対するツイッターの貢献事例」『日本地球惑星科学連合2011年大会』2011.5.24. 千葉：幕張メッセ.
- 加藤博文
2011「人類の起源と進化」中小企業同友会経営者大学. 2011.10.19. 札幌：一般社団法人北海道中小企業家同友会.
 - 加藤博文
2011「環境変動と北方狩猟民文化の形成」『第26回北方民族文化シンポジウム 環境変化と先住民の生業文化：陸域生態系における適応』2011.10.02. 札幌：北海道道立北方民族博物館.
 - 加藤博文、長沼正樹
2011「高緯度寒冷地への植民行動—その進化的・学習的意義」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第77回総会研究発表セッション5. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
 - 加藤博文、長沼正樹
2011「北ユーラシアにおける石器製作伝統から見た交代劇の様相：現状と課題」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 加藤博文、長沼正樹
2011「北ユーラシアにおける中期・後期旧石器時代の時空間分布とその傾向」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 門脇誠二
2011「考古標本から暮らしの変化を探る」『Hands On 2：進化にふれるハンズオン・ギャラリー（第2回）』2011.12.17. 名古屋：名古屋大学博物館.
 - 門脇誠二
2011「アフリカにおける初期ホモ・サピエンスの石器製作伝統：その時空分布の研究動向」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 門脇誠二
2011「ユーフラテス川中流域の先史遺跡：第五次踏査報告」『日本オリエント学会第53回大会』2011.11.20. 岡山：ノートルダム清心女子大学.
 - 門脇誠二
2011「北レヴァント地方における終末期旧石器時代中葉の石器製作伝統」2011.11.20. 日本オリエント学会第53回大会. 岡山：ノートルダム清心女子大学.
 - 門脇誠二
2011「考古標本から暮らしの変化を探る」『Hands On 2：進化にふれるハンズオン・ギャラリー（第1回）』2011.7.18. 東京：東京大学総合研究博物館.
 - 門脇誠二、F. Guliyev、久米正吾、下釜和也、赤司知恵、西秋良宏
2011「南コーカサス地方の新石器時代：ギョイテペ遺跡の第3次発掘調査（2010年）」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会』2011.6.4-5. 大宰府：筑紫女学園大学.
 - 門脇誠二
2011「交替劇の舞台としてのザクロス地方とアラビア半島：石器製作伝統の視点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 門脇誠二、近藤康久
2011「石器製作伝統の消長パターンからさぐる旧石器人の学習行動」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第77回総会研究発表セッション5. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
 - 門脇誠二、近藤康久
2011「レヴァント地方における中期・後期旧石器インダストリーの消長パターン」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 近藤 修、Y. Kanjou、石田 肇、石井理子、小口 高、西秋良宏、仲田大人、赤澤 威

- 2011「デデリエ洞窟出土の新幼児人骨資料」第 65 回日本人類学会大会. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 近藤康久
2011「人文フィールド GIS の現在・未来：考古学の視点から」『地理情報システム学会第 20 回研究発表大会』2011.10.15-16. 鹿児島：鹿児島大学.
 - ・ 近藤康久
2011「オマーン・バート遺跡群カスル・アル・スレメ地点の岩面陰刻について」『日本西アジア考古学会第 16 回大会』2011.6.5. 大宰府：筑紫女学園大学.
 - ・ 近藤康久
2011「考古学における生態文化ニッチモデリング」『日本地球惑星科学連合 2011 年大会』2011. 5. 26. 千葉：幕張メッセ.
 - ・ 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2011「『旧人・新人交替劇』関連遺跡・石器製作伝統データベースの構築」『日本西アジア考古学会第 16 回大会』2011.6.4-5. 大宰府：筑紫女学園大学.
 - ・ 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2011「ネアンデルタールとサピエンス「交替劇」関連遺跡・石器製作伝統データベース」『日本西アジア考古学会第 16 回大会』2011.6.4-5. 大宰府：筑紫女学園大学.
 - ・ 近藤康久、小口 高
2011「生態学的予測モデルの考古学への応用に関する研究」『CSIS DAYS 2011』2011.11.10-11. 柏：柏・東京大学空間情報科学研究センター.
 - ・ 近藤康久、小口 高
2011「予測モデリングと WebGIS による考古・年代・古環境データの統合と解析」第 65 回日本人類学会大会. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 近藤康久、藤本 悠、清野陽一、山口欧志
2011「CEDACH GIS：ボランティアによる被災文化遺産の復興支援に向けた空間情報コンテンツ整備の取り組み」『地理情報システム学会第 20 回研究発表大会』2011.10.15-16. 鹿児島：鹿児島大学.
 - ・ 近藤康久、藤本 悠、清野陽一、山口欧志
2011「被災文化遺産の復興支援に向けた空間情報整備の取り組み」『考古学研究会第 57 回研究集会』2011.8.27-28. 岡山：岡山大学.
 - ・ 佐野勝宏
2011「考古学的証拠にみる旧人・新人の創造性」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 4 回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - ・ 佐野勝宏
2011「ヨーロッパにおける中期-後期旧石器時代移行期の新局面」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 佐野勝宏、小野 昭
2011「ヨーロッパにおける旧人石器群と新人石器群の消長と拡散」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第 77 回総会研究発表セッション 5. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
 - ・ 佐野勝宏、鹿又喜隆、阿子島香、傳田恵隆、柳田俊雄
2011「山形県舟形町高倉山遺跡第 2 次発掘調査」『第 25 回東北日本の旧石器文化を語る会』2011.12.17-18. 青森：アピオ青森.
 - ・ 椎野若菜、石森大知、大西健夫、梶丸 岳、小西公大、駒澤大佐、近藤康久、佐藤靖明、澤柿教伸、庄山紀久子、福井幸太郎、的場澄人、古澤拓郎
2011「フィールドワーカーの知と知をつなぐ Fieldnet の取り組みと地理情報システム」『地理情報システム学会第 20 回研究発表大会』2011.10.15-16. 鹿児島：鹿児島大学.
 - ・ 下釜和也
2011「南コーカサス地域における中期・後期旧石器時代と旧人・新人の交替」『日本オリエント学会第 53 回大会』2011.11.20. 岡山：ノートルダム清心女子大学.

- ・ 高倉 純
2011「北海道の白滝遺跡群における旧石器接合資料の再検討：技量の習得過程復元の観点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 高倉 純
2011「白滝遺跡群との比較：石狩低地帯」北海道旧石器文化研究会第29回研究会. 2011.11.19. 札幌：北海道大学.
- ・ 高倉 純
2011「北海道・東北地方北部の5-6世紀における地域間関係」考古学研究会第57回研究集会. 2011.8.27-28. 岡山：岡山大学.
- ・ 高倉 純
2011「白滝遺跡群における石器接合資料分析の方向性」『北海道旧石器文化研究会第28回研究会』2011.6.11. 札幌：北海道大学.
- ・ 高倉 純
2011「学習行動の復元と石器接合資料の分析：北海道の後期旧石器時代石器群の事例から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 高倉 純
2011「北東アジアの押圧細石刃剥離方法に関する先史人類学的意義」2011.11.6. 第65回日本人類学会大会. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 長井謙治
2011「新人の文化伝達に関する考古学的考察—民族考古学の可能性」『物質文化と精神文化（2011年度科研費合同研究会）』2011.11.18. 神戸：神戸学院大学有瀬キャンパス.
- ・ 長井謙治
2011「石鏃製作実験から見た学習」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第77回総会研究発表セッション5. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
- ・ 長井謙治
2011「石器製作実演」『第19回漣川全谷里旧石器祭り』2011.5.4-5.8. 韓国.
- ・ 長井謙治
2011「鈴木報告へのコメント」『ナイフ形石器・ナイフ形石器文化とは何か—概念と実態を問い直す』石器文化研究会・設立25周年記念シンポジウム実行委員会. 2011.1.22. 東京：明治大学
- ・ 長沼正樹
2011「いわゆるナイフ形石器文化「後半」を考える—技術構造と両面石器リダクションに着目して—」『ナイフ形石器・ナイフ形石器文化とは何か—概念と実態を問い直す』石器文化研究会シンポジウム. 2011.1.22. 東京：明治大学. (紙上報告)
- ・ 西秋良宏
2011「歴史を学ぶ意味—中東考古学の現場から」『東大授業 in 彦根』2011.12.17. 彦根：彦根市市民会館.
- ・ 西秋良宏
2011「ヒトと弓矢の生活史」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 西秋良宏
2011「旧人・新人の創造性について考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 西秋良宏
2011「中東ネアンデルタール人の居住空間」『日本オリエント学会第53回大会』2011.11.19-20. 岡山：ノートルダム清心女子大学.
- ・ 西秋良宏

- 2011 「ルヴァロワ技術と旧人の学習行動」 第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 6. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 西秋良宏
2011 「遺跡分布調査から見たユーフラテス河中流域青銅器時代の社会」『日本西アジア考古学会 第 16 回総会・大会』2011.6.4-5. 大宰府：筑紫女学園大学.
 - 西秋良宏
2011 「趣旨説明—旧人・新人交替劇と学習」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第 77 回総会研究発表セッション 5. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
 - 西秋良宏
2011 「ネアンデルタール人遺跡にみる空間構造」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 西秋良宏
2011 「日本の西アジア考古学の歴史と文化財」『アジア文化遺産国際会議：西アジアの文化遺産-その保護と現状』2011.3.4-6. 東京：東京国立文化財研究所. (基調講演)
 - 西秋良宏、長井謙治
2011 「複製実験からみたルヴァロワ剥片制作の習熟」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 橋詰 潤、内田和典、I. Shevkomud、長沼正樹、M. Gorshkov、S. Kositsena、E. Bochkaryova、小野 昭
2011 「ロシア極東アムール川下流域における初期新石器時代の研究—オシノヴァヤレーチカ 12 遺跡の調査から」日本考古学協会第 77 回総会研究発表. 2011.5.29. 東京：國學院大學.
 - 日暮泰男
2011 「投擲運動の学習プロセスの解明：予備的分析の報告」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 4 回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 日暮泰男
2011 「投擲運動の学習プロセスの解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 松本直子
2011 「認知考古学からみた旧人・新人の創造性」シンポジウム 3 「旧人・新人の創造性を考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 4 回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 三浦直樹、長井謙治、星野孝総
2011 「三次元動作計測を用いた熟練者の石器制作工程の身体動作解析」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 村田弘之、柳田俊雄、阿子島香、鹿又喜隆、佐野勝宏
2011 「山形県真室川町第 3 次発掘調査」『第 24 回東北日本の旧石器文化を語る会』2010.12.18-19. 秋田：秋田市中央公民館.
- 2010**
- Gourichon, L., Y. Nishiaki, and S. Kume
2010 Curious animal teathed gypsum-made objects found at Tell Seker al Aheimar (Pottery Neolithic, North-eastern Syria). *The 11th International Conference of Archaeozoology, Museum National d'Histoire Naturelle*. 2010.8.23-28. Paris, France.
 - Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2010 Consumption and discard of obsidian chipped-stones at Neolithic settlements of Seker al-Aheimar, northeastern Syria. *7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*. 2010.4.12-16. University College London and The British Museum, London, UK.

- Nagai, K.
2010 Pressure flaking technology. *The 2nd International Workshop of Heritage Education and Site Preservation for Commemorating the 18th Chongokni Paleolithic Culture Festival*. 2010.10. Institute of Esat Asian Archaeology, Prehistoric sites in Jeongok-ri, Yeoncheon County, Gyeonggi-do, Korea.
- Nagai, K.
2010 Obtuse-angled flaking in the Early and Middle Palaeolithic in Japan, *The 3rd Asian Paleolithic Association International Symposium*. 2010.10. Gongju, Korea.
- Nishiaki, Y.
2010 The 7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East. 2010. 4. 12-16. London University, UK.
- 赤澤 威、西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、丹野研一、L. Gourichon、Y. Kanjou、S. Muhesen
2010 「旧人ネアンデルタールと新人クロマニヨンの交替劇を探る—シリア・デデリエ洞窟の 2009 年度調査」『第 17 回西アジア発掘調査報告会』2010.3.27. 東京：池袋サンシャインシティ.
- 小口 高、近藤康久、早川裕弼
2010 「東京地形ブームの功罪」日本地形学連合 2010 年秋季大会. 2010.11. 東京：立正大学.
- 小野 昭
2010 「OIS3 研究委員会の 3 年間」『シンポジウム日本列島における酸素同位体ステージ 3 の古環境と現代人的行動の起源』6-7 頁. 主催：八ヶ岳旧石器研究グループ・浅間縄文ミュージアム・日本第四紀学会研究委員会「東アジアにおける酸素同位体ステージ 3 の環境変動と考古学」2010 年 6 月 5-6 日 長野県御代田町 浅間縄文ミュージアム
- 加藤博文
2010 「北ユーラシアにおける石刃石器群の出現」『国際シンポジウム：後期旧石器時代のシベリアと日本：最終氷期における人類の適応行動』2010.11.27-28. 東京：慶應義塾大学.
- 加藤博文
2010 「高緯度寒冷地域への植民行動：その進化的・学習的意義」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 門脇誠二
2010 「南レヴァント地方、後期新石器時代の石器インダストリーと石刃製作：アル＝バサティン遺跡の接合資料から」『日本オリエント学会第 52 回大会』2010.11.7. 東京：国士舘大学
- 門脇誠二、近藤康久
2010 「旧人・新人に関わる石器製作伝統のデータベース化：その目的と方法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター
- 近藤康久
2010 「オマーン青銅器時代の墳墓群の空間構造に関する—考察」日本西アジア考古学会第 15 回大会. 2010.6. 東京：国士舘大学
- 近藤康久
2010 「オマーン・パート青銅器時代遺跡群における地上写真測量調査」近江貝塚研究会第 201 回例会. 2010.7. 大津：滋賀県埋蔵文化財センター.
- 近藤康久
2010 「GIS と高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代遺跡群の空間構造の研究」『CSIS DAYS 2010』2010.11. 柏：東京大学柏キャンパス.
- 近藤康久
2010 「2010 年代の考古データベースはどう展開するか？」『第 16 回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」』人文系データベース協議会. 2010.11.27. 京都：花園大学.
- 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2010 「考古学におけるネットワーク・コンピューティング：「旧人・新人交替劇」遺跡データベースの取り組み」『日本情報処理学会・人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん 2010」』2010.12.11-12. 東京：東京工業大学.
- 佐野勝宏、鹿又喜隆、村田弘之、阿子島香、柳田俊雄

2010 「山形県舟形町高倉山遺跡第 1 次発掘調査」『第 24 回東北日本の旧石器文化を語る会』
2010.12.18-19. 秋田：秋田中央公民館。

- ・ 長井謙治
2010 「石器製作実演」『第 18 回漣川全谷里旧石器祭り』2010.10.29-11.2. 韓国。
- ・ 長沼正樹
2010 「いわゆるナイフ形石器文化「後半」を考える」石器文化研究会第 246 回例会。2010.7.24. 東京：明治大学。
- ・ 西秋良宏
2010 「旧石器人の学習行動に関わる考古学的証拠」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会。2010.10.23-24. 東京：学術総合センター。
- ・ 西秋良宏
2010 「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』第 64 回日本人類学会大会シンポジウム。2010.10.2. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター。
- ・ 西秋良宏、門脇誠二、下釜和也
2010 「ユーフラテス河中流域の先史時代—第四次踏査報告」『日本オリエント学会第 52 回大会』2010.11.6-7. 東京：国士舘大学。
- ・ 西秋良宏、仲田大人、Y. Kanjou、S. Muhesen、赤澤 威
2010 「西アジア前期旧石器時代の剥片石器群—シリア、デデリエ洞窟のヤブルディアン資料にふれて」『日本旧石器学会第 8 回講演・研究発表・シンポジウム』2010.6.26-27. 東京：明治大学考古学博物館。
- ・ 村田弘之、柳田俊雄、阿子島香、鹿又喜隆、佐野勝宏
2010 「山形県真室川町第 3 次発掘調査」『第 24 回東北日本の旧石器文化を語る会』2010.12.18-19. 秋田：秋田中央公民館。
- ・ 山崎真治、藤田祐樹、大城逸朗、西秋良宏
2010 「沖縄県南城市武芸洞遺跡における 2009-2010 年度の発掘調査」『日本人類学会第 63 回大会』2010.10.1-3. 伊達：伊達市噴火湾研究所。

【図書】

2016

- ・ Akazawa, T. and Y. Nishiaki
2016 Dederiyeh Cave (Afrin). In: *A History of Syria in One Hundred Sites*, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki, pp. 17–20. Oxford: Archaeopress.
- ・ Iovita, R. and K. Sano (eds.)
2016 *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*. Springer, Dordrech, Germany.
- ・ Iovita, R. and K. Sano
2016 Preface. In R. Iovita and K. Sano (eds.) *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*, pp. ix-xi. Springer, Dordrech, Germany.
- ・ Iovita, R. and K. Sano
2016 Summary and conclusions. In R. Iovita and K. Sano (eds.) *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*, pp. 289-297. Springer, Dordrech, Germany.
- ・ Kadowaki, S., F. Guliyev, and Y. Nishiaki
2016 Chipped stone technology of the earliest agricultural village in the southern Caucasus: Hacı Elamhanlı Tepe (the beginning of the 6th millennium BC). In O. Kaelin and H-P Mathys (eds.) *Proceedings of the 9th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East vol.3: Reports*. Harrassowitz Verlag, Germany.
- ・ Nishiaki, Y.
2016 Techno-typological observations on the flaked stone industry of the early Neolithic settlement of Ganj Dareh, Iran. In: *The Neolithic of the Iranian Plateau. Recent Research*, edited by K. Roustai and M. Mashkour, pp. 189–208. SENEPSE 18. Berlin: ex oriente.
- ・ Nishiaki, Y.
2016 Tell Kosak Shamali (Tishreen). In: *A History of Syria in One Hundred Sites*, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki, pp. 76–79. Oxford: Archaeopress.
- ・ Nishiaki, Y.

- 2016) Tell Seker al-Aheimar (Hassake). In: *A History of Syria in One Hundred Sites*, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki, pp. 69–71. Oxford: Archaeopress.
- Sano, K., Y. Denda, and M. Oba
2016 Experiments in fracture patterns and impact velocity with replica hunting weapons from Japan. In R. Iovita and K. Sano (eds.) *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*, pp. 29-46. Springer, Dordrech, Germany.
 - 大沼克彦
2016 石器作りの手、『手の事典 V. 生活編』416-421. 東京：朝倉書店
 - 鹿又喜隆、佐野勝宏（編）
2016 『東北文化資料叢書第9集 最上川流域の後期旧石器文化の研究3 高倉山遺跡』仙台：東北大学大学院文学研究科東北文化研究室.
 - 佐野勝宏
2016 「北西ヨーロッパの考古文化と生業戦略の変化」佐藤宏之・山田哲・出穂雅実編『晩氷期の人類社会—北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態—』237-255. 東京：六一書房.
 - 下釜和也、F. Guliyev、門脇誠二、仲田大人、赤司千恵、新井才二、西秋良宏
2016 「南コーカサス地方の新石器時代—第8次発掘調査（2015年）」『第23回西アジア発掘調査報告会報告集』51-56.
 - 杉本智俊、岡田保良、香西 茂、後藤 健、西秋良宏
2016 「パネルディスカッション」『危機の中の文化遺産—ムニール・ブシュナキ氏を迎えて』36-45. 東京文化財研究所. 世界文化遺産コンソーシアム第19回研究会.
 - 長沼正樹
2016 「人類の北方進出と北海道の旧石器時代」種石悠編『北からの文化の波—北海道の旧石器からオホーツク文化まで』11-18. 網走：北海道立北方民族博物館
 - 長沼正樹
2016 「一回想—遺跡間接合の当時」神奈川県立歴史博物館編『石展—かながわの歴史を彩った石の文化』97. 横浜：神奈川県立歴史博物館
 - 西秋良宏
2016 「考古学のフィールドから見た文化財保護活動のあり方」『危機の中の文化遺産—ムニール・ブシュナキ氏を迎えて』27-35. 東京文化財研究所. 世界文化遺産コンソーシアム第19回研究会.
 - 西秋良宏、O. Aripdjanov、A. Rajabov、B. Sayfullayev、仲田大人、赤司千恵、新井才二
2016 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—第3次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2015年）」『古代オリエント世界を掘る-第23回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会編: 64-69.
 - 西秋良宏、諏訪 元、遠藤秀樹（編）
2016 『UMUT オープンラボ - Hall of Inspiration』東京大学出版会.
 - Chargynov, T., O. Soltobaev、大沼克彦
2016 「キルギス、クラマ遺跡の発掘調査（2014-2015）」『キルギスとその周辺地域における遊牧社会の形成』大沼克彦、久米正吾（編）（予定）
- 2015**
- Akashi, C., Y. Nishiaki, and F. Guliyev
2015 The plant remains from Göytepe, a Neolithic settlement in Western Azerbaijan. In M. Hossein Aziz Khranaghi, Morteza Shanipour, and Reza Naseri (eds.) *International Congress of Young Archaeologists*, p. 214. Tehran University, Tehran, Iran.
 - Akazawa, T. and Y. Nishiaki
2015 The Palaeolithic cultural sequence of Dederiyeh Cave. In Y. Enzel and O. Bar-Yosef (eds.) *Quaternary Environments, Climate Change, and Humans in the Levant*. Oxford University Press, Oxford, UK. (in press)
 - Akazawa, T., Y. Nishiaki, and Y. Kanjou
2015 Dederiyeh Cave, Afrin (Aleppo). In The ISCACH 2015 Organizing Committee (ed.) *Program and Abstracts Publication of ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*, p. 45. Archaeological Institute of Kashihara, Nara, Japan.
 - Arai, S., O. Aripdjanov, H. Nakata, T. Miki, T. Omori, R. Suleymanov, and Y. Nishiaki
2015 Zooarchaeological study at the Middle Palaeolithic cave of Anghilak, Southern Uzbekistan. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*.

- No. 10: 39. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Beyene, Y., B. Asfaw, K. Sano, and G. Suwa (eds.)
2015 *Konso-Gardula Research Project Volume 2. Archaeological Collection: Background and the Early Acheulean Assemblages*. The University Museum, The University of Tokyo, Bulletin No. 48. Tokyo.
 - Higurashi, Y.
2015 Effects of added mass to the tip of the spear on throwing distance. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 51. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S.
2015 Innovations and human history. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 22. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Kondo, Y., K. Sano, S. Kadowaki, M. Naganuma, and Y. Nishiaki
2015 Neander DB, a site and lithic industry database for the replacement of Neanderthals by modern humans: Project summary. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 41. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Nagai, K.
2015 Revolutionary changes in global perspective: The transition to Upper Paleolithic industries in the Korean Peninsula. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 45. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Naganuma, M. and H. Kato
2015 On the possibility regard to the grassland landscapes and Paleolithic human migration routes. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 49. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Nakata, H.
2015 Early lithic industries in the Japanese Palaeolithic: a view from the “Replacement of Neanderthals by Modern Humans”. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 47-48. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2015 Archeological approaches to issues regarding the replacement of Neanderthals by modern humans. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 16. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2015 The Pre-Pottery to Pottery Neolithic settlement of Tell Seker-Aheimar, Hassake, Syria: Excavations from 2000 to 2010. In The ISCACH 2015 Organizing Committee (ed.) *Program and Abstracts Publication of ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*, p. 81. Archaeological Institute of Kashihara, Nara, Japan.
 - Nishiaki, Y.
2015 The steppe exploitation during the Palaeolithic to Bronze Age in the Middle Euphrates Valley: 2007—2011 surveys. In The ISCACH 2015 Organizing Committee (ed.) *Program and Abstracts Publication of ISCACH (Beirut 2015): International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage*, p. 17. Archaeological Institute of Kashihara, Nara, Japan.
 - Nishiaki, Y.
2015 Development of the Neolithic industries in the Iranian Zagros. In M. Hossein Aziz Khranaghi, Morteza Shanipour, and Reza Naseri (eds.) *International Congress of Young Archaeologists*, p. 54. Tehran University, Tehran, Iran.
 - Takakura, J.
2015 Variability of the learning behaviors for the transmission of lithic production technology: A view from the lithic records of the Paleolithic sites. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 43. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - 新井才二、O. Aripdjanov、仲田大人、三木健裕、大森貴之、R. Suleymanov、西秋良宏
2015 「ウズベキスタン、アンギラク洞窟出土の動物骨にみる中期旧石器時代人の動物利用」赤澤威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 38.
 - 小野 昭

- 2015「組み合わせ狩猟具が出現するまで：シェーニンゲンの木製槍と狩猟対象動物」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 5: 31-34.
- ・ 加藤真二、國木田大、高倉 純、森川 実、芝康次郎、長沼正樹、尾田識好
2015「華北土器出現期に関する予察」佐藤宏之編『第 16 回北アジア調査研究報告会要旨集』31-34.
 - ・ 加藤博文
2015「シベリア・北アジア旧石器文化研究と交替劇—学史的観点からの整理と現状—」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 5: 23-30.
 - ・ 加藤博文
2015「狩猟対象から儀礼対象へ：シベリアに食と儀礼の起源をさぐる」、高倉浩樹・山口未花子編『食と儀礼をめぐる地球の旅』1-29、東北大学出版会
 - ・ 門脇誠二
2015「交替劇と学習仮説に関わるアフリカと西アジアの考古学研究：総括と展望」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 5: 12-22.
 - ・ 門脇誠二
2015「ホモ・サピエンスの地理分布拡大に伴う考古文化の変化パターン：北アフリカ・西アジア・ヨーロッパの事例」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』3-19. 東京：六一書房.
 - ・ 門脇誠二、F. Guliyev、下釜和也、仲田大人、赤司千恵、新井才二、三木健裕、西秋良宏
2015 南コーカサス地方の新石器時代：日本・アゼルバイジャン調査団第 7 次発掘調査（2014 年）西アジア考古学会編『古代オリエント世界を掘る—第 22 回西アジア発掘調査報告会』40-46.
 - ・ 門脇誠二
2015「イノベーションと人類史」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 21.
 - ・ 近藤康久
2015「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベース Neander DB 構築のまとめ」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 5: 72-79.
 - ・ 近藤康久、佐野勝宏、門脇誠二、長沼正樹、西秋良宏
2015「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベース Neander DB 構築のまとめ」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 40.
 - ・ 佐野勝宏
2015「複合的狩猟技術の出現-新人のイノベーション」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』127-139. 東京：六一書房.
 - ・ 佐野勝宏
2015「ヨーロッパにおける旧人・新人交替劇の真相理解に向けて」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 5: 35-46.
 - ・ 佐野勝宏（編）
2015『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』公開講演会. 東京大学.
 - ・ 佐野勝宏
2015「開催趣旨」佐野勝宏編『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』1. 公開講演会予稿集.
 - ・ 佐野勝宏
2015「ネアンデルタール人の絶滅プロセスとその背景」佐野勝宏編『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』2-3. 公開講演会予稿集.
 - ・ 佐野勝宏、大森貴之
2015「ヨーロッパにおける新人・旧人の交替劇プロセス」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』20-35. 東京：六一書房.
 - ・ 高倉 純
2015「新大陸への新人の拡散—新人の拡散過程に関する比較考古学的アプローチ」西秋良宏編

- 『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 65-89. 東京: 六一書房.
- ・ 高倉 純
2015 「石核集中の形成過程をめぐる考察—学習行動という視点から」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 100-109.
 - ・ 高倉 純
2015 「旧石器時代遺跡にみる石器製作技術伝達のための学習行動の変異」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 42.
 - ・ 長井健二
2015 「朝鮮半島における旧人・新人「交替劇」と実験考古学: これまでの歩み」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 47-54.
 - ・ 長井健二
2015 「朝鮮半島からみた後期旧石器化の画期」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 44.
 - ・ 仲田大人
2015 「東ユーラシアからみた日本列島の交替劇」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 80-89.
 - ・ 仲田大人
2015 「日本旧石器時代の文化進化」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 81-93. 東京: 六一書房.
 - ・ 仲田大人
2015 「交替劇からみた日本列島の初期旧石器群」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 46-47.
 - ・ 長沼正樹
2015 「交替劇とユーラシア大陸東部の考古遺跡情報」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 55-70.
 - ・ 長沼正樹
2015 「新人拡散期の石器伝統の変化—ユーラシア東部」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 49-62. 東京: 六一書房.
 - ・ 長沼正樹、加藤博文
2015 「草原景観と旧石器時代における人類移住ルートの可能性」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 49.
 - ・ 中村雄紀、石井龍太
2015 「カメルーン南東部、バカ・ピグミーにおける槍の製作と学習」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 100-120.
 - ・ 西秋良宏
2014 「はじめに」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 i-ii. 東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏
2015 「ヒトと文化の交替劇, その多様性—あとがきにかえて」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 176-189. 東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏
2015 「旧人・新人交替劇と両者の学習行動の違いに関わる考古学的研究—2014 年度の取り組み」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5: 1-11.
 - ・ 西秋良宏 (編)
2015 『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏 (編)
2015 『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 5』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 5. 東京: 東京大学総合博物館.

- 西秋良宏、O. Aripdjanov、R. Suleymanov、長沼正樹、仲田大人、三木健裕
2015「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—第2次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2014年)」日本西アジア考古学会編『古代オリエント世界を掘る—第22回西アジア発掘調査報告会』14-19.
- 西秋良宏
2015「考古学から見た交替劇」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 15.
- 日暮泰男
2015「投槍器の実験考古学およびバイオメカニクス的研究」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究5』「交替劇」A01班研究報告書 No. 5: 90-99.
- 日暮泰男
2015「槍先端部の質量が槍の飛距離におよぼす影響」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 50.
- 松本直子
2015「縄文から弥生への文化変化」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』110-123. 東京: 六一書房.
- 松本直子
2015「新人・旧人の認知能力をさぐる考古学」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』140-150. 東京: 六一書房

2014

- Akazawa, T. and Y. Nishiaki (eds.)
2014 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series No. 003*. Kochi: Kochi University of Technology.
- Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2014 Excavations at the Neolithic settlement of Göytepe, West Azerbaijan, 2010-2011. In P. Bieliński, M. Gawlikowski, R. Koliński, D. Ławecka, A. Sołtysiak, and Z. Wygnańska (eds.) *Proceedings of the 8th International Congress of the Archaeology of the Ancient Near East Volume. 2: Fieldwork and Recent Research*, pp. 3-16. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag, Germany.
- Henry, D., S. Kadowaki, and S. Bergin
2014 Stratigraphic identification and spatial examination of house floors at Ayn Abū Nukhayla. In D.O. Henry and J.E. Beaver (eds.) *The Sands of Time: The Desert Neolithic Settlement at Ayn Abū Nukayla*, pp. 287-313. Berlin: ex oriente, Germany.
- Higurashi, Y.
2014 Effects of added mass to the tip of the spear on throwing distance and release velocity: annual research plan 2014-15 and preliminary results. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 103. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Higurashi, Y.
2014 On the mechanics of the spear thrower. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 135-136. Kochi: Kochi University of Technology.
- Jöris, O.
2014 Lives to learn? The biology and culture of Neanderthal and early Modern Human learning behaviours. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 80. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kadowaki, S.
2014 Keys to the issues of the replacement of Neanderthals by modern humans: Geographic expansion of Homo sapiens, social/cultural changes, and their diversity. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 29. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2014 Cultural changes associated with the geographic expansion of Homo sapiens: a view from Africa, west Asia, and Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 32-33. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2014 Re-examination of the Emiran culture: its variability and implications for the dispersals of Homo sapiens. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 99. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.

- Kadowaki, S.
2014 West Asia: Paleolithic. In C. Smith (ed.) *Encyclopedia of Global Archaeology*, pp. 7769-7786. New York: Springer, USA.
- Kadowaki, S.
2014 Groundstones and grinding technology. In D.O. Henry and J.E. Beaver (eds.) *The Sands of Time: The Desert Neolithic Settlement at Ayn Abū Nukayla*, pp. 259-285. Berlin: ex oriente, Germany.
- Kadowaki, S.
2014 Diffusion or progressive integration? Re-considering the widespread distributions of early UP/LSA bladelet technologies from west Asia to south Europe and from east Africa to south Asia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 68-70. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kaifu, Y., M. Izuho, T. Goebel, H. Sato, and A. Ono (eds.)
2014 *Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia*. College Station: Texas A&M University Press, USA.
- Kato, H.
2014 On the technological diversity of Early Upper Paleolithic complexes in Central Siberia. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 45. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kato, H.
2014 The Hokkaido sequence and the archaeology of the Ainu people. In C. Smith (ed.) *The Encyclopedia of Global Archaeology*, pp. 3428-3435 New York: Springer, USA. DOI 10.1007/978-1-4419-0465-2.
- Kobayashi, Y., S. Kadowaki, and M. Naganuma
2014 A population-genetics based model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 154-155. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kondo, Y.
2014 Ecological models for the niche construction of the Neanderthals and anatomically modern humans in Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 26. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kondo, Y.
2014 RNMH-iii: The Replacement of Neanderthals by Modern Humans initiative to integrate information (Part 2). In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 97. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kondo, Y.
2014 Cost surface analysis based on ecological niche probability to estimate relative rapidity of the dispersals of early Modern Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 61-63. Kochi: Kochi University of Technology.
- Nagai, K.
2014 East Asian lithic technology and its similarities before the early OIS3: Obtuse angled flaking techniques as a technological marker. In A.P. Derevianko and N.I. Drozdov (eds.) *Topical Issues of the Asian Paleolithi*, pp. 136-141. Novosibirsk: Institute of Archaeology and Ethnography Press, Russia.
- Naganuma, M.
2014 Changes in the Paleolithic industries during the geographic expansion of Homo sapiens in eastern Eurasia. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 35. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Nakata, H.
2014 Changes in social behavior in the geographic expansion of modern humans: a view from the Palaeolithic in the Japanese archipelago. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 37. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Nakata, H.
2014 The emergence of the Upper Palaeolithic in the Japanese archipelago. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 133-134. Kochi: Kochi University of Technology.
- Nishiaki, Y. (ed.)
2014 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.

- Nishiaki, Y.
2014 Cultural processes in the Neanderthals-AMH replacement period. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 43. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Nishiaki, Y.
2014 Steppe exploitation by Bronze Age communities in the Middle Euphrates Valley, Syria. In D. Morandi Bonacossi (ed.) *Settlement Dynamics and Human-Landscape Interaction in the Steppes and Deserts of Syria*, pp. 111-124. Studia Chaburensia 4. Wiesbaden: Otto Harrassowitz, Germany.
- Nishiaki, Y.
2014 The Chalcolithic flaked stone artifacts from Tell Beydar III, the Upper Khabur, Syria. In L. Milano and M. Lebeau (eds.) *Tell Beydar—Environmental and Technical Studies Volume. II*, pp. 229-243. Subartu 33. Turnhout: Brepols, Belgium.
- Nishiaki, Y.
2014 The RNMH project: A summary. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 124. Kochi: Kochi University of Technology.
- Nishiaki, Y., Y. Kanjou, and T. Akazawa
2014 The Neanderthal occupations at Dederiyeh Cave, Syria. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 131-132. Kochi: Kochi University of Technology.
- Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, R. Suleymanov, H. Nakata, S. Arai, T. Miki, T. Omori, and J. Ismailova
2014 New insight into the end of the Middle Palaeolithic in Central Asia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 73-74. Kochi: Kochi University of Technology.
- Ono, A., M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin, and Y. Suda (eds.)
2014 *Methodological Issues for Characterisation and Provenance Studies of Obsidian in Northeast Asia*. BAR International Series 2620, Oxford: Archaeopress, UK.
- Ono, A., M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin, and Y. Suda
2014 Introduction: Characterisation and provenance studies of obsidian in northeast Asia: The view from the early 2010s. In A. Ono, M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin and Y. Suda (eds.) *Methodological Issues for Characterisation and Provenance Studies of Obsidian in Northeast Asia*, pp. 1-10. BAR International Series 2620, Oxford: Archaeopress, UK.
- Omori, T. and K. Sano
2014 Spatiotemporal pattern of the Middle to Upper Paleolithic transitional lithic industries in Europe: A new approach for reliability assessment of radiocarbon data, In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 66. Kochi: Kochi University of Technology.
- Sano, K.
2014 Dispersals of Homo sapiens into the Neanderthal world: archaeological cultures, radiometric dates, paleoclimate, paleovegetation, and ecology. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 19. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Sano, K.
2014 Replacement process of Neanderthals by modern humans in Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 21. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Sano, K. and T. Omori
2014 Replacement process of Neanderthals by Modern Humans in Europe. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 67. Kochi: Kochi University of Technology.
- Sano, K. and M. Oba
2014 Projectile experimentation for identifying hunting methods with replicas of Upper Palaeolithic weaponry from Japan. In J. Marreiros, N. Binch and J. Giabja (eds.) *International Conference on Use-Wear Analysis: Use-Wear 2012*, pp. 474-486. Cambridge Scholars Publishing, UK.
- Takakura, J.
2014 The peopling of the New World by modern humans: Implications for understanding cultural changes and human colonization. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 38. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Takakura, J.
2014 Learning Strategies of the Upper Paleolithic Knappers: A Case Study from the Upper Paleolithic Sites

- in Hokkaido, Northern Japan. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 101. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Takakura, J.
2014 Toward an understanding of learning strategy in the Upper Paleolithic: A case study in Hokkaido, Northern Japan. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 85-87. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Yamada, M. and A. Ono (eds.)
2014 *Lithic Raw Material Exploitation and Circulation in Prehistory: A Comparative Perspectives in Diverse Palaeoenvironments*. ERAUL 138. Université de Liège, Belgium.
 - 石井龍太、中村雄紀、林 耕次
2014 「現生狩猟採集民における居住空間構造に関する民族誌調査—カメルーン南東部地域の事例から」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 78-84.
 - 石井龍太
2014 「民族考古学からみた狩猟具の製作と学習—カメルーン南東部の槍調査結果から」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』75-89. 東京: 六一書房.
 - 大森貴之
2014 「ヨーロッパにおける新人拡散期の高精度年代」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 22.
 - 小野 昭
2014 「考古学による人間・人類の定義」『考古学研究会 60 周年記念誌—考古学研究 60 の論点』3-4.
 - 小野 昭
2014 「石材獲得と地域差」『中・四国旧石器文化談話会 30 周年記念シンポジウム—石器石材と旧石器社会記録集』39-40.
 - O. Jöris
2014 「ネアンデルタール人の利き腕と学習行動—ドイツ、ブーレン遺跡出土中期旧石器時代削器の分析より」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』28-43. 東京: 六一書房.
 - 加藤博文
2014 「東シベリアの後期旧石器初頭の様相: 交替劇の視点から見たその特徴と系統性」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 20-31.
 - 加藤博文
2014 「考古資料から民族はどう描けるか」『考古学研究会 60 周年記念誌—考古学研究 60 の論点』93-94.
 - 加藤博文
2014 「シベリアにおける後期旧石器初頭の石器群の多様性の検討」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 44.
 - 門脇誠二
2014 『ホモ・サピエンスの起源とアフリカの石器時代—ムトングウェ遺跡の再評価』名古屋: 名古屋大学博物館.
 - 門脇誠二
2014 「ホモ・サピエンス拡散期の東アフリカにおける石器文化」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 8-19.
 - 門脇誠二 (編) 2014 『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』A01 班公開シンポジウム要旨集. 名古屋: 名古屋大学.
 - 門脇誠二
2014 「新人拡散期の西アジアとアフリカの石器文化」門脇誠二編『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』1.
 - 門脇誠二
2014 「初期ホモ・サピエンスの学習行動—アフリカと西アジアの考古記録に基づく考察」西秋良

- 宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』3-18. 東京: 六一書房.
- ・ 門脇誠二
2014「エミラン文化の再検討: 多様性とその「旧人・新人交替劇」への示唆」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 98.
 - ・ 門脇誠二
2014「「交替劇」問題を解く鍵—新人拡散、社会・文化変化、多様性」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 28.
 - ・ 門脇誠二
2014「新人拡散期の石器伝統の変化: アフリカ、西アジア、ヨーロッパ」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 30.
 - ・ 近藤康久
2014「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベース Neander DB の今後」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 61-64..
 - ・ 近藤康久
2014「ヨーロッパにおける旧人と新人の生態ニッチモデル」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 25.
 - ・ 近藤康久
2014「RNMH-iii: 交替劇プロジェクトにおける研究情報統合事業 (第 2 報)」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 96.
 - ・ 近藤康久、佐野勝宏、阿部彩子、大森貴之、大石龍太、門脇誠二、W. Chen、長沼正樹、小口高、米田 穰、西秋良宏
2014「生態ニッチ確率の逆数を負荷係数とする移動コスト分析によって大陸スケールでの人類拡散速度を推定する」『第 68 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』44.
 - ・ 佐野勝宏
2014「国際ワークショップ Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors に参加して」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 85-90..
 - ・ 佐野勝宏
2014「東北地方における後期旧石器時代狩猟具の投射方法に関する実験研究」『日本旧石器学会第 12 回講演・研究発表シンポジウム予稿集 石材の獲得・消費と遺跡群の形成』26-29.
 - ・ 佐野勝宏
2014「ヨーロッパ旧人遺跡に見る学習の証拠」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学から見た学習』19-27. 東京: 六一書房.
 - ・ 佐野勝宏
2014「ネアンデルタール人世界への新人進出—考古文化、年代、気候、植生、生態」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 18.
 - ・ 佐野勝宏
2014「ヨーロッパにおける交替劇プロセス」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 20.
 - ・ 高倉 純
2014「石器接合資料から割り手の交替を読み取る—北海道紋別郡遠軽町旧白滝 5 遺跡の出土資料を事例に」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 71-77..
 - ・ 高倉 純
2014「石器製作技術にみる学習戦略の進化—動作連鎖と階層性の視点から」寺嶋秀明編『狩猟採

- 集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A02 班研究報告書 No. 4: 46-56.
- 高倉 純
2014「北海道の石刃鍬石器群再考」大貫静夫、福田正宏編『環日本海北回廊における完新世初頭の様相解明』91-106.
 - 高倉 純
2014「新大陸への新人拡散：「交替劇」への示唆」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 38.
 - 高倉 純
2014「後期旧石器時代における石器製作者の学習戦略：北海道の遺跡を事例として」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 100.
 - 長井謙治
2014「朝鮮半島における後期旧石器化と「交替劇」」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 4: 41-47.
 - 仲田大人
2014「ナイフ形石器からみた文化進化—本州中央部の例」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 4: 48-60.
 - 仲田大人
2014「日本列島における後期旧石器時代」門脇誠二編『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』3. A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - 仲田大人
2014「日本列島にいつヒトは住みはじめたか」『考古学研究会 60 周年記念誌—考古学研究 60 の論点』9-10.
 - 仲田大人
2014「新人拡散期の石器伝統の変化：日本列島」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 36.
 - 長沼正樹
2014「ウズベキスタンの旧石器時代研究」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 4: 32-40.
 - 長沼正樹
2014「新人拡散期の石器伝統の変化：ユーラシア東部」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 34.
 - 西秋良宏
2014「旧人・新人交替劇と両者の学習行動の違いに関わる考古学的研究—2013 年度の取り組み」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 4: 1-7.
 - 西秋良宏（編）
2014『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 4. 東京：東京大学総合博物館.
 - 西秋良宏（編）
2014『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』東京：六一書房.
 - 西秋良宏
2014「はじめに」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』i-ii. 東京：六一書房.
 - 西秋良宏
2014「弓矢学習の民族考古学—パプア・ニューギニアにおける事例分析」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』59-74. 東京：六一書房.
 - 西秋良宏
2014「ネアンデルタール人の成長と学習—子供期仮説をめぐって」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』163-174. 東京：六一書房.
 - 西秋良宏

- 2014 「旧人・新人の学習行動をめぐる諸問題—あとがきにかえて」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと 旧人 2—考古学からみた学習』175-185. 東京: 六一書房.
- 西秋良宏
2014 「シリアの歴史と日本人による考古学遺跡調査」 東京文化財研究所編『シリア復興と文化遺産』25-29. 東京: 東京文化財研究所.
 - 西秋良宏
2014 「旧人、新人の学習能力を比較する上での考古学的論点」『日本文化人類学会第 48 回研究大会発表要旨集』120.
 - 西秋良宏
2014 「考古学的資料からネアンデルタール人と新人サピエンスの交替劇を考える」 赤澤 威、萩原直道編『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』6. 公開講演会予稿集.
 - 西秋良宏、O. Aripdjanov、R. Suleymanov、長沼正樹、仲田大人、三木健裕
2014 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇—ウズベキスタン旧石器遺跡調査 (2013 年)」 日本西アジア考古学会編『古代オリエント世界を掘る—第 20 回西アジア発掘調査報告会』16-21.
 - 西秋良宏、F. Guliyev、門脇誠二、下釜和也、仲田大人、赤司千恵、新井才二、三木健裕、大西敬子
2014 「南コーカサス地方の新石器時代: 日本・アゼルバイジャン調査団第 6 次発掘調査 (2013 年)」 日本西アジア考古学会編『古代オリエント世界を掘る—第 20 回西アジア発掘調査報告会』40-46.
 - 西秋良宏
2014 「旧人と新人の文化的交替とインタラクション」 西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 42.
 - 日暮泰男
2014 「投槍器を用いた槍投げとヒトの形態的特徴」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 4: 65-70.
 - 日暮泰男
2014 「ネアンデルタール人の運動能力は推定できるか？」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』135-149. 東京: 六一書房.
 - 日暮泰男
2014 「槍先端部の質量による投擲された槍の運動の変化: 2014 年度の研究計画と予備的結果」 西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 102.
 - 松本直子
2014 「縄文から弥生への文化変化」 門脇誠二編『石器文化からさぐる新人・旧人交替劇の真相』5. A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - 松本直子
2014 「「芸術」はどのような状況で生まれるのか—考古学的検討」 寺嶋秀明編『狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 13-16.
 - 松本直子
2014 「認知考古学からみた新人・旧人の学習」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』123-134. 東京: 六一書房.
- 2013**
- Akazawa, T., Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.)
2013 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*. 277 pp. New York: Springer, USA.
 - Azizi Kharanaghi, M.H., H. Fazeli Nashli, and Y. Nishiaki
2013 Tepe Rahmatabad: A Pre-Pottery and Pottery Neolithic site in Fars Province. In R. Matthews and H. Fazeli Nashli (eds.) *Neolithisation of Iran—The Formation of New Societies*, pp. 108-123. Oxford: Oxbow Books, UK.
 - Higurashi, Y.
2013 The release angle and kinetic energy transfer in spear throwing with a spear thrower. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 57. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.

- Higurashi, Y.
2013 Reconstruction of hunting behavior with projectile weapons in Neanderthals and early modern humans based on differences in skeletal morphology: annual research plan 2013-14. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 42. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Higurashi, Y.
2013 Upper-limb kinematics in spear throwing with a spear thrower. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 85. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Jöris, O.
2013 The Lower to Middle Paleolithic transition: from imitation to the origins of tradition. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, pp. 16-17. Tokyo: International Workshop, RNMH Project.
- Jöris, O.
2013 The origins of settlement and society: the Upper Paleolithic roots of modern human spatial behavior. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, p. 28. Tokyo: International Workshop, RNMH Project.
- Kadowaki, S.
2013 A new perspective towards the “replacement of Neanderthals by modern humans” from the cultural variability of early anatomically modern humans in Africa. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 32. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2013 Towards a global and more accurate understanding of the RNMH: Integration of African, west Asian, and European archaeological database. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 70-71. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2013 Dispersals of early Homo sapiens into Europe: A view from the Levantine Upper Palaeolithic. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 26. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2013 Approaching learning behaviors in the replacement of Neanderthals by modern humans: a view from African and Levantine archaeological records. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, pp. 6-9. Tokyo: International Workshop, RNMH Project.
- Kadowaki, S.
2013 Re-examination of archaeological records during the terminal Middle Palaeolithic and the early Upper Palaeolithic in west Asia: A view of lithic technological variability. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 53. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Kadowaki, S.
2013 Issues of Chronological and Geographical Distributions of Middle and Upper Palaeolithic Cultural Variability in the Levant and Implications for the Learning Behavior of Neanderthals and Homo sapiens. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 59-91. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Kadowaki, S., K. Nagai, and Y. Nishiaki
2013 Technology and space-use in the production of obsidian bladelets at Tell Seker al-Aheimar. In O. Nieuwenhuys, P.M.M.G. Akkermans, R. Bernbeck, and J. Rogasch (eds.) *Interpreting the Late Neolithic of Upper Mesopotamia*, pp. 147-159. Turnhout: Brepols, Belgium.
- Kadowaki, S. and K. Sano
2013 Towards a clarification of the process of Homo sapiens dispersals into Europe. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 23. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kato, H.
2013 Human colonization to the Arctic Circle. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 35. Proceedings of the 6th Conference on

- RNMH.
- Kato, H.
2013 Indigenous archaeology of the Ainu: Shifting from archaeological site to native property. Proceedings of "Science in Japan Forum JSPS—Routes of Indigenous Research", JSPS Washington Office, Washington DC, USA.
 - Kato, H.
2013 The Sibiryachikha industry and Neanderthals in Altai. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 51. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Kato, H.
2013 The Middle to Upper Paleolithic Transition in Siberia: Three Regional Sketches for Replacement. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 93-103. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Kato, H. and M. Naganuma
2013 The spatial and temporal patterns of Paleolithic sites in the Russian plain and surrounding areas. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 38. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Kato, H. and M. Naganuma
2013 Spatial and temporal occurrences of modern human behaviors in the Northern Eurasia and its features. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 75. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Kondo, Y.
2013 Future development of the RNMH lithic industry database. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 39-40. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Kondo, Y.
2013 Improving the RNMH lithic industry database. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 81. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Kondo, Y., K. Sano, S. Kadowaki, M. Naganuma, T. Omori, M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2013 Eco-cultural niche modelling for the replacement of Neanderthals by modern humans based on a collaboration of the archaeology and palaeoenvironment teams. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 124. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Matsumoto, N.
2013 Current achievements and issues in cognitive archaeology in respect to the replacement of Neanderthals by modern humans. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 39. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Matsumoto, N.
2013 How art was born: An archaeological examination. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 15. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Naganuma, M.
2013 The emergence of modern behaviors in North, Central, and Eastern Asia: issues of the non-European archaeological record. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, pp. 13-14. Tokyo: International Workshop. RNMH Project.
 - Nakamura, Y.
2013 Ethnographic research on technological transmission among modern hunter-gatherers in southeast Cameroon and the social function of hearths. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 77. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Nakata, H.
2013 The cultural evolution of Homo sapiens in the Japanese archipelago. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 55. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Nakata, H.
2013 The Aira caldera eruption and cultural evolution in the palaeolithic of central Japan. In H. Terashima

- (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 127. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Nakata, H.
2013 Modern human behavior of the Japanese Paleolithic period and its background. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 79. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2013 A reappraisal of the Pottery Neolithic flaked stone assemblages of Tall-i Jari B, the Fars, Southwest Iran. In F. Borrell, J. Ibáñez, and M. Molist (eds.) *Stone Tools in Transition: From Hunter-Gatherers to Farming Societies in the Near East*, pp. 349–364. Barcelona Autonomy University Press, Spain.
 - Nishiaki, Y. (ed.)
2013 *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. The University of Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Nishiaki, Y.
2013 Introduction. In Y. Nishiaki, K. Kashima, and M. Verhoeven (eds.) *Neolithic Archaeology in the Khabur Valley, Upper Mesopotamia and Beyond*, pp. 8-14. ex oriente, Berlin.
 - Nishiaki, Y.
2013 PPNB flint blade production at Tell Seker al-Aheimar, the Upper Khabur, Syria. In Y. Nishiaki, K. Kashima, and M. Verhoeven (eds.) *Neolithic Archaeology in the Khabur Valley, Upper Mesopotamia and Beyond*, pp. 64-79. ex oriente, Berlin, Germany.
 - Nishiaki, Y.
2013 Learning strategies and life history: an ethnographic case of bow and arrow manufacturing in Papua New Guinea. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 12. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2013 An archaeological study of the learning behaviours of Neanderthals and modern humans – Report on fiscal year 2012. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 67. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2013 Diachronic variability of the Middle Palaeolithic lithic industries. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 36. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2013 An archaeological study of the learning behaviors of Neanderthals and modern humans: Report on fiscal year 2013. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 49. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y., K. Kashima, and M. Verhoeven (eds.)
2013 *Neolithic Archaeology in the Khabur Valley, Upper Mesopotamia and Beyond*. ex oriente, Berlin, Germany.
 - Nishiaki, Y., K. Aoki, and T. Akazawa
2013 Introduction. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 7-20. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Nishiaki, Y.
2013 “Gifting” As a Means of Cultural Transmission: The Archaeological Implications of Bow-and-Arrow Technology in Papua New Guinea. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 173-185. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Omori, T. and K. Sano
2013 Reconsidering radiometric chronology of the European Paleolithic industries. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 31. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Sano, K.
2013 Dispersal of modern humans and demise of Neanderthals: a view from spatiotemporal patterns of the European transitional industries. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, pp. 10-12. Tokyo: International Workshop, RNMH Project.
 - Sano, K.
2013 Mobility patterns of Neanderthals and modern humans. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of*

- Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 21. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Sano, K.
2013 Spatio-temporal patterns of Neanderthal industries in Europe. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 73. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Sano, K.
2013 Problems and prospects the studies on RNMH in Europe. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 25. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2013 Testing and skill learning: a case study of the Upper Paleolithic assemblages at the Shirataki sites in Hokkaido, Northern Japan. In Y. Nishiaki (ed.) *Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*, pp. 29-30. Tokyo: International Workshop, RNMH Project.
 - Takakura, J.
2013 Metalearning process: An archaeological perspective. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 27. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2013 An identification of skill and learning behavior through the analysis of refitted materials from the Shirataki sites in Hokkaido. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 83. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2013 Using Lithic Refitting to Investigate the Skill Learning Process: Lessons from Upper Paleolithic Assemblages at the Shirataki Sites in Hokkaido, Northern Japan. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 151-171. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Tanno, K., G. Willcox, S. Muhesen, Y. Nishiaki, Y. Kanjo, and T. Akazawa
2013 Preliminary results from analyses of charred plant remains from a burnt Natufian building at Dederiyeh Cave in Northwest Syria. In O. Bar-Yosef and F. Valla (eds.) *Natufian Foragers in the Levant: Terminal Pleistocene Social Changes in Western Asia*, pp. 83-87. Ann Arbor: International Monographs in Prehistory.
 - 大森貴之、佐野勝宏
2013 「ヨーロッパ後期旧石器インダストリーにおける理化学年代の再整理」 青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 30-31.
 - 小野 昭
2013 「石器の接合—さまざまな発見」 堤 隆編『日本列島における細石刃石器群の起源』3-6. 八ヶ岳旧石器研究グループ.
 - 小野 昭
2013 「組み合わせ狩猟具が出現するまで：シェーニンゲンの木製槍とその対象獣」 佐野勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』4.
 - 加藤博文
2013 「墓の誕生：旧石器時代の墓と葬送儀礼」 土生田純之編『墓の考古学』22-28. 東京：吉川弘文館.
 - 加藤博文
2013 「狩猟対象から儀礼対象へ—シベリアにおける食儀礼の起源」『食と儀礼をめぐる地球の旅：先住民文化からみたシベリアとアメリカ』仙台：東北大学学術読本.
 - 加藤博文
2013 「シベリアの旧石器編年と交替劇」 西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』57-72. 東京：六一書房.
 - 加藤博文
2013 「ユーラシア極地への人類集団の進出と交替劇」 西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 3: 38-45.

- ・ 加藤博文
2013「考古学的資料から見た北極圏への人類集団の進出」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 52-53.
- ・ 加藤博文
2013「シベリアにおけるシベリヤチャーハ・インダストリーの設定と旧人集団」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 50.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2013「北ユーラシアにおける現代人的行動の時空分布とその特徴」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 74-75.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2013「ロシア平原およびその周辺地域における旧石器遺跡の時空間分布」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 37-38.
- ・ 門脇誠二
2013「アフリカと西アジアの旧石器文化編年からみた現代人的行動の出現パターン」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』21-37. 東京: 六一書房.
- ・ 門脇誠二
2013「旧石器文化の時空変異から「旧人・新人交替劇」の過程と要因をさぐる：アフリカ、西アジア、ヨーロッパの統合的展望」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 8-26.
- ・ 門脇誠二
2013「西アジアにおける中部旧石器時代末から上部旧石器時代前半への考古文化の変遷の再検討」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 52.
- ・ 門脇誠二
2013「アフリカにおける初期ホモ・サピエンスの文化多様性と「交替劇」への新たな展望」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 31-32.
- ・ 門脇誠二
2013「グローバルでより正確な「新人・旧人交替劇」の理解に向けて：アフリカ、西アジア、ヨーロッパ、の考古記録の統合」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 68-71.
- ・ 門脇誠二
2013「レヴァントの旧石器文化からさぐるヨーロッパへの新人拡散」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 26-28.
- ・ 門脇誠二
2013「初期ホモ・サピエンスの文化進化」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人2—考古学からみた学習』19-10. A01 班公開シンポジウム要旨集.
- ・ 門脇誠二、佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける交替劇の解明に向けて」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 22.
- ・ 近藤康久
2013「交替劇関連遺跡・石器製作伝統 データベース Neander DB の改良」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 73-77.
- ・ 近藤康久
2013「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベースの改良」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 80-81.

- ・ 近藤康久
2013「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベースの今後」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 39-40.
- ・ 近藤康久、佐野勝宏、門脇誠二、長沼正樹、大森貴之、米田 穰、西秋良宏
2013「A01 班と B02 班の共同研究による「交替劇」進行期の生態文化のニッチモデリング」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 122-123.
- ・ 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける旧石器文化編年と旧人・新人交替劇」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』38-56. 東京: 六一書房.
- ・ 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける中期旧石器時代から後期旧石器時代への移行プロセス」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 27-37.
- ・ 佐野勝宏
2013「旧人・新人の移動パタン」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 21.
- ・ 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける旧人インダストリーの時空間変遷」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 72-73.
- ・ 佐野勝宏
2013「複合的狩猟技術が出現するまで：新人のイノベーション」佐野勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』5.
- ・ 佐野勝宏
2013「ヨーロッパにおける交替劇研究の課題と展望」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 24-25.
- ・ 佐野勝宏
2013「ヨーロッパ旧人遺跡に見る学習の証拠」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』24. A01 班公開シンポジウム要旨集.
- ・ 佐野勝宏 (編)
2013『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 班合同研究会予稿集. 仙台：東北大学.
- ・ 高倉 純
2013「石器接合資料における剥離作業の段階設定—北海道紋別郡遠軽町旧白滝 15 遺跡の接合資料を事例として—」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 78-86.
- ・ 高倉 純
2013「北海道白滝遺跡群の石器接合資料における技量差の判定と学習行動」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 82-83.
- ・ 高倉 純
2013「北海道における押圧細石刃剥離技術の出現」堤 隆編『日本列島における細石刃石器群の起源』47-56. 八ヶ岳旧石器研究グループ.
- ・ 高倉 純
2013「考古資料科から見たメタ学習」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 26.
- ・ 長井謙治
2013「実験考古学からみた石器製作の学習」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』28. A01 班公開シンポジウム要旨集.
- ・ 長井謙治

- 2013「朝鮮・旧石器遺跡データベースの活用」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 57-60.
- ・ 仲田大人
2013「日本列島で交替劇は起きたか?」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』161-180. 東京: 六一書房.
 - ・ 仲田大人
2013「日本旧石器時代の遺跡・集団・人口」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 61-72.
 - ・ 仲田大人
2013「日本列島における現代人的行動とその背景」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 78-79.
 - ・ 仲田大人
2013「細石刃石器群と文化伝達、人口」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』23. A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - ・ 仲田大人
2013「シンポジウム ナイフ形石器からみた新人の文化進化』57-61. ハケ岳旧石器研究グループ.
 - ・ 仲田大人
2013「日本列島ホモ・サピエンスの文化進化」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 54.
 - ・ 仲田大人
2013「始良火山の噴火と文化進化: 日本列島中央部の例」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 126.
 - ・ 中村雄紀
2013「カメルーン南東部の現生狩猟採集民における技術伝習と集落の空間構造に関する民族誌調査」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 94-97.
 - ・ 長沼正樹
2013「ロシア語圏の MP-UP 移行期および EUP」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 46-56.
 - ・ 西秋良宏 (編)
2013『ホモ・サピエンスと旧人—考古学からみた交替劇』東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏
2013「はじめに」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—考古学からみた交替劇』i-ii. 東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏
2013「交替劇をめぐる諸問題—あとがきに代えて」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—考古学からみた交替劇』197-203. 東京: 六一書房.
 - ・ 西秋良宏 (編)
2013『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3. 東京: 東京大学総合博物館.
 - ・ 西秋良宏
2013「旧人・新人交替劇と両者の学習行動の違いに関わる考古学的研究—2012 年度の取り組み」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 1-7.
 - ・ 西秋良宏
2013「パプア・ニューギニア狩猟採集民にみる弓矢製作の学習スケジュール」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 11-12.
 - ・ 西秋良宏
2013「交替劇への認知考古学的アプローチ」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 36-37.

- 西秋良宏
2013「考古学資料にもとづく旧人・新人学習行動の実証的研究（2012年度）」米田 穰編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 66-67.
 - 西秋良宏
2013「ネアンデルタール人石器群の技術的型式的変異」青木健一編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 36.
 - 西秋良宏（編）
2013『ホモ・サピエンスと旧人2—考古学からみた学習』A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - 西秋良宏
2013「ネアンデルタール人の石器文化」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人2—考古学からみた学習』1. A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - 西秋良宏
2013「考古学資料にもとづく旧人・新人学習行動の実証的研究」寺嶋秀明編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 48.
 - 日暮泰男
2013「投槍器をもちいた槍投げにおける上肢の動き」『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究3』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 3: 87-93.
 - 日暮泰男
2013「投槍器を用いた槍投げにおける上肢の動き—生体力学的知見から過去の人類における投槍器の習得について考える」米田 穰編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 84-85.
 - 日暮泰男
2013「旧人・新人の投擲運動：生体力学的検討」佐野勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』8.
 - 日暮泰男
2013「ネアンデルタール人とサピエンスの骨格の形態差から探る飛び道具使用行動の差異：2013年度の研究計画」青木健一編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 41-42.
 - 日暮泰男
2013「投槍器を用いた槍投げにおける投射角と運動エネルギーの伝達」寺嶋秀明編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 56.
 - 松本直子
2013「交替劇研究への認知考古学の貢献と論点」米田 穰編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 37-39.
 - 松本直子
2013「考古学で探る心の進化」五百部裕、小田 亮編『心と行動の進化を探る—人間行動進化学入門』131-161. 東京：朝倉書店.
 - 松本直子
2013「認知考古学からみた学習」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人2—考古学からみた学習』27. A01 班公開シンポジウム要旨集.
 - 松本直子
2013「「芸術」はどのような状況で生まれるのか—考古学的検証」寺嶋秀明編『ネアンデルタール人とサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 14.
- 2012**
- Akazawa, T. and Y. Nishiaki
2012 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 002.* Kochi: Kochi University of Technology.
 - Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2012 Excavations at the Neolithic settlement of Göytepe, the middle Kura Valley, Azerbaijan, 2008-2009. In

- Matthews, R. and J. Curtis (eds.) *Proceedings of the 7th International Congress of the Archaeology of the Ancient Near East Volume 3: Fieldwork and recent research*, pp. 71-84. Harrassowitz Verlag, Wiesbaden, Germany.
- Hayashi, K., R. Ishii, Y. Nakamura, H. Terashima, and Y. Nishiaki
2012 Technical transmission of hunting tool manufacture: A case of spear hunting among modern hunter-gatherers in Southeast Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 103-104. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Higurashi, Y.
2012 Biomechanics of hunting-spear throwing in modern humans: research goals for 2012–3. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 19. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Higurashi, Y.
2012 Biomechanics of Hunting-Spear Throwing in Modern Humans. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 59. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Higurashi, Y.
2012 Aimed Spear-Throwing in Modern Humans: A Preliminary Study of Upper Limb kinematics. In T. Akazawa and Y. Nishiaki. (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 86-87. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Iovita, R. and Sano, K. (eds.)
2012 *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*. Springer, Dordrecht, Heidelberg, London, New York.
 - Kadowaki, S.
2012 Spatial and temporal occurrences of modern human behaviours in African MSA. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 9. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S.
2012 A household perspective towards the Pre-Pottery Neolithic to Late Neolithic cultural transformation in the southern Levant. *Orient* 47: 3-28.
 - Kadowaki, S. and K. Sano
2012 From the Beginning: Tracing the Patterns of Cultural Changes of Early *Homo sapiens* in Africa, West Asia, and Europe. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 38-39. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kato, H.
2012 An examination of “the Middle to Upper Paleolithic transition hypothesis” in Siberia. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 13. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Kato, H. and M. Naganuma
2012 Thinking the Beginning of Early Upper Paleolithic in Siberia and Central Asia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki. (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 40-41. Kochi University of Technology.
 - Kondo, Y.
2012 Neander DB 2.0: Improvement of the "Replacement of Neanderthals by Modern Humans" Lithic Industry Database. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 88-89. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kondo, Y., S. Kadowaki, H. Kato, M. Naganuma, A. Ono, K. Sano, and Y. Nishiaki
2012 Network computing for archaeology: a case study from the 'Replacement of Neanderthals by Modern Humans' database project. In Zhou Minquan, I. Romanowska, Wu Zhongke, Xu Pengfei and P. Verhagen (ed.) *Revive the Past. Proceedings of the 39th International Conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology, Beijing, China, April 12-16, 2011*, pp. 217-226. Amsterdam University Press, Netherlands. <http://dare.uva.nl/aup/nl/record/412958>.
 - Kondo, Y., G. Matsumoto, Y. Seino, T. Ako, W. Fukui, M. Sugiura, T. Uozu, and H. Yamaguchi
2012 A union of dispersed knowledge and people: achievements of Archaeo-GIS Workshop 2007-2010. In Zhou Minquan, I. Romanowska, Wu Zhongke, Xu Pengfei and P. Verhagen (eds.) *Revive the Past. Proceedings of the 39th International Conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology, Beijing, China, April 12-16, 2011*, pp. 334-342. Amsterdam University Press, Netherlands. <http://dare.uva.nl/aup/nl/record/412958>.
 - Kondo, Y., A. Kaneda, Y. Fujimoto, Y. Seino, H. Yamaguchi, and T. Uozu

- 2012 The CEDACH DMT: a volunteer-based data management team for the documentation of the earthquake-damaged cultural heritage in Japan. In Zhou Minquan, I. Romanowska, Wu Zhongke, Xu Pengfei and P. Verhagen (eds.) *Revive the Past. Proceedings of the 39th International Conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology, Beijing, China, April 12-16, 2011*, pp. 326-333. Amsterdam University Press, Netherlands. <http://dare.uva.nl/aup/nl/record/412958>.
- Nagai, K.
2012 A database of the ancient Paleolithic in South Korea: methods and perspectives. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 15. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Nakata, H.
2012 The Initial and Early Upper Paleolithic of the Japanese Archipelago. In T. Akazawa and Y. Nishiaki. (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 90-91. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nishiaki, Y.
2012 Time-space contexts of the Middle and Upper Palaeolithic industries in the Old World. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 7. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2012 Notes on the third millennium blades from Tell Abu Hujaira. In A. Suleiman and P. Quenet (eds.) *Trois Campagnes de Fouilles Syriennes à Tell Abu Hujaira, Hasseke (1988-1990): Cinquieme et Sixieme Parties*, pp. 63-70. Documents d'Archéologie Syrienne XVII. Damascus: Directorate-General of Antiquities and Museums.
 - Nishiaki, Y.
2012 Archaeological Research of the Learning Behaviors of the Neanderthals and Early Modern Humans. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 32-36. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nishiaki, Y.
2012 "Gift" as a means of cultural transmission: An archaeological implication of bow and arrow technology in Papua New Guinea. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 50-52. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nishiaki, Y.
2012 The archaeological database for the RNMH Project. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 92-93. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nishiaki, Y., S. Kadowaki, S. Kume, and K. Shimogama
2012 Archaeological survey around Tell Gahnem Al-'Ali (V). *Al-Rafidan* 33: 1-6.
 - Ohnuma, K.
2012 Lithic artifacts and their significance in the region. In A. Tsuneki and A. Mirzaye (eds.) *The Arsanjan Project, 2011*, pp. 182-185. University of Tsukuba.
 - Sano, K.
2012 Chronological and geographical distribution patterns of Middle and Upper Palaeolithic industries in Europe. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 11. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Sano, K. (ed.)
2012 *Functional Variability in the Late Upper Palaeolithic of North-Western Europe: A Traceological Approach*. Universitätsforschungen zur Prähistorischen Archäologie. Habelt, Bonn, Germany.
 - Sano, K.
2012 Funktionsanalyse an steinartefakten von rietberg und Salzkotten-Thüle. In J. Richter (ed.) *Rietberg und Salzkotten-Thüle. Anfang und Ende der Federmessergruppen in Westfalen. Kölner Studein zur Prähistorischen Archäologie Band 2*, pp. 283-294. Rahden/Westf, Leidorf, Gemany.
 - Sano, K., Y. Denda, and M. Oba
2012 Experiments in fracture patterns and impact velocity with replica projectile points from Japan. In R. Iovita and K. Sano (eds.) *Multidisciplinary Approaches to the Study of Stone Age Weaponry*. Springer, Dordrecht, Heidelberg, London, New York.
 - Takakura, J.
2012 Segments of lithic reduction sequences and identification of production levels. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 17. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.

- Takakura, J.
2012 Emergence and development of the pressure microblade production: A view from the Upper Paleolithic of Northern Japan. In P.M. Desrosiers (ed.) *The Emergence of Pressure Blade Knapping: From Origin to Modern Experimentation*, pp. 285-306. New York: Springer, USA.
- Takakura, J.
2012 Emergence and developemnt of the pressure microblade production: a view from the Upper Paleolithic of Northern Japan. In P.M. Desrosiers. (ed.) *The Emergence of Pressure Blade Making: From Origin to Modern Experimentation*. pp. 285-306. New York: Springer, USA.
- Takakura, J.
2012 Reconstructing the Learning Behaviors Through the Analysis of Lithic Refitted Materials of the Upper Paleolithic Assemblages in Hokkaido. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 58. Kochi: Kochi University of Technology.
- Takakura, J.
2012 New Insights into the Skill Learning Processes in the lithic Production: An Analysis of the Refitted Material from the Kyushirataki 15 Site in Hokkaido, Northern Japan. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 48-49. Kochi: Kochi University of Technology.
- Takakura, J.
2012 Lithic Refitted Materials and Identification of Technical Skill Level: Lessons from the Upper Paleolithic Assemblages of the Shirataki Sites in Hokkaido, Northern Japan. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 94-96. Kochi: Kochi University of Technology.
- Teramura, H., Y. Kondo, and U. Takao
2012 Archaeology with GIS in the Indus Project. In J. S. Kharakwal, Y. S. Rawat, and T. Osada (eds.) *Excavation at Kanmer: 2005-06—2008-09. Kanmer Archaeological Research Project an Indo-Japanese Collaboration*, pp. 165-196. Indus Project, Research Institute for Humanity and Nature, Kyoto.
- 小野 昭
2012 『ネアンデルタール人奇跡の再発見』 朝日選書 891.
- 加藤博文
2012 「シベリアにおける中期旧石器の系統をめぐって—デレヴァンコ仮説の検討」 西秋良宏編 『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』 「交替劇」 A01 班研究報告書 No. 2: 25-31.
- 加藤博文
2012 「パブリック考古学の課題と展望：研究は誰のためのものか」 荻原直道編 『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 110-112.
- 加藤博文
2012 「人類史からみたバイカルシベリアと日本列島」 吉田邦夫編 『アルケオメトリア』 59-70. 東京：東京大学総合研究博物館.
- 加藤博文
2012 「シベリアにおける旧人・新人「移行期仮説」の検証」 荻原直道編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5:13-14.
- 加藤博文
2012 「環境変動と北方狩猟民文化の形成」 『第 26 回北方民族文化シンポジウム環境変化と先住民の生業文化：陸域生態系における適応』 41-47. 網走：北海道道立北方民族博物館.
- 門脇誠二
2012 「人類進化と技術進化—石器文化史から石器文化誌へ」 『Hands On 2：進化にふれるハンズオン・ギャラリー 活動報告』 18-20. 東京：東京大学総合研究博物館.
- 門脇誠二
2012 「アフリカの中期石器時代における現代人的行動の時空分布」 荻原直道編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 8.
- 門脇誠二
2012 「アフリカの中期・後期石器時代の編年と初期ホモ・サピエンスの文化変化に関する予備的

- 考察」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 7-15.
- ・ 門脇誠二、久米正吾、下釜和也、西秋良宏
2012「ユーフラテス河中流域の先史時代—第 5 次調査 (2011)」『第 19 回西アジア発掘調査報告会報告集』16-21.
 - ・ 近藤康久
2012「交替劇関連遺跡・石器製作伝統データベース NeanderDB の運用」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 57-61.
 - ・ 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代インダストリーの編年的・地理的分布パターン」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 10.
 - ・ 佐野勝宏
2012「考古学的証拠に見る旧人・新人の創造性」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 16-24.
 - ・ 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代遺跡の時空間分布」『日本旧石器学会第 10 回講演・研究発表シンポジウム予稿集 旧石器時代遺跡・立地・分布研究の新展開』63-66.
 - ・ 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける旧石器文化編年と旧人・新人交替劇」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人—旧石器考古学からみた交替劇』38-56. 東京: 六一書房.
 - ・ 佐野勝宏
2012「ヨーロッパにおける中期・後期旧石器時代インダストリーの編年的・地理的分布パターン」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 10-11.
 - ・ 佐野勝宏、傳田惠隆
2012「J15 出土旧石器資料の機能分析」『山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 200 集 高瀬山 (HO) 3 期発掘調査報告書』120-124.
 - ・ 佐野勝宏、傳田惠隆、大場正善
2012「狩猟法同定のための投射実験研究 (1) 一台形様石器」『旧石器研究』8: 45-63.
 - ・ 下釜和也
2012「グルジアの洞窟遺跡を訪ねて—南コーカサス地域における旧石器研究の今」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 86-93.
 - ・ 高倉 純
2012「分節された剥離過程の単位と技量レベルの同定」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 16.
 - ・ 高倉 純
2012「石器接合資料の分析と学習過程の復元—事例分析のための現状把握」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 45-50.
 - ・ 高倉 純
2012「北海道の旧石器時代石器群における石器接合資料分析をもとにした学習行動の復元」赤澤威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 98.*
 - ・ 高倉 純
2012「石器接合資料の分析と学習過程の復元」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 45-50.
 - ・ 高倉 純
2012「旧石器資料に関する剥離方法の同定」佐藤宏之編『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変 (□)』142-151. 東京: 東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設.
 - ・ 高倉 純

- 2012「縄文時代のはじまりと北東アジア」『縄文人はどこからきたか?』インテリジェント・リンク: 106-119
- ・ 高倉 純
2012「フラクチャー・ウィングの分析による剥離方法の同定」直江康雄編『白滝遺跡群 XII』547-566. 江別: 財団法人北海道埋蔵文化財センター
 - ・ 長井謙治
2012「韓国旧石器データベースへの取り組み: その方法と見通し」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 14.
 - ・ 長井謙治
2012「石器の民族誌研究への期待—非言語的「技術」へのアプローチに向けて」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 51-56.
 - ・ 長井謙治
2012「韓国旧石器データベースへの取り組み」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 82-85.
 - ・ 長井謙治
2012「韓国済州島新石器文化初頭石器群の諸問題」『関西縄文時代研究の新展開: 松尾洋次郎さん追悼論集』関西縄文論集 3: 107-110.
 - ・ 仲田大人
2012「日本旧石器時代の装飾品—集成と予備的検討」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 62-71.
 - ・ 仲田大人
2012「ネアンデルタール人の学習行動を探る—A01/A02 班合同座談会参加記録」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 94-99.
 - ・ 長沼正樹
2012「交替劇とモンゴルの旧石器資料」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 72-81.
 - ・ 西秋良宏
2012「新人にみる移動と現代的行動」印東道子編『人類大移動』161-178. 東京: 朝日選書.
 - ・ 西秋良宏 (編)
2012『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2. 東京: 東京大学総合博物館.
 - ・ 西秋良宏
2012「ネアンデルタール DB と旧石器インダストリーの時空分布再構築」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 6.
 - ・ 西秋良宏
2012「旧人・新人交替劇と両者の学習行動の違いに関わる考古学的研究—2011 年度の取り組み」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 1-6.
 - ・ 西秋良宏
2012「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 76-77.
 - ・ 西秋良宏
2012「考古学的証拠に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 85-86.
 - ・ 西秋良宏
2012「ネアンデルタール人の成長と石器製作技術の習得」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』119.
 - ・ 西秋良宏 (編訳)
2012『古代の科学と技術—世界を創った 70 の大発明』(ブライアン・M・フェイガン編著). 東

京：朝倉書店.

- 西秋良宏
2012「新人にみる移動と現代的行動」印東道子編『人類大移動』161-178. 東京：朝日選書.
- 西秋良宏
2012「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001*: 76-77.
- 西秋良宏
2012「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001*: 85-86.
- 西秋良宏
2012「旧人・新人交替劇と両者の学習行動の違いに関わる考古学的研究—2011 年度の取り組み」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 1-6.
- 西秋良宏
2012「ネアンデルタール DB と旧石器インダストリーの時空分布再構築」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 6.
- 西秋良宏
2012「中東ネアンデルタール人の文化進化」『日本西アジア考古学会第 17 回総会・大会要旨集』1-2.
- 西秋良宏
2012「ネアンデルタール人の成長と石器製作技術の習得」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』119.
- 西秋良宏、F. Guliyev、門脇誠二、下釜和也、小高敬寛、有松唯、赤司千恵
2012「南コーカサス地方の新石器時代：ギョイテベ遺跡の第 4 次発掘調査」『第 19 回西アジア発掘調査報告会報告集』72-78.
- 日暮泰男
2012「投擲運動の学習プロセスの解明：2012 年度の研究計画」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 18.
- 日暮泰男
2012「投擲運動の学習プロセスの解明—予備的分析の報告」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 39-44.
- 日暮泰男
2012「投擲運動の学習プロセスの解明」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001*: 99.
- 日暮泰男、熊倉博雄
2012「投擲運動のキネマティクス」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』81-82.
- 松本直子
2012「認知考古学からみた新人・旧人の創造性」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 2: 32-38.

2011

- Banning, E.B., K. Gibbs, and S. Kadowaki
2011 Changes in Material Culture at Late Neolithic Tabaqat al-Buma, in Wadi Ziqlab, Northern Jordan. In J.L. Lovell and Y. Rowan (eds.) *Culture, Chronology and the Chalcolithic: Theory and Transition*, pp. 36-60. Oxbow Books: Oxford, UK
- Henry, D.O., S. Bergin, and S. Kadowaki
2011 Tracing Floors and Fills in Early Neolithic Pithouses: An Example from the Excavation of Ayn Abū Nukhayla, Southern Jordan. In N.J. Conard, R.H. Meadow, A. Morales, and P. Drechsler (eds.) *Between Sand and Sea. The Archaeology and Human Ecology of Southwestern Asia*, 92-112. Kerns Verlag: Tubingen, Germany.
- Higurashi, Y.

- 2011 Preliminary kinematic analysis of hunting-spear throwing in modern humans. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 57. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Higurashi, Y.
2011 Biomechanics of hunting-spear throwing in modern humans. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 58. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S.
2011 Lithic industries of early Homo sapiens in Africa: Current view of their space-time distributions. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 47. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S.
2011 Replacement of Neanderthals by modern humans in Zagros and the Arabian Peninsula: A perspective from lithic industries. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 20. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S. and Y. Kondo
2011 Spatio-temporal patterns of Levantine middle and upper Palaeolithic industries. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 10. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Kadowaki, S., K. Nagai, and Y. Nishiaki
2011 Technology and Space-use in the Production of Obsidian Bladelets at Tell Seker al-Aheimar. In R. Bernbeck (ed.) *Interpreting the Late Neolithic of Upper Mesopotamia*, pp. 147-159. Brepols Publishers: Belgium.
 - Kato, H. and M. Naganuma
2011 Aspects of the Replacement of Lithic industries in Northern Eurasia: Current situations and issues. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 53. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Kato, H. and M. Naganuma
2011 Temporal and spatial distribution of Middle and Upper Paleolithic sites in Northern Eurasia. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 23. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Kato, H. and M. Naganuma
2011 Innovation of organic artifacts and the peopling of high latitudes in Northern Eurasia. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 12. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Kondo, Y., T. Aki, I. Heshiki, G. Matsumoto, Y. Seino, Y. Takeda, and H. Yamaguchi
2011 FIELDWALK@KOZU: a preliminary report of the GPS/GIS-aided walking experiments for remodeling prehistoric pathways at Kozushima Island (East Japan). In E. Jerem, R. Red, and V. Szeverenyi (eds.) *On the Road to Reconstructing the Past. April 2-6 2008. Proceedings of the 36th International Conference on Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology (CAA)*, pp. 226-232. Budapest: Archaeolingua, Hungary.
 - Nagai, K.
2011 Traits in Stone Flaking Technology at Kanedori, Iwate, Japan. In *the 2nd International Symposium of Bifaces of the Lower and Middle Pleistocene of the World. Celebration for the opening of Jeongok (Chongok) Prehistory Museum*, p. 104. Jeongok(Chongok) Prehistory Museum: Gyeonggi, Korea.
 - Nagai, K.
2011 Flintknapping for Public Archaeology. In *Field Museum and Heritage Education, The 3rd International Workshop of Heritage Education and Site Preservation for Commemorating the 19th Chongokni Paleolithic Culture Festival*, p. 11. Institute of East Asian Archaeology.
 - Nakata, H.
2011 Initial upper Paleolithic assemblages in the Central Japan: New evidence from the foot of Mt. Ashitaka and the western part of Mt. Hakone area. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 60-61. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2011 An ethno-archaeological approach to the study on prehistoric learning. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 45. Proceedings of

- the 4th Conference on RNMH.
- Nishiaki, Y.
2011 Intrasite spatial organization of the Neanderthal camps. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 19. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y.
2011 Techno-typological notes on the flaked stone industry of the early Neolithic settlement of Ganj Dareh, Iran. In M. Mashkour, K. Roustai, and F. Biglari (eds.) *The Neolithic of the Iranian Plateau. Recent Research and Prospects*. Berlin: ex oriente, Germany.
 - Nishiaki, Y.
2011 Preliminary notes on the Pre-Pottery and Pottery Neolithic lithics from Tell Seker al-Aheimar, the upper Khabur, Syria: The 2000-2001 seasons. In E. Healey, S. Campbell, and O. Maeda (eds.) *Proceedings of the 3rd Workshops on PPN Chipped Lithic Industries*, pp. 457-464. Berlin: ex oriente, Germany.
 - Nishiaki, Y. and K. Nagai
2011 Knapping skill and Levallois flake production: Insights from experimental replication. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 7. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Nishiaki, Y., Y. Kanjo, S. Muhesen, and T. Akazawa
2011 Newly discovered Late Epipalaeolithic lithic assemblages from Dederiyeh Cave, the northern Levant. In Elizabeth Healey, Stuart Campbell and Osamu Maeda (eds.) *The State of the Stone Terminologies, Continuities and Contexts in Near Eastern Lithics*. pp. 79-87. Proceedings of the Sixth PPN Conference on Chipped and Ground Stone Artefacts in the Near East. 3rd-5th March 2008. Manchester, UK.
 - Nishiaki, Y., S. Muhesen, and T. Akazawa
2011 Newly discovered Late Epipalaeolithic lithic assemblages from Dederiyeh Cave, the northern Levant. In E. Healey, S. Campbell, and O. Maeda (eds.) *Proceedings of the 6th Workshops on PPN Chipped Lithic Industries*, pp. 78-79. University of Manchester: UK.
 - Nishiaki, Y., Y. Kanjo, S. Muhesen, and T. Akazawa
2011 Recent progress in Lower and Middle Palaeolithic research at Dederiyeh Cave, Northwest Syria. In J.-M. Le Tensorer, R. Jagher, and M. Otte. (eds.) *The Lower and Middle Palaeolithic in the Middle East and Neighbouring Regions. Etudes et Recherches Archeologiques de l'Universite de Liege (ERAUL)*, pp. 67-76. Université de Liège, Belgium.
 - Ohnuma, K.
2011 Replicating the Neanderthal technology (Flint knapping demonstration). In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 24. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Sano, K.
2011 Lithic industries from late Middle Palaeolithic to early Upper Palaeolithic and its associated human remains in Europe. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 50-51. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Sano, K.
2011 New aspects of the Middle-Upper Palaeolithic transition in Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 22. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2011 A re-examination of the lithic refitted materials from the Shirataki sites, Hokkaido, northern Japan in light of reconstruction of the skill learning process. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 55. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2011 Reconstruction of the learning behavior and analysis of the lithic refitted materials: A view from the Upper Paleolithic assemblages in Hokkaido. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 57. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Takakura, J.
2011 Emergence and development of the pressure microblade production: A view from the Upper Paleolithic of northern Japan. In P.M. Desrosiers (ed.) *The Emergence of Pressure Knapping: from Origin to Modern Experimentation*, pp. 285-306. New York: Springer, USA.

- ・ 小口 高、近藤康久
2011「インターネット GIS を用いた考古・古環境情報の発信」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 39.
- ・ 大沼克彦
2011「ネアンデルタール人石器の製作実演」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 24.
- ・ 加藤博文
2011「環境変動と北方狩猟民文化の形成」『第 26 回北方民族文化シンポジウム環境変化と先住民の生業文化：陸域生態系における適応』報告書: 37-43. 札幌：北海道道立北方民族博物館.
- ・ 加藤博文
2011「環境変動と北方狩猟民文化の形成」『第 26 回北方民族文化シンポジウム：環境変化と先住民の生業文化—陸域生態系における適応』41-47. 札幌：北海道道立北方民族博物館.
- ・ 加藤博文
2011「シベリアにおける旧人・新人遺跡」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 51-54.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2011「北ユーラシアにおける石器製作伝統から見た交替劇の様相：現状と課題」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 52.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2011「北ユーラシアにおける中期・後期旧石器時代の時空間分布とその傾向」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 23.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2011「北ユーラシアの骨角器使用と人類の高緯度進出」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 11.
- ・ 加藤博文、長沼正樹
2011「高緯度寒冷地への植民行動—その進化的・学習的意義」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第 77 回総会研究発表セッション 5: 166-167.
- ・ 門脇誠二
2011「ヨーロッパにおける中期旧石器時代後葉から後期旧石器時代前葉の石器群とそれに共伴する人骨」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 48.
- ・ 門脇誠二
2011「アフリカにおける初期ホモ・サピエンスの石器製作伝統：その時空分布の研究動向」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 46.
- ・ 門脇誠二
2011「交替劇の舞台としてのザクロス地方とアラビア半島：石器製作伝統の視点から」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 20.
- ・ 門脇誠二
2011「旧石器人の学習と石器制作伝統—レヴァント地方の事例研究に向けて」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 41-46.
- ・ 門脇誠二、近藤康久
2011「レヴァント地方における中期・後期旧石器インダストリーの消長パターン」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 9.
- ・ 門脇誠二、近藤康久
2011「石器製作伝統の消長パターンからさぐる旧石器人の学習行動」『旧人・新人の石器製作学

- 習行動を探る』日本考古学協会第 77 回総会研究発表セッション 5: 164-165.
- 門脇誠二、F. Guliev、久米正吾、下釜和也、赤司千恵、西秋良宏
2011 「南コーカサス地方の新石器時代：ギョイテペ遺跡の第 3 次発掘調査（2010 年）」西アジア考古学会編『第 18 回西アジア発掘調査報告会報告集』53-59.
 - 近藤康久
2011 「オマーン・バート遺跡群カスル・アル・スレメ地点の岩面陰刻について」『日本西アジア考古学会第 16 回総会・大会要旨集』9-14.
 - 近藤康久
2011 「人文フィールド GIS の現在・未来：考古学の視点から」『地理情報システム学会講演論文集』20 (CD-ROM) .
 - 近藤康久
2011 「交替劇関連移籍・石器制作伝統データベース Neander DB の設計」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 55-60.
 - 近藤康久
2011 「地理情報システムと高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代墳墓群の空間構造の解明」財団法人高梨学術奨励基金編『平成 22 年度研究成果概要報告』93-100.
 - 近藤康久
2010 「GIS と高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代遺跡群の空間構造の研究」『CSIS DAYS 2010 研究アブストラクト集』22.
 - 近藤康久、小口 高
2011 「生態学的予測モデルの考古学への応用に関する研究」『CSIS DAYS 2011 研究アブストラクト集』12.
 - 近藤康久、藤本 悠、清野陽一、山口欧志
2011 「CEDACH GIS：ボランティアによる被災文化遺産の復興支援に向けた空間情報コンテンツ整備の取り組み」『地理情報システム学会講演論文集』20 (CD-ROM) .
 - 佐野勝宏
2011 「考古学的証拠にみる旧人・新人の創造性」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 28.
 - 佐野勝宏
2011 「ヨーロッパにおける中期—後期旧石器時代移行期の新局面」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 22.
 - 佐野勝宏
2011 「ステージ 3 プロジェクトの到達点」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 47-50.
 - 佐野勝宏、小野 昭
2011 「ヨーロッパにおける旧人石器群と新人石器群の消長と拡散」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第 77 回総会研究発表セッション 5: 168-169.
 - 佐野勝宏、鹿又喜隆、阿子島香、傳田恵隆、柳田俊雄
2011 「山形県舟形町高倉山遺跡第 2 次発掘調査」『第 25 回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』74-82.
 - 椎野若菜、石森大知、大西健夫、梶丸 岳、小西公大、駒澤大佐、近藤康久、佐藤靖明、澤柿教伸、庄山紀久子、福井幸太郎、的場澄人、古澤拓郎
2011 「フィールドワーカーの知と知をつなぐ Fieldnet の取り組みと地理情報システム」『地理情報システム学会講演論文集』20 (CD-ROM) .
 - 高倉 純
2011 「北海道の白滝遺跡群における旧石器接合資料の再検討：技量の習得過程復元の観点から」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 54.
 - 高倉 純
2011 「学習行動の復元と石器接合資料の分析：北海道の後期旧石器時代石器群の事例から」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』

- 「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 57.
- 長井謙治
2011「石鏃製作実験から見た学習」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第77回総会研究発表セッション 5: 174-175.
 - 長井謙治
2011「石鏃製作実験を通して考える学習のプロセス」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 61-64.
 - 仲田大人
2011「中央日本の後期旧石器時代開始期石器群：愛鷹・箱根西麓の事例」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 58.
 - 仲田大人
2011「日本の石器研究と学習」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 65-69.
 - 長沼正樹
2011「交替劇とバイカルシベリアの旧石器資料」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 70-74.
 - 西秋良宏
2011「先史時代学習行動研究への民族考古学的アプローチ」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 44.
 - 西秋良宏
2011「遺跡分布調査から見たユーフラテス河中流域青銅器時代の社会」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』50-53.
 - 西秋良宏
2011「ネアンデルタール人遺跡にみる空間構造」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 19.
 - 西秋良宏
2011「趣旨説明—旧人・新人交替劇と学習」『旧人・新人の石器製作学習行動を探る』日本考古学協会第77回総会研究発表セッション 5: 162-163.
 - 西秋良宏
2011「ネアンデルタール人を語る—考古学と脳科学の対話」西秋良宏編『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 1-38.
 - 西秋良宏
2011「北メソポタミア初期農耕村落の起源—シリア、テル・セクル・アル・アヘイマル遺跡第11次発掘調査（2010年）」日本西アジア考古学会編『考古学が語る古代オリエン—第18回西アジア発掘調査報告会』35-39.
 - 西秋良宏（編）
2011『考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A01 班研究報告書 No. 1: 51-54. 東京：東京大学総合博物館.
 - 西秋良宏、長井謙治
2011「複製実験からみたルヴァロワ剥片製作の習熟」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交アンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 6-8.
 - 西秋良宏、門脇誠二、下釜和也、仲田大人、早川祐一
2011「ユーフラテス河中流域の青銅器時代—第4次調査（2010年）」日本西アジア考古学会編『考古学が語る古代オリエン-第18回西アジア発掘調査報告会』75-80.
 - 橋詰 潤、内田和典、I. Shevkomud、長沼正樹、M. Gorshkov、S. Kositena、E. Bochkaryova、小野 昭
2011「ロシア極東アムール川下流域における初期新石器時代の研究—オシノヴァヤレーチカ 12 遺跡の調査から」『日本考古学協会第77回総会研究発表要旨』86-87.

- 濱口 皓、長沼正樹、出穂雅実、高倉 純、赤井文人
2011 「北海道上川郡下川町高瀬遺跡の再検討」佐藤宏之編『環日本海北部地域における後期更新世の環境変動と人間の相互作用に関する総合的研究』146-192. 東京：東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究所実習施設・人間文化研究機構・総合地球環境学研究所.
- 日暮泰男
2011 「投擲運動の学習プロセスの解明：予備的分析の報告」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 56.
- 日暮泰男
2011 「投擲運動の学習プロセスの解明」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 58.
- 古澤拓郎、大西健夫、近藤康久（編）
2011 『フィールドワーカーのための GPS・GIS 入門：フィールドに GPS を持って行こう GIS で地図を作ろう』東京：古今書院.
- 松本直子
2011 「認知考古学からみた旧人・新人の創造性」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 30.
- 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2011 「ルヴァロア剥片制作における熟練行動の運動的特徴抽出」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 53.
- 三浦直樹、長井謙治、星野孝総
2011 「三次元動作計測を用いた熟練者の石器製作工程の身体動作解析」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 62.

2010

- Kadowaki, S. and Y. Kondo
2010 A Database of Neanderthal and Modern Human Lithic Industries: Aims and Construction Methods. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 37. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Kato, H.
2010 Colonial Northward Behavior: Significance to Evolution and Learning. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 57-58. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Nishiaki, Y.
2010 Archaeological Evidence of Learning in the Palaeolithic Records. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 35. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Portillo, M., R. M. Albert, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2010 Domestic activities at Early Neolithic Tell Seker al-Aheimar (Upper Khabur, Northeastern Syria) through phytoliths and spherulites studies. In C. Delhon, I. Thery-Parisot, and S. Thiebault (eds.) *People and Plants: landscape exploitation and vegetal resources management from Prehistoric times to present*, pp. 19-30. Antebes: Editions APDICA.
- Sano, K.
2010 Lithic functional analysis. In E. Rensink (ed.) *Eyserheide: A Magdalenian Open-air Site in the Loess Area of the Netherlands and Its Archaeological Context*, pp. 113-125. *Analecta Praehistorica Leidensia* 42. Leiden University, Netherlands.
- 赤澤 威、西秋良宏、丹野研一、仲田大人、近藤 修、石井理子、佐々木智彦、米田 穰、L. Gourichon、Y. Kanjo、S. Muhesen
2010 「旧人ネアンデルタールと新人サピエンスの交替劇を探る—シリア、デデリエ洞窟 2009 年度調査」日本西アジア考古学会編『考古学が語る古代オリエン—第 17 回西アジア発掘調査報告会』24-30.
- 加藤博文
2010 「第 9 日目 旅する人類の考古学—草原とツンドラの彼方へ」『北方を旅する』223-252. 札

幌：北海道大学出版会.

- 加藤博文
2010「出シベリアの人類史」菊池俊彦編『北東アジアの歴史と文化』31-55. 札幌：北海道大学出版会.
- 加藤博文
2010「高緯度寒冷地域への植民行動：その進化的・学習的意義」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 36.
- 門脇誠二、近藤康久
2010「旧人・新人に関わる石器製作伝統のデータベース化：その目的と方法」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 37.
- 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2010「考古学におけるネットワーク・コンピューティング—「旧人・新人交替劇」遺跡データベースの取り組み」『日本情報処理学会・人文科学とコンピュータシンポジウム じんもんこん 2010』173-180.
- 長沼正樹
2010「後期更新世の狩猟採集社会」佐々木義則編『武田遺跡群総括・補遺編』1-32. ひたちなか：茨城県ひたちなか市教育委員会.
- 長沼正樹
2010「アムール下流域のオシポフカ文化」菊池俊彦編『北東アジアの歴史と文化』55-69. 札幌：北海道大学出版会.
- 西秋良宏
2010「旧石器人の学習に関わる考古学的証拠」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 35.
- 西秋良宏
2010「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」『第 64 回日本人類学会大会抄録集』82.
- 西秋良宏、仲田大人、Y. Kanjo、S. Muhesen、赤澤 威
2010「西アジア前期旧石器時代の剥片石器群—シリア、デデリエ洞窟出土ヤブルディアン資料にふれて」『日本旧石器学会第 8 回講演・研究発表・シンポジウム予稿集』15-16.

計画研究 A02 「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」

【雑誌論文】

2016

- Peng Y.
2016 The Evidence of Proximity: Tattoo Practices of the Baka in Southeastern Cameroon. *Hunter Gatherer Research*. 2016 issue 1. (In press)
- Peng Y.
2016 African hunter-gatherers: the case of tattooing. 電子情報通信学会技術研究報告, 116(185): 1-5.
- Sonoda, K.
2016 'Give Me the Meat, the Child Said': Cultural Practice among the Children of the Baka Hunter-Gatherers. *Hunter Gatherer Research*. 2016 issue 2(1): 39-62.
- 亀井伸孝
2016. 「特集「環境と資源から見る国際社会: 21 世紀の世界と日本」」『共生の文化研究』(愛知県立大学多文化共生研究所) 10: 4-48.
- 園田浩司・二文字屋脩・関野文子
2016「狩猟採集民研究の最前線 第 11 回狩猟採集社会会議 (CHaGS-11) に参加して」(資料と通信)『文化人類学』80(3): 462-467.

2015

- Berl, R.E. and B.S. Hewlett
2015 Cultural variation in the use of overimitation by the Aka and Ngandu of the Congo Basin. *PLoS One*: DOI (10.1371/journal.pone.0120280). (査読).

- Imamura, K. and H. Akiyama
2015 How hunter-gatherer have learned to hunt: Transmission of hunting methods and techniques among the Central Kalahari San. *African Study Monographs* 50, Suppl: 25-41. (査読)
- Omura, K.
2015 The Two Faces of Tomorrow: Human Bio-sociocultural Diversity Expanded through Space Development. *Challenges of Space Anthropology* (JAXA Research and Development Memorandum JAXA-RM-14-012E). Tokyo: JAXA, pp. 5-32.
- Sonoda, K., Peng, Y., Sekino, A., Yanohara, Y., Sekiguchi, K., Hagino, I., and Oishi, T.
2015 Book Review: Hunter-Gatherers of the Congo Basin: Cultures, Histories, and Biology of African Pygmies. New Brunswick: Transaction Publishers. *Hunter Gatherer Research* 1(2): 269-276.
- 大村敬一
2015 「人類でなくなるための人類学：受動的な能動性が拓くおぞましくも美しき未来」『現代思想』 vol. 43 (13): 227-245
- 亀井伸孝(編)
2015 「第 11 回子ども学会議報告 シンポジウム B 文化的・社会的環境で育つ子ども：アフリカ子ども学の試み」『チャイルド・サイエンス』(日本子ども学会) 11: 53-58.
- 寺嶋秀明
2015 「森に生きる技術—人とつながる・自然とつながる」『フィールドプラス』 No.14: 8-9. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 寺嶋秀明
2015 「狩猟採集社会の子どもの生活と学習」『日本人類学会進化人類学分科会ニュースレター』 2015/11: 11-15.

2014

- Hagino, I., H. Sato, and T. Yamauchi
2014 The demographic characteristics and nutritional status for a hunter-gatherer society with social transitions in southeastern Cameroon. *African Study Monographs* 47, Suppl: 45-57. (査読)
- Omura, K.
2014 The Two Faces of Tomorrow: Human Bio-sociocultural Diversity Expanded Through Space Development. *Challenges of Space Anthropology. JAXA Research and Development Memorandum (JAXA-RM-14-012E)*: 5-32. (査読)
- Sato, H., K. Hayashi, H. Inai, R. Yamaguchi, K. Kawamura, and T. Yamauchi
2014 A controlled foraging trip in a communal forest of southeastern Cameroon. *African Study Monographs*, Suppl 47: 5-24. (査読)
- Yamauchi, T., H. Sato, and K. Kawamura
2014 Nutritional status and physical fitness of Pygmy hunter-gatherers living in the African rainforests. *African Study Monographs* 47, Suppl: 25-34. (査読)
- 今村 薫
2014 「カラハリ狩猟採集民の狩猟技術—人類進化における人と動物の根源的つながりを探って」名古屋学院大学論集 (人文・自然科学篇) 51(1): 31-42.
- 窪田幸子
2014 「先住民／少数者の工芸、衣装による表象—アイデンティティの政治学とモノ研究」『民博通信』 145: 10-11.
- 園田浩司
2014 「環境に支えられた教示の相互行為分析—狩猟採集民バカの事例から」『生態人類学会ニュースレター』 19: 15-18.
- 高田 明
2014 「家族関係と子どもの発達：人類学的アプローチ」乳幼児医学・心理学研究 23(1): 11-18. (招待論文)
- 林 耕次
2014 「バカ・ピグミーのゾウ狩猟者トゥーマ (tuma) の知識と葛藤」『生態人類学会ニュースレター』 20: 21-23.

2013

- Hagino, I., K. Hayashi, K. Kawamura, H. Sato, and T. Yamauchi

2013 Adolescent growth spurt and growth pattern factors related to the short stature of pygmy hunter-gatherers of Southeast Cameroon. *Annals of Human Biology* 40(1): 9-14. (査読)

- Takada, A.
2013 Generating morality in directive sequences: Distinctive strategies for developing communicative competence in Japanese caregiver-child interactions. *Language & Communication* 33: 420-438. (査読)
- 高田 明
2013 「ナミビアにおける教育改革についての一考察: オバンボランドのクンをめぐる教育実践」『アフリカ教育研究』4: 19-34. (招待論文)

2012

- Liszkowski, U., O. Brown, T. Callaghan, A. Takada, and C. de Vos
2012 A prelinguistic gestural universal of human communication. *Cognitive Science* 36(4): 698-713. (査読)

2011

- Hewlett, B.S., H.N. Fouts, A.H. Boyette, and B.L. Hewlett
2011 Social learning among Congo Basin hunter-gatherers. *Phil. Trans. R. Soc. B* 366: 1168-1178. (査読)
- 安藤寿康
2011 「教育学は科学か思想か—進化教育学の射程」慶應義塾創立 150 年記念論集『自省する知』87-117. 東京: 三田哲学会刊.
- 今村 薫
2011 「アフリカ狩猟採集民のシャーマニズム」『名古屋学院大学論集 (社会科学篇)』47(4): 51-64.
- 萩野 泉、山内太郎、川村協平、佐藤弘明
2011 「カメルーン南東部に居住するピグミー系狩猟採集民の子どもの思春期スパートと栄養状態」『日本成長学会雑誌』17 (2): 69-76.

2010

- Takada, A.
2010 Changes in Developmental Trends of Caregiver-Child Interactions among the San: Evidence from the !Xun of Northern Namibia. *African Study Monographs, Supplementary Issue* 40: 155-177. (査読)
- 今村 薫
2010 「序—人類史構築の必要性」『文化人類学』(特集: 人類史の空間論的再構築—移動、出会い、コンクリフト) 74(4): 513-516. (査読)
- 高田 明
2011 「転身の物語り: サン研究における「家族」再訪」『文化人類学』75(4): 551-573. (査読)
- 山上榮子
2010 「コラージュ解釈仮説の試み(その 1)—スコアリングカテゴリーの提案」『コラージュ療法学研究』1 (1): 3-16. (査読)
- 山上榮子
2010 「コラージュ解釈仮説の試み(その 2)—ペルソナ理論を含む質的分析を加えた統合的解釈をめざして」『コラージュ療法学研究』1 (1): 17-29. (査読)
- 山上榮子
2010 「トラウマ・サバイバー支援のためのアセスメント—サブ・グループ化による事例理解」『神戸学院大学カウンセリングセンター紀要』3: 41-51.

【学会発表】

2016

- Takada, A.
2016 Deconstructing in- and out-group biases: An ethnographic approach. A paper presented at the symposium "Lights and shadows of in and outgroup bias: From development and evolutionary views" at 31st International Congress of Psychology, Yokohama, Japan, 24-29th July 2016 (July 29th) Program, p.168. (refereed)
- Takada, A.
2016 Towards the gesture analysis of early ethnographic films. A paper presented at the workshop "Infant-Caregiver Interaction", held at Human Ethology Film Archive, Senckenberg, Frankfurt am Main, Germany, 9-10th April 2016 (April 9th). (Invited Speaker)
- Takada, A.
2016 Is There Cultural Evidence for Different Conceptions of Attachment? Group discussion at Ernst Struengmann Forum "Contextualizing Attachment: The Cultural Nature of Attachment", Frankfurt am Main,

Germany, 3-8th April 2016. (Invited Participant)

- Yamagami, E.
2016. The integrative interpretation of collage expression: On cases with autism spectrum disorder. The 31st International Congress of Psychology. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan.
- 今村薫, S. T. Nurtazin, R. Salmurzauli, M. K. Iklasov and A. Baibagysov
2016 「カザフスタンにおける家畜ラクダの分布と牧畜技術の変遷」 日本沙漠学会秋季シンポジウム、名古屋(名古屋学院大学), 2016.10.16
- 今村薫
2016 「人はなぜハイブリッドを作出するのか—カザフスタンにおけるラクダ飼育の現状」 第 70 回日本人類学会大会, 新潟(新潟医療福祉大学), 2016.10.9
- 今村薫
2016 「種を越えたハイブリッドを作出しつづける人たち—カザフスタンにおけるラクダ飼育の現状」 第 50 回日本文化人類学会大会、名古屋 (南山大学)、2016.5.28
- 今村薫 「サンの遊びと模倣」 日本アフリカ学会中部支部 2015 年度第 1 回例会、(中部人類学談話会共催)、愛知県立大学サテライトキャンパス、2016.1.23
- 彭 宇潔
2016 「「女性のファッション」：狩猟採集民バカのイレズミ実践」 FieldNet 研究会『装い／社会／身体—フィールドワーカーによる通文化比較研究』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2016. 1.10.
- 寺嶋秀明
2016 「ヒトは誰と一緒にいたいのか—狩猟採集民の生態と社会から考える」 日本霊長類学会自由集会, 2016.7.15, 鹿児島大学.
- 山上榮子・石崎淳一・赤堀富子
2016 自閉症スペクトラムへのアート支援—写生画の特徴から. 日本芸術療法学会第 48 回大会, 多摩美術大学, 八王子.

2015

- Kubota, S.
2015 Innovation of paintings and its transmission—Case studies from aboriginal art in Australia. *The 10th Conference on the RNMH Project*. 2013.3.7-8. Kochi Kaikan, Kochi, Japan.
- Peng, Y.
2015 The evidence of proximity: Tattoo practices in the fluid life among the Baka in southeastern Cameroon. *11th Conference of Hunting and Gathering Societies*. Vienna, Austria. September, 2015.
- Sonoda, K.
2015 Baka's Ambiguous' Utterance and Their Group Hunting, *CHAGS11 (11th Conference on Hunting and Gathering Societies)*, 7 - 11th Sep, 2015. The World Museum Vienna, Vienna.
- Takada, A.
2015 Panel discussant of Plenary III: CHAGS11: What have we learnt. *The 11th Conference on Hunting and Gathering Societies*. 7-11 September 2015. University of Vienna, Vienna, Austria. CHAGS XI Complete Printed Program, p. 25. (査読)
- Takada, A.
2015 Kinship and naming practices among the !Xun of north-central Namibia. *Paper presented at the 11th Conference on Hunting and Gathering Societies*. 7-11 September 2015. University of Vienna, Vienna, CHAGS XI Complete Printed Program, p. 39. (査読)
- Takada, A.
2015 Action anticipation in singing and dancing activities among toddlers of the !Xun of north-central Namibia. *Paper presented at Loch Lomond Symposium on Action Anticipation*. 2-4 September 2015. Ross Priory, Loch Lomond, UK. Abstracts, p. 13. (招待講演)
- Takada, A.
2015 Socialization of toddlers through participating in singing and dancing activity of multi-aged child group of the !Xun of north-central Namibia. *Paper presented at the panel "The emergence of participation: a developmental perspective" at Revisiting Participation. Language and Bodies in Interaction*. 24-27 June 2015. University of Basel, Switzerland.
- Takada, A.
2015 Unfolding cultural meanings: Wayfinding practices among the G|ui/G||ana of the Central Kalahari.

Paper presented at the Satterthwaite Colloquium on African Ritual and Religion. May 25-28, 2015. Grasmere, U.K., Abstracts, p. 9.

- Takada, A.
2015 What kinds of child and family studies can an anthropologist conduct? A case study of the !Xun of north-central Namibia. *Paper presented at the NIAS workshop "Children seen and heard across the globe: A multidisciplinary cross-cultural approach to video data of family life and child development"*. 29 April - 1 May 2015. NIAS, Wassenaar, the Netherlands.
- 彭 宇潔.
2016 「「女性のファッション」：狩猟採集民バカのイレズミ実践」FieldNet 研究会『装い／社会／身体－フィールドワーカーによる通文化比較研究』. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2016. 1.10.
- 今村 薫
2015 「狩猟採集民はいかに自然を学んできたか」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 亀井伸孝
2015 「学習、遊び、教育に関する理論的、民族誌的研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 小山 正
2015 「狩猟採集生活のなかで育つ子供の象徴機能の発達—Baka の子どもの調査から—」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 園田浩司
2015 「集団猟にみる生活世界：カメルーン東部バカの子どもによる会話の組織化」日本文化人類学会研究大会. 5 月 30 日-31 日. 大阪国際交流センター. 大阪.
- 園田浩司
2015 「子どもの狩猟参加を構造化する周囲の協力：カメルーン狩猟採集民バカ・ピグミーの事例」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 高田 明
2015 「ヒト—チンパンジー間インタラクションにおける相互モニタリング. ワークショップ：社会的状況におけるインタラクションの源泉を探る」九州大学コラボ・ステーション. 2015.3.27-28 (2015・3・27).
- 高田 明
2015 「社会的状況における教育と学習：セントラル・カラハリ・サンの事例から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 寺嶋秀明
2015 「狩猟採集社会の子どもの生活と学習」日本人類学会進化人類学分会第 34 回シンポジウム『子供の時期から見た人類進化』2015. 5. 16. 京都大学理学セミナーハウス.
- 寺嶋秀明
2015 「イノベーションはどのように生まれるか」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 萩野 泉、山内太郎
2015 「狩猟採集民 Baka の子どもにおける食物獲得への参与と成果—16 日間の狩猟キャンプにおける観察から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 山内太郎
2015 「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態：現代の狩猟採集民のフィールド調査とネアンデルタールのエネルギー適応戦略仮説」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学

習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.

- 山内太郎
2015「ネアンデルタール人の成長・発達と栄養生態」『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.2.7. 東京：東京大学.
- 山上榮子
2015「アートを遊ぶ子供たち—バカ・ピグミーと現代社会の子どもの描画とコラージュから」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.

2014

- Hagino, I. and T. Yamauchi
2014 Fertility and population dynamics of Baka hunter-gatherers in southeast Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Hewlett, B.
2014 Innovation, processes of social learning and modes of cultural transmission amongst the Chabu adolescent forager-farmers of Ethiopia. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Hewlett, B.S.
2014 Cognition and cultural niche construction among Neanderthals and Modern Humans. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Imamura, K. and H. Akiyama
2014 Learning process on the skills of reading nature. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kamei, N.
2014 Theoretical and ethnographic studies on play and learning behaviors: The case of hunter-gatherer children in the forest. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Koyama, T.
2014 Cognitive development of Baka Pygmy children growing up in modern hunter-gatherer society. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Koyama, T.
2014 Development in geometric figures recognition of Baka Pygmy children. *The Jean Piaget Society, 44th Annual Meeting*. 2014.5.29-30. San Francisco, USA.
- Kubota, S.
2014 Indigenous recognition and the social changes in Australia. *IUAES 2014 with JASCA*. 2014.5.15-18. Makuhari Messe, Chiba, Japan.
- Takada, A.
2014 Communicative musicality and socialization among the !Xun of north-central Namibia. *Series of Guest Lectures in Psychology, Center for Developmental & Applied Psychological Science*. 2014.11.27. Aalborg University, Denmark.
- Terashima, H.
2014 The beginning of symbolic art and the learning cycle in nature. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Yamagami, E.
2014 Mediated action through art works among children: Similarities and differences between traditional and modern society. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Yamauchi, T.

2014 Evolution of learning capacity and acquired behaviors of Modern Humans from the perspective of life history and brain development. Cameroon. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.

- 今村 薫
2014「模倣による自然の読み取り」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 大村敬一
2014「文化人類学からネアンデルタール人と新人サピエンスの交替劇を考える」『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2014.9.28. 東京：東京大学.
- 大村敬一
2014「メタ学習のメカニズム：カナダ・イヌイトの子どものからかいを通じた学習」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 亀井伸孝
2014「拡張された手としての道具」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 窪田幸子
2014「交替劇における芸術の役割」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 小山 正
2014「狩猟採集生活の中で育つバカ・ピグミーの子どもたちの学習能力とその発達速度」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 高田 明
2014「2014 年度研究計画：カラハリ砂漠における社会学習と環境」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 寺嶋秀明
2014「狩猟採集民における社会性の拡張と創造的社会学習の基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 寺嶋秀明
2014「人類社会における教育の進化」『ヒトがヒトであるゆえん—学習能力の進化をめぐる—』日本人類学会第48回研究大会. 人類学関連学会協議会 2014 年度合同シンポジウム. 2014.5.17. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 山内太郎
2014「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態：サピエンスとの学習能力差の基盤の解明：2014 年度研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 山上榮子
2014「共同行為における学習—アトワークをめぐる子どもたちの関係性から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.

2013

- Ando, J.
2013 Why did the Neanderthals have larger brains than *Homo sapiences*?: Relationship between growth in

- head circumference and socio-cognitive abilities. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Imamura, K.
2013 The sharing system and acquiring technology in San hunter-gatherer society. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Kubota, S.
2013 Place of art in 'Replacement of Neanderthals by Modern Humans'. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Kubota, S.
2013 Why Australian Aboriginal Arts are so impressive for us? *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Nobutaka, K.
2013 Brain science on play. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Omura, K.
2013 Mechanism of meta-learning: The evolutionary basis of Creativity. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Omura, K.
2013 Ability of objectification as the basis for meta-learning and creativity: Teasing as the device for training children in Canadian Inuit Society. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Oyama, T.
2013 Development of the capacity for metarepresentation and symbolic play in Baka Pygmy children. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Yamagami, E.
2013 The learning in art works: Through the collaborative collage-making and drawing of Baka Pygmy children. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Yamauchi, T.
2013 Life history and nutritional ecology of the Neanderthals. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Yamauchi, T.
2013 Evolution of learning capacity and learned behaviors of modern humans from the perspective of life history. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Yamauchi, T.
2013 Comparative and evolutionary perspectives on human body and brain growth. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - 安藤寿康
2013 「なぜネアンデルタールの脳はサピエンスより大きかったのか？—頭囲の成長速度と社会認知能力の遺伝的関連から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 今村 薫
2013 「模倣による技術習得と遊び」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 今村 薫
2013 「狩猟採集民サンの社会における共有性と技術」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 大村敬一
2013 「『戦略』と『戦術』：極北圏への適応に必要な認知技能」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 大村敬一
2013 「メタ学習のメカニズム：創造性の進化史的基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇

の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

- 大村敬一
2013「メタ学習と創造性の能力を育む「からかい」：カナダ・イヌイトの子どもの学習過程にみる身構えの習得」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 亀井伸孝
2013「狩猟採集社会の子どもたちにおける遊びと文化伝承：カメルーン共和国バカの事例」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 窪田幸子
2013「交替劇 2012 年度研究成果報告」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 窪田幸子
2013「オーストラリア・アボリジニの投槍器と槍：技術伝播の一考察」『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 班合同研究会. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
- 窪田幸子
2013「交替劇と芸術」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 窪田幸子
2013「なぜアボリジニの芸術はわれわれの心を打つのか—交替劇の文脈から—」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 小山 正
2013「バカ・ピグミーの子どもにおける認知的柔軟性の発達」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 小山 正
2013「Baka Pygmy の子どもの象徴遊びにみるメタ表象能力の発達」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 高田 明
2013「狩猟採集社会における知識の伝達と生成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 高田 明
2013「2012 年度研究報告：共同的音楽性，社会的学習，環境知覚」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 寺嶋秀明
2013「狩猟採集社会と移動の意味」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 寺嶋秀明
2013「社会ネットワーク・交流」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.

- 寺嶋秀明
2013「学習能力の基盤と教育の進化についての考察」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 林 耕次
2013「カメルーンの狩猟採集民バカ・ピグミーの狩猟活動と狩猟具をめぐる研究（2012年度研究報告）」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 林 耕次
2013「アフリカの狩猟採集民の狩猟史：とくに狩猟方法と狩猟具について」『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」計画研究 A01/A02/B02 班合同研究会. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
- 早木仁成
2013「チンパンジーの狩猟」『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」A01/A02/B02 班合同研究会. 2013.2.9-10. 仙台：東北大学.
- 松本直子
2013「芸術はどのような状況で生まれるのか—考古学的検討」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 山内太郎
2013「サピエンス、ネアンデルタールのライフステージと栄養生態」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 山内太郎
2013「狩猟採集民の子どものライフスタイルと集団の人口構造、人口動態」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 山内太郎
2013「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態：サピエンスとの学習能力差の基盤の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 山内太郎
2013「ライフヒストリーから見た学習能力・学習行動の進化 – 身体と体の成長・発達」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 山内太郎
2013「ヒトの体と脳の成長：人類進化の視座から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 山上榮子
2013「創造性から見たピグミーの子どもたちの表現—コラージュと描画とハンドテストから」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 山上榮子
2013「アートワークにおける学習諸相—バカピグミーの子どもたちの共同描画とコラージュ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

2012

- Ando, J.
2012 Comparison Between Individual, Imitative and Instructive Learning. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.

- Hagino, I. and T. Yamauchi
2012 Daily Physical Activity and Time-Space Allocation of Pygmy Hunter-Gatherers' Children in Southeast Cameroon. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Hayashi, K., R. Ishii, Y. Nakamura, H. Terashima, and Y. Nishiaki
2012 Technical Transmission of Hunting Tool Manufacture: A Case of Spear Hunting Among Modern Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Hewlett, B.
2012 "Finding the Spirit to Create" Innovation and Social Learning Among Aka Adolescents of the Central African Rainforest. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Hewlett, B.S.
2012 Teaching, Trust, and Early Rapid Social Learning in Hunter-Gatherers. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Horiuchi, S. and S. Kubota
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Innovation. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Imamura, K.
2012 Hunting Play Among San Children. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kamei, N.
2012 Play Activities and Cultural Transmission Among Hunter-Gatherer Children: The Case of the Baka in Cameroon. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Koyama, T.
2012 Cognitive Flexibility and Making Objects in Baka Children. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Omura, K.
2012 The Art of Patience as the Emotional Basis for Creativity and Cultural Learning: Learning and Ecological Adaptation Among the Canadian Inuit. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Takada, A.
2012 Communicative Musicality and Learning in Caregiver-Child Interactions Among the San of North-Central Namibia. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Terashima, H.
2012 Evolutionary Development of Learning and Teaching Strategies in Human Societies. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Yamagami, E.
2012 The Resilience of Pygmy Children- On Their Drawings about Favorite Things. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Yamauchi, T. and I. Hagino
2012 Estimation of the Period of Childhood and Child Growth Characteristics of Pygmy Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- 今村 薫
2012 「サンの子どもの社会化と遊び」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会.

2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

- 大村敬一
2012「創造性と文化学習の感情的基盤としての忍耐：カナダ極北圏のイヌイトの学習と生態適応」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 窪田幸子
2012「狩猟採集民にとっての儀礼の意味—アボリジニの教育プロジェクト事例から考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 小山 正
2012「狩猟採集生活の中で育つ Baka の子どもの絵の理解」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 寺嶋秀明
2012「現生狩猟採集民との比較による初期人類の生態学的革新と学習能力の諸問題の検討」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 寺嶋秀明
2012「狩猟採集民の子どもの成長と学習」第66回日本人類学会大会. シンポジウム 15. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 山内太郎
2012「狩猟採集民の子どものライフスタイルと集団の人口構造、人口動態」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 山上榮子
2012「ピグミーの子どもたちの創造性—共同遊びと合同イメージ表現から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

2011

- Hewlett, B.
2011 Social learning among hunter-gatherer adolescents of the Congo Basin: A preliminary study. *The 2th Conference on the RNMH Project*. 2011.2.19-20. Kobe Gakuin University, Kobe, Japan.
- Hewlett, B.S.
2011 Social learning among Congo Basin hunter-gatherers. *The 2th Conference on the RNMH Project*. 2011.2.19-20. Kobe Gakuin University, Kobe, Japan.
- Musharbash, Y.
2011 Ways of knowing and ways of learning: A sketch of proposed research at Yuendumu, central Australia. *The 2th Conference on the RNMH Project*. 2011.2.19-20. Kobe Gakuin University, Kobe, Japan.
- Takada, A.
2011 From rhythm to morality: Communicative musicality among the San of Southern Africa. Paper presented at the International Conference: *From birth for life*. 2011.10.15. St. Cecilia's Hall, Edinburgh, Scotland.
- Takada, A.
2011 Surname and inter-ethnic relationships of the Ekoka !Xun. Paper presented at the 4th International Symposium on Khoisan Languages and Linguistics: *The hunter-gatherer legacy of Khoisan-speaking peoples: in memory of Hans den Besten (1948-2010)*. 2011.7.12. Riezlern/Kleinwalsertal, Austria.
- Takada, A.
2011 Sensing action sediments: Some features of directive sequences in Japanese caregiver-child interactions. Paper presented at the 13th Annual meeting of the Japanese Society for Language Sciences invited symposium: *Reconsidering "communicative competence": Findings and suggestions from fieldwork/empirical research*. 2011.6.25. Kansai University, Suita, Japan.
- Takada, A.
2011 Responsibility formation in early caregiver-child interactions among the !Xun of North-Central Namibia. *The International Conference: Towards an anthropology of childhood and children: Ethnographic*

fieldwork diversity and construction of a field. 2011.3.9-11. Institute of Human and Social Sciences, University of Liege, Belgium.

- ・ 安藤寿康
2011「教育学の視点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 今村 薫
2011「遊牧民のテント製作と身体尺」第65回日本人類学会大会.一般口演 4. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 今村 薫
2011「セントラル・カラハリ・サンの日中活動と子どもの学習過程」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 大村敬一
2011「文化人類学の視点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 愛知：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 大村敬一
2011「子どもへの大人の関わり方—カナダ極北圏のイヌイトの学習過程に関する研究の指針—」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 亀井伸孝
2011「狩猟採集民の子どもの社会的行動」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 窪田幸子
2011「アボリジニの学習とその問題点—調査の前提として」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 小山 正
2011「心の理論の発達と言語獲得—その発達段階」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 高田 明
2011「狩猟採集民研究の視点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 高田 明
2011「ナミビア北東部のサンにおける歌／踊り活動を通じた社会化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- ・ 寺嶋秀明
2011「人類進化と教えない教育の系譜」第65回日本人類学会大会.シンポジウム 6. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 寺嶋秀明
2011「新しい学習／教育のパラダイムを求めて：狩猟採集民と21世紀の高度情報社会」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 寺嶋秀明
2011「学習にかかわる狩猟採集社会の特性—自立・平等性・シェアリング」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.

- ・ 中伊津美、氷上光輝、中山一大、古賀農人、西田奈央、木村亮介、古澤拓郎、夏原和美、山内太郎、石田貴文、稲岡 司、松村康弘、大塚柳太郎、土屋尚之、大橋 順
2011「オセアニア集団における β アドレナリン受容体プロモーター多型と肥満との関連」第 65 回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 山内太郎
2011「狩猟採集民の身体とフィットネス：「遊び」と「食」からみた子どもの環境適応能」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 4 回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 山内太郎
2011「アフリカ熱帯林ピグミー系狩猟採集民の栄養生態：食物摂取、身体活動、体格、成長」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 3. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 山内太郎
2011「狩猟採集民の身体とフィットネス：「遊び」と「食」からみた子どもの環境適応能」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 山上榮子
2011「カメルーンの子どもの創造性：コラージュ表現と心理テストを通して」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.

2010

- ・ 今村 薫
2010「グイ／ガナの子どもの相互行為と遊び」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 大村敬一
2010「イヌイトの子どもの学習過程—カナダ極北圏のヌナブト準州」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 亀井伸孝
2010「ピグミー系狩猟採集民の子どもの遊びと学習」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 窪田幸子
2010「アボリジニの子供集団—オーストラリア、アーネムランド」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 小山 正
2010「初期象徴遊びの過程で見られる発達」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 寺嶋秀明
2010「学習・遊び・狩猟採集民」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 寺嶋秀明
2010「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』第 64 回日本人類学会大会シンポジウム. 2010.10.2. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター.
- ・ 山上榮子
2010「学習行動に関する発達心理学的研究—認知と創造性について」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究

「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.

【図書】

2016

- Ando, J.
2016 Evolutionary Locus of the Neanderthal between Chimpanzees and Modern Humans: A Working Memory, Theory of Mind and Brain Developmental, Piagetian Perspective. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 293-309. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Boyette, A.H.
2016 Children's Play and the Integration of Social and Individual Learning: A Cultural Niche Construction Perspective. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp.159-169. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Dira, S. and S. Hewlett
2016 Learning to Spear Hunt Among Ethiopian Chabu Adolescent Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp.71-81. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Hagino, I., and Yamauchi, T.
2016 High Motivation and Low Gain: Food Procurement from Rainforest Foraging by Baka Hunter-Gatherer Children. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 135-144. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Hayaki, H.
2016 Children, Play, Rules: Places of Expression of Institution. In: Kawai K (ed), *Institutions*. Kyoto Univ. Press and Trans Pacific Press. (in press) (査読)
- Hewlett, B.L.
2016 Innovation, Processes of Social Learning, and Modes of Cultural Transmission Among the Chabu Adolescent Forager-Farmers of Ethiopia. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 203-215. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Hewlett, B.S.
2016 Social Learning and Innovation in Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*. pp. 1-15, Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Hewlett, B.S., R.E.W. Berl, and C.J. Roulette
2016 Teaching and Overimitation in Among Aka Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*. pp. 35-45, Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Imamura, K.
2016 Hunting Play Among the San Children: Imitation, Learning, and Play. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 179-186. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Kaneko, M.
2016 Variations in Shape, Local Classification, and the Establishment of a *Chaîne Opératoire* for Pot Making Among Female Potters in Southwestern Ethiopia. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 217-227, Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Koyama, T.
2016 Early Social Cognitive Development in Baka Infants: Joint Attention, Behavior Control, Understanding of the Self Related to Others, Social Approaching, and Language Learning. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 237-241. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Kubota, S.
2016 Innovation of Paintings and its Transmission: Case Studies from Aboriginal Art in Australia. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers:*

- Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 229-234. Tokyo: Springer Japan. (査読)
- Musharbash, Y.
2016 Evening Play: Acquainting Toddlers with Dangers and Fear and Yuendumu, Northern Territory. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 171-177. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Omura, K.
2016 Sociocultural Cultivation of Positive Attitudes Towards Learning: Considering Differences in Learning Ability Between Neanderthals and Modern Humans from Examining Inuit Children's Learning Process. In H. Terashima H and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp.267-284. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Omura, K.
2016 The Ontology of Feeling: The Evolutionary Basis of 'Natural Institutions' in Inuit Extended Family Groups. In: Kawai K (ed), *Institutions*. Kyoto Univ. Press and Trans Pacific Press. (in press) (査読)
 - Peng, Y.
2016 Transmission of Body Decoration Among the Baka Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 83-93. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Sonoda, K.
2016 Constructing Social Learning in Interaction Among the Baka Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 113-124. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Takada, A.
2016 Education and Learning During Social Situations Among the Central Kalahari San. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 97-111. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Takada, A.
2016 Unfolding cultural meanings: Wayfinding practices among the San of the Central Kalahari. In W. Lovis & R. Whallon (Eds.), *Marking the Land: Hunter-gatherer Creation of Meaning in Etheir Environment*. London: Routledge, pp. 180-200. (査読)
 - Terashima, H.
2016 The Day Teaching Becomes Institution: An Evolutionary Perspective from Apes to Man. In K. Kawai (ed.) *Institution*. Kyoto: Kyoto Univ. Press and Trans Pacific Press. (In press) (査読)
 - Terashima, H.
2016 The RNMH Project and the Study of Social Learning in Modern Hunter-Gatherers. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. ix-xii. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Terashima, H.
2016 Hunter-Gatherers and Learning in Nature. In: H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 253-266. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Terashima, H.
2016 Reflections on Hunter-Gatherer Social Learning and Innovation. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 311-318. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Terashima, H. and B.S. Hewlett (eds.)
2016 *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*. 318 pages. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Yamagami, E.
2016 Learning in Collaborative Action Through the Art Works of Baka Pygmy Children. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives*, pp. 243-249. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Yamauchi, T.
2016 Body Growth and Life History of Modern Humans and Neanderthals from the Perspective of Human Evolution. In H. Terashima and B.S. Hewlett (eds.) *Social Learning and Innovation in Contemporary*

Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographic Perspectives, pp. 285-291. Tokyo: Springer Japan. (査読)

- 今村薫
2016 「アフリカの岩絵と狩猟採集民の動物観」 嶋田義仁、今村薫編著『岩絵文化と人類文明の形成—アフリカ、北欧、中央アジア、新疆、モンゴル』アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究叢書 12, 7-2、中部大学中部高等学術研究所

2015

- Hagino, I., T. Yamauchi
2015 The food procurement by Baka children in southeast Cameroon: From the observation of 16 days of foraging camp. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 74. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Imamura, K.
2015 Life history and sexual relationships among female Kalahari hunter-gatherers. In J. Yamagiwa, A. Filippo, and T. Furuichi (eds.) *Dispersing Primate Females, – Life history and social strategy in male-philopatric groups*, pp. 185-212. New York: Springer. (査読)
- Imamura, K.
2015 The learning process in how to read nature. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 56-57. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Kamei, N.
2015 Theoretical and ethnographic studies on learning, play and education. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 60-62. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Koyama, T.
2015 Symbolic development in the children growing up in hunter-gatherer society: From the study of Baka children. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 68. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Kubota, S.
2015 Innovation of paintings and its transmission—Case studies from aboriginal art in Australia. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 63-66. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- Sonoda, K.
2015 Companions' cooperation to structure children's participation in group hunting: The case of Baka Pygmies hunter-gatherer in Cameroon. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 71. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Takada, A.
2015 Re-enacting Birth: The Spread of the Chebama Treatment among the G|ui and G||ana. In H. Terashima (ed.) 『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』 53-62. Progress Report. No.5 of Research Team A02.
- Takada, A.
2015 *Narratives on San ethnicity: The cultural and ecological foundations of lifeworld among the !Xun of north-central Namibia*. Kyoto University Press & Trans Pacific Press.
- Takada, A.
2015 Education and learning during social situations: With special reference to the San of the Central Kalahari. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 72. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Terashima, H. and Hewlett, B.S. (eds)
(in Press) *Social Learning and Innovation in Contemporary Hunter-Gatherers: Evolutionary and Ethnographical perspectives*. Tokyo: Springer Japan.
- Terashima, H.
2015 How do innovations come about? In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 25. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Yamagami, E.
2015 Playing art children —From their drawing and collage in Baka Pygmy and modern society. In T.

- Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 78. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Yamauchi, T.
2015 Life history and nutritional ecology of the Neanderthals: Field surveys in a modern hunter-gatherer population and an energetic adaptation hypothesis for Neanderthals. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 76. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - 今村 薫
2015 「ボツワナにおける教育の社会学的調査-遠隔地におけるライフスキルの発展を目指して-」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 71-76.
 - 今村 薫
2015 「狩猟採集民はいかに自然を学んできたか」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 54-55.
 - 今村 薫
2015 「サンの世界観」(秋田茂・永原陽子・羽田正・南塚信吾・三谷博・桃木至朗編)『「世界史」の世界史』東京：ミネルヴァ書房.
 - 大村敬一
2015 「多重拡張する精神の可能性：ネアンデルタールから宇宙まで」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 19-37.
 - 小山 正
2015 「狩猟採集生活の中で育つ Baka の子供の物の名称学習とカテゴリ化」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 39-44.
 - 小山 正
2015 「狩猟採集生活のなかで育つ子供の象徴機能の発達—Baka の子どもの調査から」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 67.
 - 亀井伸孝
2015 「学習,遊び,教育に関する理論的,民族史的検証」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 77-80.
 - 亀井伸孝
2015 「学習、遊び、教育に関する理論的、民族誌的研究」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 58-60.
 - 窪田幸子
2015 「絵画スタイルの革新とその継承—学習仮説の具体的検証」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 81-86.
 - 園田浩司
2015 「子どもの狩猟参加を構造化する周囲の協力—カメルーン狩猟採集民バカ・ピグミーの事例」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 63-79.
 - 園田浩司
2015 「子どもの狩猟参加を構造化する周囲の協力：カメルーン狩猟採集民バカ・ピグミーの事例」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 69-70.
 - 園田浩司
2015 「狩猟採集民バカ・ピグミーの狩猟と『あいまいな発話』」『動物と出会う I: 出会いの相互行為』23-35. 東京：ナカニシヤ出版.
 - 高田 明
2015 「社会的状況における教育と学習：セントラル・カラハリ・サンの事例から」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」

研究大会報告書 No. 10: 72.

- 田邊宏樹
2015「ネアンデルタール人の脳の中身を探る」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 30.
- 寺島秀明
2015「自然のなかで学ぶ—狩猟採集民の学びと共感的コミュニケーション」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 1-18.
- 寺島秀明
2015「イノベーションはどのように生まれるか」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 24.
- 萩野 泉、山内太郎
2015「狩猟採集民 Baka の子どもにおける生態：食物獲得への参与と成果」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 93-100.
- 萩野 泉、山内太郎
2015「狩猟採集民 Baka の子どもにおける食物獲得への参与と成果—16 日間の狩猟キャンプにおける観察から」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 73.
- 山内太郎
2015「ネアンデルタール人の成長・発達と栄養生態」佐野勝宏編『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』7-8. 公開講演会予稿集.
- 山内太郎
2015「ネアンデルタールとサピエンスの交替劇：脳の成長・成熟およびロコモーションのエネルギー効率の視座から」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 87-92.
- 山内太郎
2015「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態：現代の狩猟採集民のフィールド調査とネアンデルタールのエネルギー適応戦略仮説」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 75.
- 山上榮子
2015「アートの力と子どもたち—バカ・ピグミーの子どもたちの描画とコラージュから」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 5』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 5: 45-52.
- 山上榮子
2015「アートを遊ぶ子供たち—バカ・ピグミーと現代社会の子どもの描画とコラージュから」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 75.

2014

- Ando, J.
2014 Psychological learning model of the Neanderthals. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 63. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Ando, J.
2014 Comparisons Between Individual, Imitative and Instructed Learning. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume. 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 17-23. Tokyo: Springer Japan.
- Hagino, I. and T. Yamauchi
2014 Fertility and population dynamics of Baka hunter-gatherers in southeast Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 143-144. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hewlett, B.
2014 Innovation, processes of social learning and modes of cultural transmission amongst the Chabu

- adolescent forager-farmers of Ethiopia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 88. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hewlett, B.S.
2014 Cognition and cultural niche construction among Neanderthals and Modern Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 89. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Imamura, K.
2014 The skills of reading nature by mimic and imitation. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 55. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Imamura, K. and H. Akiyama
2014 Learning process on the skills of reading nature. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 142. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Imamura, K. and R. Lekoko (eds.)
2014 *A Sociological Study of Education in Botswana: Towards Lifeskills Development for People in Remote Area*. Nagoya: Research Institute, Nagoya Gakuin University.
 - Kamei, N.
2014 Tools as expanded hands. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 59. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Kamei, N.
2014 Theoretical and ethnographic studies on play and learning behaviors: The case of hunter-gatherer children in the forest. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 90-92. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Koyama, T.
2014 Learning behavior and its rate in Baka Pygmy children growing up in modern hunter-gatherer society. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 51. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Koyama, T.
2014 Cognitive Flexibility and Making Objects in Baka Pygmy Children. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 33-37. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Koyama, T.
2014 Cognitive development of Baka Pygmy children growing up in modern hunter-gatherer society. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH2014: RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 139-144. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kubota, S.
2014 What is the role of art in 'RNMH'? In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 53. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Omura, K.
2014 Mechanism of Meta-learning: Teasing as the Device for Training Children in Canadian Inuit Society. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 57. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Omura, K.
2014 The ability of objectification as the basis for cultural learning and creativity: Teasing as the device for training children in Canadian Inuit society. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 108. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Omura, K.
2014 The Ability to Objectify Conventional Styles of Problem-Solving: A Hypothesis on the Difference in Learning Ability Between Modern Humans and Neanderthals. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 25-31. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Sonoda, K.
2014 The "Easy-going" Attitude of Knowledgeable Participants in Hunting and Gathering Activities. In H. Terashima (ed.) 『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』 149-159. Progress Report No.4 of Research Team A02.
 - Takada, A.

- 2014 Research proposal in 2014 (fiscal year): Social learning and the environment in the central Kalahari. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 65. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Takada, A.
2014 Kinship and caregiving practices among the Ekoka !Xun. In A. Barnard and G. Boden (eds.) *Southern African Khoisan kinship systems. Research in Khoisan Studies Vol. 30*, pp. 99-120. Cologne, Germany: Ruediger Koeppe Verlag Koeln.
 - Terashima, H.
2014 Hunter-gatherers' extended sociality and the foundations of innovative social learning. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 49. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2014 The beginning of symbolic art and the learning cycle in nature. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 106-107. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Yamagami, E.
2014 The learning in collaborative action From the relationship between children on art works. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 61. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Yamagami, E.
2014 The Demonstration of Resilience in the Drawing of Baka Pygmy Children. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 39-48. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Yamagami, E.
2014 Mediated action through art works among children: Similarities and differences between traditional and modern society. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 137-138. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Yamauhi, T.
2014 Life history and nutritional ecology of the Neanderthals: FY2014 Research Plan. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 67. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Yamauhi, T.
2014 Evolution of learning capacity and acquired behaviors of Modern Humans from the perspective of life history and brain development. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 36-37. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Yamauchi, T. and I. Hagino
2014 Estimate of the Period of Childhood and Child Growth Characteristics of Pygmy Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 99-103. Tokyo: Springer Japan.
 - 秋山裕之
2014 「小学校教育導入による少数民族社会への影響—ボツワナの狩猟採集民サンの事例」 寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A02 班研究報告書 No. 5: 129-134.
 - 安藤寿康
2014 「なぜネアンデルタールの脳はサピエンスより大きかったのか？—頭囲の成長速度と社会認知能力の遺伝的関連から」 寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A02 班研究報告書 No. 4: 78-86.
 - 安藤寿康
2014 「ネアンデルタール人の心理学的学習モデル」 西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」 研究大会報告書 No. 9: 62.
 - 今村 薫
2014 「セントラル・カラハリ・サンの狩猟技術」 寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」 A02 班研究報告書 No. 4: 123-128.
 - 今村 薫

- 2014「模倣による自然の読み取り」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 54.
- ・ 大村敬一
2014「メタ学習のメカニズム：創造性の進化史的基盤」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 31-40.
 - ・ 大村敬一
2014「メタ学習のメカニズム：カナダ・イヌイトの子どものからかいを通じた学習」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 56.
 - ・ 大村敬一
2014「文化人類学からネアンデルタール人と新人サピエンスの交替劇を考える」赤澤 威、荻原直道編『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』7-8. 公開講演会予稿集.
 - ・ 大村敬一
2014「パラドクスに潜む人類の秘密：なぜ人類はこのようなことを考えてしまうのか？」『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』121-138. 吹田：大阪大学出版会.
 - ・ 大村敬一
2014「未来の二つの顔：宇宙が開く生物＝社会・文化多様性への扉」岡田浩樹、木村大治、大村敬一編『宇宙人類学 の挑戦：人類の未来を問う』147-183. 東京：昭和堂.
 - ・ 小川 勝
2014「美術の起源：ショーヴェ洞窟壁画をめぐって」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 8-12.
 - ・ 亀井伸孝
2014「拡張された手としての道具」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 58.
 - ・ 窪田幸子
2014「アボリジニアートはなぜインパクトをもつのか？」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 3-7.
 - ・ 窪田幸子
2014「交替劇における芸術の役割」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 52.
 - ・ 窪田幸子
2014「アボリジニの困難と現代アボリジニアートの希望」山内由理子編『オーストラリア先住民と日本先住民族・交流・表象』244-264. 東京：御茶の水書房.
 - ・ 後藤 明
2014「現代のモノ作り論からみた技術と学習に関する研究ノート」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 87-114.
 - ・ 小山 正
2014「Baka Pygmy の子どものメタ表象能力の発達をめぐって」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 41-45.
 - ・ 小山 正
2014「狩猟採集生活の中で育つバカ・ピグミーの子どもたちの学習能力とその発達速度」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 50.
 - ・ 高田 明
2014「学習・教育における意図性の再考：実践を通じた社会的活動の構成，維持，再編」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 135-144.
 - ・ 高田 明
2014「2014 年度研究計画：カラハリ砂漠における社会学習と環境」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 64.

- 高田 明
2014「ポスト狩猟採集社会と子どもの社会化」池口明子・佐藤廉也編『ネイチャー・アンド・ソサエティ研究 第3巻: 身体と生存の文化生態』225-249. 滋賀: 海青社.
- 高田 明
2014「オバンボランドのクンと教育: 国家の枠組みを超えた教育の可能性」澤村信英編『アフリカの生活世界と学校教育』52-71. 東京: 明石書店.
- 田邊宏樹
2014「メタ認知の神経基盤」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 57-58.
- 田邊宏樹
2014「ネアンデルタール人の脳の仮想復元結果から考える」赤澤 威、荻原直道編『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』4-5. 公開講演会予稿集.
- 寺嶋秀明
2014「現代的行動としてのヒトと動物との関わり」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 115-122.
- 寺嶋秀明
2014「狩猟採集民における社会性の拡張と創造的社会学習の基盤」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 48.
- Peng, Y.
2014「身体装飾と移動から見る文化の革新—10代~20代前半のバカ・ピグミーに注目して」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 145-148.
- 明和政子
2014「ヒトの心の発達と教育の進化的基盤—胎児期からたどる」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 71-77.
- 山内太郎
2014「ヒトの体と脳の成長: 人類進化の視座から」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 61-66.
- 山内太郎
2014「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態: サピエンスとの学習能力差の基盤の解明: 2014年度研究計画」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 66.
- 山内太郎
2014「ヒトとネアンデルタールの生活史と学習」西秋良宏編『ホモ・サピエンスと旧人 2—考古学からみた学習』150-162. 東京: 六一書房.
- 山上榮子
2014「共同アートワークにおける学習諸相—バカ・ピグミーの子どもたちの描画とコラージュから」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 17-28.
- 山上榮子
2014「共同行為における学習—アートワークをめぐる子どもたちの関係性から」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 60.
- 若野友一郎
2014「ヒトの生活史における最適な学習スケジュール」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 4』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 4: 67-70.

2013

- Ando, J.
2013 Why did the Neanderthals have larger brains than *Homo sapiens*?: Relationship between growth in head circumference and socio-cognitive abilities. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 41. Proceedings of the 8th Conference

- on RNMH.
- Hayashi, K.
2013 The study of hunting activity and hunting tools among Baka hunter-gatherer in Cameroon (Research Report in fiscal year 2012). In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 113. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Hewlett, B.L.
2013 “Ekeloko” The Spirit to Create: Innovation and Social Learning Among Aka Adolescents of the Central African Rainforest. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 187-195. Tokyo: Springer Japan.
 - Hewlett, B.L.
2013 *Adolescent Identity: Evolutionary, Developmental and Cultural Perspectives*. London: Routledge University Press.
 - Hewlett, B.L.
2013 *Listen, Hear Is a Story: Ethnographic Live Narratives from Aka and Ngandu Women of the Congo Basin*. Oxford: Oxford University Press.
 - Horiuchi, S.
2013 Distribution of resources and the origin of inter-group communications. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 24. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Imamura, K.
2013 Transmission of techniques and play behavior by imitation among San children. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 102-103. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Imamura, K.
2013 The sharing system and acquiring technology in San hunter-gatherer society. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 12-13. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Imamura, K.
2013 Learning process on the skills of reading nature. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 63. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Kamei, N.
2013 Play activities and cultural transmission among hunter-gatherer children: The case of the Baka in Cameroon. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 106-107. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Kamei, N.
2013 Brain science on play. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 65. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Koyama, T.
2013 Development of cognitive flexibility in Baka Pygmy. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 97. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Koyama, T.
2013 Children's tool use development and understanding of others: From the view point of object representation and representation of actions. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 48. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Koyama, T.
2013 Development of the capacity for metarepresentation and symbolic play in Baka Pygmy children. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 25. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Kubota, S.
2013 Research Report in fiscal year 2012. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 94-95. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Kubota, S.
2013 Place of art in ‘Replacement of Neanderthals by Modern Humans’. In H. Terashima (ed.) *Replacement*

- of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 9. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Kubota, S.
2013 Why Australian Aboriginal Arts are so impressive to us? In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 11. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Omura, K.
2013 ‘Strategy’ and ‘Tactics’ Cognitive Skills Required for Adaptation to Arctic Environment. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 57. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Omura, K.
2013 Mechanism of meta-learning: The evolutionary basis of creativity. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 21. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Omura, K.
2013 Ability of objectification as the basis for meta-learning and creativity: Testing as the device for training in Canadian Inuit society. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 23. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Sonoda, K.
2013 An Interaction Analysis on Instruction/Learning Supported by Environment: A Case Study of the Baka in Eastern Cameroon. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 111. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Sonoda, K.
2013 An Interaction Analysis of “Indirect Actions” in Hunting Activities among the Baka Pygmies in Cameroon. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 87-94.
 - Takada, A.
2013 Socialization through shaping intimate relationships: Developmental transition in caregiving activities for young children among the !Xun of north-central Namibia. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 61-72.
 - Takada, A.
2013 Generation and re-generation of environmental knowledge in hunter-gatherer society. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 23. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Takada, A.
2013 Research Report in 2012(fiscal year): Communicative musicality, social learning, and environmental perception. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 109. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Takada, A.
2013 Research proposal in 2013(fiscal year): Cooperative mutual-coordination in the wayfinding practices among the G|ui/G|ana. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 51. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Takada, A.
2013 Ritualistic treatments, way-finding practices, and transmission of knowledge and skills. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 67. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2013 Hunting and gathering society and meaning of movement. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 19. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2013 The Foundation of learning Performance and evolution of education. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 90-91. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2013 A research in ecological anthropology for learning and education in Neanderthals and *Homo sapiens*. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*.

- Learning*. No. 7: 45-46. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Terashima, H. (ed.)
2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Terashima, H.
2013 Sociality and learning ability: An evolutionary perspective. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 61. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2013 The Evolutionary Development of Learning and Teaching Strategies in Human Societies. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1: Cultural Perspectives*, pp. 141-150. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Terashima, H.
2013 From the “here and now group” to the “distant group”: Hunter-gatherer bands. In K. Kawai (ed) *Groups: Evolution of Human Societies*, pp. 199-218. Kyoto: Kyoto University Press and Trans Pacific Press.
 - Yamagami, E.
2013 The cooperative activity of Baka-pygmy children: Through the group collage-making and drawing. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 50. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Yamagami, E.
2013 The learning in art works: Through the collaborative collage-making and drawing of Baka Pygmy children. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 17. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 Life stages and nutritional ecology in modern humans and Neanderthals. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 10. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 The expression of creativity by Baka-pygmy children. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 99. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 Children’s Lifestyle and The Demographic Structure and Dynamics of A Pygmy HunterGatherer Population. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 115. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 Life history and nutritional ecology of the Neanderthals. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 53. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 Evolution of learning capacity and learned behaviors of modern humans from the perspective of life history. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 33. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Yamauchi, T.
2013 Comparative and evolution perspectives on human body and brain growth. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 35. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - 安藤寿康
2013 「教示行動の進化的位置づけに関する考察」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 73-76.
 - 安藤寿康
2013 「なぜネアンデルタールの脳はサピエンスより大きかったのか？—頭囲の成長速度と社会認知能力の遺伝的関連から」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 40.

- ・ 今村 薫
2013「模倣による創造とコミュニケーション—サンの例から」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 53-60.
- ・ 今村 薫
2013「模倣による技術習得と遊び」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 100-103.
- ・ 今村 薫
2013「狩猟採集民サンの社会における共有性と技術」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 11-13.
- ・ 今村 薫
2013「「自然を読み取る」技術の学習」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 62.
- ・ 今村 薫
2011「カラハリ砂漠・狩猟採集民サンのヒーリング・ダンス」嶋田義仁編『シャーマニズムの諸相』120-138. 東京：勉誠出版社.
- ・ 大村敬一
2013「創造性と客体化の能力を育む「からかい」—カナダ・イヌイトの子どもの学習過程にみる身構えの習得」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 15-36.
- ・ 大村敬一
2013「『戦略』と『戦術』：極北圏への適応に必要な認知技能」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 56-57.
- ・ 大村敬一
2013『カナダ・イヌイトの民族誌—日常実践のダイナミクス』吹田：大阪大学出版会.
- ・ 大村敬一
2013「メタ学習のメカニズム：創造性の進化史的基盤」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 20.
- ・ 大村敬一
2013「メタ学習と創造性の能力を育む「からかい」：カナダ・イヌイトの子どもの学習過程にみる身構えの習得」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 22.
- ・ 大村敬一
2013「感情のオントロジー：イヌイトの拡大家族集団にみる<自然制度>の進化史的基盤」河合香吏編『制度：人類社会の進化』329-348. 京都：京都大学学術出版会.
- ・ 大村敬一
2013「食べ物の分かち合いと社会の成り立ち：カナダ・イヌイトの生業にみる食と社会のダイナミクス」根ヶ山光一、河原紀子、外山紀子編『子どもと食：「食育」を超えて』161-179. 東京：東京大学出版会.
- ・ 亀井伸孝
2013「狩猟採集社会の子どもたちにおける遊びと文化伝承：カメルーン共和国バカの事例」米田穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 104-107.
- ・ 亀井伸孝
2013「遊びの脳科学」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 64.
- ・ 窪田幸子
2013「境界を超える大儀礼と文化的イノベーションの可能性」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 11-14.
- ・ 窪田幸子
2013「交替劇 2012 年度研究成果報告」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真

- 相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 92-95.
- 窪田幸子
2013「オーストラリア・アボリジニの投槍器と槍：技術伝播の一考察」佐藤勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』：12.
 - 窪田幸子
2013「交替劇と芸術」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 8.
 - 窪田幸子
2013「なぜアボリジニの芸術はわれわれの心を打つのか—交替劇の文脈から」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 10.
 - 小山 正
2013「Baka Pygmy の子どもにおける表象と認知的柔軟性の発達」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 37-40.
 - 小山 正
2013「バカ・ピグミーの子どもにおける認知的柔軟性の発達」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 96-97.
 - 小山 正
2013「子どもの道具使用の発達と他者理解—物の表象と行為の表象の観点から」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 47-48.
 - 小山 正
2013「Baka Pygmy の子どもの象徴遊びにみるメタ表象能力の発達」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 24.
 - 高田 明
2013「狩猟採集社会における知識の伝達と生成」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 22-23.
 - 高田 明
2013「2012 年度研究報告：共同的音楽性，社会的学習，環境知覚」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 108-109.
 - 高田 明
2013「2013 年度研究計画：サンノ道探索実践における協調的な行為の相互調整」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 51.
 - 高田 明
2013「儀礼的治療、道探索実践、知識・技術の伝達」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 66.
 - 高田 明
2012「親密な関係の形成と環境：ナミビア北中部のクン・サンにおける養育者-子ども間相互行為の分析から」西 真如、木村周平、速水洋子編『講座 生存基盤論 第3巻，人間圏の再構築：熱帯社会の潜在力』23-51. 京都：京都大学学術出版会.
 - 寺嶋秀明
2013「ヒトにおける学習と教育の進化」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 1-10.
 - 寺嶋秀明
2013「狩猟採集社会と移動の意味」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 18-19.
 - 寺嶋秀明
2013「社会ネットワーク・交流」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学

習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 16-17.

- 寺嶋秀明
2013「学習能力の基盤と教育の進化についての考察」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 88-91.
- 寺嶋秀明
2013「学習と教育の進化に関する生態人類学的研究」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 44-46.
- 寺嶋秀明(編)
2013『第8回研究大会 ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』文部科学省・科学研究費補助金「新学術領域研究」2010-2014.
- 寺嶋秀明
2013「社会性の進化と学習能力の進化」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 60.
- 寺嶋秀明
2013「教えが制度となる日—類人猿から人への進化史的展望」河合香吏編『制度：人類社会の進化』95-117. 京都：京都大学学術出版会.
- 早木仁成
2013「チンパンジーの狩猟行動—人類進化における狩猟の出発点を考える」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 67-72.
- 早木仁成
2013「チンパンジーの狩猟」佐藤勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』9-10.
- 林 耕次
2013「バカ・ピグミーの槍製作とその技術継承」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 77-80.
- 林 耕次
2013「カメルーンの狩猟採集民バカ・ピグミーの狩猟活動と狩猟具をめぐる研究（2012年度研究報告）」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 112-113.
- 林 耕次
2013「アフリカの狩猟採集民の狩猟史：とくに狩猟方法と狩猟具について」佐藤勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』：11.
- 山内太郎
2013「サピエンス、ネアンデルタールのライフステージと栄養生態」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 9-10.
- 山内太郎
2013「狩猟採集民の子どものライフスタイルと集団の人口構造、人口動態」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 114-115.
- 山内太郎
2013「ネアンデルタールのライフステージと栄養生態：サピエンスとの学習能力差の基盤の解明」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 52-53.
- 山内太郎
2013「ライフヒストリーから見た学習能力・学習行動の進化—身体と心の成長・発達」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 32.
- 山内太郎
2013「ヒトの体と脳の成長：人類進化の視座から」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 34.

- 山内太郎、萩野 泉
2013「現代の狩猟採集民からネアンデルタールの生活史を考える：ライフスタイル，成長パターンの視座から」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 81-86.
- 山上榮子
2013「学習力の基盤としてのレジリエンス，動機づけ，そして対人認知—心理学的技法を通して」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 3』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 3: 41-52.
- 山上榮子
2013「創造性から見たピグミーの子どもたちの表現—コラージュと描画とハンドテストから」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 98-99.
- 山上榮子
2013「バカピグミーの子どもたちの協調的創造活動—コラージュ制作と描画から」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 49-50.
- 山上榮子
2013「アートワークにおける学習諸相—バカピグミーの子どもたちの共同描画とコラージュから」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 16.

2012

- Ando, J.
2012 Comparison Between Individual, Imitative and Instructive Learning. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 97-98. Kochi: Kochi University of Technology.
- Boyette, H.A.
2012 The Nature of Play among Aka Forest Foragers and Ngandu Farmers of the Central African Republic. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 83-88.
- Hagino, I. and T. Yamauchi
2012 Daily Physical Activity and Time-Space Allocation of Pygmy Hunter-Gatherers' Children in Southeast Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 101-102. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hayashi, K., R. Ishii, Y. Nakamura, H. Terashima, and Y. Nishiaki
2012 Technical Transmission of Hunting Tool Manufacture: A Case of Spear Hunting Among Modern Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 103-104. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hewlett, B.
2012 "Finding the Spirit to Create" Innovation and Social Learning Among Aka Adolescents of the Central African Rainforest. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 105-107. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hewlett, B.S.
2012 Teaching, Trust, and Early Rapid Social Learning in Hunter-Gatherers. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 55. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hideaki, T.
2012 Research on ecological innovation and learning capacity of early Homo sapiens based on comparison with contemporary hunter-gatherers. In N. Ogiwara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 23-24. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Horiuchi, S. and S. Kubota
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Innovation. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 53-54. Kochi: Kochi University of Technology.
- Imamura, K.
2012 Hunting Play Among San Children. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-*

2014. *RNMH Project Series*. No. 002: 108-109. Kochi: Kochi University of Technology.
- Imamura, K.
2012 Socialization through the play among children of Central Kalahari San. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 32. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Kamei, N.
2012 Play Activities and Cultural Transmission Among Hunter-Gatherer Children : The Case of the Baka in Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 110-111. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kamei, N.
2012 Comparative studies on human play: Focusing on hunter-gatherer children in Congo Basin. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 40-41. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Koyama, T.
2012 Cognitive Flexibility and Making Objects in Baka Children. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 112-113. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Koyama, T.
2012 Comprehension of pictures in Baka children who grow up in the hunter-gatherer culture. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 28. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Kubota, S.
2012 What is 'Education' for Aboriginal People?: Examination Through Yolngu Initiated Projects. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 13-16.
 - Kubota, S.
2012 What are Rituals for Hunter and Gatherers? – Consideration from the educational projects of Australian Aboriginal people. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 26. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Musharbash, Y.
2012 A Sketch of Research Towards Understanding Transformations of Self in Aboriginal Australia. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 17-22.
 - Omura, K.
2012 The Art of Patience as the Emotional Basis for Creativity and Cultural Learning: Learning and Ecological Adaptation Among the Canadian Inuit. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 114-115. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Omura, K.
2012 The Art of Patience as the Emotional Basis for Creativity and Cultural Learning: Learning and Ecological Adaptation among the Canadian Inuit. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 35. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Takada, A.
2012 Communicative Musicality and Learning in Caregiver-Child Interactions Among the San of North-Central Namibia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 116. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Takada, A.
2012 Communicative musicality and social learning. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 37. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2012 A Study of Human Learning Behavior Based on Fieldwork Among Hunter-Gatherers. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 16-18. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Terashima, H.
2012 A Study of Human Learning Behavior Among Hunter-Gatherers. In T. Akazawa (ed.) *RNMH*

- PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 37-41. Kochi: Kochi University of Technology.*
- Terashima, H.
2012 Evolutionary Development of Learning and Teaching Strategies in Human Societies. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 002: 45-47. Kochi: Kochi University of Technology.*
 - Yamagami, E.
2012 The Resilience of Pygmy Children-On Their Drawings about Favorite Things. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 002: 117-118. Kochi: Kochi University of Technology.*
 - Yamagami, E.
2012 The creativity of Pigmy's children -From their joint play and image expression. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. No. 5: 30. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.*
 - Yamauchi, T.
2012 Fitness and Health of Hunter-Gatherer Children from the Viewpoint of Playing Activity and Diet. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 60-61. Kochi: Kochi University of Technology.*
 - Yamauchi, T.
2012 Children's lifestyle and the demographic structure and dynamics of a pygmy hunter-gatherer population. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. No. 5: 43. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.*
 - Yamauchi, T. and I. Hagino
2012 Estimation of the Period of Childhood and Child Growth Characteristics of Pygmy Hunter-Gatherers in Southeast Cameroon. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 002: 119-120. Kochi: Kochi University of Technology.*
 - 安藤寿康
2012 「狩猟採集民（カメルーンのバカ・ピグミー）の技能伝達について—個体学習，観察学習，教示，そして教育」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 79-82.
 - 今村 薫
2012 「遊びの通文化比較」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 51-54.
 - 大村敬一
2012 「パッケージ学習進化仮説—文化人類学からみる現生人類とネアンデルターレンシスの交替劇」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 23-40.
 - 小山 正
2012 「狩猟採集生活の中で育つ Baka の子どもの絵の理解」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 55-60.
 - 園田浩司
2012 「学習行動を支える「関与」の方法」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 99-102.
 - 高田 明
2012 「社会的状況における学習／教育：ボツワナ共和国のグイ／ガナ（セントラル・カラハリ・サン）の事例から」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 41-50.
 - 寺嶋秀明
2012 「教示なき学習の普遍性と有効性について」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 1-12.
 - 林 耕次
2012 「日常生活における子どもの学習・教示場面—カメルーンの狩猟採集民バカ・ピグミーの観察から」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 111-118.

- 彭 宇潔
2012 「ピグミー系狩猟採集民バカの身体装飾に関する学習」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 101-110.
- 山内太郎、萩野 泉
2012 「狩猟採集民の子どもの行動パターンと思春期スパート」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 89-98.
- 山上榮子
2012 「ピグミーの子どもたちの創造性と適応性—コラージュ表現を通して」寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 2』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 2: 61-78.

2011

- Hewlett, B. S.
2011 Social learning among hunter-gatherer adolescents of the Congo Basin: A preliminary study. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 26. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Hewlett, B. S.
2011 Social learning among Congo Basin hunter-gatherers. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 25. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Ichikawa, M., S. Hattori, and H. Yasuoka
2011 Environmental Knowledge among Central African Hunter-gatherers: Types of Knowledge and Intra-cultural Variations. In R. Whallon, W.A. Lovis, and R. K. Hitchcock (eds.) *Information and Its Role in Hunter-Gatherer Bands*. Cotsen Institute of Archaeology, UCLA, Los Angeles.
- Imamura, K.
2011 Daily activity and learning process among the Central Kalahari San. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 32. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Kamei, N.
2011 Social behaviors of hunter-gatherer children. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 35. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Koyama, T.
2011 Theory of mind development and language acquisition: Developmental stage. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 27. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Kubota, S.
2011 Aboriginal learning and its difficulties: As an assumption for the field research. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 30. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Musharbash, Y.
2011 Ways of knowing and ways of learning: A sketch of proposed research at Yuendumu, central Australia. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 27. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Musharbash, Y.
2011 Ways of knowing and ways of learning: A sketch of proposed research at Yuendumu, central Australia. 寺嶋秀明編『交替劇-狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 61-68.
- Omura, K.
2011 How do adults treat children? Notes on learning process of Inuit children in Kugaaruk, Nunavut, Canada. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 34. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Takada, A.
2011 Socialization via singing and dancing activities among the San of north-central Namibia. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 24. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Terashima, H.

- 2011 Searching for a new paradigm of learning and teaching: A comparison between hunter-gatherer societies and modern societies in 21st century. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 26. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Terashima, H.
2011 Characteristics of hunting and gathering societies that may influence learning and teaching among them: Autonomy, egalitarianism and sharing. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 21. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - 安藤寿康
2011 「教育学の視点から」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 22.
 - 安藤寿康
2011 「狩猟採集民（バカ・ピグミー）の技能伝達—個体学習、観察学習、教示、そして教育」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 79.
 - 安藤寿康
2011 『遺伝マインド—遺伝子が織り成す行動と文化』東京：有斐閣.
 - 今村 薫
2011 「幼稚園児の遊びの観察」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 74.
 - 今村 薫
2011 「カラハリ砂漠・狩猟採集民サンのヒーリング・ダンス」嶋田義仁編『シャーマニズムの諸相』（シリーズ「アジア遊学 141」）120-138. 東京：勉誠出版.
 - 今村 薫
2011 「セントラル・カラハリ・サンの日中活動と子どもの学習過程」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 31.
 - 今村 薫
2011 「セントラル・カラハリ・サンの日中活動と子どもの遊び」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 27-33.
 - 大村敬一
2011 「学習の基礎としての忍耐—カナダ極北圏のイヌイトの学習過程における大人と子どもの関わり」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 68.
 - 大村敬一
2011 「文化人類学の視点から」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 18.
 - 大村敬一
2011 「二重に生きる：カナダ・イヌイト社会の生業と精算の社会的布置」松井 健、名和克郎、野林厚志編『グローバリゼーションと生きる世界：生業からみた人類学的現在』65-96. 東京：東京大学東洋文化研究所.
 - 大村敬一
2011 「子どもへの大人の関わり方—カナダ極北圏のイヌイトの学習過程に関する研究の指針」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 33.
 - 大村敬一
2011 「学習の三つの顔—カナダ・イヌイトの学習をめぐる問題」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 33-40.
 - 亀井伸孝
2011 「世界の子供に関する民族誌的データの収集：アフリカの子ども学を中心に」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」

研究大会報告書 No. 4: 82.

- 亀井伸孝
2011「狩猟採集民の子どもの社会的行動」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 35.
- 窪田幸子
2011「アボリジニの教育はどのように異なるのか？」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 66.
- 窪田幸子
2011「アボリジニ・アーティストの誕生：先住民工芸品の展開とエージェンシー」松井 健、名和克郎、野村厚志編『グローバル化と生きる世界：生業からみた人類学的現在』339-387. 東京：東京大学東洋文化研究所.
- 窪田幸子
2011「アボリジニの学習とその問題点—調査の前提として」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 30.
- 窪田幸子
2011「アボリジニの子どもの適応にかかわる調査報告(2010 年度)」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 21-26.
- 小山 正
2011「バカ・ピグミーの乳児期における物の操作と社会的認知の発達—象徴機能の発達にむけて」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 70.
- 小山 正
2011「心の理論の発達と言語獲得—その発達段階」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 27.
- 小山 正
2011「心の理論と言語獲得の問題をめぐって」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 7-12.
- 高田 明
2011「社会化への共同的音楽性パースペクティブ」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 72.
- 高田 明
2011「狩猟採集民研究の視点から」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 20.
- 高田 明
2011「Socialization via singing and dancing activities among the San of North-Central Namibia」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 41-46.
- 高田 明
2011「ナミビア北東部のサンにおける歌／踊り活動を通じた社会化」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 23.
- 寺嶋秀明（編）
2011『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1.
- 寺嶋秀明
2011「教示なき学習の普遍性と有効性について」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 64.
- 寺嶋秀明
2011「ヒトにおける個体学習と社会学習の実態と問題点」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4:14.

- 寺嶋秀明
2011『平等論：霊長類とヒトにおける社会と平等性の進化』京都：ナカニシヤ出版.
- 寺嶋秀明
2011「新しい学習／教育のパラダイムを求めて：狩猟採集民と 21 世紀の高度情報社会」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 25.
- 寺嶋秀明
2011「ヒトの学習行動—狩猟採集民・子ども・遊び」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 1-6.
- 寺嶋秀明
2011「学習にかかわる狩猟採集社会の特性—自立・平等性・シェアリング」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 20.
- 早木仁成
2011「霊長類の遊びと人類の進化」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 47-54.
- 林 耕次
2011「バカ・ピグミーの狩猟採集活動における子どもの役割」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 55-60.
- 山内太郎
2011「狩猟採集民の身体とフィットネス：「遊び」と「食」からみた子どもの環境適応能」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 85.
- 山内太郎
2011「狩猟採集民の身体とフィットネス：「遊び」と「食」からみた子どもの環境適応能」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 59.
- 山上榮子
2011「狩猟採集民バカ・ピグミーの子どもたちの創造性と適応性」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 77.
- 山上榮子
2011「カメルーンの子どもの創造性：コラージュ表現と心理テストを通して」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 28.
- 山上榮子
2011「日本の子どもたちの創造性—コラージュ表現を通して」寺嶋秀明編『交替劇—狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の実証的研究 1』「交替劇」A02 班研究報告書 No. 1: 13-20.

2010

- Imamura, K.
2010 Interaction and Play among /Gui and //Gana Children. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 43. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Kamei, N.
2010 Play and Learning of Children of Pygmy Groups, the Hunter-Gatherers. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 46-47. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Koyama, T.
2010 Child Development through Early Symbolic Play. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 44. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Kubota, S.
2010 Age Group of Aboriginal Children—The Case in Arnhem Land, Australia. In T. Akazawa (ed.)

- Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 40. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Omura, K.
2010 Learning Process of Inuit Children—The Case in Nunavut Territory, Canada. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 45. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
 - Terashima, H.
2010 Play, Learning, and Hunter-Gatherers. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 38-39. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
 - Yamagami, E.
2010 Developmental Psychology of Learning Behavior: Cognition and Creativity through the Psychological Expressive Technique. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 57-58. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
 - 今村 薫
2010 「グイ／ガナの子どもの相互行為と遊び」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 43.
 - 今村 薫
2010 『砂漠に生きる女たち—カラハリ狩猟採集民の日常と儀礼』東京：どうぶつ社.
 - 大村敬一
2010 「イヌイトの子どもの学習過程—カナダ極北圏のヌナブト準州」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 45.
 - 亀井伸孝
2010 「ピグミー系狩猟採集民の子どもの遊びと学習」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 46.
 - 亀井伸孝
2010 『森の小さな〈ハンター〉たち：狩猟採集民の子どもの民族誌』アジア・アフリカ言語文化叢書 49. 東京：東京外語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
 - 窪田幸子
2010 「アボリジニの子供集団—オーストラリア、アーネムランド」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 40.
 - 小山 正
2010 「初期象徴遊びの過程で見られる発達」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 44.
 - 高田 明
2010 「相互行為を支えるプラグマティックな制約：セントラル・カラハリ・サンにおける模倣活動の連鎖組織」 木村大治、中村美知夫、高梨克也(編)『インタラクションの境界と接続：サル・人・会話研究から』358-377. 京都：昭和堂.
 - 寺嶋秀明
2010 「学習・遊び・狩猟採集民」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 38.
 - 寺嶋秀明
2010 「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」『第 64 回日本人類学会大会抄録集』82.
 - 寺嶋秀明
2010 「森が生んだことば—イトウリのピグミーにおける動植物の名前と属性についての比較研究」 木村大治他編『森棲みの生態学』165-189. 京都大学学術出版会.
 - 山上榮子
2010 「学習行動に関する発達心理学的研究—認知と創造性について」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 41.

計画研究 B01 「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」

【雑誌論文】

2017

- Fogarty L, J.Y. Wakano, M.W. Feldman, and K. Aoki
2017 The driving forces of cultural complexity: Neanderthals, modern humans, and the question of population size. *Human Nature*. (in press). (査読)

2016

- Gilpin W., M.W. Feldman, and K. Aoki
2016 An ecocultural model predicts Neanderthal extinction through competition with modern humans. *Proceedings of the National Academy of Sciences USA* 113: 2134-2139. (査読)
- Kobayashi, Y., H. Ohtsuki, and J.Y. Wakano
2016 Population size vs. social connectedness—A gene-culture coevolutionary approach to cumulative cultural evolution. *Theoretical Population Biology* 111: 87-95. (査読)
- Nakamaru M
2016 Evolution of costly explicit memory and cumulative culture. *Journal of Theoretical Biology* 399: 71-83. (査読)

2015

- Aoki, K.
2015 Modelling abrupt cultural regime shifts during the Palaeolithic and Stone Age. *Theoretical Population Biology* 100: 6-12. (査読)
- Horiuchi, S.
2015 Emergence and collapse of the norm of resource sharing around locally abundant resources. *Journal of Artificial Societies and Social Simulation* 18(4):7. (査読)
- Horiuchi, S. and M. Morino
2015 How local cultures contribute to local communities? Case studies of Japanese spirits dance "kagura". *International Journal of Social Science and Humanity* 5: 58-62. (査読)
- Kimura, R., C. Watanabe, A. Kawaguchi, Y.I. Kim, S.B. Park, K. Maki, H. Ishida, and T. Yamaguchi
2015 Common polymorphisms in WNT10A affect tooth morphology as well as hair shape. *Human Molecular Genetics* 24(9): 2673-80. (査読)
- Kobayashi, Y., J.Y. Wakano, and H. Ohtsuki
2015 A paradox of cumulative culture. *Journal of Theoretical Biology* 379: 79-88. (査読)
- Nakagome, S., T. Sato, H. Ishida, T. Hanihara, T. Yamaguchi, R. Kimura, S. Mano, H. Oota, and The Asian DNA Repository Consortium
2015 Model-Based Verification of Hypotheses on the Origin of Modern Japanese Revisited by Bayesian Inference Based on Genome-Wide SNP Data. *Molecular Biology and Evolution* 32: 1533-1543. (査読)
- Saw, W.Y., X. Liu, C.C. Khor, F. Takeuchi, T. Katsuya, R. Kimura, T. Nabika, T. Ohkubo, Y. Tabara, K. Yamamoto, M. Yokota, Japanese Genome Variation Consortium, Y.Y. Teo, and N. Kato
2015 Mapping the genetic diversity of HLA haplotypes in the Japanese populations. *Scientific Reports* 5: 17855. (査読)
- Scotti, T., M. Mimura, and J.Y. Wakano
2015 Avoiding toxic prey may promote harmful algal blooms. *Ecological Complexity* 21: 157-165. (査読)
- Shimada M.K., N. Sasaki-Haraguchi, and A. Mayeda
2015 Identification and validation of evolutionarily conserved unusually short pre-mRNA introns in the human genome. *International Journal of Molecular Science* 16: 10376-10388.
- Tamura, K., Y. Kobayashi, and Y. Ihara
2015 Evolution of individual versus social learning on social networks. *Journal of the Royal Society Interface* 12: 20141285. (査読)
- 木村亮介
2015 「ゲノム情報から古代人の姿を探る」 『細胞工学』 34: 1172-1176.

2014

- Aoki, K. and M.W. Feldman
2014 Evolution of learning strategies in temporally and spatially variable environments: A review of theory. *Theoretical Population Biology* 91: 3-19. (査読)

- Kobayashi, Y. and H. Ohtsuki
2014 Evolution of social versus individual learning in a subdivided population revisited: Comparative analysis of three coexistence mechanisms using the inclusive fitness method. *Theoretical Population Biology* 92: 78-87. (査読)
- Mirrahimi, S., B. Perthame, and J. Y. Wakano
2014 Direct competition results from strong competition for limited resource. *Journal of Mathematical Biology* 68: 931-949. (査読)
- Miyazato, E., K. Yamaguchi, H. Fukase, H. Ishida, and R. Kimura
2014 Comparative analysis of facial morphology between Okinawa Islanders and mainland Japanese using three-dimensional images. *American Journal of Human Biology* 26(4): 538-548. (査読)
- Nakahashi, W.
2014. The effect of cultural interaction on cumulative cultural evolution. *Journal of Theoretical Biology* 352: 6-15. (査読)
- Nakahashi, W. and M.W. Feldman
2014. Evolution of division of labor: emergence of different activities among group members. *Journal of Theoretical Biology* 348: 65-79. (査読)
- Nakamaru, M., T. Takada, A. Ohtsuki, S.U. Suzuki, K. Miura, and K. Tsuji
2014 Ecological conditions favoring budding in colonial organisms under environmental disturbance. *PLoS One* 9(3): e91210. (査読)
- Sato, T., S. Nakagome, C. Watanabe, K. Yamaguchi, A. Kawaguchi, K. Koganebuchi, K. Haneji, T. Yamaguchi, T. Hanihara, K. Yamamoto, H. Ishida, S. Mano, R. Kimura, and H. Oota
2014 Genome-wide SNP analysis reveals population structure and demographic history of the Ryukyu Islanders in the southern part of the Japanese Archipelago. *Molecular Biology and Evolution* 31: 2929-2940. doi: 10.1093/molbev/msu230. (査読)
- Sekiguchi, T. and M. Nakamaru
2014 How intergenerational interaction affects attitude-behavior inconsistency. *Journal of Theoretical Biology* 346: 54-66. (査読)
- Shimada, M.K.
2014 An attempt to predict the functional haplotype differences between archaic and modern humans. *Saito Ho-on Kai Museum. Research Bulletin* 78: 77-85. (査読)
- Takezawa, Y., K. Kato, H. Oota, T. Caulfield, A. Fujimoto, S. Honda, N. Kamatani, S. Kawamura, K. Kawashima, R. Kimura, H. Matsumae, A. Saito, P. E. Savage, N. Seguchi, K. Shimizu, S. Terao, Y. Yamaguchi-Kabata, A. Yasukouchi, M. Yoneda, and K. Tokunaga
2014 Human genetic research, race, ethnicity and the labeling of populations: recommendations based on an interdisciplinary workshop in Japan. *BMC Medical Ethics* 15: 33. (査読)
- Wakano, J. Y. and L. Lehmann
2014 Evolutionary branching in deme-structured populations. *Journal of Theoretical Biology* 351: 83-95. (査読)
- Wakano, J.Y. and C. Miura
2014 Trade-off between learning and exploitation: The Pareto-optimal versus evolutionarily stable learning schedule in cumulative cultural evolution. *Theoretical Population Biology* 91: 37-43.
- Yamaguchi, T., A. Kawaguchi, Y.I. Kim, S. Naga, K. Katayama, H. Ishida, S.B. Park, K. Maki, and R. Kimura
2014 The role of polymorphisms associated with early tooth eruption in dental and occlusal traits in East Asian populations. *Korean Journal of Orthodontics* 44: 96-102. (査読)
- Yamaguchi, T., H. Nakaoka, K. Yamamoto, T. Fujikawa, Y.I. Kim, K. Yano, S. Haga, K. Katayama, T. Shibusawa, S. Park, K. Maki, R. Kimura, and I. Inoue
2014 Genome-wide association study of degenerative bony changes of the temporomandibular joint. *Oral Diseases* 20: 409-415. (査読)
- 木村亮介
2014 「集団ゲノム学の方法論①—集団史を推定する」 『医学のあゆみ』 249: 207-210.
- 木村亮介
2014 「集団ゲノム学の方法論①—遺伝適応の痕跡を探索する」 『医学のあゆみ』 249: 279-282.

- 堀内史朗
2014 「外部者の導入による過少利用資源の持続的管理：ロジスティック方程式の拡張」 『理論と方法』 29: 277-290.
- 山口今日子
2014 「FORUM ゲノム人類学の最先端—遺伝子からみる皮膚色の進化」 『医学のあゆみ』 249(8): 716-719.

2013

- Kudaka, M., H. Fukase, R. Kimura, T. Hanihara, H. Matsumura, A. Saso, T. Fukumine, and H. Ishida
2013 Metric characteristics of human limb bones in Asian and Japanese populations. *Anthropological Science* 121: 49-62. (査読)
- Lehmann, L. and J.Y. Wakano
2013 The handaxe and the microscope: individual and social learning in a multidimensional model of adaptation. *Evolution and Human Behavior* 34: 109-117. (査読)
- Lehmann, L., J.Y. Wakano, and K. Aoki
2013 On optimal learning schedules and the marginal value of cumulative cultural evolution. *Evolution* 67: 1435-1445. (査読)
- Nakahashi, W.
2013 Evolution of improvement and cumulative culture. *Theoretical Population Biology* 83: 30-38. (査読)
- Tamura, T., M. Osawa, R. Kimura, Y. Inaoka, S. Tanaka, F. Satoh and I. Sato
2013 Evaluation of the allele-sharing approach, known as the IBS method, in kinship analysis. *Journal of Forensic and Legal Medicine* 20: 112-116. (査読)
- 木村亮介
2013 「ゲノム研究で切り開かれる人類学の新たな挑戦」 『生物の科学遺伝』 67: 327-333.

2012

- Aoki, K., J.Y. Wakano, and L. Lehmann
2012 Evolutionarily stable learning strategies and cumulative culture in discrete generation models. *Theoretical Population Biology* 81: 300-309. (査読)
- Horiuchi, S.
2012 Emergence and persistence of communities: analysis by means of a revised hawk-dove game. 『理論と方法』 27: 299-306.
- Horiuchi, S.
2012 Community creation by residents and tourists via Takachiho kagura in Japanese rural area. *Sociology Mind* 2: 306-312. (査読)
- Horiuchi, S. and H. Takasaki
2012 Boundary nature induces greater group size and group density in habitat edges: an agent-based model revealed. *Population Ecology* 54: 197-203. (査読)
- Japanese Archipelago Human Population Genetics Consortium: Jinam, T., N. Nishida, M. Hirai, S. Kawamura, H. Oota, K. Umetsu, R. Kimura, J. Ohashi, A. Tajima, T. Yamamoto, H. Tanabe, S. Mano, Y. Suto, T. Kaname, K. Naritomi, K. Yanagi, N. Niiikawa, K. Omoto, K. Tokunaga, and N. Saitou
2012 The history of human populations in the Japanese Archipelago inferred from genomewide SNP data with a special reference to the Ainu and the Ryukyuan populations. *Journal of Human Genetics* 57: 787-795. (査読)
- Kawasaki, K., K. Asano, and N. Shigesada
2012 Impact of directed movement on invasive spread in periodic patchy environments. *Bulletin of Mathematical Biology* 74(6): 1448-1467. (査読)
- Kobayashi, Y. and K. Aoki
2012 Innovativeness, population size and cumulative cultural evolution. *Theoretical Population Biology* 82: 38-47. (査読)
- Kobayashi, Y. and J.Y. Wakano
2012 Evolution of social versus individual learning in an infinite island model. *Evolution* 66: 1624-1635. (査読)
- Naka, I., J. Ohashi, R. Kimura, T. Furusawa, T. Yamauchi, M. Nakazawa, K. Natsuhara, Y. Ataka, N. Nishida, T. Ishida, T. Inaoka, Y. Matsumura, and R. Ohtsukai
2012 DRD4 VNTR polymorphism in Oceanic populations. *Anthropological Science* 120: 151-155. (査読)

- Nakahashi, W. and S. Horiuchi
2012 Evolution of ape and human mating systems. *Journal of Theoretical Biology* 296: 56-64. (査読)
- Nakahashi, W., J.Y. Wakano, and J. Henrich
2012. Adaptive social learning strategies in temporally and spatially varying environments. *Human Nature* 23: 386-418. (査読)
- Wakano, J.Y.
2012 Spatiotemporal dynamics of cooperation and spite behavior by conformist transmission. *Communications on Pure and Applied Analysis* 11:375-386. (査読)
- Yamaguchi, K., C. Watanabe, A. Kawaguchi, T. Sato, I. Naka, M. Shindo, K. Moromizato, K. Aoki, H. Ishida, and R. Kimura
2012 Association of melanocortin 1 receptor gene (MC1R) polymorphisms with skin reflectance and freckles in Japanese. *Journal of Human Genetics* 57: 700-708. (査読)

2011

- Aoki, K., L. Lehmann, and M.W. Feldman
2011 Rates of cultural change and patterns of cultural accumulation in stochastic models of social transmission. *Theoretical Population Biology* 79: 192-202. (査読)
- Lehmann, L., K. Aoki, and M.W. Feldman
2011 On the number of independent cultural traits carried by individuals and populations. *Philosophical Transactions of the Royal Society B* 366: 424-435. (査読)
- Shimada, M.K. and T. Kanasashi
2011 Determination of linkage disequilibrium region suggests association of the ancient haplotype, hX with neural function. *Nature Preceedings* 10101/npre.2011.6737.1.
- Wakano, J.Y., K. Ikeda, T. Miki, and M. Mimura
2011 Effective dispersal rate is a function of habitat size and corridor shape: mechanistic formulation of a two-patch compartment model for spatially continuous systems. *Oikos* 120: 1712-1720. (査読)
- Wakano, J.Y., K. Kawasaki, N. Shigesada, and K. Aoki
2011 Coexistence of individual and social learners during range-expansion. *Theoretical Population Biology* 80:132-140. (査読)
- 堀内史朗
2011 「コミュニティ形成に資する仲介者の性質：エージェント・ベース・モデルによる分析」
『理論と方法』 26: 51-66.

2010

- Aoki, K.
2010 Evolution of the social-learner-explorer strategy in an environmentally heterogeneous two-island model. *Evolution* 64: 2575-2586. (査読)
- Furusawa, T., I. Naka, T. Yamauchi, K. Natsuhara, R. Kimura, M. Nakazawa, T. Ishida, T. Inaoka, Y. Matsumura, Y. Ataka, N. Nishida, N. Tsuchiya, R. Ohtsuka, and J. Ohashi
2010 The Q223R polymorphism in LEPR is associated with obesity in Pacific Islanders. *Human Genetics* 127: 287-294. (査読)
- Nakahashi, W.
2010 Evolution of learning capacities and learning levels. *Theoretical Population Biology* 78: 211-224. (査読)
- Shimada M.K., Y. Hayakawa, J.I. Takeda, T. Imanishi, and T. Gojobori
2010 A comprehensive survey of human polymorphisms at conserved splice dinucleotides and its evolutionary relationship with alternative splicing. *BMC Evolutionary Biology* 10: 122. (査読)
- Zu, J., M. Mimura, and J.Y. Wakano
2010 The evolution of phenotypic traits in a predator-prey system subject to the Allee effect. *Journal of Theoretical Biology* 262: 528-543. (査読)

【学会発表】**2015**

- Fujito, N., Toshiyuki Hayakawa, Masaya Hane, Ken Kitajima, Chihiro Sato, Yoko Satta
2015 Adaptive evolution of the promoter region of the Sialyltransferase 8B (STX) gene. The annual meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution. 2015.7.13. Vienna, Austria.
- Kimura R.

2015. A search for genetic variants associated with 3D facial morphology in Japanese. NIG-OIST Symposium on Evolutionary Bioinformatics. 2015.8.10-12. Okinawa : OIST.
- Kimura, R.
2015 Genomic anthropology on the Ryukyans. *OIST Ancient DNA Symposium*. 2015.1.17. Okinawa, Japan.
 - Wakano, Y.
2015 When does competition among individuals promote cumulative cultural evolution? JSMB-CJK2015, Kyoto, 2015.8.26-29.
 - 青木健一
2015 「イノベーション能力と文化進化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 青木健一
2015 「学習仮説から見た交替劇」『なぜネアンデルタール人はいなくなったのか—学習仮説からの展望』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.7.5. 東京：東京大学.
 - 伊藤毅、木村亮介、龍康殿あづさ、深瀬均、土屋奈々絵、村山貞之、石田肇
2015 「CT 画像を用いたヒト頭蓋の半自動的な形状評価」第 68 回日本人類学会大会. 2015.10.10-12. 東京：産業技術総合研究所.
 - 大出祐輝、中丸麻由子
2015 「返済しない借り手を考慮したマイクロクレジットの進化シミュレーション」第 59 回数理社会学会大会. 萌芽的 セッション報告. 2015.3.14-15. 久留米：久留米大学.
 - 木村亮介
2015 「Genetic basis of human phenotypic diversity」日本進化学会第 17 回大会. 2015.8.20-23. 東京：中央大学.
 - 木村亮介
2015 「ゲノムから考える琉球列島の先史」宮古島市総合博物館講座. 2015.2.21. 宮古島：宮古島市総合博物館.
 - 木村亮介
2015 「ゲノム研究は旧人・新人間の学習能力の違いに切り込めるか？」公開講演会『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』 2015.2.7. 東京：東京大学.
 - 木村亮介
2015 「平等な協力社会の下でのイノベーション行動の進化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 木村亮介、渡辺千晶、宮里絵理、山口今日子、佐藤丈寛、川口亮、山本健、山口徹太郎、石田肇
2015 「顔面サイズと関連する遺伝子多型の探索」日本人類遺伝学会第 60 回大会. 2015.10.14-17. 東京：京王プラザホテル.
 - 木村亮介、渡辺千晶、宮里絵理、伊藤毅、山口今日子、佐藤丈寛、川口亮、石田肇、山口徹太郎、山本健
2015 「日本人における顔面形態解析と関連遺伝子多型の探索」日本遺伝学会第 87 回大会. 2015.9.24-26. 仙台：東北大学.
 - 木村亮介、渡辺千晶、宮里絵理、山口今日子、佐藤丈寛、伊藤毅、川口亮、石田肇、山口徹太郎、山本健、河内まき子、持丸正明
2015 「顔面サイズの個体差とその要因」第 68 回日本人類学会大会. 2015.10.10-12. 東京：産業技術総合研究所.
 - 吉良洋輔、小池心新、中丸麻由子
2015 「Missing Hero Dilemma における輪番制—繰り返しゲームの協力均衡の分析」第 60 回数理社会学会大会. 2015.8.29-30. 大阪経済大学.
 - 米須学美、佐藤丈寛、山口今日子、渡邊千晶、川口亮、山本健、石田肇、木村亮介
2015 「ヒトの手形態変異に関連する遺伝子とその分子機能の探索」第 68 回日本人類学会大会. 2015.10.10-12. 東京：産業技術総合研究所.
 - 米須学美、佐藤丈寛、山口今日子、渡邊千晶、川口亮、山本健、石田肇、木村亮介
2015 「手形態に関連する SNP の探索とその近傍遺伝子の Enrichment 解析」日本人類遺伝学会第

- 60 回大会. 2015.10.14-17. 東京：京王プラザホテル.
- 佐藤丈寛、渡辺千晶、山口今日子、川口亮、山本健、石田肇、木村亮介
2015 「Middle phalangeal hair (MPH)に関連する遺伝的多型の探索」 日本人類遺伝学会第 60 回大会. 2015.10.14-17. 東京：京王プラザホテル.
 - 佐藤丈寛、渡辺千晶、山口今日子、川口亮、山本健、石田肇、木村亮介
2015 「成人男性の体毛の濃さと分布パターンに関連する遺伝的多型の探索」 第 68 回日本人類学会大会. 2015.10.10-12. 東京：産業技術総合研究所.
 - 嶋田 誠
2015 「氏と育ち—遺伝情報の使われ方から人類の知性を考える」 『知性はどこから来たか—こころの進化と遺伝』 武蔵野大学 人間科学研究所 シンポジウム. 2015.12.4. 東京：武蔵野大学 有明キャンパス. (招待講演)
 - 竹内史比古、勝谷友宏、木村亮介、並河徹、大久保孝義、田原康玄、山本健、横田充弘、W.Y. Saw, Y.Y. Teo, 加藤規弘
2015 「日本人の精密な遺伝的構造の検討：アジア人の中での遺伝的由来及び遺伝的差異の起源の推定」 日本進化学会第 17 回大会. 2015.8.20-23. 東京：中央大学.
 - 中丸麻由子
2015 「記憶の進化と累積的文化」 日本人間行動進化学会第 8 回大会. 2015.12.5-6. 総合研究大学院大学葉山キャンパス. (ポスター発表)
 - 中丸麻由子
2015 「罰し方が協力の進化に与える影響について」 第 21 回交通流と自己駆動粒子系のシンポジウム (主催：交通流数理研究会). 2015.12.10-11. 名古屋大学野依記念学術交流館.
 - 藤戸尚子、颯田葉子、羽根正弥、松井淳、北島健、佐藤ちひろ、早川敏之
2015 「現生人類のユーラシアへの移住におけるシアル酸転移酵素 STX の低活性プロモータータイプの適応拡散」 日本遺伝学会第 87 回大会. 2015.9.24. 仙台：東北大学 (川内北キャンパス).
 - 藤戸尚子、颯田葉子、羽根正弥、松井淳、北島健、佐藤ちひろ、早川敏之
2015 「シアル酸転移酵素 ST8Sia2 にみる現生人類のユーラシアへの移動での精神適応」 日本進化学会第 17 回大会. 2015.8.21. 東京：中央大学後楽園キャンパス.
 - 松前ひろみ、小金渕佳江、木村亮介、田嶋敦、河村正二、清水健太郎、太田博樹、尾本恵市
2015 「次世代シーケンサーによる北海道アイヌの前ゲノム配列解析」 第 68 回日本人類学会大会. 2015.10.10-12. 東京：産業技術総合研究所.
 - 山口今日子、木村亮介
2015 「頭蓋サイズと認知に共通する遺伝的基盤の進化的考察」 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 若野友一郎
2015 「空間構造のあるモデルにおける進化的分岐」 第 12 回生物数学の理論とその応用(遷移過程に現れるパターンの解明に向けて). 2015.11.24-27 京都：京都大学.
 - 若野友一郎
2015 「生物進化のダイナミクスとその数理解析」 日本数学会・応用数学分科会・特別講演(招待講演). 2015.3.21-24 東京：明治大学.
- 2014**
- Aoki, K.
2014 Modeling the evolution of prehistoric culture. *IUAES 2014 with JASCA*. 2014.5.15-18. Makuhari Messe, Chiba, Japan
 - Aoki, K.
2014 Population and culture: A theoretical basis for dramatic regime shifts? *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Fogarty, L., K. Aoki, J.Y. Wakano, and M.W. Feldman
2014 Population change and cultural variation. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Horiuchi, S.

- 2014 Why did the arts precede prehistoric settlement in modern humans? *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kimura, R., W. Nakahashi, and K. Tamura
2014 The formation of cooperative society initiates the evolution of risk-taking innovative behaviors. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Kobayashi, Y.
2014 Gene-culture coevolution in structured populations. *Joint Annual Meeting 76 of the Japanese Society for Mathematical Biology and the Society for Mathematical Biology*. 2014.7.28-8.1. Osaka, Japan.
 - Kobayashi, Y., S. Kadowaki, and M. Naganuma
2014 A population-genetics based model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Nakamaru, M.
2014 The effect of exclusion and participation on the evolution of cooperation. *Joint Annual Meeting of the Japanese Society for Mathematical Biology and the Society for Mathematical Biology*. 2014.7.28-8.1. Osaka, Japan.
 - Nakamaru, M.
2014 Strict or graduated punishment? Effect of punishment strictness on the evolution of cooperation. *Joint Annual Meeting of the Japanese Society for Mathematical Biology and the Society for Mathematical Biology*. 2014.7.28-8.1. Osaka, Japan.
 - Wakano, J.Y.
2014 Evolutionary branching in structured populations. *Joint Annual Meeting of the Japanese Society for Mathematical Biology and the Society for Mathematical Biology*. 2014.7.28-8.1. Osaka, Japan.
 - Wakano, J.Y.
2014 Learning schedule and cultural evolution: COS and ESS. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - Yamaguchi, K., A. Kawaguchi, C. Watanabe, H. Ishida, and R. Kimura
2014 Search for genetic polymorphisms related to skin pigmentation in the Japanese population. *Cell Symposium: Evolution of Modern Humans—From Bones to Genomes*. Poster presentation. 2014.3.18. Melia Hotel. Sitges, Spain.
 - Yamaguchi, K., A. Kawaguchi, C. Watanabe, H. Ishida, and R. Kimura
2014 Identification of genetic polymorphisms related to skin reflectance in the Japanese population. *The 83rd Annual Meeting of the American Association of Physical Anthropology*. Poster presentation. 2014.4.11. Hyatt Regency Calgary and Telus Convention Center. Calgary, Canada.
 - Yamaguchi, K., T. Hayakawa, C. Watanabe, T. Sato, A. Kawaguchi, K. Yamamoto, H. Ishida, and R. Kimura
2014 Genome-wide association analysis of cephalic form in modern Japanese. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
 - 木村亮介、渡辺千晶、宮里絵理、山口今日子、佐藤丈寛、川口 亮、石田 肇、山本 健、河内まき子、持丸正明
2014 「日本人における三次元顔面形態のゲノムワイド関連解析」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 小池心平、中丸麻由子、大高時尚、島尾 堯、大和毅彦、下村研一
2014 「経済的講集団の進化シミュレーションと被験者実験—All for One の相互扶助」『第 18 回実験社会科学カンファレンス』ポスター発表. 2014.12.14. 岐阜：聖徳学園大学岐阜キャンパス 3 号館.
 - 小林 豊
2014 「「交替劇」と文化変化の多様性の理論的考察」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
 - 米須学美、佐藤丈寛、山口今日子、渡邊千晶、川口 亮、山本 健、石田 肇、木村亮介

- 2014「ヒトの手形態に関するゲノムワイド関連解析」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1-2. 浜松：アクトシティ浜松.
- 佐藤丈寛、渡辺千晶、山口今日子、川口 亮、山本 健、石田 肇、木村亮介
2014「ゲノムワイド関連解析による体毛の多さに関連する SNP の探索」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1-2. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 鈴木信司、砂川昌信、進藤美咲、木村亮介、山口今日子、佐藤丈寛、米田 穰、長岡朋人、分部哲秋、佐伯和信、平田和明、弦本敏行、石田 肇
2014「日本列島古人骨集団における四肢の変形性関節症性変化」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.2. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 早川敏之
2014「ネアンデルタール人の脳を遺伝子から探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
 - 早川敏之、安形高志
2014「脳におけるヒト特異的な Siglec ペア型受容体の出現」『日本遺伝学会第 86 回大会』2014.9.18. 長浜：長浜バイオ大学.
 - 早川敏之、藤戸尚子、羽根正弥、北島 健、佐藤ちひろ、颯田葉子
2014「ヒト系統に おけるシアル酸転移酵素 ST8SiaII の発現多型の進化」日本進化学会第 16 回大会. 2014.8.22. 高槻：高槻現代劇場.
 - 堀内史朗
2014「後期旧石器時代における芸術・交流・定住の過程：文化蓄積 ABM による分析」第 58 回数理社会学会大会. 2014.8.31. 東京：日本女子体育大学.
 - 山内 忠、木村亮介、佐藤丈寛、川口 亮、山口今日子、深瀬 均、山口徹太郎、当真 隆、宮本潔人、石田 肇
2014「側方面頭部 X 線規格写真による琉球弧と本土日本の女性頭蓋顔面形態比較」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.2. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 山口今日子、川口 亮、佐藤丈寛、渡辺千晶、山本 健、石田 肇、木村亮介
2014「日本人の頭部形態に関する遺伝要因のゲノムワイド探索」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
 - 山口今日子、川口 亮、佐藤丈寛、渡辺千晶、山本 健、石田 肇、木村亮介
2014「日本人における頭蓋形態のゲノムワイド関連解析」『日本人類遺伝学会第 59 回大会／日本遺伝子診療学会第 21 回大会』2014.11.20. 東京：タワーホール船堀.
- 2013**
- Aoki, K.
2013 Evolution of culture-as-a-0, 1-vector. *International Workshop of the RNMH Project on Neanderthals and Modern Humans: Archaeological Approaches to Their Learning Behaviors*. 2013.11.22-24. The University Museum, The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Hayakawa, T.
2013 Schizophrenia and the evolution of learning ability of population. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Hayakawa, T.
2013 Emergence of Siglec paired receptors in the human brain and the evolution of learning ability of population in the human lineage. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Horiuchi, S.
2013 Evolution and functions of art strategy in the Replacement and the present. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Kimura, R.
2013 The genetic diversity in genes associated with neural and mental characteristics. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Kimura, R.
2013 On the diversity of the learning and social abilities in humans. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.

- Kimura, R.
2013 Peopling of Asia: inferences from SNP data and tasks for WGS data. *5th International Biological Information Objects (Bio) Conference*, 2013.10.26. Suwon, Korea. (招待講演)
- Kimura, R.
2013 Phylogenetic analysis in evolutionary genetics. *International Symposium: Let's Talk about Trees. National Museum of Ethnology*, 2013.2.10. Osaka, Japan. (招待講演)
- Kobayashi, Y.
2013 Simulating the spread of modern humans into Europe. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Nakamaru, M.
2013 Evolution of cooperation and memory. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Nakamaru, M.
2013 Memory and cumulative culture. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Wakano, J.K.
2013 Optimal learning schedule in human life history. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Yamaguchi, K.
2013 Connecting genetic data with cognition and behavior. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- 青木健一
2013 「何故、学習スケジュールに注目するのか？」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 青木健一
2013 「成長と学習スケジュール」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 青木健一
2013 「発達に伴う知己範囲拡大と文化進化加速の可能性」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 青木健一
2013 「教示の進化モデル」第23回日本数理生物学会大会. シンポジウム6 2013.9.12. 静岡：静岡大学.
- 木村亮介
2013 「ホモ・サピエンスの成り立ち—遺伝学からの考察」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 木村亮介
2013 「ヒトの学習能力・社会能力の多様性について考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 木村亮介
2013 「神経的および精神的特徴に関連する遺伝子の遺伝的多様性」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 木村亮介
2013 「実践！ヒト集団ゲノム学」第67回日本人類学会大会. 企画シンポジウム S5. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
- 木村亮介、中橋 渉
2013 「協力社会の形成は文化進化を加速させる」第67回日本人類学会大会. 一般口演. 2013.11.3.

- つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
- 木村亮介、山口徹太郎、渡辺千晶、川口 亮、榎宏太郎、石田 肇
2013「A common variant in WNT10A is associated with the variation in tooth size.」第118回日本解剖学会総会・全国学術集会. ポスター発表. 2013.3.29. 高松：サンポートホール高松・かがわ国際会議場.
 - 喜屋武龍介、宮里絵理、渡辺千晶、山口今日子、石田 肇、木村亮介、河内まき子、持丸正明
2013「日本人における眼窩周辺の顔面形状の三次元解析」第67回日本人類学会大会. ポスター発表. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
 - 小林 豊
2013「新人のヨーロッパ拡散のシミュレーション」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 小林 豊
2013「種交替前後における考古文化の連続性という現象をいかに解釈すべきか？」第67回日本人類学会大会. 企画シンポジウムS1. 2013.11.2. つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
 - 小林 豊
2013「文化成長の限界」第23回日本数理生物学会大会. シンポジウム6. 2013.9.12. 静岡：静岡大学.
 - 嶋田 誠
2013「現代人ゲノム中に存在する古代人由来候補配列の起源と機能」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 高橋伸幸
2013「社会学習、試行錯誤、模倣能力—第2実験」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 中橋 渉
2013「異文化交流と文化進化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
 - 中橋 渉
2013「外傷による文化技術伝播の阻害」第23回日本数理生物学会大会. シンポジウム6. 2013.9.12. 静岡：静岡大学.
 - 中橋 渉
2013「人類社会の進化を理論生物学で考える」第20回進化セミナー. 2013.6.28. 沖縄.
 - 中丸麻由子
2013「社会性の進化と記憶能力」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 中丸麻由子
2013「記憶と累積的文化」第23回日本数理生物学会大会. シンポジウム6. 2013.9.12. 静岡：静岡大学.
 - 中丸麻由子
2013「記憶と累積的文化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 早川敏之
2013「精神疾患から紐解く新人と旧人の学習能力の違い」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 早川敏之

2013 「ヒト特異的な脳での Siglec ペア型受容体の出現と学習能力の進化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

- 堀内史朗
2013 「匿名者間の資源分配：チキンゲーム ABM による分析」第56回日本数理社会学会大会. 2013.8.30. 西宮：関西学院大学.
- 堀内史朗
2013 「交替劇における芸術の進化と現代における芸術の機能」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 宮里絵理、山口今日子、持丸正明、河内まき子、石田肇、木村亮介
2013 「3D morphometrics of human face based on homologous modeling.」『第118回日本解剖学会総会・全国学術集会』ポスター発表. 2013.3.29. 高松：サンポートホール高松・かがわ国際会議場.
- 宮里絵理、渡邊千晶、山口今日子、石田 肇、木村亮介、河内まき子、持丸正明
2013 「相同モデリングを用いた三次元顔面形態の琉球-本土間比較」第67回日本人類学会大会. 一般口演. 2013.11.2. つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
- 山口今日子
2013 「遺伝的基盤と認知・行動を結びつける」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 山口今日子、木村亮介
2013 「北方への進出と遺伝的適応」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 山口今日子、川口 亮、渡邊千晶、石田 肇、木村亮介
2013 「日本人の日焼け能に関連する遺伝子多型の探索」第67回日本人類学会大会. 一般口演. 2013.11.2. つくば：国立科学博物館筑波研究施設.
- 若野友一郎
2013 「最適生活し戦略としての個体学習と社会学習の使い分け」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 若野友一郎
2013 「蓄積的文化進化モデルにおけるパレート最適な学習戦略と進化的安定な学習戦略」第23回日本数理生物学会. シンポジウム6. 2013.9.12. 静岡：静岡大学.
- 若野友一郎
2013 「ヒトの生活史における最適な学習スケジュール」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

2012

- Aoki, K.
2012 Determinants of Cultural Evolutionary Rates. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Aoki, K.
2012 Evolution of learning strategies in spatially heterogeneous environments. C-J-K International Conference on Mathematical Biology. 2012.5.23. Pusan National University, Korea. (招待講演)
- Aoki, K.
2012 The Moran model and cultural evolutionary rates. *The Wenner-Gren Foundations International Symposium: Cultural Evolution—Patterns of Cultural Change and Diversification*. Wenner-Gren Centre. 2012.9.10-14. Stockholm, Sweden. (招待講演)
- Aoki, K.
2012 Evolution of learning strategies in spatially heterogeneous environments. C-J-K International

- Conference on Mathematical Biology. 2012.5.23. Pusan National University, Korea. (招待講演)
- Horiuchi, S.
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Diversity. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Horiuchi, S. and S. Kubota.
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Innovation. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Kawasaki, K.
2012 Effect of a Heterogeneous Environment on Range Expansion of Individual and Social Learners. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Kimura, R.
2012 Dispersals of Modern Humans: Inferences from Genome Diversity Data. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Kobayashi, Y.
2012 A simulation Study on the Replacement of Neanderthals by Modern Humans in Europe: Implication of Climate Change, Cultural Diversification, and the Shape of the Continent. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Kobayashi, Y. and J.Y. Wakano.
2012 An evolutionary game of social versus individual learning in a spatially subdivided population. C-J-K International Conference on Mathematical Biology. 2012.5.23. Pusan National University, Korea. (招待講演)
 - Lehmann, L.
2012 The Handaxe and the Microscope: Experience-Based and Fictitious Learning in a Geometric Model of Adaptation. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Nakahashi, W.
2012 A Mathematical Model of Cultural Interactions between Modern and Archaic Humans. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Shimada, M.
2012 An Attempt to Estimate the Functional Difference in Haplotypes between Archaic and Modern Humans. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Takahashi, N., A. Hatano, M. Inada, R. Onoda, and D. Simunovic.
2012 Social Learning, Trial-and-Error, and Creativity. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Viscardi, L.H., V.R. Paicao-Cortes, F.M. Salzano, T. Hunemeier, and M.C. Bortolini.
2012 The Down of Hierarchy: The Cognitive Ability of Archaic Hominins. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Wakano, J.Y., K. Aoki, and L. Lehmann.
2012 Scheduling of Individual and Social Learning as Optimal Life History Strategy. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - 青木健一
2012 「ヒト特異的な学習戦略とは？」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 青木健一、若野友一郎、L. Lehmann
2012 「成長段階に依存する学習戦略の進化」第66回日本人類学会大会. シンポジウム 15.

- 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 川口 亮、菅原広史、木村亮介、石田 肇
2012「mtDNA 分析による出土魚骨の種判別：沖縄県勝連城跡からの魚骨を用いた可能性調査」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 川崎廣吉
2012「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル (4)」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 木村亮介
2012「学習能力に関連する遺伝要因とその進化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 木村亮介、渡辺千晶、山口徹太郎、榎宏太郎、武田麻耶子、川口 亮、石田 肇
2012「WNT10A の多型は歯冠サイズと関連する」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 A08. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博史、佐宗亜依子、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012「日本およびアジア集団におけるヒト四肢骨の形態的特徴」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 小林 豊
2012「集団の空間構造と学習能力の進化」生命数理研究会(北海道大学主催). 口頭発表. 2012.1.11. 虻田：ホテル甘露の森(虻田郡ニセコ町).
 - 小林 豊
2012「社会学習と個体学習の進化ゲーム：空間構造の影響」ゲーム理論ワークショップ 2012. 2012.3.6. 浜松：静岡大学浜松キャンパス.
 - 小林 豊
2012「急速な植生遷移と交替劇：シミュレーションに基づく研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 小林 豊
2012「ネアンデルタール人の格子モデル」第 45 回生命数理セミナー(北海道大学主催). 2012.8.29. 札幌：北海道大学.
 - 小林 豊、大槻 久
2012「学習能力の進化と環境の空間的異質性について」第 14 回日本進化学会大会. 一般講演 1C-10. 2012.8.21. 東京：首都大学(南大沢キャンパス).
 - 小林 豊、大槻 久
2012「二重継承の包括適応度理論」第 22 回日本数理生物学会大会. ポスターP12. 2012.9.11. 岡山：岡山大学津島キャンパス.
 - 小林 豊、大槻 久、若野友一郎
2012「情報フリーライダーの進化生物学：亀田と中西から 10 年を経て」第 22 回日本数理生物学会大会. 企画シンポジウム S4. 2012.9.11. 岡山：岡山大学津島キャンパス.
 - 米須学美、川口 亮、佐藤丈寛、石田 肇、山口今日子、渡邊千晶、木村亮介
2012「2D：4D 比は性ホルモン関連形質の指標として妥当なのか？」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C10. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 佐藤丈寛、川口 亮、石田 肇、山口徹太郎、山本 健、河村正二、中込滋樹、間野修平、埴原恒彦、太田博樹、渡辺千晶、山口今日子、木村亮介
2012「ゲノムワイド SNP データに基づく琉球列島の人々の集団構成」第 66 回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション YB2. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 嶋田 誠
2012「古代人由来ハプロタイプ配列の機能推定へ向けて」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

- 高橋伸幸
2012「創造性、試行錯誤、模倣能力の間の関係を探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 中込滋樹、間野修平、知念 寛、伊良波淳、金城福則、藤田次郎、石田 肇、木村亮介、竹山康章、向坂彰太郎、松井敏行、J.R. Kidd、K.K. Kidd、森田英利、H.S. Said、須田 互、河村正二、服部正平、埴原恒彦、太田博樹
2012「琉球諸島と北部九州におけるクローン病の遺伝と環境の相互作用に関する人類学的考察」2012.11.3. 第66回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッションYB1. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 中橋 渉
2012「移行期文化と芸術の爆発」2012.11.3. 第66回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッションYB5. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 中橋 渉
2012「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究(3) - 成長と学習に関して」2012.11.4. 第66回日本人類学会大会. シンポジウム15. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 堀内史朗
2012「祭殿拡大メカニズムの分析計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 宮里絵理、石田 肇、河内まき子、持丸正明、山口今日子、木村亮介
2012「相同モデリングを用いたヒト顔面の三次元形態解析」2012.11.4. 第66回日本人類学会大会. ポスター発表. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 諸見里恵一、石田 肇、深瀬 均、山口今日子、木村亮介
2012「若年成人における関節可動域に見られる全身の共変動パターン」2012.11.4. 第66回日本人類学会大会. ポスター発表. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 山口今日子、川口 亮、石田 肇、青木健一、渡辺千晶、木村亮介
2012「候補遺伝子アプローチによる日本人皮膚色の関連遺伝子多型の同定」2012.11.4. 第66回日本人類学会大会. 一般口演 B08. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 若野友一郎
2012「子供期の長さと言語文化の関係」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

2011

- Aoki, K.
2011 Innovativeness, population size, and cultural evolution. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Feldman, M.
2011 Evolution of learning and cognition in producers and scroungers. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Kawasaki, K.
2011 Reaction-diffusion model for range expansion of modern humans in a heterogeneous environment. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Kimura, R.
2011 Peopling of Asia Inferred from the Genome Diversity. Dual Symposia: *Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.12.1 National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Kimura, R.
2011 Reconstruction of the history of human migrations and admixtures from genome data: how to interpret multivariate genomic analysis. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Kobayashi, Y.

- 2011 Evolution of social versus individual learning in an infinite island model. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
- Lehman, L.
2011 Accumulation of cultural information under games of repeated cultural transmission. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
 - Nakahashi, W.
2011 Vertical transmission and updating by horizontal transmission. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
 - Wakano, J.Y.
2011 Competition for empty space among individual and social learners. *Workshop on the evolutionary Theory of Learning*. 2011.11.28-30. Doshisha University, Kyoto, Japan.
 - 青木健一
2011 「文化的モランモデルと文化進化速度」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 青木健一
2011 「進化的に安定な学習スケジュール」第65回日本人類学会大会. シンポジウム6. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 青木健一
2011 「文化的モランモデル」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：ヒトの学習能力の進化モデルの研究』数理生物学会企画シンポジウム. 2011.9.13. 東京：明治大学駿河台キャンパス.
 - 青木健一
2011 「学習戦略進化および文化進化速度(3)」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 青木健一
2011 「学習戦略進化および文化進化速度(続)」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 川崎廣吉
2011 「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル(2)」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - 川崎廣吉
2011 「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 木村亮介
2011 「人類の人口動態と遺伝適応の歴史」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
 - 木村亮介
2011 「ゲノム多変量解析から読み解く集団の移動史」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 沖縄：沖縄県立博物館・美術館.
 - 木村亮介
2011 「ゲノム集団遺伝学でみるホモ・サピエンスの拡散と遺伝適応」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：ヒトの学習能力の進化モデルの研究』数理生物学会企画シンポジウム. 2011.9.13. 東京：明治大学駿河台キャンパス.
 - 木村亮介
2011 「ゲノム集団遺伝学による現世人類の集団形成過程の再構築」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.

- ・ 木村亮介
2011「ヒトの異動:ゲノム多様性からの解釈」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸:神戸学院大学.
- ・ 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博文、佐宗亜依子、請久嶺忠彦、石田 肇
2011「日本列島およびアジアにおけるヒト四肢骨の形態的特徴」第65回日本人類学会大会. 一般口演 13. 2011.11.6. 那覇:沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 小林 豊
2011「学習進化の島模型」第21回日本数理生物学会大会. 口頭発表. 2011.9.13. 東京:明治大学駿河台キャンパス.
- ・ 小林 豊
2011「集団構造と学習能力の進化」第22回ダーウィンセミナー. 2011.6.24. 東京:東京工業大学田町キャンパス.
- ・ 佐藤丈寛、山口今日子、川口 亮、石田 肇、木村亮介
2011「本土日本-琉球人集団間における体毛分布差異の統計学的評価」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇:沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 嶋田 誠
2011「古代人由来ハプロタイプを含む連鎖不平衡領域の解析:現代人と古代人との学習能力差関連ゲノム領域候補として」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎:岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 嶋田 誠
2011「現生人類集団中に見られる絶滅古人類起源ハプロタイプより両者の混血と交替劇を探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京:学術総合センター.
- ・ 高橋伸幸
2011「ホモ・サピエンスにおける試行錯誤能力、創造能力、模倣学習能力の間の関係を探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎:岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 高橋伸幸
2011「サピエンス固有の学習能力の同定」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京:学術総合センター.
- ・ 露木 玲、青木健一
2011「第三者の近親相姦行動に対する道徳的評価」第65回日本人類学会大会. 一般口演 14. 2011.11.6. 那覇:沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 中伊津美、氷上光輝、中山一大、古賀農人、西田奈央、木村亮介、古澤拓郎、夏原和美、山内太郎、石田貴文、稲岡 司、松村康弘、大塚柳太郎、土屋尚之、大橋 順
2011「オセアニア集団における β アドレナリン受容体プロモーター多型と肥満との関連」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇:沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 中橋 渉
2011「学習進化モデルの視点から」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎:岡崎コンファレンスセンター.
- ・ 中橋 渉
2011「学習回数モデルにおける探究的社会的学習戦略の進化」第65回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞大賞セッション 3. 2011.11.4. 那覇:沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 中橋 渉
2011「ヒトをヒトたらしめているもの」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:ヒトの学習能力の進化モデルの研究』数理生物学会企画シンポジウム. 2011.9.13. 東京:明治大学駿河台

キャンパス.

- 中橋 渉、堀内史朗
2011「繁殖戦略の進化と家族の起源」日本人間行動進化学会第4回大会.口頭6. 2011.11.19. 札幌：北海道大学.
- 堀内史朗
2011「地域間交流が文化の蓄積を促進する」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- 堀内史朗
2011「地域間交流が新文化を創発するメカニズムの解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 宮里絵里、山口今日子、深瀬 均、石田 肇、木村亮介
2011「3次元顔面画像データの特徴点による琉球および本土日本人の判別」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 諸見里恵一、山口今日子、深瀬 均、石田 肇、木村亮介
2011「若年成人の全身性関節弛緩性と左右の優位性との関係について」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 山口今日子、宮里絵理、川口 亮、石田 肇、青木健一、木村亮介
2011「沖縄在住日本人の皮膚色変異とその遺伝的要素」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 若野友一郎、中橋 渉
2011「反応拡散方程式を用いた現世人類の分布拡大シミュレーション」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.

2010

- 青木健一
2010「学習戦略進化および文化進化速度」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター
- 青木健一、若野友一郎
2010「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』第64回日本人類学会大会シンポジウム. 2010.10.2. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター.
- 川崎廣吉
2010「不均一環境下における学習進化の反応拡散モデル」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.

【図書】

2016

- Aoki, K., J.Y. Wakano, and M.W. Feldman
2016 Gene-culture models for the evolution of altruistic teaching. In M. Tibayrenc and F.J. Ayala (eds.) *On Human Nature: Biology, Psychology, Ethics, Policy, and Religion*, in press. Amsterdam: Elsevier. (査読)
- Horiiuchi, S. and T. Takahashi
2016 Globalization and regional revitalization in a local university of Japan. In B. Gonzalez (ed.) *Globalization: Economic, Political and Social Issues*, New York: Nova Publisher.

2015

- Aoki, K. (ed.)
2015 *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2015 Modeling 2.6 million years of hominid cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 11. B01 Research Report.
- Aoki, K.

- 2015 Innovativeness and cultural evolution. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 23. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Aoki K. and A. Mesoudi
2015 Introduction. In A. Mesoudi and K. Aoki (eds.) *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*, pp. 1-8. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Fogarty, L., J.Y. Wakano, M.W. Feldman, and K. Aoki
2015. Factors limiting the number of independent cultural traits that can be maintained in a population. In A. Mesoudi and K. Aoki (eds.) *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*, pp. 9-21. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Hayakawa, T.
2015 Sialic acid receptor and the evolution of learning ability of population. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 58. B01 Research Report.
 - Hayakawa, T.
2015 Genetic basis of Neanderthal brain. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 31. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S.
2015 The origin of cross-boundary communications during the Replacement: Analysis by the social survey of spirits dance (kagura) and local art projects. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 44. B01 Research Report.
 - Horiuchi, S.
2015 The origin of cross-boundary communications during the Replacement: Analysis by the social survey of spirits dance (kagura) and local art projects. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 84. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S.
2015 Globalization may cause cultural accumulation in the whole population. In Y. Nakai, Y. Koyama, and T. Terano (eds.) *Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems VIII*, in press. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Kimura, R.
2015 Evolution of innovation behaviors under an egalitarian and cooperative society. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 24. B01 Research Report.
 - Kimura, R.
2015 Evolution of innovation behaviors under an egalitarian and cooperative society. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 82. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Kobayashi, Y.
2015 A mathematical model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 31. B01 Research Report.
 - Kobayashi, Y.
2015 A paradox of cumulative culture. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 83. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Kobayashi, Y., S. Kadowaki, and M. Naganuma
2015 A population-genetics based model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. In A. Mesoudi and K. Aoki (eds.) *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*, pp. 35-44. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Mesoudi, A. and K. Aoki (eds.)
2015 *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*. Tokyo: Springer Japan.
 - Nakahashi, W.
2015 The evolution of culturally transmitted teaching behavior. In A. Mesoudi and K. Aoki (eds.) *Learning Strategies and Cultural Evolution during the Palaeolithic*, pp. 23-33. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Nakamaru, M.
2015 Evolution of costly memory and cumulative culture. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on*

- Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 50. B01 Research Report.
- Oizumi, R.
2015 Effects of Individual Difference on Efficiency of Social Learning. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 69. B01 Research Report.
 - Oizumi, R.
2015 Effects of individual difference on efficiency of social learning. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 80. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2015 Evolutionary models of culture and learning strategies. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 17. B01 Research Report.
 - Wakano, J.Y.
2015 The stable maintenance of cooperative society by social learners. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 89. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Yamaguchi, K.
2015 Search for common genetic basis for cognitive ability and cephalic size in humans. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 5: 64-65. B01 Research Report.
 - Yamaguchi, K. and R. Kimura
2015 Evolutionary analysis of common genetic basis for cognitive ability and cephalic size in humans. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 87-88. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - 青木健一 (編)
2015 『交替劇—ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 5.
 - 青木健一
2015 「人類 260 万年の文化進化のモデリング」 青木健一編 『交替劇—ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 5: 1-9.
 - 青木健一
2015 「イノベーション能力と文化進化」 赤澤 威編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 23.
 - 大泉 嶺
2015 「個人差が生む社会学習と文化進化への影響」 青木健一編 『交替劇—ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 5: 67-69.
 - 大泉 嶺
2015 「個人差が生む社会学習と文化進化への影響」 赤澤 威編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 80.
 - 木村亮介
2015 「平等な協力社会の下でのイノベーション行動の進化」 青木健一編 『交替劇—ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 5: 19-24.
 - 木村亮介
2015 「ゲノム研究は旧人・新人間の学習能力の違いに切り込めるか？」 『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』 9-11. 公開講演会予稿集.
 - 木村亮介
2015 「平等な協力社会の下でのイノベーション行動の進化」 赤澤 威編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 10: 81.
 - 小林 豊
2015 「ユーラシアにおける MP-UP 間の文化的連続性に関する理論的考察」 青木健一編 『交替劇—ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 5: 25-31.
 - 小林 豊
2015 「中期旧石器時代から後期旧石器時代への文化の移行パターンを左右する人口学的要因について」 西秋良宏編 『ホモ・サピエンスと旧人 3—ヒトと文化の交替劇』 165-174. 東京：六—書房.
 - 小林 豊
2015 「累積的文化のパラドクス」 赤澤 威編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学

習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 83.

- 中丸麻由子
2015「記憶能力の進化と累積的文化」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 5: 45-49.
- 中丸麻由子、小池心平
2015「第9章 無縁化をもたらす非協力行動の制度的構造」日本心理学会監修. 高木修、竹村和久編『心理学叢書 無縁社会のゆくえ-人々の絆はなぜなくなるの?』東京：誠信書房.
- 中丸麻由子、小池心平
2015「第2章 集団における協力の構造と協力維持のためのルール—進化シミュレーションと聞き取り調査」西條辰義監修. 亀田達也編『「社会の決まり」はどのように決まるか?』49-83. 東京：勁草書房.
- 早川敏之
2015「シアル酸に関わる分子のヒト特異的な変化と学習能力の進化」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 5: 51-57.
- 早川敏之
2015「ネアンデルタール人の脳を遺伝子から探る」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 31.
- 堀内史郎
2015「集団外交流と交代劇—神楽と地域アートの社会調査から」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 5: 33-44.
- 堀内史郎
2015「集団外交流と交替劇：神楽と地域アートの社会調査から」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 84.
- 山口今日子
2015「認知能力と頭蓋サイズに共通する遺伝的基盤の探索」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 5: 59-64.
- 山口今日子、木村亮介
2015「頭蓋サイズと認知に共通する遺伝的基盤の進化的考察」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 85.
- 若野友一郎
2015「文化と学習能力の進化的数理モデル」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 5』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 5: 11-17.
- 若野友一郎
2015「社会学習による協力的社会の安定な維持」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 89.

2014

- Aoki, K. (ed.)
2014 *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2014 Can necessity be the mother of invention? In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 7. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2014 Population and culture: A theoretical basis for dramatic regime shifts? In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 99-101. Kochi: Kochi University of Technology.
- Fogarty, L., J.Y. Wakano, M.W. Feldman, and K. Aoki
2014 Factors limiting the number of independent cultural traits that can be maintained in a population. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 71. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Hayakawa, T.
2014 Siglec paired receptors in the human brain and the evolution of learning ability of population in the

- human lineage. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 56. B01 Research Report.
- Hayakawa, T.
2014 Molecules involved in sialic acid biology and the evolution of learning ability of population in the human lineage. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 111. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S.
2014 Why did artistic culture emerge after the replacement was completed? In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 35. B01 Research Report.
 - Horiuchi, S.
2014 The mechanisms of cultural accumulation via art: Social survey on HANARART. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 74. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S.
2014 Why did the arts precede prehistoric settlement in Modern Humans? In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 97-98. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kimura, R.
2014 Formation of cooperative societies rescues risk-taking innovators and leads to rapid cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 27. B01 Research Report.
 - Kimura, R.
2014 Interpretations of Practical Population Genetics Analyses of Genome-Wide SNP Data on Human Demography. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 105-117. Tokyo: Springer Japan.
 - Kimura, R.
2014 Human migrations and adaptations in Asia inferred from genome diversity. In Y. Kaifu, M. Izuhou, T. Goebel, H. Sato and A. Ono (eds.) *Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia*, pp. 34-50. Texas: Texas A&M University Press, College Station.
 - Kimura, R., W. Nakahashi, and K. Tamura
2014 The evolution of risk-taking innovative behaviors: cooperative society-initiated hypothesis. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 105. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Kimura, R., W. Nakahashi, and K. Tamura
2014 The formation of cooperative society initiates the evolution of risk-taking innovative behaviors. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 145-147. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Kobayashi, Y.
2014 The origin of explosive cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 97. B01 Research Report.
 - Kobayashi, Y.
2014 The replacement of Neanderthals by modern humans and the diversity in cultural transition patterns: a theoretical perspective. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 39. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Kobayashi, Y., S. Kadowaki and M. Naganuma
2014 A population-genetics based model for explaining apparent cultural continuity from the Middle to Upper Palaeolithic in Eurasia. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 154-155. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nakahashi, W.
2014 Division of labor and replacement of Neanderthals by modern humans. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 88. B01 Research Report.
 - Nakahashi, W.
2014 The effect of trauma on cultural transmission of Neanderthals. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 151-153. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Nakamaru, M.

- 2014 Costly memory and cumulative culture. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 35. B01 Research Report.
- Nakamaru, M.
2014 Memory and cumulative culture: The population dynamics and the evolutionary dynamics. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 109. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Takahashi, N., A. Hatano, M. Inaba, R. Onoda, and D. Simunovic
2014 Social learning, trial-and-error, and creativity. In T. Akazawa, N. Ogihara, H. C. Tanabe, and H. Terasima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2 Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 49-63. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Wakano, J.Y.
2014 Trade-off between learning and exploitation: Optimal learning schedule in cumulative cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 19. B01 Research Report.
 - Wakano, J.Y.
2014 Cultural evolution and Evolution of life-history strategy: Optimal learning / developmental schedule for an individual / a group. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 73. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2014 Learning schedule and cultural evolution: COS and ESS. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 102-104. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Yamaguchi, K.
2014 Connecting genetic data with cognition and behavior. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 4: 104. B01 Research Report.
 - Yamaguchi, K. and R. Kimura
2014 Connecting genetic data with cognition and behavior: from genetic basis of Autism. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 107. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Yamaguchi, K., T. Hayakawa, C. Watanabe, T. Sato, A. Kawaguchi, K. Yamamoto, H. Ishida, and R. Kimura
2014 Genome-wide association analysis of cephalic form in modern Japanese. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 148-150. Kochi: Kochi University of Technology.
 - 青木健一 (編)
2014 『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 4.
 - 青木健一
2014 「必要は発明の母でありうるか？」 青木健一編 『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 4: 1-7.
 - 青木健一
2014 「先史文化の数理—ネアンデルタールからヒトへ」 三村昌泰編 『現象数理の冒険』 71-94. 東京：明治大学出版会.
 - 木村亮介
2014 「協力社会の形成はイノベーション行動のリスクを補償し、技術進化速度の向上をもたらす—共同体主導学習進化仮説の提案」 青木健一編 『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 4: 21-27.
 - 木村亮介、中橋 渉、田村光平
2014 「リスクを伴うイノベーション行動の進化：共同体主導仮説」 西秋良宏編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 9: 104.
 - 小林 豊
2014 「爆発的文化進化の起源」 青木健一編 『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 4: 89-97.
 - 小林 豊
2014 「『交替劇』と文化変化の多様性の理論的考察」 西秋良宏編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 9: 39.

- 中橋 渉
2014「分業と交替劇」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 57-88.
- 中丸麻由子
2014「記憶と累積的文化」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 29-35.
- 中丸麻由子
2014「第 11 章 コンピュータシミュレーションで社会を捉える」西條辰義監修、西條辰義、清水和巳編『実験が切り開く 21 世紀の社会科学 (フロンティア実験社会科学 第 1 巻)』125-137. 東京: 勁草書房.
- 中丸麻由子
2014「記憶と累積的文化: 個体群動態モデルと進化モデル」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 108.
- 早川敏之
2014「ヒト特異的な脳内の Siglec ペア型受容体と学習能力の進化」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 49-56.
- 早川敏之
2014「シアル酸に関わる分子と学習能力の進化」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 110.
- 堀内史朗
2014「交替劇後に本格的な芸術が始まったのは何故か」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 37-47.
- 堀内史朗
2014「芸術による文化蓄積の実態: 奈良町家芸術祭 (HANARART) の調査から」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 74.
- 山口今日子
2014「遺伝的基盤と認知・行動を結びつける」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 99-104.
- 山口今日子、木村亮介
2014「遺伝的基盤と認知・行動を結びつける: 自閉症の遺伝的基盤から」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 106.
- Fogarty, L., 若野友一郎, M.W. Feldman, 青木健一
2014「集団中に維持される独立な文化要素の数を制限する要因」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 70.
- 若野友一郎
2014「学習と活用のトレードオフ: 蓄積的文化進化における最適な学習のスケジュール」青木健一編『交替劇-ヒトの学習能力の進化モデルの研究 4』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 4: 9-19.
- 若野友一郎
2014「文化進化と生活史戦略の進化: 個体/集団にとっての最適な学習戦略/成長戦略」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 72.

2013

- Akazawa T, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.)
2013 *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 1 Cultural Perspectives*. Tokyo: Springer Japan.
- Aoki, K. (ed.)
2013 *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3. B01 Research Report.
- Aoki, K.

- 2013 Cultural evolutionary rates and the replacement scenario. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 7. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2013 Why are learning schedules worth studying? In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 8. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Aoki, K.
2013 Possible acceleration of the cultural evolutionary rate with age due to an increase in the number of acquaintances. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 20. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Aoki, K. (ed.)
2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Aoki, K.
2013 Theoretical studies on learning strategy evolution and cultural evolutionary rate. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 57. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Aoki, K.
2013 Modelling the evolution of parental altruistic teaching. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 71. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Aoki, K.
2013 Determinants of Cultural Evolutionary Rates. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol.1: Cultural Perspectives*, pp. 199-210. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Hayakawa, T.
2013 Schizophrenia and the evolution of learning ability of population. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 62. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Hayakawa, T.
2013 Emergence of Siglec paired receptors in the human brain and the evolution of learning ability of population in the human lineage. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 79. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S.
2013 The effects of resource distribution on the origin of inter-group communication. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 65. B01 Research Report.
 - Horiuchi, S.
2013 Evolution and functions of art strategy in the replacement and the present. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 77. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Horiuchi, S. and S. Kubota
2013 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Innovation. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 1: Cultural Perspectives*, pp. 229-236. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Kimura, R.
2013 On the evolution and dispersals of *Homo sapiens* in Africa. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 15. B01 Research Report.
 - Kimura, R.
2013 The origin of *Homo sapiens*: considerations from genetics. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 27. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Kimura, R.
2013 The genetic diversity in genes associated with neural and mental characteristics. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 10. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Kimura, R.
2013 On the diversity of the learning and social abilities in humans. In K. Aoki (ed.) *Replacement of*

- Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 8. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kimura, R and W. Nakahashi
2013 Formation of cooperative societies rescues risk-taking innovators and leads to rapid cultural evolution. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 73. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Kimura, R. and J. Ohashi
2013 Identifying regions of the human genome that exhibit evidence of positive selection (ver. 2). *Encyclopedia of Life Sciences*, DOI: 10.1002/9780470015902.a0020850.pub2.
 - Kobayashi, Y.
2013 A simulation study of the replacement of Neanderthals by modern humans in Europe: Effect of climate change, cultural evolution, and the shape of the continent. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 96. B01 Research Report.
 - Kobayashi, Y.
2013 Simulating the spread of modern humans into Europe. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 32-33. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Kobayashi, Y.
2013 A Simulation Study on the Replacement of Neanderthals by Modern Humans in Europe: Implications of Climate Change, Cultural Diversification, and the Shape of the Continent. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 1: Cultural Perspectives*, pp. 237-243. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Nakahashi, W.
2013 Cultural evolutionary speed and cultural interaction. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 85. B01 Research Report.
 - Nakahashi, W.
2013 Cultural interaction and cultural evolution. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 123. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Nakahashi, W.
2013 Estimation of the effect of traumatic injuries on Neanderthal culture. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 75. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Nakahashi, W.
2013 Cultural Evolution and Learning Strategies in Hominids. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol.1: Cultural Perspectives*, pp. 245-254. Tokyo: Springer Japan.
 - Nakahashi, W.
2013 A Mathematical Model of Cultural Interactions Between Modern and Archaic Humans. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 1: Cultural Perspectives*, pp. 255-263. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Nakamaru, M.
2013 Evolution of cooperation and memory. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 17. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Nakamaru, M.
2013 Memory and cumulative culture. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 131. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Ohtsuki, H.
2013 Evolution of learning abilities of cumulative culture. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 60. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Shimada, M.
2013 Evaluation of archaic haplotype candidates reported in modern humans. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 53. B01 Research Report.
 - Shimada, M.

- 2013 Origin and function of ancient haplotypes found in modern humans. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 121. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Takahashi, N.
2013 Are creative people better imitators? In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 42. B01 Research Report.
 - Takahashi, N.
2013 Social learning, trial-and-error, and imitation – The second experiment. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 119. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2013 A perspective on models of cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 15. B01 Research Report.
 - Wakano, J.Y.
2013 Differential use of individual and social learning as an optimal life history strategy. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 13. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2013 Trade-off between learning and exploitation: the Pareto-optimal versus evolutionarily stable learning in cumulative cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 59. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2013 Optimal learning schedule in human life history. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 37. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2013 A Perspective on Evolutionary Models of Learning Strategies. In T. Akazawa, Y. Nishiaki, and K. Aoki (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 1: Cultural Perspectives*, pp. 265-269. Tokyo: Springer Japan. (査読)
 - Yamaguchi, K.
2013 Examining human expansion to the New World from the genetic data. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 3: 102. B01 Research Report.
 - Yamaguchi, K.
2013 Examining human expansion to the north from the genetic data. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 55. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Yamaguchi, K.
2013 Connecting genetic data with cognition and behavior. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 64. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Yamaguchi, K.
2013 Connecting genetic data with cognition and behavior. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 129. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
 - 青木健一 (編)
2013 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 3』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 3.
 - 青木健一
2013 「文化進化速度と交替劇」 青木健一編 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 3: 1-7.
 - 青木健一 (編)
2013 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No.7.
 - 青木健一
2013 「何故、学習スケジュールに注目するのか？」 米田 穰編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 6: 8.
 - 青木健一

- 2013「成長と学習スケジュール」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 6.
- 青木健一
2013「発達に伴う知己範囲拡大と文化進化加速の可能性」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 20.
 - 青木健一
2013「学習戦略進化および文化進化速度に関する理論的研究」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 56-57.
 - 青木健一
2013「教示の進化モデル」『第23回日本数理生物学会大会・講演要旨』65.
 - 青木健一、若野友一郎、M.W. Feldman
2013「親による利他的教示の進化モデル」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 70.
 - 大槻 久
2013「累積性を持つ文化に対する学習能力の進化」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 60.
 - 木村亮介
2013「アフリカにおけるホモ・サピエンスの進化と拡散について」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 17-26.
 - 木村亮介
2013「ホモ・サピエンスの成り立ち—遺伝学からの考察」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 33-34.
 - 木村亮介
2013「ヒトの学習能力・社会能力の多様性について考える」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 6.
 - 木村亮介
2013「ゲノム時代の集団解析—ヒト研究を例に」種生物学会編『系統地理学：DNA で解き明かす生きものの自然史』215-260. 東京：文一総合出版.
 - 木村亮介
2013「ゲノムからみた人類の拡散と適応」印東道子編『人類の移動誌』25-37. 京都：臨川書店.
 - 木村亮介、中橋 渉
2013「協力社会の形成はリスクの高いイノベーション行動を救済し、急速な文化進化をもたらす—共同体主導学習進化仮説の提案—」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 72.
 - 小林 豊
2013「ヨーロッパにおける交替劇をシミュレーションで理解する：気候変動、文化進化、地形の役割に注目して」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 87-96.
 - 小林 豊
2013「新人のヨーロッパ拡散のシミュレーション」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 32-33.
 - 小林 豊
2013「文化成長の限界」『第23回日本数理生物学会大会・講演要旨』61.
 - 嶋田 誠
2013「現代人ゲノム中の古代人由来ハプロタイプの評価」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 43-52.
 - 嶋田 誠
2013「現代人ゲノム中に存在する古代人由来候補配列の起源と機能」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 120-121.

- 高橋伸幸
2013「創造的な人は真似も上手い？」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』
「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 29-41.
- 高橋伸幸
2013「社会学習、試行錯誤、模倣能力-第 2 実験」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス
交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 118-119.
- 中橋 渉
2013「文化進化速度と異文化交流」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』
「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 67-84.
- 中橋 渉
2013「異文化交流と文化進化」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習
能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 122-123.
- 中橋 渉
2013「外傷が旧人文化に及ぼした影響の推定」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替
劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 74.
- 中丸麻由子
2013「社会性の進化と記憶能力」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学
習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 16-17.
- 中丸麻由子
2013「記憶と累積的文化」『第 23 回日本数理生物学会大会・講演要旨』64.
- 中丸麻由子
2013「記憶と累積的文化」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力
の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 130.
- 早川敏之
2013「精神疾患から紐解く新人と旧人の学習能力の違い」青木健一編『ネアンデルタールとサピ
エンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 61-
62.
- 早川敏之
2013「ヒト特異的な脳での Siglec ペア型受容体の出現と学習能力の進化」寺嶋秀明編『ネアンデ
ルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会
報告書 No. 8: 78.
- 堀内史朗
2013「資源分布と交流の起源」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替
劇」B01 班研究報告書 No. 3: 55-64.
- 堀内史朗
2013「交替劇における芸術の進化と現代における芸術の機能」寺嶋秀明編『ネアンデルタールと
サピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8:
76.
- 山口今日子
2013「遺伝データからヒトの新大陸進出を考察する」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化
モデルの研究 2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 3: 97-102.
- 山口今日子
2013「脳神経を介して遺伝的基盤と認知・行動を結びつける」青木健一編『ネアンデルタールと
サピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7:
63-64.
- 山口今日子
2013「遺伝的基盤と認知・行動を結びつける」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替
劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 128.
- 山口今日子、木村亮介
2013「北方への進出と遺伝的適応」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：
学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 54-55.
- 若野友一郎

2013 「文化進化の数理モデル：その狙いと今後の展望」 青木健一編 『交替劇—人の学習能力の進化モデルの研究 2』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 3: 9-15.

- 若野友一郎
2013 「最適生活し戦略としての個体学習と社会学習の使い分け」 米田 穰編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 6: 13.
- 若野友一郎
2013 「学習と活用のトレードオフ：蓄積的文化進化におけるパレート最適な学習スケジュールと進化的に安定な学習スケジュール」 青木健一編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相—学習能力の進化に基づく実証的研究』 No. 7: 58-59.
- 若野友一郎
2013 「累積的進化モデルにおけるパレート最適な学習戦略と進化的に安定な学習戦略」 『第 23 回日本数理生物学会大会・講演要旨』 62.
- 若野友一郎
2013 「ヒトの生活史における最適な学習スケジュール」 寺嶋秀明編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 36.

2012

- Aoki, K. (ed.)
2012 *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2012 Evolutionarily stable learning schedules. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 6. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2012 A human-specific learning strategy? In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 47. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Aoki, K.
2012 Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 19-21. Kochi: Kochi University of Technology.
- Aoki, K.
2012 Advanced Individual Learning—the Key to Replacement—. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 42-44. Kochi: Kochi University of Technology.
- Aoki, K.
2012 Determinants of Cultural Evolutionary Rates. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 56-57. Kochi: Kochi University of Technology.
- Horiuchi, S.
2012 The effect of inter-group communication on cultural accumulation. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 71. B01 Research Report.
- Horiuchi, S.
2012 How did sapiens create big festivals? In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 59. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Horiuchi, S.
2012 Analyses of Contributions of Inter-Group Communication on New Culture Emergence. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 66. Kochi: Kochi University of Technology.
- Horiuchi, S.
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Diversity. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 121-122. Kochi: Kochi University of Technology.
- Horiuchi, S. and S. Kubota
2012 The Effects of Cross-Boundary Rituals on Cultural Innovation. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 53-54. Kochi: Kochi University of Technology.

- Kawasaki, K.
2012 Reaction-diffusion model for range expansion of modern humans in a heterogeneous environment. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 6. B01 Research Report.
- Kawasaki, K.
2012 Reaction-diffusion model for range expansion of modern humans in a heterogeneous environment (4). In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 49. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kawasaki, K.
2012 Effect of a Heterogeneous Environment on Range Expansion of Individual and Social Learners. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 123-124. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kimura, R.
2012 Divergence and admixture among human populations: reconstruction of the demographic model from genome diversity. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 41. B01 Research Report.
- Kimura, R.
2012 Genetic factors involved in learning abilities and their evolution. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 53. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kimura, R.
2012 Dispersals of Modern Humans: Inferences from Genome Diversity Data. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 125-126. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kobayashi, Y.
2012 Evolution of learning and dispersal in a spatially structured population. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 102. B01 Research Report.
- Kobayashi, Y.
2012 Rapid vegetation change and the replacement of Neanderthals by modern humans: a simulation study. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 61. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kobayashi, Y.
2012 A simulation Study on the Replacement of Neanderthals by Modern Humans in Europe: Implication of Climate Change, Cultural Diversification, and the Shape of the Continent. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 127-129. Kochi: Kochi University of Technology.
- Lehmann, L.
2012 The Handaxe and the Microscope: Experience-Based and Fictitious Learning in a Geometric Model of Adaptation. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 60. Kochi: Kochi University of Technology.
- Nakahashi, W.
2012 Evolution of learning strategies that characterize modern humans. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 92. B01 Research Report.
- Nakahashi, W.
2012 A Mathematical Model of Cultural Interactions between Modern and Archaic Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 130-132. Kochi: Kochi University of Technology.
- Shimada, M.
2012 Archaic haplotype found in modern human populations. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 59. B01 Research Report.
- Shimada, M.
2012 A step toward estimating the function of ancient haplotypes. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 57. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Shimada, M.
2012 Unusual Ancient Haplotypes in Modern Human Probe for Archaic Hominin Admixture. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 62-63. Kochi: Kochi University of Technology.

- Technology.
- Shimada, M.
2012 An Attempt to Estimate the Functional Difference in Haplotypes between Archaic and Modern Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 133-134. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Takahashi, N.
2012 Examining the relationships among creativity, trial-and-error, and imitation. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 55. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Takahashi, N.
2012 Measuring multiple learning abilities in *Homo sapiens*. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 49. B01 Research Report.
 - Takahashi, N.
2012 Identifying Learning Ability Specific to *Homo sapiens*. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 64-65. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Takahashi, N. A. Hatano, M. Inada, R. Onoda, and D. Simunovic
2012 Social Learning, Trial-and-Error, and Creativity. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 61-62. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Viscardi, L.H., V.R. Paicao-Cortes, F.M. Salzano, T. Hunemeier, and M.C. Bortolini
2012 The Down of Hierarchy: The Cognitive Ability of Archaic Hominins. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 135-136. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Wakano, J.Y.
2012 The relationship between the childhood period and cumulative culture. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 51. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2012 Spatial dynamics of costly spte and cooperation by conformist transmission. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 2: 23. B01 Research Report.
 - Wakano, J.Y., K. Aoki, and L. Lehmann
2012 Scheduling of Individual and Social Learning as Optimal Life History Strategy. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 58-59. Kochi: Kochi University of Technology.
 - 青木健一（編）
2012 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2.
 - 青木健一
2012 「進化的に安定な学習スケジュール」 青木健一編 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 1-5.
 - 青木健一
2012 「ヒト特異的な学習戦略とは？」 荻原直道編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 46.
 - 青木健一
2012 「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」 赤澤 威編 『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 79-80.
 - 青木健一
2012 「高度な個体学習能力が鍵？」 赤澤 威編 『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 90-91.
 - 青木健一、若野友一郎、L. Lehmann
2012 「成長段階に依存する学習戦略の進化」 荻原直道編 『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 118.
 - 川口 亮、菅原広史、木村亮介、石田 肇
2012 「mtDNA 分析による出土魚骨の種判別：沖縄県勝連城跡からの魚骨を用いた可能性調査」 荻原直道編 『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 78.
 - 川崎廣吉
2012 「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル」 青木健一編 『交替劇-人の学習能

- 力の進化モデルの研究 2』「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 7-14.
- 川崎廣吉
2012「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル (4)」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 48.
 - 木村亮介
2012「ヒト集団の分岐と混血：多集団データからのモデル構築」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 25-41.
 - 木村亮介
2012「学習能力に関連する遺伝要因とその進化」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 52.
 - 木村亮介、渡辺千晶、山口徹太郎、槇宏太郎、武田麻耶子、川口 亮、石田 肇
2012「WNT10A の多型は歯冠サイズと関連する」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』51.
 - 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博史、佐宗亜依子、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012「日本およびアジア集団におけるヒト四肢骨の形態的特徴」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』69.
 - 小林 豊
2012「空間構造のある集団における学習能力と分散傾向の進化」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 93-101..
 - 小林 豊
2012「急速な植生遷移と交替劇：シミュレーションに基づく研究」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 60.
 - 米須学美、川口 亮、佐藤丈寛、石田 肇、山口今日子、渡邊千晶、木村亮介
2012「2D：4D 比は性ホルモン関連形質の指標として妥当なのか？」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』65.
 - 佐藤丈寛、川口 亮、石田 肇、山口徹太郎、山本 健、河村正二、中込滋樹、間野修平、埴原恒彦、太田博樹、渡辺千晶、山口今日子、木村亮介
2012「ゲノムワイド SNP データに基づく琉球列島の人々の集団構成」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』47.
 - 嶋田 誠
2012「現代人ゲノム中に報告された古代人由来ハプロタイプ」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 51-58.
 - 嶋田 誠
2012「古代人由来ハプロタイプ配列の機能推定へ向けて」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 56.
 - 嶋田 誠
2012「現生人類集団中に見られる絶滅古人類起源ハプロタイプより両者の混血と交替劇を探る」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 101-102.*
 - 高橋伸幸
2012「サピエンスの複数の学習能力の測定」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 2: 43-48.
 - 高橋伸幸
2012「創造性、試行錯誤、模倣能力の間の関係を探る」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 54.
 - 高橋伸幸
2012「サピエンス固有の学習能力の同定」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 102-103.*
 - 中込滋樹、間野修平、知念 寛、伊良波淳、金城福則、藤田次郎、石田 肇、木村亮介、竹山康章、向坂彰太郎、松井敏行、J.R. Kidd、K. K. Kidd、森田英利、H.S. Said、須田 互、河村正二、

服部正平、埴原恒彦、太田博樹

2012「琉球諸島と北部九州におけるクローン病の遺伝と環境の相互作用に関する人類学的考察」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』46.

- 中橋 渉
2012「サピエンス的な学習戦略の進化」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 2: 73-92.
- 中橋 渉
2012「移行期文化と芸術の爆発」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』48.
- 中橋 渉
2012「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究（3）-成長と学習に関して」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』118-119.
- 堀内史朗
2012「集団間交流が文化蓄積速度に与える影響」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 2: 61-71.
- 堀内史朗
2012「祭殿拡大メカニズムの分析計画」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 58.
- 堀内史朗
2012「地域間交流が新文化を創発するメカニズムの解明」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 103-104.*
- 宮里絵理、石田 肇、河内まき子、持丸正明、山口今日子、木村亮介
2012「相同モデリングを用いたヒト顔面の三次元形態解析」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』69.
- 諸見里恵一、石田 肇、深瀬 均、山口今日子、木村亮介
2012「若年成人における関節可動域に見られる全身的共変動パターン」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』82.
- 山口今日子、川口 亮、石田 肇、青木健一、渡辺千晶、木村亮介
2012「候補遺伝子アプローチによる日本人皮膚色の関連遺伝子多型の同定」荻原直道編『第66回日本人類学会大会プログラム・抄録集』57.
- 若野友一郎
2012「同調伝達による協力行動とスパイト行動の空間ダイナミクス」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 2』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 2: 15-22.
- 若野友一郎
2012「子供期の長さや蓄積的文化の関係」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 50.

2011

- Aoki, K.
2011 Evolution of learning strategies and rates of cultural evolution (3). In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 37. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Aoki, K.
2011 Evolution of learning strategies and rates of cultural evolution (cont'd). In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 33. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Aoki, K. (ed.)
2011 *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No.1. B01 Research Report.
- Aoki, K.
2011 Evolution of learning strategies and rates of cultural evolution. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 1: 7. B01 Research Report.
- Horiuchi, S.
2011 Research on new culture creation by analyzing communication among local cultures. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3:

63. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Nakahashi, W.
2011 Evolution of social learning strategies. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 1: 37. B01 Research Report.
 - Kawasaki, K.
2011 Reaction-diffusion model for range expansion of modern humans in a heterogeneous environment (2). In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 38. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Kawasaki, K.
2011 Reaction-diffusion model for range expansion of modern humans in a heterogeneous environment. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 31. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Kimura, R.
2011 Reconstruction of the process population formation modern humans from a view of population genomics. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 41. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Kimura, R.
2011 Migrations of modern humans: Interpretations from genome diversity. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 32. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Kimura, R.
2011 Migrations of modern humans: interpretations from genome diversity. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 1: 28. B01 Research Report.
 - Kobayashi, Y.
2011 Evolution of learning in a spatially subdivided population. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 1: 45-46. B01 Research Report.
 - Shimada, M.
2011 Unusually ancient haplotypes in modern human probe for archaic hominin admixture. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 65. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Takahashi, N.
2011 Identifying learning ability specific to Homo sapiens. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 61. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y. and W. Nakahashi
2011 Simulation study on range expansion of modern humans by reaction-diffusion equation. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 40. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Wakano, J.Y.
2011 Coexistence of individual and social learners during range-expansion. In K. Aoki (ed.) *RNMH: Research on Evolutionary Models of Human Learning Abilities*. No. 1: 19. B01 Research Report.
 - 青木健一（編）
2011 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 1.
 - 青木健一
2011 「文化的モランモデルと文化進化速度」 田邊宏樹編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 4: 10.
 - 青木健一
2011 「学習戦略進化および文化進化速度(3)」 西秋良宏編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 3: 37.
 - 青木健一
2011 「学習戦略進化および文化進化速度(続)」 寺嶋秀明編 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 2: 33.
 - 青木健一
2011 「学習戦略進化および文化進化速度」 青木健一編 『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』 「交替劇」 B01 班研究報告書 No. 1: 1-7.

- 川崎廣吉
2011「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 30.
- 木村亮介
2011「人類の人口動態と遺伝適応の歴史」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 6.
- 木村亮介
2011「ゲノム集団遺伝学による現世人類の集団形成過程の再構築」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 41.
- 木村亮介
2011「ヒトの移動：ゲノム多様性からの解釈」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 1: 21-28.
- 木村亮介
2011「ヒトの移動：ゲノム多様性からの解釈」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 32.
- 小林 豊
2011「集団の空間構造が学習能力の進化に与える影響」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 1: 39-45.
- 嶋田 誠
2011「古代人由来ハプロタイプを含む連鎖不平衡領域の解析：現代人と古代人との学習能力差関連ゲノム領域候補として」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 94.
- 嶋田 誠
2011「現生人類集団中に見られる絶滅古人類起源ハプロタイプより両者の混血と交替劇を探る」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 64.
- 高橋伸幸
2011「ホモ・サピエンスにおける試行錯誤能力、創造能力、模倣学習能力の関係を探る」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 90.
- 高橋伸幸
2011「サピエンス固有の学習能力の同定」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 61.
- 中橋 渉
2011「学習進化モデルの視点から」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 16.
- 中橋 渉
2011「社会学習戦略の進化」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 1: 29-36.
- 堀内史朗
2011「地域間交流が文化の蓄積を促進する」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 88.
- 堀内史朗
2011「地域間交流が新文化を創発するメカニズムの解明」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 63.
- 若野友一郎
2011「分布拡大時における個体学習者と社会学習者の共存」青木健一編『交替劇-人の学習能力の進化モデルの研究 1』「交替劇」B01 班研究報告書 No. 1: 9-19.
- 若野友一郎、中橋 渉
2011「反応拡散方程式を用いた現世人類の分布拡大シミュレーション」西秋良宏編『ネアンデル

タールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 39.

- ・ 若野友一郎、川崎廣吉、重定南奈子、青木健一
2011「人類集団の分布拡大と、それに伴う個体学習能力の進化」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 96.

2010

- ・ Aoki, K.
2010 Evolution of Learning Strategies and Rates of Cultural Evolution. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 48-49. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- ・ Kawasaki, K.
2010 Reaction-Diffusion Model of Evolution of Learning in A Heterogeneous Environment. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 50-51. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- ・ Kimura, R.
2010 Range Expansion Patterns of Modern Humans as Inferred from Genome Diversity. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 54. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- ・ Wakano, J.Y.
2010 Model of Evolution of Learning Ability Based on Reaction-Diffusion Equations. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 52-53. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- ・ 青木健一
2010「学習戦略進化および文化進化速度」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 48.
- ・ 青木健一、若野友一郎
2010「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」『第64回日本人類学会大会抄録集』82.
- ・ 川崎廣吉
2010「不均一環境下における学習進化の反応拡散モデル」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 50.
- ・ 木村亮介
2010「ゲノム多様性から探る人の分布拡大様式」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 54.
- ・ 若野友一郎
2010「反応拡散方程式を用いた学習能力の進化モデル」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 52.

計画研究 B02 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」

【雑誌論文】

2016

- ・ Naito, Y.I., H. Bocherens, Y. Chikaraishi, D.G. Drucker, C. Wing, M. Yoneda, and N. Ohkouchi
2016 An overview of method used for the detection of aquatic resource consumption by humans: Compound-specific delta N-15 analysis of amino acids in archaeological materials. *Journal of Archaeological Science*. (In press) (査読)
- ・ Suzuki, S., M. Sunagawa, M. Shindo, R. Kimura, K. Yamaguchi, T. Sato, M. Yoneda, T. Nagaoka, K. Saiki, T. Wakebe, K. Hirata, T. Tsurumoto, and H. Ishida
2016 Degenerative changes in the appendicular joint of ancient human populations from the Japan Islands. *Quaternary International*. (In press) (査読)
- ・ Tsutaya, T., T. Nagaoka, Y. Kakinuma, O. Kondo, M. Yoneda
2016 Homogenous diet of townspeople in the city of Edo: carbon and nitrogen stable isotope analyses of human skeletons from the Ikenohata-shichikencho site. *Anthropological Science*. 124. (In press) (査読)
- ・ Umezaki, M., Y.I. Naito, T. Tsutaya, J. Baba, K. Tadokoro, S. Odani, A. Morita, K. Natsuhara, S. Phuanukoonnon, G. Vengiau, P.M. Siba, and M. Yoneda

2016 Association between gender inequality in animal protein intake and economic development in Papua New Guinea highland societies: the carbon and nitrogen isotopic composition of scalp hair and fingernail samples. *American Journal of Physical Anthropology*. 155. (In press) (査読)

2015

- Abe-Ouchi, A., F. Saito, M. Kageyama, P. Braconnot, S.P. Harrison, K. Lambeck, B.L. Otto-Bliesner, W.R. Peltier, L. Tarasov, J.-Y. Peterschmitt, K. Takahashi
2015 Ice-sheet configuration in the CMIP5/PMIP3 Last Glacial Maximum experiments. *GEOSCIENTIFIC MODEL DEVELOPMENT* 8, 3621-3637. DOI: 10.5194/gmd-8-3621-2015. (査読)
- Becker, T.W., J. Bass, J. Blichert-Toft, L. Derry, C.-T. Lee, J. Tyburczy, D. Vance, Y. Yokoyama
2015 Appreciation of peer reviewers for 2014. *GEOCHEMISTRY GEOPHYSICS GEOSYSTEMS* 16, 2473-2479. DOI: 10.1002/2015GC005982. (査読)
- Chen, C.-W., H. Saito, T. Oguchi
2015 Rainfall intensity-duration conditions for mass movements in Taiwan. *PROGRESS IN EARTH AND PLANETARY SCIENCE* 2, 14. DOI 10.1186/s40645-015-0049-2. (査読)
- de Boer, B., A.M. Dolan, J. Bernales, E. Gasson, H. Goelzer, N.R. Golledge, J. Sutter, P. Huybrechts, G. Lohmann, I. Rogozhina, A. Abe-Ouchi, F. Saito, R.S.W. van de Wal
2015 Simulating the Antarctic ice sheet in the late-Pliocene warm period: PLISMIP-ANT, an ice-sheet model intercomparison project. *CRYOSPHERE* 9, 881-903. DOI: 10.5194/tc-9-881-2015. (査読)
- Dolan, A. M., S.J. Hunter, D.J. Hill, A.M. Haywood, S.J. Koenig, B.L. Otto-Bliesner, A. Abe-Ouchi, F. Bragg, W.-L. Chan, M.A. Chandler, C. Contoux, A. Jost, Y. Kamae, G. Lohmann, D.J. Lunt, G. Ramstein, N.A. Rosenbloom, L. Sohl, C. Stepanek, H. Ueda, Q. Yan, Z. Zhang
2015 Using results from the PlioMIP ensemble to investigate the Greenland Ice Sheet during the mid-Pliocene Warm Period. *CLIMATE OF THE PAST* 11, 403-424. DOI: 10.5194/cp-11-403-2015. (査読)
- Dou, J., U.Paudel, T. Oguchi, S. Uchiyama, Y.S. Hayakawa
2015 Shallow and Deep-Seated Landslide Differentiation Using Support Vector Machines: A Case Study of the Chuetsu Area, Japan. *TERRESTRIAL ATMOSPHERIC AND OCEANIC SCIENCES* 26, 227-239. DOI: 10.3319/TAO.2014.12.02.07(EOSI). (査読)
- Gakuhari, T., H. Komiya, J. Sawada, A. Anesaki, T. Sato, K. Kobayashi, S. Itoh, K. Kobayashi, H. Matsuzaki, K. Yoshida, and M. Yoneda
2015 Radiocarbon dating of a human and buried dogs from the Kamikuroiwa rock shelter site, Ehime, Japan. *Anthropological Science* 123(2), 87-94. DOI: 10.1537/ase.150309. (査読)
- Hamanaka, N., H. Kan, Y. Nakashima, Y. Yokoyama, T. Okamoto, T. Ohashi, H. Adachi, H. Matsuzaki, N. Hori
2015 Holocene reef-growth dynamics on Kodakara Island (29 degrees N, 129 degrees E) in the Northwest Pacific. *GEOMORPHOLOGY* 243, 27-39. DOI: 10.1016/j.geomorph.2015.04.011. (査読)
- Harris, Daniel L., J.M. Webster, A. Vila-Concejo, Q. Hua, Y. Yokoyama, P.J. Reimer
2015 Late Holocene sea-level fall and turn-off of reef flat carbonate production: Rethinking bucket fill and coral reef growth models. *GEOLOGY* 43, 175-178. DOI: 10.1130/G35977.1. (査読)
- Hayakawa, Y.S., T. Oguchi, H. Saito, A. Kobayashi, V.R. Baker, J.D. Pelletier, L.A. McGuire, G. Komatsu, K. Goto
2015 Geomorphic imprints of repeated tsunami waves in a coastal valley in northeastern Japan. *GEOMORPHOLOGY* 242, 3-10. DOI: 10.1016/j.geomorph.2015.02.034. (査読)
- Hu, A., G.A. Meehl, W. Han, B. Otto-Bliestner, A. Abe-Ouchi, N. Rosenbloom
2015 Effects of the Bering Strait closure on AMOC and global climate under different background climates. *PROGRESS IN OCEANOGRAPHY* 132, 174-196. DOI: 10.1016/j.pocean.2014.02.004. (査読)
- Ishikawa, N.F., T. Ichiro, M. Yamane, Y. Yokoyama, S. Sakai, N. Ohkouchi
2015 SOURCES OF DISSOLVED INORGANIC CARBON IN TWO SMALL STREAMS WITH DIFFERENT BEDROCK GEOLOGY: INSIGHTS FROM CARBON ISOTOPES. *RADIOCARBON* 57, 439-448. DOI: 10.2458/azu_rc.57.18348. (査読)
- Inoue, M., N. Gussone, Y. Koga, A. Iwase, A. Suzuki, K. Sakai, H. Kawahata
2015 Controlling factors of Ca isotope fractionation in scleractinian corals evaluated by temperature, pH and light controlled culture experiments. *GEOCHIMICA ET COSMOCHIMICA ACTA* 167, 80-92. DOI: 10.1016/j.gca.2015.06.009. (査読)
- Irizuki, T. M. Kobe, K. Ohkushi, H. Kawahata, K. Kimoto
2015 Centennial- to millennial-scale change of Holocene shallow marine environments recorded in

- ostracode fauna, northeast Japan. *QUATERNARY RESEARCH* 84, 467-480. DOI: 10.1016/j.yqres.2015.10.006. (査読)
- Isaji, Y., H. Hodaka, N. Ohkouchi, N.O. Ogawa, M. Murayama, K. Inoue, K. Tamaki
2015 Varying responses to Indian monsoons during the past 220 kyr recorded in deep-sea sediments in inner and outer regions of the Gulf of Aden. *JOURNAL OF GEOPHYSICAL RESEARCH-OCEANS* 120, 7253- 7270. DOI:10.1002/2015JC010982. (査読)
 - Isaji, Y., H. Kawahata, N. Ohkouchi, M. Murayama, K. Tamaki
2015 Terrestrial environmental changes around the Gulf of Aden over the last 210 kyr deduced from the sediment n-alkane record: Implications for the dispersal of Homo sapiens. *GEOPHYSICAL RESEARCH LETTERS* 42, 1880-1887. DOI: 10.1002/2015GL063196. (査読)
 - Kan, H., K. Urata, M. Nagao, N. Hori, K. Fujita, Y. Yokoyama, Y. Nakashima, T. Ohashi, K. Goto, A. Suzuki
2015 Submerged karst landforms observed by multibeam bathymetric survey in Nagura Bay, Ishigaki Island, southwestern Japan. *GEOMORPHOLOGY* 229, 112-124. DOI: 10.1016/j.geomorph.2014.07.032. (査読)
 - Kawahata, H., R. Nomura, K. Matsumoto, H. Nish
2015 Linkage of deep sea rapid acidification process and extinction of benthic foraminifera in the deep sea at the Paleocene/Eocene transition. *ISLAND ARC* 24, 301-316. DOI: 10.1111/iar.12106. (査読)
 - Kobayashi, H., A. Abe-Ouchi, A. Oka
2015 Role of Southern Ocean stratification in glacial atmospheric CO₂ reduction evaluated by a three-dimensional ocean general circulation model. *PALEOCEANOGRAPHY* 30, 1202-1216. DOI: 10.1002/2015PA002786. (査読)
 - Koenig, S. J., A.M. Dolan, B. de Boer, E.J. Stone, D.J. Hill, R.M. DeConto, A. Abe-Ouchi, D.J. Lunt, D. Pollard, A. Quiquet, F. Saito, J. Savage, R. van de Wal
2015 Ice sheet model dependency of the simulated Greenland Ice Sheet in the mid-Pliocene. *CLIMATE OF THE PAST* 11, 369-381. DOI: 10.5194/cp-11-369-2015. (査読)
 - Kubota, K., Y. Yokoyama, Y. Kawakubo, A. Seki, S. Sakai, P. Ajithprasad, H. Maemoku, T. Osada, S.K. Bhattacharya
2015 Migration history of an ariid Indian catfish reconstructed by otolith Sr/Ca and delta O-18 micro-analysis. *GEOCHEMICAL JOURNAL* 49, 469-480. DOI: 10.2343/geochemj.2.0371. (査読)
 - Kubota, K., Y. Yokoyama, T. Ishikawa, A. Suzuki
2015 A new method for calibrating a boron isotope paleo-pH proxy using massive Porites corals. *GEOCHEMISTRY GEOPHYSICS GEOSYSTEMS* 16, 3333-3342. DOI: 10.1002/2015GC005975. (査読)
 - Kusahara, K., T. Sato, A. Oka, T. Obase, R. Greve, A. Abe-Ouchi, H. Hasumi
2015 Modelling the Antarctic marine cryosphere at the Last Glacial Maximum. *ANNALS OF GLACIOLOGY* 56, 425-435. DOI: 10.3189/2015AoG69A792. (査読)
 - Kusuno, H., H. Matsuzaki, T. Nagata, Y. Miyairi, Y. Yokoyama, N. Ohkouchi
2015 An approach for measuring the I-129/I-127 ratio in fish samples. *NUCLEAR INSTRUMENTS & METHODS IN PHYSICS RESEARCH SECTION B* 361, 414-418. DOI: 10.1016/j.nimb.2015.04.074.
 - Manaka, T., S. Otani, A. Inamura, A. Suzuki, T. Aung, R. Roachanakanan, T. Ishiwa, H. Kawahata
2015 Chemical weathering and long-term CO₂ consumption in the Ayeyarwady and Mekong river basins in the Himalayas. *JOURNAL OF GEOPHYSICAL RESEARCH-BIOGEOSCIENCES* 120, 1165-1175. DOI: 10.1002/2015JG002932. (査読)
 - Manaka, T., H. Ushie, D. Araoka, S. Otani, A. Inamura, A. Suzuki, H.M.Z. Hossain, H. Kawahata
2015 Spatial and Seasonal Variation in Surface Water pCO₂ in the Ganges, Brahmaputra, and Meghna Rivers on the Indian Subcontinent. *AQUATIC GEOCHEMISTRY* 21, 437-458. DOI: 10.1007/s10498-015-9262-2. (査読)
 - Niato, Y.I., A. Morita, K. Natsuhara, K. Tadokoro, J. Baba, S. Odani, E. Tomitsuka, K. Igai, T. Tsutaya, M. Yoneda, A.R. Greenhill, P.F. Horwood, K.W. Soli, P.Suparat, P.M. Siba, M. Umizaki
2015 Association of protein intakes and variation of diet-scalp hair nitrogen isotopic discrimination in Papua New Guinea Highlanders. *American Journal of Physical Anthropology* 158(3), 359-370. DOI:10.1002/ajpa.22798. (査読)
 - Shirahama, Y., Y. Miyairi, H. He, B. Fu, T. Echigo, K. Kano, Y. Yokoyama, Y. Ikeda, Yasutaka
2015 Climate-induced changes in sediment supply revealed by surface exposure dating of Sijiquan River terraces, northeastern Tibet. *GEOMORPHOLOGY* 235, 15-26. DOI: 10.1016/j.geomorph.2015.01.017.
 - Takagi, H., K. Moriya, T., Ishimura, A. Suzuki, H. Kawahata, H. Hirano

- 2015 Exploring photosymbiotic ecology of planktic foraminifers from chamber-by-chamber isotopic history of individual foraminifers. *PALEOBIOLOGY* 41, 108-121. DOI:10.1017/pab.2014.7. (査読)
- Takano, Y., H. Kojima, E. Takeda, Y. Yokoyama, M. Fukui
2015 Biogeochemistry and limnology in Antarctic subglacial weathering: molecular evidence of the linkage between subglacial silica input and primary producers in a perennially ice-covered lake. *PROGRESS IN EARTH AND PLANETARY SCIENCE* 2, 8. DOI: 10.1186/s40645-015-0036-7. (査読)
 - Tsutaya, T., H. Ishida, and M. Yoneda
2015 Weaning age in an expanding population: stable carbon and nitrogen isotope analysis of infant feeding practices in Okhotsk Culture (5th - 13th centuries) in Northern Japan. *American Journal of Physical Anthropology* 157, 544-555. DOI: 10.1002/ajpa.22740. (査読)
 - Tsutaya, T. and M. Yoneda
2015 Reconstruction of breastfeeding and weaning practices using stable isotope and trace element analyses: a review. *Yearbook of Physical Anthropology* 156, 2-21. DOI: 10.1002/ajpa.22657. (査読)
 - Tsutaya, T., A. Shimomi, T. Nagaoka, J. Sawada, K. Hirata, and M. Yoneda
2015 Infant feeding practice in medieval Japan: carbon and nitrogen stable isotope analysis of human skeletons from Yuigahama-minami. *American Journal of Physical Anthropology* 156, 241-251. DOI: 10.1002/ajpa.22643. (査読)
 - Yamamoto, A., A. Abe-Ouchi, M. Shigemitsu, A. Oka, K. Takahashi, R. Ohgaito, Y. Yamanaka
2015 Global deep ocean oxygenation by enhanced ventilation in the Southern Ocean under long-term global warming. *GLOBAL BIOGEOCHEMICAL CYCLES* 29, 1801-1815. DOI: 10.1002/2015GB005181. (査読)
 - Yamane, M., Y. Yokoyama, A. Abe-Ouchi, S. Obrochta, F. Saito, K. Moriwaki, H. Matsuzaki
2015 Exposure age and ice-sheet model constraints on Pliocene East Antarctic ice sheet dynamics. *NATURE COMMUNICATIONS* 6, 7016. DOI: 10.1038/ncomms8016. (査読)
 - Yamaoka, K., E. Hong, T. Ishikawa, T. Gamo, H. Kawahata
2015 Boron isotope geochemistry of vent fluids from arc/back-arc seafloor hydrothermal systems in the western Pacific. *CHEMICAL GEOLOGY* 392, 9-18. DOI: 10.1016/j.chemgeo.2014.11.009. (査読)
 - Yamaoka, K., S. Matsukura, T. Ishikawa, H. Kawahata
2015 Boron isotope systematics of a fossil hydrothermal system from the Troodos ophiolite, Cyprus: Water-rock interactions in the oceanic crust and subseafloor ore deposits. *CHEMICAL GEOLOGY* 396, 61-73. DOI: 10.1016/j.chemgeo.2014.12.023. (査読)
 - Yoshimura, T., H. Izumida, R. Nakashima, T. Ishimura, N. Shikazono, H. Kawahata, A. Suzuki
2015 Stable carbon isotope values in dissolved inorganic carbon of ambient waters and shell carbonate of the freshwater pearl mussel (*Hyriopsis* sp.). *JOURNAL OF PALEOLIMNOLOGY* 54, 37-51. DOI: 10.1007/s10933-015-9834-6. (査読)
 - Yoshimura, T., Y. Tamenori, O. Takahashi, L.T. Nguyen, H. Hasegawa, N. Iwasaki, A. Kuroyanagi, A. Suzuki, H. Kawahata
2015 Mg coordination in biogenic carbonates constrained by theoretical and experimental XANES. *EARTH AND PLANETARY SCIENCE LETTERS* 421, 68-74. DOI: 10.1016/j.epsl.2015.03.048. (査読)
- 2014**
- Eda, M., Y. Kodama, E. Ishimaru, and M. Yoneda
2014 Lead Concentration in Archaeological Animal Remains from The Edo Period, Japan: Is the Lead Concentration in Archaeological Goose Bone a Reliable Indicator of Domestic Birds? *International Journal of Osteoarchaeology* 24: 265-271. DOI: 10.1002/oa.2369. (査読)
 - Hayakawa, Y.S. and T. Oguchi
2014 Spatial correspondence of knickzones and stream confluences along bedrock rivers in Japan: implications for hydraulic formation of knickzones. *Geografiska Annaler Series A Physical Geography* 96: 9-19. DOI: 10.1111/geoa.12024. (査読)
 - Heinemann, M., A. Timmermann, O.E. Timm, F. Saito, and A. Abe-Ouchi
2014 Deglacial ice sheet meltdown: orbital pacemaking and CO2 effects. *Climate of the Past* 10: 1567-1579. DOI: 10.5194/cp-10-1567-2014. (査読)
 - Hill, D.J., A.M. Haywood, D.J. Lunt, S.J. Hunter, F.J. Bragg, C. Contoux C., C. Stepanek, L. Sohl, N.A. Rosenbloom, W.L. Chan, Y. Kamae, Z. Zhang, A. Abe-Ouchi, M.A. Chandler, A. Jost, G. Lohmann, B.L. Otto-Bliesner, G. Ramstein, and H. Ueda
2014 Evaluating the dominant components of warming in Pliocene climate simulations. *Climate of the Past* 10: 79-90. DOI: 10.5194/cp-10-79-2014. (査読)

- Korup, O., Y. Hayakawa, A.T. Codilean, Y. Matsushi, H. Saito, T. Oguchi, and H. Matsuzaki
2014 Japan's sediment flux to the Pacific Ocean revisited. *Earth-Science Reviews* 135: 1-16. DOI: 10.1016/j.earscirev.2014.03.004. (査読)
- Kubota, K., Y. Yokoyama, T. Ishikawa, S.P. Obrochta, and A. Suzuki
2014 Larger CO₂ source at the equatorial Pacific during the last deglaciation. *Scientific Reports* 4: 5261. DOI: 0.1038/srep05261. (査読)
- Nitta, T., K. Yoshimura, K. Takata, R. O'ishi, T. Sueyoshi, S. Kanae, T. Oki, A. Abe-Ouchi, and G.E. Liston
2014 Representing Variability in Subgrid Snow Cover and Snow Depth in a Global Land Model: Offline Validation. *Journal of Climate* 27: 3318-3330. DOI: 10.1175/jcli-d-13-00310.1. (査読)
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, J. Moren, and T.J. Crowley
2014 Conversion of GISP2-based sediment core age models to the GICC05 extended chronology. *Quaternary Geochronology* 20: 1-7. DOI: 10.1016/j.quageo.2013.09.001. (査読)
- Obrochta, S.P., T.J. Crowley, J.E.T. Channell, D.A. Hodell, P.A. Baker, A. Seki, and Y. Yokoyama
2014 Climate variability and ice-sheet dynamics during the last three glaciations. *Earth and Planetary Science Letters* 406: 198-212. DOI: 10.1016/j.epsl.2014.09.004. (査読)
- Saito H., O. Korup, T. Uchida, S. Hayashi, and T. Oguchi
2014 Rainfall conditions, typhoon frequency, and contemporary landslide erosion in Japan. *Geology* 42:999-1002. DOI: 10.1130/g35680.1. (査読)
- Takigami, M.K., I. Shimada, R. Segura, S. Munro, H. Matsuzaki, F. Tokanai, K. Kato, H. Mukai, T. Omori, and M. Yoneda
2014 Assessing the chronology and rewrapping of funerary bundles at the prehispanic religious center of Pachacamac, Peru. *Latin American Antiquity* 25: 322-343. (査読)
- Timmermann, A., T. Friedrich, O.E. Timm, M.O. Chikamoto, A. Abe-Ouchi, and A. Ganopolski
2014 Modeling Obliquity and CO₂ Effects on Southern Hemisphere Climate during the Past 408 ka. *Journal of Climate* 27: 1863-1875. DOI: 10.1175/jcli-d-13-00311.1. (査読)
- Tsukamoto, S., K. Kataoka, T. Oguchi, A.S. Murray, and G. Komatsu
2014 Luminescence dating of scoria fall and lahar deposits from Somma-Vesuvius, Italy. *Quaternary Geochronology* 20: 39-50. DOI: 10.1016/j.quageo.2013.10.005. (査読)
- Tsutaya, T., Y.I. Naito, H. Ishida, and M. Yoneda
2014 Carbon and nitrogen isotope analyses of human and dog diet in the Okhotsk culture: perspectives from the Moyoro site, Japan. *Anthropological Science* 122: 89-99. DOI: 10.1537/ase.140604. (査読)
- Tsutaya, T., T. Nagaoka, J. Sawada, K. Hirata, and M. Yoneda
2014 Stable Isotopic Reconstructions of Adult Diets and Infant Feeding Practices During Urbanization of the City of Edo in 17th Century Japan. *American Journal of Physical Anthropology* 153: 559-569. DOI: 10.1002/ajpa.22454. (査読)
- Yamamoto, A., Y. Yamanaka, A. Oka, and A. Abe-Ouchi
2014 Ocean oxygen depletion due to decomposition of submarine methane hydrate. *Geophysical Research Letters* 41: 5075-5083. DOI: 10.1002/2014gl060483. (査読)
- Yang, J., Y. He, and T. Oguchi
2014 An endmember optimization approach for linear spectral unmixing of fine-scale urban imagery. *International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation* 27: 137-146. DOI: 10.1016/j.jag.2013.09.013. (査読)
- Yoshimori, M., A. Abe-Ouchi, M. Watanabe, and A. Oka, T. Ogura
2014 Robust Seasonality of Arctic Warming Processes in Two Different Versions of the MIROC GCM. *Journal of Climate* 27: 6358-6375. DOI: 10.1175/jcli-d-14-00086.1. (査読)
- Yoshimori, M., M. Watanabe, A. Abe-Ouchi, H. Shiogama, and T. Ogura
2014 Relative contribution of feedback processes to Arctic amplification of temperature change in MIROC GCM. *Climate Dynamics* 42: 1613-1630. DOI: 10.1007/s00382-013-1875-9. (査読)

2013

- Abe-Ouchi, A., F. Saito, K. Kawamura, M.E. Raymo, J.i. Okuno, K. Takahashi, and Blatter H.
2013 Insolation-driven 100,000-year glacial cycles and hysteresis of ice-sheet volume. *Nature* 500: 190-193. DOI: 10.1038/nature12374. (査読)
- Adachi, N., Sawada J., M. Yoneda, K. Kobayashi, and S. Iroh
2013 Mitochondrial DNA analysis of the human skeleton of the initial Jomon phase excavated at the Yugura cave site, Nagano, Japan. *Anthropological Science* 121: 137-143. DOI: 10.1537/ase.130313. (査読)

- Araoka, D., Y. Yokoyama, A. Suzuki, K. Goto, K. Miyagi, K. Miyazawa, H. Matsuzaki, and H. Kawahata
2013 Tsunami recurrence revealed by Porites coral boulders in the southern Ryukyu Islands, Japan. *Geology* 41: 919-922. DOI: 10.1130/g34415.1. (査読)
- Bindschadler, R.A., S. Nowicki, A. Abe-Ouchi, A. Aschwanden, H. Choi, J. Fastook, G. Granzow, R. Greve, G. Gutowski, U. Herzfeld, C. Jackson, J. Johnson, C. Khroulev, A. Levermann, W.H. Lipscomb, M.A. Martin, M. Morlighem, B.R. Parizek, D. Pollard, S.F. Price, D. Ren, F. Saito, T. Sato, H. Seddik, H. Seroussi, K. Takahashi, R. Walker, and W.L. Wang
2013 Ice-sheet model sensitivities to environmental forcing and their use in projecting future sea level (the SeaRISE project). *Journal of Glaciology* 59: 195-224. DOI: 10.3189/2013JoG12J125. (査読)
- Dowsett, H.J., K.M. Foley, D.K. Stoll, M.A. Chandler, L.E. Sohl, M. Bentsen, B.L. Otto-Bliesner, F.J. Bragg, W. Chan, C. Contoux, A.M. Dolan, A.M. Haywood, J.A. Jonas, A. Jost, Y. Kamae, G. Lohmann, D.J. Lunt, K.H. Nisancioglu, A. Abe-Ouchi, G. Ramstein, C.R. Riesselman, M.M. Robinson, N.A. Rosenbloom, U. Salzmann, C. Stepanek, S.L. Strother, H. Ueda, Q. Yan, and Z. Zhang
2013 Sea Surface Temperature of the mid-Piacenzian Ocean: A Data-Model Comparison. *Scientific Reports* 3. DOI: 10.1038/srep02013. (査読)
- Eby, M., A.J. Weaver, K. Alexander, K. Zickfeld, A. Abe-Ouchi, A.A. Cimatoribus, E. Cressin, S.S. Drijfhout, N.R. Edwards, A.V. Eliseev, G. Feulner, T. Fichefet, C.E. Forest, H. Goosse, P.B. Holden, F. Joos, M. Kawamiya, D. Kicklighter, H. Kienert, K. Matsumoto, I.I. Mokhov, E. Monier, S.M. Olsen, J.O.P. Pedersen, M. Perrette, G. Philippon-Berthier, A. Ridgwell, A. Schlosser, T.S. von Deimling, G. Shaffer, R.S. Smith, R. Spahni, A.P. Sokolov, M. Steinacher, K. Tachiiri, K. Tokos, M. Yoshimori, N. Zeng, and F. Zhao
2013 Historical and idealized climate model experiments: an intercomparison of Earth system models of intermediate complexity. *Climate of the Past* 9: 1111-1140. DOI: 10.5194/cp-9-1111-2013. (査読)
- Hargreaves, J.C., J.D. Annan, R. Ohgaito, A. Paul, and A. Abe-Ouchi
2013 Skill and reliability of climate model ensembles at the Last Glacial Maximum and mid-Holocene. *Climate of the Past* 9: 811-823. DOI: 10.5194/cp-9-811-2013. (査読)
- Hathorne, E.C., T. Felis, A. Suzuki, H. Kawahata, and G. Cabioch
2013 Lithium in the aragonite skeletons of massive Porites corals: A new tool to reconstruct tropical sea surface temperatures. *Paleoceanography* 28. DOI: 10.1029/2012pa002311. (査読)
- Hathorne, E.C., A. Gagnon, T. Felis, J. Adkins, R. Asami, W. Boer, N. Caillon, D. Case, K.M. Cobb, E. Douville, P. deMenocal, A. Eisenhauer, D. Garbe-Schoenberg, W. Geibert, S. Goldstein, K. Hughen, M. Inoue, H. Kawahata, M. Koelling, F.L. Cornec, B.K. Linsley, H.V. McGregor, P. Montagna, I.S. Nurhati, T.M. Quinn, J. Raddatz, H. Rebaubier, L.F. Robinson, A. Sadekov, R. Sherrell, D. Sinclair, A.W. Tudhope, G. Wei, H. Wong, H.C. Wu, and C.-F. You
2013 Interlaboratory study for coral Sr/Ca and other element/Ca ratio measurements. *Geochemistry Geophysics Geosystems* 14: 3730-3750. DOI: 10.1002/ggge.20230. (査読)
- Hayashi, E., A. Suzuki, T. Nakamura, A. Iwase, T. Ishimura, A. Iguchi, K. Sakai, T. Okai, M. Inoue, D. Araoka, S. Murayama, and H. Kawahata
2013 Growth-rate influences on coral climate proxies tested by a multiple colony culture experiment. *Earth and Planetary Science Letters* 362: 198-206. DOI: 10.1016/j.epsl.2012.11.046. (査読)
- Haywood, A.M., D.J. Hill, A.M. Dolan, B.L. Otto-Bliesner, F. Bragg, W. Chan, M.A. Chandler, C. Contoux, H.J. Dowsett, A. Jost, Y. Kamae, G. Lohmann, D.J. Lunt, A. Abe-Ouchi, S.J. Pickering, G. Ramstein, N.A. Rosenbloom, U. Salzmann, L. Sohl, C. Stepanek, H. Ueda, Q. Yan, and Z. Zhang
2013 Large-scale features of Pliocene climate: results from the Pliocene Model Intercomparison Project. *Climate of the Past* 9: 191-209. DOI: 10.5194/cp-9-191-2013. (査読)
- Kageyama, M., U. Merkel, B. Otto-Bliesner, M. Prange, A. Abe-Ouchi, G. Lohmann, R. Ohgaito, D.M. Roche, J. Singarayer, D. Swingedouw, and X. Zhang
2013 Climatic impacts of fresh water hosing under Last Glacial Maximum conditions: a multi-model study. *Climate of the Past* 9: 935-953. DOI: 10.5194/cp-9-935-2013. (査読)
- Liu, G., K. Kojima, K. Yoshimura, T. Okai, A. Suzuki, T. Oki, F.P. Siringan, M. Yoneda, and H. Kawahata
2013 A model-based test of accuracy of seawater oxygen isotope ratio record derived from a coral dual proxy method at southeastern Luzon Island, the Philippines. *Journal of Geophysical Research-Biogeosciences* 118: 853-859. DOI: 10.1002/jgrg.20074. (査読)
- Lunt, D.J., A. Abe-Ouchi, P. Bakker, A. Berger, P. Braconnot, S. Charbit, N. Fischer, N. Herold, J.H. Jungclaus, V.C. Khon, U. Krebs-Kanzow, P.M. Langebroek, G. Lohmann, K.H. Nisancioglu, B.L. Otto-Bliesner, W. Park, M. Pfeiffer, S.J. Phipps, M. Prange, R. Rachmayani, H. Renssen, N. Rosenbloom, B. Schneider, E.J. Stone, K. Takahashi, W. Wei, Q. Yin, and Z.S. Zhang

- 2013 A multi-model assessment of last interglacial temperatures. *Climate of the Past* 9: 699-717. DOI: 10.5194/cp-9-699-2013. (査読)
- Manaka, T., H. Ushie, D. Araoka, A. Inamura, A. Suzuki, and H. Kawahata
2013 Rapid Alkalization in Lake Inawashiro, Fukushima, Japan: Implications for Future Changes in the Carbonate System of Terrestrial Waters. *Aquatic Geochemistry* 19: 281-302. DOI: 10.1007/s10498-013-9195-6. (査読)
 - Naito, Y.I., Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, and M. Yoneda
2013 Evaluation of carnivory in inland Jomon hunter-gatherers based on nitrogen isotopic compositions of individual amino acids in bone collagen. *Journal of Archaeological Science* 40: 2913-2923. DOI: 10.1016/j.jas.2013.03.012. (査読)
 - Nowicki, S., R.A. Bindschadler, A. Abe-Ouchi, A. Aschwanden, E. Bueler, H. Choi, J. Fastook, G. Granzow, R. Greve, G. Gutowski, U. Herzfeld, C. Jackson, J. Johnson, C. Khroulev, E. Larour, A. Levermann, W.H. Lipscomb, M.A. Martin, M. Morlighem, B.R. Parizek, D. Pollard, S.F. Price, D. Ren, E. Rignot, F. Saito, T. Sato, H. Seddik, H. Seroussi, K. Takahashi, R. Walker, and W.L. Wang
2013 Insights into spatial sensitivities of ice mass response to environmental change from the SeaRISE ice sheet modeling project I: Antarctica. *Journal of Geophysical Research-Earth Surface* 118: 1002-1024. DOI: 10.1002/jgrf.20081. (査読)
 - Nowicki, S., R.A. Bindschadler, A. Abe-Ouchi, A. Aschwanden, E. Bueler, H. Choi, J. Fastook, G. Granzow, R. Greve, G. Gutowski, U. Herzfeld, C. Jackson, J. Johnson, C. Khroulev, E. Larour, A. Levermann, W.H. Lipscomb, M.A. Martin, M. Morlighem, B.R. Parizek, D. Pollard, S.F. Price, D. Ren, E. Rignot, F. Saito, T. Sato, H. Seddik, H. Seroussi, K. Takahashi, R. Walker, and W.L. Wang
2013 Insights into spatial sensitivities of ice mass response to environmental change from the SeaRISE ice sheet modeling project II: Greenland. *Journal of Geophysical Research-Earth Surface* 118: 1025-1044. DOI: 10.1002/jgrf.20076. (査読)
 - Ohgaito, R., T. Sueyoshi, A. Abe-Ouchi, T. Hajima, S. Watanabe, H.J. Kim, A. Yamamoto, and M. Kawamiya
2013 Can an Earth System Model simulate better climate change at mid-Holocene than an AOGCM? A comparison study of MIROC-ESM and MIROC3. *Climate of the Past* 9: 1519-1542. DOI: 10.5194/cp-9-1519-2013. (査読)
 - Ohki, S., T. Irie, M. Inoue, K. Shinmen, H. Kawahata, T. Nakamura, A. Kato, Y. Nojiri, A. Suzuki, K. Sakai, and R. van Woesik
2013 Calcification responses of symbiotic and aposymbiotic corals to near-future levels of ocean acidification. *Biogeosciences* 10: 6807-6814. DOI: 10.5194/bg-10-6807-2013. (査読)
 - O'Ishi, R. and A. Abe-Ouchi
2013 Influence of dynamic vegetation on climate change and terrestrial carbon storage in the Last Glacial Maximum. *Climate of the Past* 9: 1571-1587. DOI: 10.5194/cp-9-1571-2013. (査読)
 - Sagawa, T., A. Kuroyanagi, T. Irino, M. Kuwae, and H. Kawahata
2013 Seasonal variations in planktonic foraminiferal flux and oxygen isotopic composition in the western North Pacific: Implications for paleoceanographic reconstruction. *Marine Micropaleontology* 100: 11-20. DOI: 10.1016/j.marmicro.2013.03.013. (査読)
 - Shiroya, K., Y. Yokoyama, S.P. Obrochta, N. Harada, Y. Miyairi, and H. Matsuzaki
2013 Melting history of the Patagonian Ice Sheet during Termination I inferred from marine sediments. *Geochemical Journal* 47: 107-117. (査読)
 - Sueyoshi, T., R. Ohgaito, A. Yamamoto, M.O. Chikamoto, T. Hajima, H. Okajima, M. Yoshimori, M. Abe, R. O'Ishi, F. Saito, S. Watanabe, M. Kawamiya, and A. Abe-Ouchi
2013 Set-up of the PMIP3 paleoclimate experiments conducted using an Earth system model, MIROC-ESM. *Geoscientific Model Development* 6: 819-836. DOI: 10.5194/gmd-6-819-2013. (査読)
 - Tanaka, Y., A. Iguchi, M. Inoue, C. Mori, K. Sakai, A. Suzuki, H. Kawahata, and T. Nakamura
2013 Microscopic observation of symbiotic and aposymbiotic juvenile corals in nutrient-enriched seawater. *Marine Pollution Bulletin* 68: 93-98. DOI: 10.1016/j.marpolbul.2012.12.017. (査読)
 - Tsutaya, T. and M. Yoneda
2013 Quantitative Reconstruction of Weaning Ages in Archaeological Human Populations Using Bone Collagen Nitrogen Isotope Ratios and Approximate Bayesian Computation. *Plos One* 8: e72327 DOI: 10.1371/journal.pone.0072327. (査読)
 - Tsutaya, T., J. Sawada, Y. Dodo, H. Mukai, and M. Yoneda

2013 Isotopic evidence of dietary variability in subadults at the Usu-moshiri site of the Epi-Jomon culture, Japan. *Journal of Archaeological Science* 40: 3914-3925. DOI: 10.1016/j.jas.2013.05.015. (査読)

- Wang, Y., T. Oguchi, P.V. Ridd, and H. Shen
2013 Anthropogenic influence on sedimentation during the last 100 years inferred from magnetic properties in the Changjiang Estuary, China. *Environmental Earth Sciences* 70: 1671-1680. DOI: 10.1007/s12665-013-2254-x. (査読)
- Wang, Y., P. Dong, T. Oguchi, S. Chen, and H. Shen
2013 Long-term (1842-2006) morphological change and equilibrium state of the Changjiang (Yangtze) Estuary, China. *Continental Shelf Research* 56: 71-81. DOI: 10.1016/j.csr.2013.02.006. (査読)
- Yamamoto, M., M. Kishizaki, T. Oba, and H. Kawahata
2013 Intense winter cooling of the surface water in the northern Okinawa Trough during the last glacial period. *Journal of Asian Earth Sciences* 69: 86-92. DOI: 10.1016/j.jseas.2012.06.011. (査読)
- Yoshimura, T., Y. Tamenori, N. Iwasaki, H. Hasegawa, A. Suzuki, and H. Kawahata
2013 Magnesium K-edge XANES spectroscopy of geological standards. *Journal of Synchrotron Radiation* 20: 734-740. DOI: 10.1107/s0909049513016099. (査読)
- Yoshimura, T., Y. Tamenori, A. Suzuki, R. Nakashima, N. Iwasaki, H. Hasegawa, and H. Kawahata
2013 Element profile and chemical environment of sulfur in a giant clam shell: Insights from mu-XRF and X-ray absorption near-edge structure. *Chemical Geology* 352: 170-175. DOI: 10.1016/j.chemgeo.2013.05.035. (査読)
- Zhang, Z.S., K.H. Nisancioglu, M.A. Chandler, A.M. Haywood, B.L. Otto-Bliesner, G. Ramstein, C. Stepanek, A. Abe-Ouchi, W. Chan, F.J. Bragg, C. Contoux, A.M. Dolan, D.J. Hill, A. Jost, Y. Kamae, G. Lohmann, D.J. Lunt, N.A. Rosenbloom, L.E. Sohl, and H. Ueda
2013 Mid-pleistocene Atlantic Meridional Overturning Circulation not unlike modern. *Climate of the Past* 9: 1495-1504. DOI: 10.5194/cp-9-1495-2013. (査読)
- Zhang, R., Q. Yan, Z.S. Zhang, D. Jiang, B.L. Otto-Bliesner, A.M. Haywood, D.J. Hill, A.M. Dolan, C. Stepanek, G. Lohmann, C. Contoux, F. Bragg, W. Chan, M.A. Chandler, A. Jost, Y. Kamae, A. Abe-Ouchi, G. Ramstein, N.A. Rosenbloom, L. Sohl, and H. Ueda
2013 Mid-Pliocene East Asian monsoon climate simulated in the Pliocene MIP. *Climate of the Past* 9: 2085-2099. DOI: 10.5194/cp-9-2085-2013. (査読)

2012

- Allevato, E., M. Buonincontri, M. Vairo, A. Pecci, M.A. Cau, M. Yoneda, G.F. De Simone, M. Aoyagi, C. Angelelli, S. Matsuyama, K. Takeuchi, and G. Di Pasquale
2012 Persistence of the cultural landscape in Campania (Southern Italy) before the AD 472 Vesuvius eruption: archaeoenvironmental data. *Journal of Archaeological Science* 39: 399-406. DOI: 10.1016/j.jas.2011.09.026. (査読)
- Braconnot, P., S.P. Harrison, M. Kageyama, P.J. Bartlein, V. Masson-Delmotte, A. Abe-Ouchi, B. Otto-Bliesner, and Y. Zhao
2012 Evaluation of climate models using palaeoclimatic data. *Nature Climate Change* 2: 417-424. DOI: 10.1038/nclimate1456. (査読)
- Chikamoto, M.O., A. Abe-Ouchi, A. Oka, and S.L. Smith
2012 Temperature-induced marine export production during glacial period. *Geophysical Research Letters* 39: L21601. DOI: 10.1029/2012gl053828. (査読)
- Chikamoto, M.O., A. Abe-Ouchi, A. Oka, R. Ohgaito, and A. Timmermann
2012 Quantifying the ocean's role in glacial CO₂ reductions. *Climate of the Past* 8: 545-563. DOI: 10.5194/cp-8-545-2012. (査読)
- Chikamoto, M.O., L. Menviel, A. Abe-Ouchi, R. Ohgaito, A. Timmermann, Y. Okazaki, N. Harada, A. Oka, and A. Mouchet
2012 Variability in North Pacific intermediate and deep water ventilation during Heinrich events in two coupled climate models. *Deep-Sea Research Part II-Topical Studies in Oceanography* 61-64: 114-126. DOI: 10.1016/j.dsr2.2011.12.002. (査読)
- Day, J.J., J.C. Hargreaves, J.D. Annan, and A. Abe-Ouchi
2012 Sources of multi-decadal variability in Arctic sea ice extent. *Environmental Research Letters* 7: 034011. DOI: 10.1088/1748-9326/7/3/034011.
- Dowsett, H.J., M.M. Robinson, A.M. Haywood, D.J. Hill, A.M. Dolan, D.K. Stoll, W. Chan, A. Abe-Ouchi, M.A. Chandler, N.A. Rosenbloom, B.L. Otto-Bliesner, F.J. Bragg, D.J. Lunt, K.M. Foley, and C.R.

Riesselman

2012 Assessing confidence in Pliocene sea surface temperatures to evaluate predictive models. *Nature Climate Change* 2: 365-371. DOI: 10.1038/nclimate1455. (査読)

- Friedrich, T., A. Timmermann, A. Abe-Ouchi, N.R. Bates, M.O. Chikamoto, M.J. Church, J.E. Dore, D.K. Gledhill, M. Gonzalez-Davila, M. Heinemann, T. Ilyina, J.H. Jungclaus, E. McLeod, A. Mouchet, and J.M. Santana-Casiano
2012 Detecting regional anthropogenic trends in ocean acidification against natural variability. *Nature Climate Change* 2: 167-171. DOI: 10.1038/nclimate1372. (査読)
- Harada, N., M. Sato, O. Seki, A. Timmermann, H. Moossen, J. Bendle, Y. Nakamura, K. Kimoto, Y. Okazaki, K. Nagashima, S.A. Gorbarenko, A. Ijiri, T. Nakatsuka, L. Menviel, M.O. Chikamoto, A. Abe-Ouchi, and S. Schouten
2012 Sea surface temperature changes in the Okhotsk Sea and adjacent North Pacific during the last glacial maximum and deglaciation. *Deep-Sea Research Part II-Topical Studies in Oceanography* 61-64: 93-105. DOI: 10.1016/j.dsr2.2011.12.007. (査読)
- Hargreaves, J.C., J.D. Annan, M. Yoshimori, and A. Abe-Ouchi
2012 Can the Last Glacial Maximum constrain climate sensitivity? *Geophysical Research Letters* 39: L24702. DOI: 10.1029/2012gl053872. (査読)
- Hu, A., G.A. Meehl, W. Han, A. Abe-Ouchi, C. Morrill, Y. Okazaki, and M.O. Chikamoto
2012 The Pacific-Atlantic seesaw and the Bering Strait. *Geophysical Research Letters* 39: L03702. DOI: 10.1029/2011gl050567. (査読)
- Hu, A., G.A. Meehl, W. Han, A. Timmermann, B. Otto-Bliesner, Z. Liu, W.M. Washington, W. Large, A. Abe-Ouchi, M. Kimoto, K. Lambeck, and B. Wu
2012 Role of the Bering Strait on the hysteresis of the ocean conveyor belt circulation and glacial climate stability. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 109: 6417-6422. DOI: 10.1073/pnas.1116014109. (査読)
- Iguchi, A., S. Ozaki, T. Nakamura, M. Inoue, Y. Tanaka, A. Suzuki, H. Kawahata, and K. Sakai
2012 Effects of acidified seawater on coral calcification and symbiotic algae on the massive coral *Porites australiensis*. *Marine Environmental Research* 73: 32-36. DOI: 10.1016/j.marenvres.2011.10.008. (査読)
- Inoue, M., K. Shinmen, H. Kawahata, T. Nakamura, Y. Tanaka, A. Kato, C. Shinzato, A. Iguchi, H. Kan, A. Suzuki, and K. Sakai
2012 Estimate of calcification responses to thermal and freshening stresses based on culture experiments with symbiotic and aposymbiotic primary polyps of a coral, *Acropora digitifera*. *Global and Planetary Change* 92-93: 1-7. DOI: 10.1016/j.gloplacha.2012.05.001. (査読)
- Kuroyanagi, A., R.E. da Rocha, J. Bijma, H.J. Spero, A.D. Russell, S.M. Eggins, and H. Kawahata
2013 Effect of dissolved oxygen concentration on planktonic foraminifera through laboratory culture experiments and implications for oceanic anoxic events. *Marine Micropaleontology* 101: 28-32. DOI: 10.1016/j.marmicro.2013.04.005. (査読)
- Lambert, F., J.S. Kug, R.J. Park, N. Mahowald, G. Winckler, A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, T. Takemura, and J.H. Lee
2013 The role of mineral-dust aerosols in polar temperature amplification. *Nature Climate Change* 3: 487-491. DOI: 10.1038/nclimate1785. (査読)
- Menviel, L., A. Timmermann, O.E. Timm, Mouchet A., A. Abe-Ouchi, M.O. Chikamoto, N. Harada, R. Ohgaito, and Y. Okazaki
2012 Removing the North Pacific halocline: Effects on global climate, ocean circulation and the carbon cycle. *Deep-Sea Research Part II-Topical Studies in Oceanography* 61-64: 106-113. DOI: 10.1016/j.dsr2.2011.03.005. (査読)
- Nakamura, A., Y. Yokoyama, H. Maemoku, H. Yagi, M. Okamura, H. Matsuoka, N. Miyake, T. Osada, H. Teramura, D.P. Adhikari, V. Dangol, Y. Miyairi, S.P. Obrochta, and H. Matsuzaki
2012 Late Holocene Asian monsoon variations recorded in Lake Rara sediment, western Nepal. *Journal of Quaternary Science* 27: 125-128. DOI: 10.1002/jqs.1568. (査読)
- Obrochta, S.P., H. Miyahara, Y. Yokoyama, and T.J. Crowley
2012 A re-examination of evidence for the North Atlantic "1500-year cycle" at Site 609. *Quaternary Science Reviews* 55: 23-33. DOI: 10.1016/j.quascirev.2012.08.008. (査読)
- Oka, A., H. Hasumi, and A. Abe-Ouchi
2012 The thermal threshold of the Atlantic meridional overturning circulation and its control by wind stress

forcing during glacial climate. *Geophysical Research Letters* 39: L09709. DOI: 10.1029/2012gl051421. (査読)

- Oka, A., E. Tajika, A. Abe-Ouchi, and K. Kubota
2011 Role of the ocean in controlling atmospheric CO₂ concentration in the course of global glaciations. *Climate Dynamics* 37: 1755-1770. DOI: 10.1007/s00382-010-0959-z. (査読)
- Oka, A., A. Abe-Ouchi, M.O. Chikamoto, and T. Ide
2011 Mechanisms controlling export production at the LGM: Effects of changes in oceanic physical fields and atmospheric dust deposition. *Global Biogeochemical Cycles* 25: Gb2009. DOI: 10.1029/2009gb003628. (査読)
- Shimoda, Y., T. Nagaoka, K. Moromizato, M. Sunagawa, T. Hanihara, M. Yoneda, K. Hirata, H. Ono, T. Amano, T. Fukumine, and H. Ishida
2012 Degenerative changes of the spine in people from prehistoric Okhotsk culture and two ancient human groups from Kanto and Okinawa, Japan. *Anthropological Science* 120: 1-21. DOI: 10.1537/ase.100925. (査読)
- Shiogama, H., M. Watanabe, M. Yoshimori, T. Yokohata, T. Ogura, J.D. Annan, J.C. Hargreaves, M. Abe, Y. Kamae, R. O'Ishi, R. Nobui, S. Emori, T. Nozawa, A. Abe-Ouchi, and M. Kimoto
2012 Perturbed physics ensemble using the MIROC5 coupled atmosphere-ocean GCM without flux corrections: experimental design and results Parametric uncertainty of climate sensitivity. *Climate Dynamics* 39: 3041-3056. DOI: 10.1007/s00382-012-1441-x. (査読)
- Yamaoka, K., T. Ishikawa, O. Matsubaya, D. Ishiyama, K. Nagaishi, Y. Hiroyasu, H. Chiba, and H. Kawahata
2012 Boron and oxygen isotope systematics for a complete section of oceanic crustal rocks in the Oman ophiolite. *Geochimica Et Cosmochimica Acta* 84: 543-559. DOI:10.1016/j.gca.2012.01.043. (査読)
- Yasuhara, M., G. Hunt, T.M. Cronin, N. Hokanishi, H. Kawahata, A. Tsujimoto, and M. Ishitake
2012 Climatic forcing of Quaternary deep-sea benthic communities in the North Pacific Ocean. *Paleobiology* 38: 162-179. DOI: 10.1666/10068.1. (査読)
- Yiou, P., J. Servonnat, M. Yoshimori, D. Swingedouw, M. Khodri, and A. Abe-Ouchi
2012 Stability of weather regimes during the last millennium from climate simulations. *Geophysical Research Letters* 39: L08703. DOI: 10.1029/2012gl051310. (査読)
- Yokoyama, Y., J.i. Okuno, Y. Miyairi, S.P. Obrochta, N. Demboya, Y. Makino, and H. Kawahata
2012 Holocene sea-level change and Antarctic melting history derived from geological observations and geophysical modeling along the Shimokita Peninsula, northern Japan. *Geophysical Research Letters* 39: L13502. DOI: 10.1029/2012gl051983. (査読)
- Yokoyama, Y., J.i. Okuno, Y. Miyairi, S.P. Obrochta, N. Demboya, Y. Makino, and H. Kawahata
2012 Holocene sea-level change and Antarctic melting history derived from geological observations and geophysical modeling along the Shimokita Peninsula, northern Japan. *Geophysical Research Letters* 39: L13502. DOI: 10.1029/2012gl051983. (査読)
- Yoshimori, M. and A. Abe-Ouchi
2012 Sources of Spread in Multimodel Projections of the Greenland Ice Sheet Surface Mass Balance. *Journal of Climate* 25: 1157-1175. DOI: 10.1175/2011jcli4011.1. (査読)

2011

- Abe, Y., A. Abe-Ouchi, N.H. Sleep, and K.J. Zahnle
2011 Habitable Zone Limits for Dry Planets. *Astrobiology* 11: 443-460. DOI: 10.1089/ast.2010.0545. (査読)
- Ackerley, D., A. Lorrey, J.A. Renwick, S.J. Phipps, S. Wagner, S. Dean, J. Singarayer, P. Valdes, A. Abe-Ouchi, R. Ohgaito, and J.M. Jones
2011 Using synoptic type analysis to understand New Zealand climate during the Mid-Holocene. *Climate of the Past* 7: 1189-1207. DOI: 10.5194/cp-7-1189-2011. (査読)
- Blatter, H., R. Greve, and A. Abe-Ouchi
2011 Present State and Prospects of Ice Sheet and Glacier Modelling. *Surveys in Geophysics* 32: 555-583. DOI: 10.1007/s10712-011-9128-0. (査読)
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, and R. Ohgaito
2011 Simulating the mid-Pliocene climate with the MIROC general circulation model: experimental design and initial results. *Geoscientific Model Development* 4: 1035-1049. DOI: 10.5194/gmd-4-1035-2011. (査読)
- De Rose, R.C., T. Oguchi, W. Morishima, and M. Collado

- 2011 Land cover change on Mt. Pinatubo, the Philippines, monitored using ASTER VNIR. *International Journal of Remote Sensing* 32: 9279-9305. DOI: 10.1080/01431161.2011.554452. (査読)
- Fujita, K., M. Hikami, A. Suzuki, A. Kuroyanagi, K. Sakai, H. Kawahata, and Y. Nojiri
2011 Effects of ocean acidification on calcification of symbiont-bearing reef foraminifers. *Biogeosciences* 8: 2089-2098. DOI: 10.5194/bg-8-2089-2011. (査読)
 - Greve, R., F. Saito, and A. Abe-Ouchi
2011 Initial results of the SeaRISE numerical experiments with the models SICOPOLIS and IcIES for the Greenland ice sheet. *Annals of Glaciology* 52: 23-30. (査読)
 - Hargreaves, J.C., A. Paul, R. Ohgaito, A. Abe-Ouchi, and J.D. Annan
2011 Are paleoclimate model ensembles consistent with the MARGO data synthesis? *Climate of the Past* 7: 917-933. DOI: 10.5194/cp-7-917-2011. (査読)
 - Hikami, M., H. Ushie, T. Irie, K. Fujita, A. Kuroyanagi, K. Sakai, Y. Nojiri, A. Suzuki, and H. Kawahata
2011 Contrasting calcification responses to ocean acidification between two reef foraminifers harboring different algal symbionts. *Geophysical Research Letters* 38: L19601. DOI: 10.1029/2011gl048501. (査読)
 - Inoue, M., R. Suwa, A. Suzuki, K. Sakai, and H. Kawahata
2011 Effects of seawater pH on growth and skeletal U/Ca ratios of *Acropora digitifera* coral polyps. *Geophysical Research Letters* 38: L12809. DOI: 10.1029/2011gl047786. (査読)
 - Isozaki, Y., D. Aljinovic, and H. Kawahata
2011 The Guadalupian (Permian) Kamura event in European Tethys. *Palaeogeography Palaeoclimatology Palaeoecology* 308: 12-21. DOI: 10.1016/j.palaeo.2010.09.034. (査読)
 - Izumida, H., T. Yoshimura, A. Suzuki, R. Nakashima, T. Ishimura, M. Yasuhara, A. Inamura, N. Shikazono, and H. Kawahata
2011 Biological and water chemistry controls on Sr/Ca, Ba/Ca, Mg/Ca and delta O-18 profiles in freshwater pearl mussel *Hyriopsis* sp. *Palaeogeography Palaeoclimatology Palaeoecology* 309: 298-308. DOI: 10.1016/j.palaeo.2011.06.014. (査読)
 - Kawahata, H., H. Ohshima, and A. Kuroyanagi
2011 Terrestrial– Ocean environmental change in the northwestern Pacific from the glacial times to Holocene. *Journal of Asian Earth Sciences* 40: 1189-1202. DOI: 10.1016/j.jseaes.2010.10.007. (査読)
 - Kayanne, H., T. Yasukochi, T. Yamaguchi, H. Yamano, and M. Yoneda
2011 Rapid settlement of Majuro Atoll, central Pacific, following its emergence at 2000 years CalBP. *Geophysical Research Letters* 38: L20405. DOI: 10.1029/2011gl049163. (査読)
 - Liu, Z., J. Zheng, M. Yamada, S. Pan, and H. Kawahata
2011 Plutonium characteristics in sediments of Hiroshima Bay in the Seto Inland Sea in Japan. *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry* 288: 911-917. DOI: 10.1007/s10967-011-1025-y. (査読)
 - Murakami, S., R. Ohgaito, and A. Abe-Ouchi
2011 Atmospheric Local Energetics and Energy Interactions between Mean and Eddy Fields. Part II: An Example for the Last Glacial Maximum Climate. *Journal of the Atmospheric Sciences* 68: 533-552. DOI: 10.1175/2010jas3583.1. (査読)
 - Naito, Y.I., N.V. Honch, Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, and M. Yoneda
2011 Dietary adaptations of prehistoric Japanese in light of nitrogen isotopic compositions of bone collagen amino acids: with special focus on aquatic resources. *American Journal of Physical Anthropology* 144: 223-223. (査読)
 - Nakazawa, T., K. Ueno, H. Kawahata, and M. Fujikawa
2011 Gzhelian-Asselian Palaeoplysina-microencruster reef community in the Taishaku and Akiyoshi limestones, SW Japan: Implications for Late Paleozoic reef evolution on mid-Panthalassan atolls. *Palaeogeography Palaeoclimatology Palaeoecology* 310: 378-392. DOI: 10.1016/j.palaeo.2011.07.028. (査読)
 - O'Ishi, R. and A. Abe-Ouchi
2011 Polar amplification in the mid-Holocene derived from dynamical vegetation change with a GCM. *Geophysical Research Letters* 38: L14702. DOI: 10.1029/2011gl048001. (査読)
 - Toyofuku, T., M. Suzuki, H. Suga, S. Sakai, A. Suzuki, T. Ishikawa, L.J. de Nooijer, R. Schiebel, H. Kawahata, and H. Kitazato
2011 Mg/Ca and delta O-18 in the brackish shallow-water benthic foraminifer *Ammonia 'beccarii'*. *Marine Micropaleontology* 78: 113-120. DOI: 10.1016/j.marmicro.2010.11.003. (査読)
 - Watanabe, T., A. Suzuki, S. Minobe, T. Kawashima, K. Kameo, K. Minoshima, Y.M. Aguilar, R. Wani, H.

Kawahata, K. Sowa, T. Nagai, and T. Kase

2011 Permanent El Niño during the Pliocene warm period not supported by coral evidence. *Nature* 471: 209-211. DOI: 10.1038/nature09777. (査読)

- Yokoyama, Y., A. Suzuki, F. Siringan, Y. Maeda, A. Abe-Ouchi, R. Ohgaito, H. Kawahata, and H. Matsuzaki
2011 Mid-Holocene palaeoceanography of the northern South China Sea using coupled fossil-modern coral and atmosphere-ocean GCM model. *Geophysical Research Letters* 38: L00f03. DOI: 10.1029/2010gl044231. (査読)
- Yokoyama, Y., A. Suzuki, F. Siringan, Y. Maeda, A. Abe-Ouchi, R. Ohgaito, H. Kawahata, and H. Matsuzaki
2011 Mid-Holocene palaeoceanography of the northern South China Sea using coupled fossil-modern coral and atmosphere-ocean GCM model. *Geophysical Research Letters* 38: L00f03. DOI: 10.1029/2010gl044231. (査読)
- Yoshimura, T., M. Tanimizu, M. Inoue, A. Suzuki, N. Iwasaki, and H. Kawahata
2011 Mg isotope fractionation in biogenic carbonates of deep-sea coral, benthic foraminifera, and hermatypic coral. *Analytical and Bioanalytical Chemistry* 401: 2755-2769. DOI: 10.1007/s00216-011-5264-0. (査読)
- Zin Maung Maung, T., M. Takai, H. Uno, J.G. Wynn, N. Egi, T. Tsubamoto, H. Thaung, S. Aung Naing, M. Maung, T. Nishimura, and M. Yoneda
2011 Stable isotope analysis of the tooth enamel of Chaingzauk mammalian fauna (late Neogene, Myanmar) and its implication to paleoenvironment and paleogeography. *Palaeogeography Palaeoclimatology Palaeoecology* 300: 11-22. DOI: 10.1016/j.palaeo.2010.11.016. (査読)

2010

- Akazawa, T., Y. Kanjo, Y. Nishiaki, H. Nakata, M. Yoneda, O. Kondo, K. Tanno, and S. Muhesen
2010 The 2007-2008 seasons' excavations at Dederiyeh Cave, Afrin, Northwest Syria. *Chronique Archeologique en Syrie* 4: 31-38. (査読)
- Gonzalez, C., L. E. Urrego, J. I. Martinez, J. Polania, and Y. Yokoyama
2010 Late Holocene mangrove dynamics in the Colombian Caribbean: a history of human and natural disturbances. *The Holocene* 20(6): 849-861. (査読)
- Iwase, T., H. Shinji, A. Tajima, F. Sato, T. Tamura, T. Iwamoto, M. Yoneda, and Y. Mizunoe
2010 Isolation and Identification of ATP-Secreting Bacteria from Mice and Humans. *Journal of Clinical Microbiology* 48: 1949-1951. DOI: 10.1128/jcm.01941-09. (査読)
- Naito, Y.I., N. V. Honch, Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, and M. Yoneda
2010 Quantitative evaluation of marine protein contribution in ancient diets based on nitrogen isotope ratios of individual amino acids in bone collagen: an investigation at the Kitakogane Jomon Site. *American Journal of Physical Anthropology* 143: 31-40. (査読)
- Naito, Y.I., Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, H. Mukai, Y. Shibata, N. V. Honck, Y. Dodo, H. Ishida, T. Amano, H. Ono, and M. Yoneda
2010 Dietary reconstruction of the Okhotsk Culture of Hokkaido, Japan, based on nitrogen isosopic composition of amino acids: implication for the correction of radiocarbon marine reservoir effects on human bones. *Radiocarbon* 2: 671-681. (査読)
- Nakagawa, R., N. Doi, Y. Nishioka, S. Nunami, H. Yamauchi, M. Fujita, S. Yamazaki, M. Yamamoto, C. Katagiri, H. Mukai, H. Matsuzaki, T. Gakuhari, M. Takigami, and M. Yoneda
2010 The Pleistocene human remains from Shiraho-Saonetabaru Cave on Ishigaki Island, Okinawa, Japan, and their radiocarbon dating. *Anthropological Science* 118(3): 173-183. (査読)
- Yanase, W. and A. Abe-Ouchi
2010 A Numerical Study on the Atmospheric Circulation over the Mid-latitude North Pacific during the Last Glacial Maximum. *Journal of Climate* 23(1): 135-151. (査読)
- Yokoyama, Y., M. Koizumi, H. Matsuzaki, Y. Miyairi, and N. Ohkouchi
2010 Developing ultra small-scale radiocarbon sample measurement at the University of Tokyo. *Radiocarbon* 52(2): 310-318. (査読)
- Yoshida, K., T. Hara, D. Kunikita, Y. Miyazaki, T. Sasaki, M. Yoneda, and H. Matsuzaki
2010 PRE-BOMB MARINE RESERVOIR AGES IN THE WESTERN PACIFIC. *Radiocarbon* 52: 1197-1206.
- Yoshimori, M., J.C. Hargreaves, J.D. Annan, T. Yokohata, and A. Abe-Ouchi
2011 Dependency of Feedbacks on Forcing and Climate State in Physics Parameter Ensembles. *Journal of*

Climate 24: 6440-6455. DOI: 10.1175/2011jcli3954.1. (査読)

- 西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、石井理子、佐々木智彦、Y. Kanjou、S. Muhsen、赤澤 威
2010 「シリア、デデリエ洞窟の先史人類学的発掘 2009 年度調査報告」『高知工科大学紀要』7(1): 57-69.

【学会発表】

2015

- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, and K. Takahashi
2015 Stadian and interstadial climates, as simulated in experimental with the MIROC climate model. *The 10th Conference on the RNMH Project*. 2013.3.7-8. Kochi Kaikan, Kochi, Japan.
- Chan, W.L., A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, and K. Takahashi
2015 Simulating stadian and interstadial climates in the Late Pleistocene with the MIROC model. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W.L. Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2015 A combination of ecological niche models and cost surface analysis figures out routes and rapidity of the dispersal of early modern humans. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- Obrochta, S., Y. Yokoyama, A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, W. Chan, and H. Kawahata
2015 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. *The 10th Conference on the RNMH Project*. 2013.3.7-8. Kochi Kaikan, Kochi, Japan.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, W.L. Chan, and H. Kawahata
2015 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- O'Ishi, R., W.L. Chan, K. Takahashi, and A. Abe-Ouchi
2015 Vegetation change in Europe during the Late Pleistocene dispersal of Modern Humans. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- Omori, T. and K. Sano
2015 Radiocarbon chronology of the Paleolithic lithic industries in Europe: A new approach for reliability assessment and meta-analysis. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, H. Kawahata, Y. Yokoyama, T. Oguchi, H. Kawahata, T. Oguchi, T. Omori, and Y. Kondo
2015 Testing the hypothesis on cognitive evolution of modern humans' learning ability in light of past-climatic changes. *XIX INQUA Congress, Session "Climate Change and Human Evolution"*. 2015.7.31. Nagoya, Japan.
- 大石龍太、W. Chan、阿部彩子
2015 「ヨーロッパにおける新人拡散期の植生」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 大森貴之、佐野勝宏、米田 穰
2015 「データベースを基にした高精度年代推定」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 近藤康久、佐野勝宏、大森貴之、阿部彩子、W. Chan、大石龍太、門脇誠二、長沼正樹、小口高、西秋良宏、米田 穰
2015 「旧人・新人の生態ニッチモデリング共同研究のまとめ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 米田 穰
2015 「地球科学からみた交替劇」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.

2014

- Abe-Ouchi, A., W. Chan, R. O'Ishi, S.P. Obrochta, Y. Yokoyama, Y. Kondo, and M. Yoneda

2014 Challenge of modelling the climate of the last glacial-interglacial cycle and millennial climate change as a background of evolution of Modern Human. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.

- Chan, W.L., A. Abe-Ouchi, R. O'Ishi, and K. Takahashi
2014 Reconstructing the climate states of the Late Pleistocene with the MIROC climate model. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Kondo, O. and D. Kubo
2014 Estimating the cerebral and cerebellar volumes of Neanderthals and Middle Paleolithic modern humans. *IUAES 2014 with JASCA*. May 15-18. 2014. Makuhari Messe, Chiba, Japan.
- Kondo, O. and A. Saso
2014 Oral health condition as viewed from caries and periodontitis in Jomon skeletal remains. *IUAES 2014 with JASCA*. 2014.5.15-18. Makuhari Messe, Chiba, Japan.
- Kondo Y., K. Sano, S. Kadowaki, M. Naganuma, T. Omori, M. Yoneda, and Y. Nishiaki
2014 Assessing environmental factors to the replacement of Neanderthals by modern humans in terms of eco-cultural niche modelling. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Obrochta, S, Yokoyama Y, and Kawahata H
2014 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Obrochta, S., Y. Yokoyama, J. Moren, and T. Crowley
2014 Conversion of GISP2-based sediment core age models to the GICC05 extended chronology for coherent spatial analysis. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Omori, T., K. Sano, and M. Yoneda
2014 Accurate radiocarbon age estimation using "early" measurements: a new approach to reconstructing the Paleolithic absolute chronology. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Song W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2014 Presentation of the PaleoGeo database with Google Earth. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Song W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2014 PaleoGeo: a Web based GIS database for paleoenvironmental studies. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, H. Kawahata, Y. Yokoyama, and T. Oguchi
2014 Testing the hypothesis on cognitive evolution of modern humans' learning ability: current status of past-climatic approaches. *European Geoscience Union General Assembly 2014, Session "Always look on the bright side: Environmental constraints of early human expansions"*. 2014.5.2. Vienna, Austria.
- 大石龍太
2014 「ヨーロッパにおける新人拡散期の植生」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 大森貴之
2014 「ヨーロッパにおける新人拡散期の高精度年代」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 近藤康久
2014 「ヨーロッパにおける旧人と新人の生態ニッチモデル」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第9回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.

2013

- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi

- 2013 Using numerical models to simulate Climate and vegetation changes during the last glacial cycle. *The 6th Conference on the RNMH Project*. 2013.1.12-14. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2013 Modeling the climate of the Late Pleistocene: A general overview of results and comparisons with proxy-derived data. 『人類進化と気候変動』日本惑星地球科学会連合大会・セッション. 2013.5.21. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - Obrochta S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2013 An automated mathematical function for conversion of GISP2-based age models to NGRIP. *The 6th Conference on the RNMH Project*. 2013.1.12-14. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Oishi, R., A. Abe-Ouchi, and W.L. Chan
2013 Reconstruction of paleo-vegetation distribution and evaluation of its uncertainty by using an atmosphere ocean coupled general circulation model and a dynamic global vegetation model. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Oishi, R., A. Abe-Ouchi, and W.L. Chan
2013 Reconstruction of paleo-vegetation distribution and evaluation of its uncertainty by using an atmosphere ocean coupled general circulation model and a dynamic global vegetation model. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
 - Omori, T. and K. Sano
2013 Reconsidering radiometric chronology of the European Paleolithic industries. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
 - Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, T. Oguchi, H. Kawahata, and Y. Yokoyama
2013 Reconstructing the distribution of archaic and modern humans in relation to the last glacial climate change. *European Geosciences Union General Assembly 2013*. 2013.4.12. Vienna, Austria.
 - 阿部彩子、W. Chan、大石龍太
2013 「人類進化の背景としての氷期間氷期サイクルモデリングとその変動メカニズム」『新人・旧人交替劇と気候変動』日本人類学会第 66 回大会シンポジウム. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究部.
 - 大石隆太、阿部彩子、W. Chan
2013 「大気海洋大循環モデルと陸域生態モデルを用いた古植生分布再現とその不確実性評価」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 8 回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
 - 大石龍太、阿部彩子、W. Chan
2013 「大気海洋大循環モデルと陸域生態系モデルを用いた古植生分布再現とその不確実性評価」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 大石龍太、阿部彩子、W. Chan、O.P. Stehenn
2013 「大気海洋大循環モデルと陸域生態系モデルを用いた古植生分布再現とその不確実性評価」『新人・旧人交替劇と気候変動』日本人類学会第 66 回大会シンポジウム. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究部
 - 大森貴之
2013 「理化学年代から試算する文化拡散速度」『人類進化と気候変動』日本惑星地球科学会連合大会・セッション. 2013.5.21. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - 大森貴之、佐野勝宏
2013 「ヨーロッパ後期旧石器インダストリーにおける理化学年代の再整理」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
 - 大森貴之、米田 穰
2013 「過去に報告された放射性炭素年代を用いた高確度年代推定」『新人・旧人交替劇と気候変動』日本人類学会第 66 回大会シンポジウム. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究部.
 - 大森貴之、米田 穰
2013 「年代精査の進捗とその問題点」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.

- Obrochta S.P.
2013 「最終間氷期から完新世にかけてのアフリカにおける気候変動」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- Obrochta S.P、横山祐典、川幡穂高
2013 「GISP2 を基づいた堆積物コアの年代モデルの NGRIP 基準への改訂」『人類進化と気候変動』日本惑星地球科学会連合大会・セッション. 2013.5.21. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 近藤康久、小口 高
2013 「生態文化ニッチモデルの改良」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 近藤康久、野口 淳、三木健裕、小口 高
2013 「アラビア半島南東部における石器時代遺跡の遺りやすさに関する地考古学的考察」『人類進化と気候変動』日本惑星地球科学会連合大会・セッション. 2013.5.21. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 宋 苑端、小口 高、近藤康久
2013 「古環境 WebGIS の更新と改善」『新人・旧人交替劇と気候変動』日本人類学会第66回大会シンポジウム. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究部.
- Song, W.、小口 高、近藤康久
2013 「古環境 WebGIS の更新と改善」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 陳 永利、阿部彩子、大石龍太、高橋邦生
2013 「気候モデルによる更新世後期の気候シミュレーション：モデル結果の概要およびプロキシデータとの比較」『新人・旧人交替劇と気候変動』日本人類学会第66回大会シンポジウム. 2013.11.3. つくば：国立科学博物館筑波研究部.
- 米田 穰
2013 「北極圏進出年代に関する議論」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 米田 穰、阿部彩子、小口 高、川幡穂高、横山祐典
2013 「旧人と新人の交替劇と気候変動」『人類進化と気候変動』日本惑星地球科学会連合大会・セッション. 2013.5.21. 千葉：幕張メッセ国際会議場.

2012

- Abe-Ouchi, A., Y. Yokoyama, H. Kawahata, T. Oguchi, and M. Yoneda
2012 Investigation of Past Climate and Vegetation for Understanding the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.19. International Conference on the RNMH Project. Tokyo: RNMH Project Group.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. O'ishi, and K. Takahashi
2012 Modeling the climate of the past 130,000 years to understand the evolution of humans. *The 5th Conference on Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas*. 2012.4.15. National Center of Sciences, Hitotsubashi, Tokyo, Japan.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2012 Using Numerical Models to Simulate Climate and Vegetation Changes during the Last Glacial Period. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Chan, W., Fogarty, and M. W. Feldman
2012 Exploring Cultural Niche Construction from the Paleolithic to Modern Hunter-Gatherers. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kondo, Y. and T. Oguchi
2012 Ecological niche modelling for archaeological prediction: Case studies from the Pleistocene Levant

- and Holocene East Japan. *Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology*. 2012.3.26-30. University of Southampton, United Kingdom.
- Diab, M.C. and M. Yoneda
2012 Late Middle Palaeolithic(OIS4/3) Neanderthal Prey Exploitation and Land Use at Dederiyeh Cave, Syria, Based on Multiple Isotopic Analyses of Intra-Tooth Enamel and Mortality Profiles of Wild Goat, Red Deer, and Gazelle. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Diab, M.C. and M. Yoneda
2012 「Multi-element isotopic analyses of Neanderthal prey from Dederiyeh Cave, Syria: palaeoecological implications」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - Kondo, Y. and T. Oguchi
2012 How Can We Apply Ecological Niche Models to Palaeoanthropological Research? *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Marukawa, Y., H. Mori, Y. Nakamura, and T. Akazawa
2012 Bibliographic Database for "Replacement of Neanderthals by Modern Humans" *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Reconstructing Plant Functional Types in the Levant. 2012.11.4. *The 66th Annual Meeting of Anthropological society of Nippon*. Keio University, Hiyoshi Campus, Yokohama, Japan.
 - Obrochta, S., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Plant Creating a Common Chronology for Levant Pollen Records Based on Ice Core Synchronization. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Omori, T. and M. Yoneda
2012 Population Dynamics and Spatial Distribution Inferred from Radiocarbon Meta Analysis. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - Obrochta, S., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Reconstructing Plant Functional Types in the Levant and East Africa. *The 5th Conference on Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas*. 2012.4.15. National Center of Sciences, Hitotsubashi, Tokyo, Japan.
 - Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2012 PaleoGeo: A Web GIS for Distributing Information from Paleoenvironmental Literature. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
 - 板橋 悠、米田 穰
2012 「古人骨中の窒素・炭素含有量を利用した有機成分の保存の推定法と日本試料への応用の検討」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 大森貴之、米田 穰
2012 「放射性炭素年代データを用いた古人口変動推定」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 2. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 大森貴之、米田穰
2012 「後期旧石器時代におけるレヴァントおよびヨーロッパ地域の放射性炭素編年」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - Obrochta S.P., 横山祐典、川幡穂高
2012 「Reconstructing plant functional types in the Levant」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交替劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - 覚張隆史、米田 穰
2012 「上黒岩岩陰（遺跡）におけるヒトとイヌのかかわり合いの復元 安定同位体分析によるアプローチ」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 8. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャン

- パス.
- 覚張隆史、太田博樹、大谷 進、米田 穰
2012「動物遺存体および化石における古代 DNA 分析の新たなプレスクリーニング法」第 66 回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション Y A8. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 日下宗一郎、米田 穰、佐宗亜依子、中野孝教
2012「國府・伊川津人骨の炭素・窒素安定同位体による食性解析」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C16. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 小口 高・近藤康久・高屋康彦・河端瑞貴
2012「古環境の文献から得た情報を地図化するための WebGIS」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - 小口 高、近藤康久、高屋康彦、河端瑞貴、W. Song
2012「古環境 WebGIS の更新」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2012「進化しつづける『交替劇』遺跡データベース」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - 近藤康久、大森貴之、亀井宏行、小口 高
2012「生態文化ニッチモデルの改良：ヨーロッパの旧石器遺跡を例に」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 2. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 瀧上 舞、米田 穰
2012「インカ帝国内での食性の地域差」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C14. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - Chan, W、阿部彩子、大石龍太
2012「古気候モデリングによる人類学研究」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 2. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 陳永利、阿部彩子、大石龍太、高橋邦生
2012「人類進化理解のための過去 13 万年の気候モデリング」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉：幕張メッセ.
 - 蔦谷 匠、長岡朋人、澤田純明、平田和明、米田 穰
2012「江戸時代一橋高校遺跡における成人・小児の安定同位体分析を用いた食性復元」第 66 回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション YA7. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 橋本真紀夫、吉田邦夫、覚張隆史、米田 穰
2012「資料の年代と石灰岩の岩石学的分析結果」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 8. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 松村秋芳、米田 穰、近藤 修、日本人類学会教育普及委員会
2012「日本人類学会教育普及委員会活動報告 2012」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 米田 穰
2012「旧人・新人の交替劇における古気候変動の影響：地球物理学・空間情報科学・年代学からのアプローチ」2012.11.4. 第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 2. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - 米田 穰
2012「ネアンデルタール人の絶滅と環境変動」交替劇プロジェクト公開講座. 2012.3.24. 東京.
 - 米田 穰、大森貴之、M.C. Diab
2012「古気候変動と交替劇の関係を読み解く方法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
 - 米田 穰、小口 高、横山裕典、川幡穂高、阿部彩子

2012 「旧人と新人の気候変動の関連性分析」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 2. 2012.11.4. 横浜: 慶應義塾大学日吉キャンパス.

- 米田 穰・横山祐典・川幡穂高・阿部彩子・小口 高
2012 「旧人と新人の進化と気候変動の関連性の分析」日本惑星地球科学会連合大会・セッション「気候変動からみた旧人・新人の交代劇」2012.5.24. 千葉: 幕張メッセ.

2011

- Abe, Y., T. Nara, T. Sato, T. Watanabe, M. Yoneda, J. Sawada, and R. Sawaura
2011 Anthropological and Archaeological Research at the Shitsukari-Abe Cave Site, the Northernmost of Honshu. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Diab, M. and M. Yoneda
2011 Assessing “Adaptive Capacity” in Late Mousterian Neanderthals through Multi-isotopic Analyses and Mortality Profiles of Herbivore Prey Resources at Dederiyeh Cave, Syria. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Diab, M.C. and M. Yoneda.
2011 Neanderthal adaptive capacity in the northern Levant during Oxygen Isotope Stage (OIS) 4/3: an assessment of resiliency based on Zooarchaeological and Multiple Isotopic Analyses. *The 65th Annual Meeting of Anthropological Society of Nippon*. 2011.11.6. Okinawa Prefectural Museum & Art Museum, Naha, Japan.
- Gakuhari, T., M. Takigami, M. Fujita, S. Yamazaki, C. Katagiri, I. Matsuzaki, and M. Yoneda
2011 Environmental Reconstruction of Pleistocene East Asia Based on Faunal Remains from Ishigaki Island. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Kageyama, M.
2011 Modeling climate impacts on the environment of the last Neanderthals during the last glacial period: some results from the collaborations between climatologists from LSCE and archeologists from PACEA and University of Montreal. 『人古気候復元モデルの人類進化研究への応用』一般公開セミナー. 2011.1.19. 東京: 国立科学博物館新宿分館.
- Kaifu, Y., M. Fujita, and M. Yoneda
2011 Inferring Population History in the Late Pleistocene of the Ryukyu Islands, Southwestern Japan. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Katagiri, C., S. Yamasaki, M. Fujita, R. Tokumine, M. Namiki, K. Ohori, S. Akamine, H. Sugawara, N. Doi, K. Kobayashi, and M. Yoneda
2011 Preliminary Excavation of the Late Pleistocene Human Burials at the Shiraho-Saonetabaru Cave Site in Ishigaki-jima Island, Okinawa. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Naito, Y. I., Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, and M. Yoneda
2011 Dietary Adaptations of Prehistoric Japanese Revealed by Nitrogen Isotopic Compositions of Individual Amino Acids in Bone Collagen. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2011 Towards compiling Stage 3 European and Stage 6 African climate records. *The 3th Conference on the RNMH Project*. 2011.4.23-24. National Center of Sciences, Tokyo, Japan.
- Obrochta, S. and Y. Yokoyama
2011 Western north Atlantic paleoceanographic conditions surrounding Neanderthal extinction. *The 2th Conference on the RNMH Project*. 2011.2.19-20. Kobe Gakuin University, Kobe, Japan.
- Oguchi, T. and Y. Kondo
2011 GIS applications for an interdisciplinary project: Replacement of Neanderthals by Modern Humans. *Regional Conference of the International Geographical Union*. 2011.11. Santiago, Chile.

- Yoneda, M., Y. I. Naito, T. Gakuhari, M. Takigami, Y. Itahashi, N. Doi, C. Katagiri, S. Yamazaki, and M. Fujita
2011 How Did Pleistocene Humans Adapt to a Remote Island? : Subsistence Reconstruction Based on Isotopic Analyses of Human Remains from the Shiraho-Saonetabaru Cave Site on Ishigaku Island, Okinawa, Japan. *Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association*. 2011.11.27. National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan.
- 阿部彩子
2011 「古気候変動と人類の進化：気候シミュレーション実験の到達点」『人古気候復元モデルの人類進化研究への応用』一般公開セミナー. 2011.1.19. 東京：国立科学博物館新宿分館.
- 阿部彩子
2011 「人類進化的理解のための過去 13 万年の気候のモデリング」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 阿部彩子、大石龍太、W. Chan
2011 「氷期間氷期サイクルのアフリカからユーラシアの気候変化」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 阿部彩子、大石龍太、W. Chan
2011 「氷期間氷期サイクルの気候と植生と北半球氷床のモデリング」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- 板橋 悠、常木 晃、Y. Kanjo、米田 穰
2011 「マルチアイソトープ分析による西アジア新石器時代集団墓の埋葬集団の検討」第 65 回日本人類学会大会.若手会員大会発表賞対象セッション 2. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 大石龍太、阿部彩子
2011 「大気海洋植生結合モデル MIROC-LPJ を用いた古気候・古植生の再現」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 大森貴之、米田 穰
2011 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 4 回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- 大谷 進、覚張隆史、米田 穰
2011 「アスパラギン酸のラセミ化率を指標とした歯からの年齢鑑定例」第 65 回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 大森貴之、米田 穰
2011 「中後期旧石器時代レヴァント地方における旧人・新人時空分布と気候変動の関連性評価」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 6. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 小口 高
2011 「シリアの 3 遺跡周辺の地形・堆積物から推定された更新世と完新世の古水文変動」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 小口 高、近藤康久
2011 「インターネット GIS を用いた人類進化と気候変動に関する情報の発信」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 小口 高、近藤康久
2011 「インターネット GIS を用いた考古・古環境情報の発信」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- Obrochta, S.P.
2011 「西部北大西洋における古海洋環境とネアンデルタール絶滅」『人類進化と気候変動』日本

- 地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- Obrochta, S.P., 横山祐典, 川幡穂高
2011「北大西洋西部の古海洋環境とネアンデルタールの絶滅」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 8. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 覚張隆史, 山崎京美, 樋泉岳二, 藤田祐樹, 山崎真治, 久貝弥嗣, 宮城弘樹, 片桐千亜紀, 米田 穰
2011「琉球列島におけるヒトとイノシシ類の関係性の復元：骨化学分析のアプローチから」
2011.11.4. 第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 1. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 片桐千秋, 山崎真治, 藤田祐樹, 米田 穰, 土肥直美
2011「白保茅田原洞穴遺跡における人骨の産状と洞穴利用」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 1. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 加藤博文, 長沼正樹
2011「北ユーラシアの骨角器使用と人類の高緯度進出」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 門脇誠二, 近藤康久
2011「レヴァント地方における中期・後期旧石器インダストリーの消長パターン」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 窪田 薫, 横山祐典, 坂井三郎, 前奈英明, 松崎浩之, 長田俊樹, P. Ajithprasad
2011「インダス遺跡から産出した耳石化石による環境復元」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - 近藤 修, Y. Kanjo, 石田 肇, 石井理子, 小口 高, 西秋良宏, 仲田大人, 赤澤 威
2011「デデリエ洞窟出土の新幼児人骨資料」第 65 回日本人類学会大会. 一般口演 1. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 近藤康久
2011「考古学における生態文化ニッチモデリング」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011. 5. 26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - 近藤康久, 小口 高
2011「予測モデリングと WebGIS による考古・年代・古環境データの統合と解析」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 8. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - 葛谷 匠, 久保麦野, 市石 博, 米田 穰
2011「東京大学総合研究博物館の常設展示を用いた、人類学教育普及活動の試み」第 65 回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - Chan, W., 阿部彩子, 大石龍太, 高橋邦生
2011「人類進化的理解のための過去 13 万年の気候のモデリング」第 65 回日本人類学会大会.シンポジウム 8. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - Diab, M.C., 米田 穰
2011「同位体情報と動物考古学的手法を用いたレバント地方におけるネアンデルタール人の適応に関する評価」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - Diab, M.C., 米田 穰
2011「酸素同位体ステージ 3 における北レバント地方のネアンデルタールの狩猟適応行動」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - 内藤裕一, 力石嘉人, 大河内直彦, 米田 穰
2011「古人骨のアミノ酸素同位体分析を用いた中部内陸部縄文時代人集団の肉食率評価」第 65 回日本人類学会大会.一般口演 3. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館
 - 森 洋久, 丸川雄三, 中村佳史, 赤澤 威
2011「研究情報統合サービスについて」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会.

- 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 森 洋久、丸川雄三、中村佳史、赤澤 威
2011 「「交替劇」文献データベースの構築」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - ・ 横山祐典、宮入陽介
2011 「放射線炭素年代補正曲線：最終氷期のサンゴのウラン系列核種を用いた補正の進展と問題点」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
 - ・ 米田 穰、板橋 悠、覚張隆史、瀧上 舞、内藤裕一、片桐千亜紀、土肥直美
2011 「白保竿根田原洞穴遺跡出土人骨の同位体分析」第65回日本人類学会大会.シンポジウム 1. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 米田 穰
2011 「寛永寺出土将軍親族遺体における化学分析」第65回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 米田 穰
2011 「ネアンデルタール絶滅と気候要因」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - ・ 米田 穰、M.C. Diab、大森貴之
2011 「旧人・新人交替劇の年代学的検討と古環境要因の抽出」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 米田 穰、阿部彩子、小口 高、川幡穂高、横山祐典
2011 「旧人新人の交替劇における古気候変動の役割」第65回日本人類学会大会.シンポジウム 8. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 米田 穰、阿部彩子、小口高、横山祐典
2011 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」『人類進化と気候変動』日本地球惑星科学連合 2011 年度連合大会セッション. 2011.5.26. 千葉：幕張メッセ国際会議場.
- 2010**
- ・ 赤澤 威、西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、丹野研一、L. Gourichon、Y. Kanjo、S. Muhesen
2010 「旧人ネアンデルタールと新人クロマニヨンの交替劇を探るーシリア・デデリエ洞窟の2009年度調査」『平成21年度考古学が語る古代オリエント』第17回西アジア発掘調査報告会. 2010.3.27. 東京：池袋サンシャインシティ文化会館.
 - ・ 阿部彩子
2010 「古気候復元図の作成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 小口 高
2010 「GIS を用いた古環境データと考古データの統合および活用」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 門脇誠二、近藤康久
2010 「旧人・新人に関わる石器製作伝統のデータベース化：その目的と方法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 近藤康久
2010 「2010年代の考古データベースはどう展開するか？」第16回公開シンポジウム『人文科学とデータベース』2010.11.27. 京都：花園大学.
 - ・ 近藤康久、門脇誠二、西秋良宏
2010 「考古学におけるネットワーク・コンピューティング：「旧人・新人交替劇」遺跡データベ

ースの取り組み」『じんもんこん 2010』日本情報処理学会・人文科学とコンピュータシンポジウム. 2010.12.11-12. 東京：東京工業大学.

- 森 洋久、丸川雄三
2010「人類遺跡データベースを用いた時空間情報基盤の構築」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 横山祐典
2010「古環境時系列データの集成へのプレリサーチおよび文献収集」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 米田 穰
2010「旧人・新人の分布と現代的行動の拡散に関する年代データの集成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 米田 穰、阿部彩子、横山祐典、小口 高
2010「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』2010.10.2. 第64回日本人類学会大会シンポジウム. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター.

【図書】

2015

- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. O'ishi, and K. Takahashi
2015 Stadial and interstadial climates, as simulated in experiments with the MIROC climate model. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 98. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W.L. Chan, R. O'ish, S. Kadowaki, M. Naganuma, T. Oguchi, Y. Nishiaki, and M. Yoneda
2015 Ecological niche modelling for the Neanderthals and modern humans: Achievements of the interdisciplinary collaboration. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 97. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, A. Abe-Ouchi, and R. Oishi
2015 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 95. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- O'ishi, R., W.L. Chan, and A. Abe-Ouchi
2015 Vegetation change in Europe during the Late Pleistocene dispersal of modern humans. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 92. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- Omori, T., K. Sano, and M. Yoneda
2015 Accurate age estimation based on radiocarbon database. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 94. Proceedings of the 10th Conference on the RNMH project.
- 阿部彩子
2015「最後のネアンデルタール人が直面した環境変動」佐野勝宏編『ネアンデルタール人の絶滅の謎に迫る』4-6. 公開講演会予稿集.
- 大石龍太、W. Chan、阿部彩子
2015「ヨーロッパにおける新人拡散期の植生」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 92.
- 大森貴之、佐野勝宏、米田 穰
2015「データベースを基にした高確度年代推定」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 93.
- 近藤康久、佐野勝宏、大森貴之、阿部彩子、W. Chan、大石龍太、門脇誠二、長沼正樹、小口高、西秋良宏、米田 穰
2015「旧人・新人の生態ニッチモデリング共同研究のまとめ」赤澤 威編『ネアンデルタールと

サピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 96.

- 米田 穰、大森貴之、近藤康久、阿部彩子、横山祐典、川幡穂高、小口 高
2015「地球科学からみた交替劇」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 17-18.

2014

- Chan, W.L., A. Abe-Ouchi, R. O'ishi, and K. Takahashi
2014 Using general circulation models to simulate stadial and interstadial climates of the Late Pleistocene. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 113. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. O'ishi, and K. Takahashi
2014 Stadial and interstadial climates in the Late Pleistocene, as simulated in experiments with the MIROC climate model. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 157-158. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kaifu, Y., M. Fujita, M. Yoneda, S. Yamasaki
2014 Pleistocene seafaring and colonization of the Ryukyu Islands, southwestern Japan. In Y. Kaifu, M. Izuho, T. Goebel, H. Sato and A. Ono (eds.) *Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia*, pp. 345-361, College Station: Texas A&M University Press.
- Mori, H.
2014 Developing Remains Database Utilizing Bibliographic Database. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 80. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2014 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 79. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2014 Regional last glacial climate synthesis for the Eastern Mediterranean. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 59. Kochi: Kochi University of Technology.
- O'ishi, R.
2014 The spatial and temporal variation of vegetation distribution on the dispersals of modern humans in Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 24. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- O'ishi, R., W. Chan, and A. Abe-Ouchi
2014 Vegetation change in Europe during the Late Pleistocene dispersal of Modern Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 60. Kochi: Kochi University of Technology.
- Omori, T.
2014 Accurate date estimation on the dispersals of modern humans in Europe. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 23. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Omori, T. and K. Sano
2014 Spatiotemporal pattern of the Middle to Upper Paleolithic transitional lithic industries in Europe: A new approach for reliability assessment of radiocarbon data. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 66. Kochi: Kochi University of Technology.
- Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2014 Theme and study area distribution of the PaleoGeo database. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 115. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2014 Presentation of the PaleoGeo database with Google Earth. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 56-58. Kochi: Kochi University of Technology.
- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, Y. Yokoyama, H. Kawahata, and T. Oguchi
2014 Reconstructing the distribution of Neanderthal and Modern Human in time and space in relation to

past climate change. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 77. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.

- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, H. Kawahata, Y. Yokoyama, and T. Oguchi
2014 Testing the hypothesis on cognitive evolution of Modern Humans' learning ability: Achievements of past-climatic approaches. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 156. Kochi: Kochi University of Technology.
- Obrochta, S.P., 横山祐典、川幡穂高
2014 「最終氷期の地中海東部における地域的な気候復元にむけて」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 78.
- 大石龍太、W. Chan、阿部彩子
2014 「ヨーロッパにおける新人拡散期の植生」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 24.
- 大森貴之
2014 「ヨーロッパにおける新人拡散期の高精度年代」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 22.
- 近藤康久
2014 「ヨーロッパにおける旧人と新人の生態ニッチモデル」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 25.
- Song, W., 近藤康久、小口 高
2014 「PaleoGIS(WebGIS)の研究対象のテーマと地域分布」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 114.
- Chan, W., 阿部彩子、大石龍太、高橋邦生
2014 「全球気候モデルを用いた、更新世後期の亜氷期と亜間氷期の気候のシミュレーション」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 112.
- 森 洋久
2014 「文献データベースの活用による遺跡データベース開発」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 80.
- 米田 穰、阿部彩子、横山祐典、川幡穂高、小口 高
2014 「旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 76.

2013

- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2013 Using numerical models to simulate Climate and vegetation changes during the last glacial cycle. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 129-130. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2013 Modeling the climate of the Late Pleistocene with MIROC: A general overview of results and comparisons with proxy-derived data. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 70. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2013 Modeling the climate of the Late Pleistocene and comparison of simulation with proxy-derived data. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 91. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.
- Kawabata, H.
2013 The origin of art: Neurasthenic perspectives. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 43. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kondo, Y. and T. Oguchi
2013 Improving eco-cultural niche models. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern*

- Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 132. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kondo, Y., W. Song, and T. Oguchi
2013 Publication of the PaleoGeo WebGIS. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 74. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - Obrochta, S.P.
2013 Last glacial to Holocene African climate change. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 30. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Obrochta S.P. and Y. Yokoyama
2013 Climate Linkages During the Last and Penultimate Glaciations. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 86-87. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.
 - Obrochta S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2013 New constraints on European ice sheet behavior and implications for Levant climate and human migration. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 75. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - Obrochta S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2013 An automated mathematical function for conversion of GISP2-based age models to NGRIP. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 128. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - Oguchi, T. and Y. Kondo
2013 Late Quaternary landform development and archaeological ruins in the south-eastern Arabian Peninsula. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 72. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - O'ishi, R., A. Abe-Ouchi, and W. Chan
2013 Reconstruction of paleo-vegetation distribution and evaluation of its uncertainty by using an atmosphere ocean coupled general circulation model and a dynamic global vegetation model. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 77. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - O'ishi, R., A. Abe-Ouchi, and W. Chan
2013 Reconstruction of paleo-vegetation distribution and evaluation of its uncertainty by using an atmosphere ocean coupled general circulation model and a dynamic global vegetation model. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 95. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.
 - Omori, T. and M. Yoneda
2013 Progress of date screening and the problem. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 127. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Omori, T. and K. Sano
2013 Reconsidering radiometric chronology of the European Paleolithic industries. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 31. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
 - Omori, T. and M. Yoneda
2013 Approach of radiocarbon correction for high accuracy date estimation. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 93. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.
 - Song, W., T. Oguchi, and Y. Kondo
2013 Update and improvement of the Paleoenviromental WebGIS. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 134. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
 - Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2013 Characteristic of the PaleoGeo (WebGIS) and its improvement. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 89. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.

- Yoneda, M. (ed.)
2013 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Yoneda, M.
2013 The timing of human expansion into the arctic zone. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 51. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, T. Oguchi, H. Kawahata, and Y. Yokoyama
2013 Reconstructing the distribution of Neanderthals and modern humans in time and space in relation to past climate change. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 68. Proceedings of the 7th Conference on RNMH project.
- Yoneda, M., A. Abe-Ouchi, Y. Yokoyama, H. Kawahata, and T. Oguchi
2013 Reconstructing the distribution of Neanderthal and Modern Human in time and space in relation to past climate change. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 84. Proceedings of the 8th Conference on RNMH project.
- 大石龍太、阿部彩子、W. Chan
2013 「大気海洋大循環モデルと陸域生態系モデルを用いた古植生分布再現とその不確実性評価」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 76-77.
- 大石龍太、阿部彩子、W. Chan
2013 「大気海洋大循環モデルと陸域生態系モデルを用いた古植生分布再現とその不確実性評価」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 94.
- 大森貴之、佐野勝宏
2013 「ヨーロッパ後期旧石器インダストリーにおける理化学年代の再整理」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 30-31.
- 大森貴之、米田 穰
2013 「年代精査の進捗とその問題点」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 126-127.
- 大森貴之、米田 穰
2013 「高精度年代推定に向けた放射性炭素年代補正の取り組み」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 92.
- Obrochta S.P.
2013 「最終間氷期から完新世にかけてのアフリカにおける気候変動」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 30.
- 小口 高、近藤康久
2013 「アラビア半島南東部における後期更新世以降の地形発達史と人類遺跡」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 71-72.
- 近藤康久、小口 高
2013 「生態文化ニッチモデルの改良」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 131-132.
- 近藤康久、W. Song、小口 高
2013 「古環境 WebGIS の公開」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 73-74.
- Song, W.、小口 高、近藤康久
2013 「古環境 WebGIS の更新と改善」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 133-134.

- Song, W., 近藤康久, 小口 高
2013 「PaleoGeo (WebGIS) の特徴と改善案」 寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 88.
- Chan, W., 阿部彩子, 大石龍太, 高橋邦生
2013 「MIROC 気候モデルによる更新世後期の気候シミュレーション：モデル結果の概要およびプロキシデータとの比較」 青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 7: 69-70.
- Chan, W., 阿部彩子, 大石龍太, 高橋邦生
2013 「更新世後期の気候シミュレーションおよびプロキシデータとの比較」 寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 90.
- 米田 穰
2013 「北極圏進出年代に関する議論」 米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 6: 50-51.
- 米田 穰
2013 「同位体分析からみた旧人・新人の食糧獲得行動」 佐藤勝宏編『旧人・新人の狩猟具と狩猟法』 : 7.
- 米田 穰, 阿部彩子, 横山祐典
2013 「環境変動と人類の進化」 吉崎正憲編『図説 地球環境の事典』 : 32-33. 東京：朝倉書店.
- 米田 穰, 阿部彩子, 小口 高, 川幡穂高, 横山裕典
2013 「研究項目 B02：旧人・新人時空間分布と気候変動の関係性の分析」 青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 7: 66-68.
- 米田 穰, 阿部彩子, 横山裕典, 川幡穂高, 小口 高
2013 「旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析」 寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 82-83.

2012

- Abe-Ouchi, A., Y. Yokoyama, H. Kawahata, T. Oguchi, and M. Yoneda
2012 Investigation of Past Climate and Vegetation for Understanding the Replacement of Neanderthals by Modern Humans. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 42-43. Kochi: Kochi University of Technology.
- Chan, W. and A. Abe-Ouchi
2012 Modeling the Climate of the Last Glacial-Interglacial Cycle. In M. Yoneda (ed.) *RNMH: Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Chang*. No. 01: 34-38. B02 Research Report.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. O'ishi, and K. Takahashi
2012 Modeling the climate of the past 130,000 years to understand the evolution of humans. In N. Ogiwara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 67. The 5th Conference on RNMH.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Oishi, and K. Takahashi
2012 Using Numerical Models to Simulate Climate and Vegetation Changes during the Last Glacial Period. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 137-138. Kochi: Kochi University of Technology.
- Creanza, N., L. Fogarty, and M.W. Feldman
2012 Exploring Cultural Niche Construction from the Paleolithic to Modern Hunter-Gatherers. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 27. Kochi: Kochi University of Technology.
- Diab, M.C. and M. Yoneda
2012 Late Middle Palaeolithic (OIS4/3) Neanderthal Prey Exploitation and Land Use at Dederiyeh Cave, Syria, Based on Multiple Isotopic Analyses of Intra-Tooth Enamel and Mortality Profiles of Wild Goat, Red Deer, and Gazelle. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 139-140. Kochi: Kochi University of Technology.

- Kondo, Y. and T. Oguchi
2012 How Can We Apply Ecological Niche Models to Palaeoanthropological Research? In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 141-142. Kochi: Kochi University of Technology.
- Marukawa, Y., H. Mori, Y. Nakamura, and T. Akazawa
2012 Bibliographic Database for "Replacement of Neanderthals by Modern Humans". In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 143-144. Kochi: Kochi University of Technology.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Reconstructing Plant Functional Types in the Levant. In N. Ogihara (ed.) *The 66th Annual Meeting of the Anthropological Society of Nippon*: 88-89. The 66th Conference on Annual Meeting of the Anthropological Society of Nippon.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Plant Creating a Common Chronology for Levant Pollen Records Based on Ice Core Synchronization. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 144-145. Kochi: Kochi University of Technology.
- Oguchi, T. and Y. Kondo
2012 Distribution of archaeological and paleoenvironmental information using WebGIS. In M. Yoneda (ed.) *RNMH: Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Chang*. No. 01: 14-16. B02 Research Report.
- Oguchi, T., Y. Kondo, Y. Takaya, M. Kawabata, W. Song
2012 Updating a system of paleoenvironmental WebGIS. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 70. Proceedings of the 5th Conference on RNMH
- Omori, T. and M. Yoneda
2012 Population Dynamics and Spatial Distribution Inferred from Radiocarbon Meta Analysis. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 147-148. Kochi: Kochi University of Technology.
- Obrochta, S.P. and Y. Yokoyama
2012 North Atlantic environmental conditions during Neanderthal Extinction. In M. Yoneda (ed.) *RNMH: Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Chang*. No. 01: 18-27. B02 Research Report.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2012 Reconstructing Plant Functional Types in the Levant and East Africa. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 68. The 5th Conference on RNMH.
- Song, W., Y. Kondo, and T. Oguchi
2012 PaleoGeo: A Web GIS for Distributing Information from Paleoenvironmental Literature. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 149-150. Kochi: Kochi University of Technology.
- Yoneda, M.
2012 Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climatic Changes. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 22-25. Kochi: Kochi University of Technology.
- Yoneda, M.
2012 Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climatic Changes. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 45-47. Kochi: Kochi University of Technology.
- Yoneda, M. (ed.)
2012 *RNMH: Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Chang*. No. 01. B02 Research Report.
- Yoneda, M. and M.C. Diab
2012 Chronological reevaluation and behavioral reconstruction of Neanderthals and Anatomically Modern Humans. In M. Yoneda (ed.) *RNMH: Reconstructing the Distribution of Neanderthals and Modern Humans in Time and Space in Relation to Past Climate Chang*. No. 01: 6-7. B02 Research Report.
- Yoneda, M., T. Omori, and M.C. Diab
2012 Evaluation Method for the effect of climate change on Neanderthal and modern humans. In N.

Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 66. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.

- 板橋 悠、米田 穰
2012「古人骨中の窒素・炭素含有量を利用した有機成分の保存の推定法と日本試料への応用の検討」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』72.
- 大森貴之、米田 穰
2012「放射性炭素年代データを用いた古人口変動推定」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』90.
- 葛谷 匠、長岡朋人、澤田純明、平田和明、米田 穰
2012「江戸時代一橋高校遺跡における成人・小児の安定同位体分析を用いた食性復元」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』45.
- Obrochta, S.P.、横山裕典
2012「西部北大西洋における古海洋環境とネアンデルタール絶域」米田 穰編『交替劇-旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析 1』「交替劇」B02 班研究報告書 No. 1: 18-33.
- 覚張隆史、米田 穰
2012「上黒岩岩陰（遺跡）におけるヒトとイヌのかかわり合いの復元-安定同位体分析によるアプローチ」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』101.
- 覚張隆史、太田博樹、大谷 進、米田 穰
2012「動物遺存体および化石における古代 DNA 分析の新たなプレスクリーニング法」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』45.
- 日下宗一郎、米田 穰、佐宗亜依子、中野孝教
2012「國府・伊川津人骨の炭素・窒素安定同位体による食性解析」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』67.
- 小口 高、近藤康久
2012「WebGIS を用いた考古・古環境情報の発信」米田 穰編『交替劇-旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析 1』「交替劇」B02 班研究報告書 No. 1: 8-16.
- 小口 高、近藤康久、高屋康彦、河端瑞貴、W. Song
2012「古環境 WebGIS の更新」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 69.
- 近藤康久、大森貴之、亀井宏行、小口 高
2012「生態文化ニッチモデルの改良：ヨーロッパの旧石器遺跡を例に」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』88.
- 瀧上 舞、米田 穰
2012「インカ帝国内での食性の地域差」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』66.
- Chan, W.、阿部彩子
2012「最終氷期-間氷期サイクルの気候モデリング」米田 穰編『交替劇-旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析 1』「交替劇」B02 班研究報告書 No. 1: 34-41.
- Chan, W.、阿部彩子、大石龍太
2012「古気候モデリングによる人類学研究」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』89.
- 橋本真紀夫、吉田邦夫、覚張隆史、米田 穰
2012「資料の年代と石灰岩の岩石学的分析結果」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』100.
- 松村秋芳、米田 穰、近藤 修、日本人類学会教育普及委員会
2012「日本人類学会教育普及委員会活動報告 2012」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』83.
- 米田 穰（編）
2012『交替劇-旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析 1』「交替劇」B02 班研究報告書 No. 1.

- 米田 穰
2012 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 80-82.*
- 米田 穰
2012 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』*RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 92-93.*
- 米田 穰
2012 「旧人・新人の交替劇における古気候変動の影響：地球物理学・空間情報科学・年代学からのアプローチ」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』88-90.
- 米田 穰、M.C. Diab
2012 「旧人・新人分布域の年代学的検討と行動復元の試み」米田 穰編『交替劇-旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析 1』 「交替劇」B02 班研究報告書 No. 1: 1-7.
- 米田 穰、大森貴之、M.C. Diab
2012 「古気候変動と交替劇の関係を読み解く方法」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス 交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 64-65.
- 米田 穰、小口 高、横山裕典、川幡穂高、阿部彩子
2012 「旧人と新人の気候変動の関連性分析」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』88.

2011

- Abe-Ouchi, A., R. Ohishi, and W. Chan
2011 Modelling the climate of the last glacial-interglacial cycle. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 44. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH project.
- Abe-Ouchi, A., R. Ohishi, and W. Chan
2011 Modelling the northern hemisphere ice sheet and climate for the last glacial-interglacial cycle. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 45. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Chan, W., A. Abe-Ouchi, R. Ohishi, and K. Takahashi
2011 Application of climate models to the last glacial-interglacial cycle. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 106. Proceedings of the 4th Conference on RNMH project.
- Diab, M.C. and M. Yoneda
2011 Panarchy and socioecological resilience in Neanderthal ecological adaptations in the northern Levant during the early-middle OIS 3(60-40 kya): Assessing hunting behaviour and palaeoecology using multi-element isotopic and zooarchaeological approaches. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 42. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Hewlett, B.S.
2011 Social learning among Congo Basin hunter-gatherers. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 25. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Kadowaki, S. and Y. Kondo
2011 Spatio-temporal patterns of Levantine middle and upper Palaeolithic industries. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 10. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Kondo, Y. and T. Oguchi
2011 Integration of archaeological, radiometric, and paleoenvironmental data by means of Internet GIS and predictive modeling using ecological niche models. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 110. Proceedings of the 4th Conference on RNMH project.
- Mori, H., Y. Marukawa, Y. Nakamura, and T. Akazawa
2011 Federated database service for “Replacement of Neanderthals”. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 17. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH project.

- Mori, H., Y. Marukawa, Y. Nakamura, and T. Akazawa
2011 Construction of a bibliographic database for “Replacement of Neanderthals by Modern Humans”. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 3. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Obrochta, S.P. and Y. Yokoyama
2011 Western north Atlantic paleoceanographic conditions surrounding Neanderthal extinction. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 40. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Obrochta, S.P. and Y. Yokoyama
2011 Western north Atlantic paleoceanographic conditions surrounding Neanderthal extinction. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 40. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Obrochta, S.P., Y. Koyama, and H. Kawahata
2011 Reconstructing Plant Functional Types in the Levant. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 108. Proceedings of the 4th Conference on RNMH project.
- Obrochta, S.P., Y. Yokoyama, and H. Kawahata
2011 Towards compiling Stage 3 European and Stage 6 African climate records. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 46. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH project.
- Oguchi, T.
2011 Pleistocene and Holocene paleohydrological changes inferred from landforms and deposits in and around three archaeological sites in Syria. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 45. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH project.
- Oguchi, T. and T. Wasklewicz
2011 Geographical Information Systems in geomorphology. In K.J. Geregory and A. Goudie (eds.) *The SAGE Handbook of Geomorphology*, pp. 227-245. Sage Publications, London, UK.
- Oguchi, T. and Y. Kondo
2011 Distribution of archaeological and paleoenvironmental information using Internet GIS. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 39. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Oguchi, T., Y.S. Hayakawa, and T. Wasklewicz
2011 Data sources. In M. Smith, P. Paron, and J. Griffiths (eds.) *Geomorphological Mapping: Methods and Applications. Developments in Earth Surface Processes* 15: 189-224. Elsevier, Amsterdam, Netherlands.
- Yoneda, M.
2011 Neanderthal extinction and climate factor: The role of dating techniques. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 37. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH project.
- Yoneda, M., T. Omori, and M.C. Diab
2011 Chronological study on the replacement of Neanderthal by modern human and the extraction of modern human behavior. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 102-103. Proceedings of the 4th Conference on RNMH project.
- Yoneda, M., M.C. Diab, and T. Omori
2011 Chronological research on the replacement of Neanderthal and modern human in light of climate change. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 43. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH project.
- 阿部彩子、大石龍太、W. Chan
2011 「氷期間氷期サイクルのアフリカからユーラシアの気候変化」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 44.
- 阿部彩子、大石龍太、W. Chan
2011 「氷期間氷期サイクルの気候と植生と北半球氷床のモデリング」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 44.

- 小口 高
2011「シリアの3遺跡周辺の地形・堆積物から推定された更新世と完新世の古水文変動」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 45.
- 小口 高、近藤康久
2011「インターネット GIS を用いた考古・古環境情報の発信」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 39.
- Obrochta, S.P.、横山裕典、川幡穂高
2011「レヴァント地域における植物機能型の復元」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 107.
- 門脇誠二、近藤康久
2011「レヴァント地方における中期・後期旧石器インダストリーの消長パターン」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 9.
- 川崎廣吉
2011「異質環境下におけるヒトの分布拡大の反応拡散モデル(2)」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 38.
- 近藤康久、小口 高
2011「インターネット GIS による考古・年代・古環境情報の統合と生態ニッチモデリングによる存在予測手法の検討」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 109.
- Chan W.、阿部彩子、大石龍太、高橋邦夫
2011「氷期-間氷期サイクルに対する気候モデルの応用」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 105.
- Diab M.C., 米田 穰
2011「酸素同位体ステージ 3 における北レバント地方のネアンデルタールの狩猟適応行動」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 41.
- 森 洋久、丸川雄三、中村佳史、赤澤 威
2011「研究情報統合サービスについて」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 17.
- 森 洋久、丸川雄三、中村佳史、赤澤 威
2011「「交替劇」文献データベースの構築」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 2.
- 米田 穰、大森貴之、M.C. Diab
2011「旧人・新人交替劇の年代学的研究と、現代人的行動の抽出」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 100.
- 米田 穰、M.C. Diab、大森貴之
2011「旧人・新人交替劇の年代学的検討と古環境要因の抽出」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 43.
- 米田 穰
2011「ネアンデルタール絶滅と気候要因：年代学的研究の役割について」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 36.

2010

- Abe-Ouchi, A.
2010 Temporal and Spatial Paleoclimatic Variations and Human Evolution. In T. Akazawa

- (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 57-58. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
- Kadowaki, S. and Y. Kondo
2010 A Database of Neanderthal and Modern Human Lithic Industries: Aims and Construction Methods. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 37. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
 - Mori, H. and Y. Marukawa
2010 Construction of a Spatio-Temporal Information Infrastructure Based on the Catalogue of Fossil Hominids Database. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 33-34. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
 - Oguchi, T.
2010 Integration and Utilization of Paleoenvironmental and Archaeological Data Using GIS. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 59-60. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
 - Yokoyama, Y.
2010 Environmental Reconstruction of the Marine Oxygen Isotope Stages 4 and 3 Based on Geological Proxies: Methods and Perspectives. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 61. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
 - Yoneda, M.
2010 Re-Evaluation of Temporal and Spatial Distribution of Neanderthals and AMH and the Dispersal of Modern Behavior from a Chronological Point of View. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 55-56. Proceedings of the 1st Conference on RNMH project.
 - 阿部彩子
2010 「古気候復元図の作成」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 1: 57.
 - 小口 高
2010 「GIS を用いた古環境データと考古データの統合および活用」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 1: 59.
 - 門脇誠二、近藤康久
2010 「旧人・新人に関わる石器製作伝統のデータベース化：その目的と方法」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 1: 37.
 - 森 洋久、丸川雄三
2010 「人類遺跡データベースを用いた時空間情報基盤の構築」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 33.
 - 横山祐典
2010 「古環境時系列データの集成へのプレリサーチおよび文献収集」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 1: 61.
 - 米田 穰
2010 「旧人・新人の分布と現代的行動の拡散に関する年代データの集成」 赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 1: 55.
 - 米田 穰、阿部彩子、横山祐典、小口 高
2010 「旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析」 『第 64 回日本人類学会大会抄録集』 83.

計画研究 C01 「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」

【雑誌論文】

2015

- Amano, H., T. Kikuchi, Y. Morita, O. Kondo, H. Suzuki, M.S. Ponce de Leon, C.P.E. Zollikofer, M. Bastir, C. Stringer, and N. Ogihara

2015 Virtual Reconstruction of the Neanderthal Amud 1 Cranium. *American Journal of Physical Anthropology* 158(2): 185-197. (査読)

- Bruner, E., Amano, H., de la Cuétara, J.M., Ogihara, N.
2015 The brain and the braincase: a spatial analysis on the midsagittal profile in adult humans. *Journal of Anatomy* 227: 268-276. (査読)
- Morita, Y., Amano, H., Ogihara, N.
2015 Three-dimensional Endocranial Shape Variation in the Modern Japanese Population. *Anthropological Science* 123(3): 185-191. (査読)
- Ogihara, N., H. Amano, T. Kikuchi, Y. Morita, K. Hasegawa, T. Kochiyama, and H.C. Tanabe
2015 Towards digital reconstruction of fossil crania and brain morphology. *Anthropological Science* 123: 57-68. (査読)

2014

- Bruner, E., J.M. de la Cuétara, M. Masters, H. Amano, and N. Ogihara
2014 Functional craniology and brain evolution: from paleontology to biomedicine. *Frontiers in Neuroanatomy* 8(19): 1-15. (査読)
- Michikawa, T., M. Moriguchi, and H. Suzuki
2014 Feature-preserving outermost-surface polygonization from CT images. *Computer-Aided Design and Applications* 11(2): 239-243. DOI: 10.1080/16864360.2014.846098. (査読)

2013

- Kikuchi, T. and N. Ogihara
2013 Computerized assembly of neurocranial fragments based on surface extrapolation. *Anthropological Science* 121(2): 115-122. (査読)
- Morita, Y., N. Ogihara, T. Kanai, and H. Suzuki
2013 Quantification of neurocranial shape variation using the shortest paths connecting pairs of anatomical landmarks. *American Journal of Physical Anthropology* 151: 658-666. (査読)

2012

- Fukase, H.
2012 Interspecies Difference in Placement of Developing Teeth and Its Relationship With Cross-Sectional Geometry of the Mandibular Symphysis in Four Primate Species Including Modern Humans. *American Journal of Physical Anthropology* 147(2): 217-226. (査読)
- Fukase, H., T. Wakebe, T. Tsurumoto, K. Saiki, M. Fujita, and H. Ishida
2012 Facial characteristics of the prehistoric and early-modern inhabitants of the Okinawa islands in comparison to the contemporary people of Honshu. *Anthropological Science* 120(1): 23-32. (査読)
- 石田 肇、増田隆一
2012 「アイヌ民族とオホーツク文化人集団」 『季刊考古学』 118: 85-87.
- 近藤 修
2012 「ネアンデルタール人は絶滅したか」 『季刊考古学』 118: 43-45.

2011

- Fukase, H.
2011 Relationship Between Canine Dimorphism and Mandibular Morphology in the Hamadryas Baboon and the Japanese Monkey. *American Journal of Physical Anthropology* 144: 607-616. (査読)
- Fukase, H., T. Wakebe, T. Tsurumoto, K. Saiki, M. Fujita, and H. Ishida
2011 Facial characteristics of the prehistoric and early-modern inhabitants of the Okinawa islands in comparison to the contemporary people of Honshu. *Anthropological Science* 120: 23-32. DOI: 10.1537/ase.110411. (査読)
- Hishida H, H. Suzuki, T. Michikawa, Y. Ohtake, and S. Oota
2011 CT Image Segmentation Using FEM with Optimized Boundary Condition. *PLoS ONE* 7. (査読)
- Katsumura, T., S. Oda, K. Tsukamoto, Y. Sekiya, T. Yamashita, M. Aso, M. Hata, M. Nonaka, S. Mano, H. Ishida, H. Mitani, S. Kawamura, and H. Oota
2011 A population genetic study on the relationship between medaka fish and the spread of wet-rice cultivation across the Japanese archipelago. *Anthropological Science* 120: 81-89. DOI: 10.1537/ase.110525. (査読)
- Kazuta, H., T. Sato, Y. Dodo, H. Matsumura, T. Amano, H. Ishida, and R. Masuda
2011 Genotype frequencies of the ABCC11 gene in 2000-3000-year-old human bones from the Epi-Jomon and Jomon sites in Hokkaido, Japan. *Anthropological Science* 119: 81-86. DOI: 10.1537/ase100416. (査読)

- Kondo, O.
2011 Human skeletal remains from Bishri region, excavated during 2009 seasons. *Al-Rafidan* 32: 123-125. (査読)
- X. Liu, H. Suzuki, and Y. Ohtake
2011 Medical Fixture Design with CT Images, *J. Computer-Aided Design and Applications* 8: 421-433. (査読)
- Nagaoka, T., H. Ishida, Y. Shimoda, M. Sunagawa, T. Amano, H. Ono, and K. Hirata
2011 Estimation of skeletal adult age distribution of Okhotsk people in northern Japan. *Anthropological Science* 120(2): 103-113. (査読)
- Saitou, N., R. Kimura, H. Fukase, A. Yogi, S. Murayama, and H. Ishida
2011 Advanced CT images reveal nonmetric cranial variations in living humans. *Anthropological Science*. DOI: 10.1537/ase.100928. (査読)
- Satoh, Y., Y. Kobayashi, G. Pages, J. Pouyssegur, and T. Kazama
2011 Deletion of ERK1 and ERK2 in the CNS causes cortical abnormalities and neonatal lethality: Erk1 deficiency enhances the impairment of neurogenesis in Erk2-deficient mice. *Journal of Neuroscience* 31(3): 1149-1155. (査読)
- Satoh, Y., S. Endo, T. Nakata, Y. Kobayashi, K. Yamada, T. Ikeda, T. Hiramoto, Y. Watanabe, and T. Kazama
2011 ERK2 Contributes to the Control of Social Behaviors in Mice. *Journal of Neuroscience* 31(33): 11953-11967. (査読)
- Shimoda, Y., T. Nagaoka, K. Moromizato, M. Sunagawa, T. Hanihara, M. Yoneda, K. Hirata, H. Ono, T. Amano, T. Fukumine, and H. Ishida
2011 Degenerative changes of the spine in people from the Okhotsk culture and two ancient groups from Kanto and Okinawa, Japan. *Anthropological Science* 115(1):25-36. DOI: 10.1537/ase.100925.c. (査読)
- Suwa, G., H. Fukase, R. T. Kono, D. Kubo, and M. Fujita
2011 Mandibular tooth root size in modern Japanese, prehistoric Jomon, and Late Pleistocene Minatogawa human fossils. *Anthropological Science* 119: 159-171. (査読)
- Yang, C., Y. Ohtake, and H. Suzuki
2011 Sealed Decomposition of a Triangular Mesh with Tetrahedral Mesh Segmentation. *J. Computer-Aided Design and Applications* 8: 383-394. (査読)
- 小林 靖
2011 「帯状回-皮質構造と線維結合」 『Brain and Nerve』 63(5): 473-482. (査読)
- 小林 靖、寺田純雄
2011 「神経解剖学の見方、考え方：脳の発生と区分(1)」 *Clinical Neuroscience* 29 (5): 492-493. (査読)
- 小林 靖、寺田純雄
2011 「神経解剖学の見方、考え方：脳の発生と区分(2)」 *Clinical Neuroscience* 29 (6): 612-613. (査読)
- 小林 靖、寺田純雄
2011 「神経解剖学の見方、考え方：脳神経の発生と区分(1)」 *Clinical Neuroscience* 29(7): 728-729. (査読)
- 小林 靖、寺田純雄
2011 「神経解剖学の見方、考え方：脳神経の発生と区分(2)」 *Clinical Neuroscience* 29(8): 856-857. (査読)
- 近藤 修
2011 「化石人類の脳と左右差」 *Clinical Neuroscience* 29: 642-644. (査読)

2010

- Akazawa, T., Y. Kanjo, Y. Nishiaki, H. Nakata, M. Yoneda, O. Kondo, K. Tanno, and S. Muhesen
2010 The 2007-2008 seasons' excavations at Dederiyeh Cave, Afrin, Northwest Syria. *Chronique Archeologique en Syrie* 4: 31-38.
- Fukumoto, I. and O. Kondo
2010 3D craniofacial variation and occlusal wear severity among inhabitants of Hokkaido: comparisons of Okhotsk culture people and the Ainu. *Anthropological Science* 118(3): 161-172. (査読)

- Kaburagi, M., H. Ishida, M. Goto, and T. Hanihara
2010 Comparative studies of the Ainu, their ancestors, and neighbors: sssessment based on metric and nonmetric dental data. *Anthropological Science* 118: 95-106. DOI: 10.1537/ase090603. (査読)
- Matsukusa, H., H. Oota, K. Haneji, T. Toma, S. Kawamura, and H. Ishida
2010 A genetic study of the Sakishima Islanders reveals no relationship with Taiwan Aborigines but Ainu and main-island Japanese. *American Journal of Physical Anthropology* 142: 211-223. DOI 10.1002/ajpa.21212. (査読)
- Matsuura, Y., N. Ogihara, and M. Nakatsukasa
2010 A method for quantifying articular surface morphology of metacarpals using quadric surface approximation. *International Journal of Primatology* 31(2): 263-274. (査読)
- Michikawa, T. and H. Suzuki
2010 Sparse Grid Distance Transforms. *Graphical Models* 72: 35-45. (査読)
- Naito, Y. I., Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi, H. Mukai, Y. Shibata, N. V. Honck, Y. Dodo, H. Ishida, T. Amano, H. Ono, and M. Yoneda
2010 Dietary reconstruction of the Okhotsk Culture of Hokkaido, Japan, based on nitrogen isosopic composition of amino acids: implication for the correction of radiocarbon marine reservoir effects on human bones. *Radiocarbon* 52: 671-681. (査読)
- Nakashima, A., H. Ishida, M. Shigematsu, M. Goto, and T. Hanihara
2010 Nonmetric cranial variation of Jomon Japan: implicatones for the evolution of eastern Asian diversity. *American Journal of Human Biology* 22: 782-790. DOI: 10.1002/ajhb.21083. (査読)
- Ogihara, N., H. Makishima, and M. Nakatsukasa
2010 Three-dimensional musculoskeletal kinematics during bipedal locomotion in the Japanese macaque reconstructed based on an anatomical model-matching method. *Journal of Human Evolution* 58: 252-261. (査読)
- Sato, T., H. Kazuta, T. Amano, H. Ono, H. Ishida, H. Koderia, H. Matsumura, M. Yoneda, Y. Dodo, and R. Masuda.
2010 Polymorphisms and allele frequencies of the ABO blood group gene among the Jomon, Epi-Jomon, and Okhotsk people in Hokkaido, northern Japan revealed by ancient DNA analysis. *Journal of Human Genetics* 55: 691-696. DOI: 10.1038/jhg.2010.90. (査読)
- Yano, W., N. Egi, T. Takano, and N. Ogihara
2010 Prenatal ontogeny of subspecific variation in the craniofacial morphology of the Japanese macaque (*Macaca fuscata*). *Journal of primatology* 51 (3): 263-271. (査読)
- 荻原直道
2010 「工学的手法を応用した人類進化研究の新展開」 『計測と制御』 49: 837-843.
- 西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、石井理子、佐々木智彦、Y. Kanjou、S. Muhesen、赤澤 威
2010 「シリア、デデリエ洞窟の先史人類学的発掘—2009 年度調査報告」 『高知工科大学紀要』 7(1): 57-69.

【学会発表】

2015

- Michikawa T. and H. Suzuki
2015 Controlling cavity structure for printing natural objects, *2015 IFAC Symposium on Information Control in Manufacturing. (INCOM 2015)* 2015.5.11-13. Canada.
- 荻原直道、天野英輝、森田祐介、近藤修、鈴木宏正
2015 「ネアンデルタールと早期ホモ・サピエンス頭蓋骨の 3 次元幾何形態学的解析」 『第 69 回日本人類学会大会』 2015.11.12. 東京：産業技術総合研究所.
- 荻原直道、田邊宏樹
2015 「化石脳から見た学習仮説」 『なぜネアンデルタール人はいなくなったのか—学習仮説からの展望』 科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」 公開講演会. 2015.7.5. 東京：東京大学.
- 荻原直道
2015 「ネアンデルタール人の脳を復元する」 『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」 第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 久保大輔、河内眞紀子、持丸正明、荻原直道、海部陽介

2015 「欠損部の継ぎはぎと非剛体変形によるジャワ原人の脳容量推定」『第 69 回日本人類学会大会』2015.11.12. 東京：産業技術総合研究所.

- 久保大輔、田邊広樹、近藤 修、天野英輝、與儀 彰、村山貞之、石田 肇、荻原直道
2015 「エンドキャストから小脳容積を推定する手法の開発とネアンデルタール及び更新世サピエンスへの応用」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 小林 靖、松井利康、天野英輝、森田祐介、荻原直道
2015 「ネアンデルタール人と現生人類のエンドキャスト-前頭前野後縁の復元-」『第 69 回日本人類学会大会』2015.11.12. 東京：産業技術総合研究所.
- 小林 靖、松井利康、天野英輝、森田祐介、荻原直道
2015 「ネアンデルタール人と現生人類のエンドキャストの比較-前頭前野の後縁を復元する-」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 近藤 修、久保大輔、鈴木宏正、荻原直道
2015 「カフゼー9 号頭蓋の復元とエンドキャスト形態」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 道川隆士、菱田寛之、鈴木宏正、森口昌樹、荻原直道
2015 「化石頭蓋の定量解析のための幾何処理技術の開発」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 森口昌樹、道川隆士、鈴木宏正、荻原直道、近藤 修
2015 「剛体的な形状変形による標準識点の転写」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 10 回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.

2014

- Hasegawa, K., T. Kochiyama, H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kochiyama, T., H. Tanabe, H. Amano, K. Hasegawa, and N. Ogihara
2014 Computational anatomy in neuro-archaeology-Reconstruction of the brain from skull fossil. *The 37th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society*, 2014.9.12. Yokohama, Kanagawa, Japan.
- Kondo, O., D. Kubo, H. Suzuki, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of Qafzeh 9 braincase and its endocast morphology. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Kubo, D., O. Kondo, H. Tanabe, N. Ogihara, A. Yogi, S. Murayama, and H. Ishida
2014 Estimating the cerebral and cerebellar volumes of Neanderthals and Middle Paleolithic modern humans. *International Union of Anthropological and Ethnological Sciences Inter-Congress 2014*. 2014.5.15. Makuhari, Chiba, Japan.
- Kubo, D., H.C. Tanabe, O. Kondo, H. Amano, A. Yogi, S. Murayama, H. Ishida, and N. Ogihara
2014 Estimating the cerebral and cerebellar volumes of Neanderthals and Middle and Upper Paleolithic Homo sapiens, *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Michikawa, T., M. Moriguchi, H. Suzuki, N. Ogihara, O. Kondo, and Y. Kobayashi
2014 Endocast surface reconstruction from CT images. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2014 Surface Deformation of Crania by Optimizing Rigidity. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Ogihara, N., H. Amano, Y. Morita, O. Kondo, D. Kubo, H. Suzuki, T. Michikawa, M. Moriguchi, H. Ishida,

and M. Nakatsukasa

2014 Endocasts of Neanderthals and early modern humans: virtual reconstruction and geometric morphometric analyses, *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.

- Tanabe, H.C., T. Kochiyama, N. Sadato, and N. Ogihara
2014 Exploring the difference of brain anatomy and function between Neanderthals and Modern Humans: neuroanatomical and functional neuroimaging approach, *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Tanabe, H., T. Kochiyama, H. Amano, H. Hasegawa, K., O. Kondo, and N. Ogihara
2014 Comparing shape of cranium between Neanderthal and modern humans using computational neuroanatomy. *20th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*. 2014.6.8. Hamburg, Germany.
- 天野英輝、森田祐介、近藤 修、鈴木宏正、荻原直道
2014 「ネアンデルタール人頭蓋骨の工学的復元と 3 次元形態解析」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
- 荻原直道
2014 「ネアンデルタール化石頭蓋骨の高精度復元結果から考える」『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2014.9.28. 東京：東京大学.
- 荻原直道
2014 「ネアンデルタール人頭蓋骨の工学的復元」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 荻原直道、田邊広樹
2014 「ネアンデルタール人の脳形態復元と新人との脳機能差：現状と課題」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 久保大輔、河内眞紀子、持丸正明、荻原直道、海部陽介
2014 「統計学的手法を用いた欠損のあるインドネシア出土ホモ・エレクトス頭骨の脳容量推定」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
- 久保大輔、近藤 修、荻原直道
2014 「ネアンデルタール及び新人化石標本の頭蓋腔鋳型復元の改良と誤差評価」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2014 「計算解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元と形態分析」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.4. 浜松：アクトシティ浜松.
- 小林 靖、松井利康
2014 「ヒトを含む霊長類の脳と頭蓋の関係：最終年度の研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 田邊宏樹、河内山隆紀、長谷川国大、天野英輝、荻原直道
2014 「旧人ネアンデルタールと新人ホモ・サピエンスのエンドキャスト形態差から考える脳機能差」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1. 浜松：アクトシティ浜松.
- 道川隆士、鈴木宏正、小林靖、荻原直道、森口昌樹
2014 「X 線 CT 画像からの脳鋳型ポリゴン抽出手法に関する研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 道川隆士、鈴木宏正、木村亮介
2014 「MRI 画像からの声帯形状ポリゴン抽出」2014 年度精密工学会春季大会. 2014.3.18-3.20. 東京：東京大学.

2013

- Kobayashi, Y. and T. Matsui
2013 Relationship between the brain and the skull in primates including human-Research plan. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Kobayashi Y., T. Matsui, and N. Ogiwara
2013 Brain surface morphology inferred by intracranial impressions in primates. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Kubo, D.
2013 Morphological traits of early *Homo sapiens* in Europe and the issue of admixture: a review. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Michikawa, T., H. Suzuki, M. Moriguchi, and N. Ogiwara
2013 Endocast surface extraction from CT images. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- 天野英輝、菊地起夫、荻原直道、近藤 修、鈴木宏正
2013「Amud 1号頭蓋骨の工学的復元」第67回日本人類学会大会. 2013.11.3. 東京：国立科学博物館.
- 荻原直道
2013「形状データベースに基づく欠損化石頭蓋の数理的補間手法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 久保大輔
2013「ヨーロッパにおける初期ホモ・サピエンスの形質と交雑問題」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 久保大輔、田邊宏樹、近藤 修、荻原直道、與儀 彰、村山貞之、石田 肇
2013「ネアンデルタールおよび早期新人の脳と小脳容積推定」第67回日本人類学会大会. 2013.11.3. 東京：国立科学博物館.
- 小林 靖、松井利康
2013「ヒトを含む霊長類の脳と頭蓋の関係—研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 小林 靖、松井利康、道川隆士、荻原直道、鈴木宏正
2013「頭蓋形態に基づく脳区分の推定—これまでの成果」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 小林 靖、松井利康、灰塚嘉典、荻原直道、松村讓兒
2013「霊長類における頭蓋内面の圧痕からみる脳表面形態」第67回日本人類学会大会. 2013.11.3. 東京：国立科学博物館.
- 小林 靖、松井利康、荻原直道
2013「霊長類の頭蓋内面の圧痕から見る脳表面形態」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 近藤 修
2013「人類化石証拠を概観する」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 近藤 修
2013「ホモ・サピエンスの進化と拡散：アフリカを中心に」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 近藤 修、久保大輔
2013「カフゼー9号エンドキャスト復元」と「小脳容積推定方法の開発」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.

- 道川隆士、森口昌樹、鈴木宏正、小林 靖、荻原直道
2013「頭蓋 CT データからの最外面制限付きポリゴン化手法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 道川隆士、鈴木宏正、森口昌樹、荻原直道
2013「CT 画像からの脳鋳型ポリゴン抽出手法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 森田祐介、天野英輝、荻原直道
2013「現代日本人エンドキャストの3次元形態解析」第67回日本人類学会大会. 2013.11.3. 東京：国立科学博物館.

2012

- Amano, H., Y. Morita, H. Nagano, O. Kondo, H. Suzuki, M. Nakatsukasa, and N. Ogihara
2012 Statistical Interpolation of Missing Parts in Fossil Crania. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Hishida, H., H. Suzuki, T. Michikawa, Y. Ohtake, S. Oota, N. Ogihara, and O. Kondo
2012 CT Image Segmentation Using FEM with Optimized Boundary Condition. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, Y. Haizaka, N. Ogihara, N. Hirai, and G. Matsumura
2012 Cerebral Sulci and Gyri Observed on Macaque Endocasts. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, Y. Haizuka, N. Ogihara, N. Hirai, and G. Matsumura,
2012 Evaluating cortical subdivisions using monkey skulls. *The 35th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society*. 2012.9.18. Nagoya, Japan.
- Kondo, O. and N. Ogihara,
2012 Neanderthal studies by Japanese, a field research and the ongoing project. *Seminar Talk at National Research Centre on Human Evolution (CENIEH)*, 2012.5.2. Burgos, Spain.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2012 Reconstruction of the Brain from Skull Fossil Using Computational Anatomy. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kondo, O. and N. Ogihara
2012 Neanderthal studies by Japanese, a field research and the ongoing project. 2012.3.2. CENIEH, Burgos, Spain.
- Kondo, O., D. Kubo, and N. Ogihara
2012 Virtual Endocast of Qafzeh 9, A Representative of Early Modern Humans. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kudo, D. and H.C. Tanabe
2012 Cerebellar Size Estimation from Endocranial Measurements. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2012 Transferring Semi-Landmarks on Surfaces. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Morita, Y., H. Amano, M. Nakatsukasa, O. Kondo, and N. Ogihara
2012 A Geometric Morphometric Study of Neurocranial Shape Variations in the Crania of Modern Japanese. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Ogihara, N., T. Kikuchi, Y. Morita, H. Amano, O. Kondo, M. Nakatsukasa, H. Suzuki, T. Michikawa, H. Ishida, and T. Akazawa
2012 Digital Reconstruction of the Neanderthal Amud 1 Cranium. *RNMH2012: The First International*

Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.

- Zollikofer, C.P.E., and M.S. Ponce de Leon
2012 The Reconstitution of the Neanderthal Brain. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- 青野友哉、永谷幸人、近藤 修
2012 「伊達市ポンマ遺跡における近世アイヌ文化期の小児の埋葬について」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 天野英輝、森田裕介、長野裕保、荻原直道
2012 「形状データベースを活用した化石頭蓋骨の欠損補間」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 大石元治、荻原直道、清水大輔、菊池泰弘、平崎鋭矢、江木直子、甘崎 肇
2012 「大型類人猿の肘関節における一関節筋と二関節筋について」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 太田博樹、小金渕佳江、勝村啓史、河村正二、中込滋樹、石田 肇、アジア人古収集 DNA レポジトリコンソーシアム
2012 「染色体および Y 染色体 STR 多型もとづく『アイヌ-沖縄同系論』の検証」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 B13. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 荻原直道
2012 「化石頭蓋の欠損補間と化石脳の推定」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 荻原直道、井出直彦
2012 「神経筋骨格モデルに基づくニホンザル二足歩行運動の順動力学シミュレーション」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C11. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 海部陽介、Y. Zaim、I. Kurniawan、久保大輔、Y. Rizal、J. Arif、F. Aziz、馬場悠男
2012 「保存良好なジャワ原人化石サンギラン 9 号頭蓋の形態」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C07. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 川口 亮、菅原広史、木村亮介、石田 肇
2012 「mtDNA 分析による出土魚骨の種判別：沖縄県勝連城跡からの魚骨を用いた可能性調査」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 菊池泰弘、中野良彦、中務真人、國松 豊、清水大輔、荻原直道、辻川 寛、高野 智、石田英實
2012 「ケニア北部産・中期中新世の類人猿 *Nacholapithecus kerioi* における下部胸椎形態」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 木村亮介、渡辺千晶、山口徹太郎、榎宏太郎、武田麻耶子、川口 亮、石田 肇
2012 「WNT10A の多型は歯冠サイズと関連する」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 A08. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博史、佐宗亜依子、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012 「日本およびアジア集団におけるヒト四肢骨の形態的特徴」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 久保大輔、田邊宏樹
2012 「頭蓋腔計測値からの小脳容積の推定：予備的研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 久保大輔、海部陽介、T. Sutikna、E. W. Saptomo、JATMIKO
2012 「マイクロ CT データと三次元プリンターモデルを用いた LB1 の頭蓋腔容積の修正」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 C08. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 小林 靖、松井利康、灰塚嘉典、荻原直道、平井直樹、松村譲児
2012 「マカクザルにおける頭蓋内面の圧痕と脳表面との相関」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.

- ・ 米須学美、川口 亮、佐藤丈寛、石田 肇、山口今日子、渡邊千晶、木村亮介
2012「2D：4D 比は性ホルモン関連形質の指標として妥当なのか？」第 66 回日本人類学会大会。一般口演 C10. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 近藤 修
2012「化石頭蓋のひずみと左右非対称性の評価：カフゼー9 号」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター。
- ・ 近藤 修
2012「ネアンデルタールの成長」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 15. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 佐宗亜依子、近藤 修
2012「縄文人骨の歯周疾患に関する予備的調査：千葉県姥山人骨を例に」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 佐藤丈寛、川口 亮、石田 肇、山口徹太郎、山本 健、河村正二、中込滋樹、間野修平、埴原恒彦、太田博樹、渡辺千晶、山口今日子、木村亮介
2012「ゲノムワイド SNP データに基づく琉球列島の人々の集団構成」第 66 回日本人類学会大会。若手会員大会発表賞対象セッション YB2. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 染田英利、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012「国内の遺骨収集事例：沖縄」第 66 回日本人類学会大会. シンポジウム 10. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 中込滋樹、間野修平、知念 寛、伊良波淳、金城福則、藤田次郎、石田 肇、木村亮介、竹山康章、向坂彰太郎、松井敏行、J.R. Kidd、K.K. Kidd、森田英利、H.S. Said、須田 互、河村正二、服部正平、埴原恒彦、太田博樹
2012「琉球諸島と北部九州におけるクローン病の遺伝と環境の相互作用に関する人類学的考察」第 66 回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション YB1. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 濱野理貴、荻原直道
2012「運動学データのみに基づくニホンザル二足歩行運動の逆動力学的解析」第 66 回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション YA2. 2012.11.3. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 深瀬 均、分部哲秋、弦本敏行、佐伯和信、藤田祐樹、石田 肇
2012「日本列島における縄文時代人の体形の地域変異とその生態地理学的意義」第 66 回日本人類学会大会. 一般口演 A02. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 松井利康、小林 靖
2012「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発—ヒト幼児の頭蓋」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター。
- ・ 松村秋芳、米田 穰、近藤 修、日本人類学会教育普及委員会
2012「日本人類学会教育普及委員会活動報告 2012」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 道川隆士、森口昌樹、菱田寛之、鈴木宏正
2012「化石頭蓋の高精度復元のための幾何学処理技術」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 5 回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター。
- ・ 諸見里恵一、石田 肇、深瀬 均、山口今日子、木村亮介
2012「若年成人における関節可動域に見られる全身的共変動パターン」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 矢野 航、江木直子、高野 智、荻原直道、西村 剛
2012「霊長類 3 種の頭蓋顔面形態形成の比較研究」第 66 回日本人類学会大会. ポスター発表. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス。
- ・ 山口今日子、川口 亮、石田 肇、青木健一、渡辺千晶、木村亮介

2012「候補遺伝子アプローチによる日本人皮膚色の関連遺伝子多型の同定」第66回日本人類学会大会. 一般口演 B08. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.

2011

- Kondo, O.
2011 An application of fourier and wavelet transforms to two-dimensional images: quantification of human vertebral tuberculosis. *2nd International Symposium on Biological Shape Analysis*. 2011.9.7-9. Okinawa, Japan.
- 赤松美穂、菊池赳夫、荻原直道、近藤 修、田邊宏樹、深瀬 均、石田 肇、與儀 彰、村山貞之
2011「現代人における頭蓋骨と脳形態の対応関係の定量化」第65回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 安達 登、篠田謙一、梅津和夫、近藤 修、百々幸雄
2011「DNA が明らかにするアイヌの成立史（第2報）」第65回日本人類学会大会. 一般口演 6. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 石崎直哉、白井裕介、福世裕貴子、石田 肇、K. Kidd、太田博樹、河村正二
2011「ヒト色覚多型の起源と適応的意味の解明を目指した L/M オプシン遺伝子の人類集団多型解析（経過報告）」第65回日本人類学会大会.一般口演 5. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 荻原直道
2011「頭蓋のかたち作りのプロセスを観る」第21回日本解剖学会関東支部懇話会. 2011.6.18. 川崎：聖マリアンナ医科大学.
- 荻原直道、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇
2011「形状情報に基づく化石頭蓋破片組み立てシステムの開発」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- 荻原直道、菊池赳夫、森田祐介、鈴木宏正、道川隆士、森口昌樹、近藤 修、久保大輔、石田肇、深瀬 均、赤澤 威
2011「リファレンスデータベースを活用した化石頭蓋骨の形状復元」第65回日本人類学会大会. シンポジウム 6. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 荻原直道、菊池赳夫、森田祐介、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇
2011「大域的形状情報を活用した頭蓋組み立て支援システム」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 菊池赳夫、荻原直道、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇、赤澤 威
2011「局所形状情報に基づく化石頭蓋破片組立システムの開発」2011.11.4. 第65回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション 1. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 菊池泰弘、中野良彦、中務真人、國松 豊、清水大輔、荻原直道、辻川 寛、高野 智、石田英實
2011「ケニア・中期新世の化石類人猿 *Nacholapithecus kerioi* における環椎・軸椎形態」第65回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博文、佐宗亜依子、譜久嶺忠彦、石田 肇
2011「日本列島およびアジアにおけるヒト四肢骨の形態的特徴」第65回日本人類学会大会. 一般口演 13. 2011.11.6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 蔵元秀一、譜久嶺忠彦、久高将臣、石田 肇
2011「沖縄久米島近世人骨における距骨と脛骨蹲踞面の形成」第65回日本人類学会大会.分科会 4. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 小林 靖
2011「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発—カニクイザルの頭蓋と脳」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- 小林 靖
2011「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発—研究計画」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究

- 「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 近藤 修、Y. Kanjo、石田 肇、石井理子、小口 高、西秋良宏、仲田大人、赤澤 威
2011「デデリエ洞窟出土の新幼児人骨資料」第65回日本人類学会大会. 一般口演 1. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 近藤 修
□ 2011「化石人類の脳・脳鋳型の形態学的研究について」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
 - ・ 佐藤丈寛、山口今日子、川口 亮、石田 肇、木村亮介
2011「本土日本-琉球人集団間における体毛分布差異の統計学的評価」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 佐宗亜依子、近藤 修
2011「縄文人骨の歯牙における咬耗、外傷、及び疾患について：姥山貝塚と帝釈寄倉岩陰遺跡の比較」第65回日本人類学会大会. 一般口演 3. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 鈴木宏正、道川隆士、森口昌樹
2011「頭蓋化石 CT 画像のセグメンテーション手法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
 - ・ 中島厚士、重松正仁、後藤昌昭、石田 肇、埴原恒彦
2011「縄文時代人の地域変異、多様性とその由来：非計測的頭蓋形質による検討」第65回日本人類学会大会. 一般口演 2. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 野中弘二、徐 勳健、中川佑助、近藤 修、石田 肇、赤澤 威、励 強華
2011「化石頭骨の変形過程を推定するための再現実験」第65回日本人類学会大会. 一般口演 1. 2011.11.05. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 濱野理貴、荻原直道
2011「骨盤形態と二足歩行運動の移動効率の関係」第65回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション 1. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 深瀬 均
2011「成長を通した下顎骨と歯牙の形態学的関連性—ヒトとその他の霊長類を用いた比較研究からの考察」第65回日本人類学会大会. 分科会 1. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 深瀬 均、分部哲秋、弦本敏行、佐伯和信、藤田祐樹、石田 肇
2011「先史時代と近代における沖縄諸島の人々の顔面骨形態の特徴—それぞれの時代の本州の人々との比較」第65回日本人類学会大会. 一般口演 2. 2011.11.5. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 宮里絵理、山口今日子、深瀬 均、石田 肇、木村亮介
2011「3次元顔面画像データの特徴点による琉球および本土日本人の判別」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 森口昌樹、鈴木宏正、道川隆士、荻原直道、近藤 修
2011「曲面上での曲げエネルギー最小化による変形法」第65回日本人類学会大会. 一般口演 11. 2011.11.06. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 森田祐介、菊池起夫、荻原直道、金井 崇、鈴木宏正
2011「解剖学的特徴点間の最短経路探索に基づく頭蓋骨形態変異の定量化」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 諸見里恵一、山口今日子、深瀬 均、石田 肇、木村亮介
2011「若年成人の全身性関節弛緩性と左右の優位性との関係について」第65回日本人類学会大会. ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 矢野 航、荻原直道
2011「島嶼化に伴うヤクシマザル (*Macaca fuscata yakui*) 頭蓋骨の小型化と形状の特殊化」第65回日本人類学会大会. 若手会員大会発表賞対象セッション 3. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
 - ・ 山口今日子、宮里絵理、川口 亮、石田 肇、青木健一、木村亮介
2011「沖縄在住日本人の皮膚色変異とその遺伝的要素」第65回日本人類学会大会. ポスター発表.

2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.

2010

- ・ 赤澤 威、西秋良宏、仲田大人、米田 穰、近藤 修、丹野研一、L. Gourichon、Y. Kanjo、S. Muhsen□
2010「旧人ネアンデルタールと新人クロマニョンの交替劇を探る-シリア・デデリエ洞窟の 2009 年度調査」『第 17 回西アジア発掘調査報告会』2010.3.27.
- ・ 石田 肇□
2010「アジアの更新世人類化石」『国際シンポジウム：後期旧石器時代のシベリアと日本-最終氷期における人類の環境適応行動-』日本旧石器学会. 2010.11.28. 東京：慶應義塾大学.
- ・ 荻原直道、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇□
2010「3 次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の復元手法の開発」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 荻原直道、菊地赳夫、鈴木宏正、道川隆士、菱田寛之、近藤 修、石田 肇、赤澤 威□
2010「3 次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』第 64 回日本人類学会大会シンポジウム. 2010.10.2. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター.
- ・ 菊地赳夫、荻原直道、菱田寛之、鈴木宏正、近藤 修、赤澤 威□
2010「曲面モデリングに基づく化石頭蓋組立システムの開発」精密工学会 2010 年度秋季大会学術講演会. 2010.9.27. 名古屋：名古屋大学東山キャンパス.
- ・ 近藤 修、石田 肇、荻原直道□□
2010「新人・旧人化石頭蓋・脳鋳型の形態学的記載」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 鈴木宏正、荻原直道、道川隆士□
2010「構造力学的特性を用いた復元頭蓋の化石片セグメンテーション手法」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 1 回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.

【図書】

2015

- ・ Kobayashi, Y., T. Matsui, H. Amano, Y. Morita, N. Ogihara
2015 Comparison of endocasts between Neanderthals and modern humans —Reconstruction of the caudal border of the prefrontal cortex—. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 105. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- ・ Kondo O., D. Kubo, H. Suzuki, and N. Ogihara
2015 Reconstruction of Qafzeh 9 braincase and its endocast morphology. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 103. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- ・ Kubo, D., H.C. Tanabe, O. Kondo, H. Amano, A. Yogi, S. Murayama, H. Ishida, and N. Ogihara
2015 Development of a method to estimate the cerebellar volume from the endocast and its application to the Neanderthals and Pleistocene *Homo sapiens*. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 101. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- ・ Michikawa, T., H. Hishida, H. Suzuki, M. Moriguchi, and N. Ogihara
2015 Development of geometry processing tools for quantitative analysis of fossil crania. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 107. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- ・ Moriguchi, M., T. Michikawa, H. Suzuki, N. Ogihara, and O. Kondo
2015 Semi-landmark transfer using as-rigid-as-possible transformation. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 108. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- ・ Ogihara, N.
2015 Reconstructing Neanderthal brains. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern*

Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. No. 10: 28-29. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.

- 荻原直道
2015「ネアンデルタール人の脳を復元する」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 27.
- 荻原直道、天野英輝、菊地赳夫、森田祐介、鈴木宏正、近藤 修、中務真人
2015「化石頭蓋骨復元の方法論」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 3-23.
- 荻原直道、天野英輝、菊地赳夫、森田祐介、鈴木宏正、近藤 修、中務真人
2015「ネアンデルタール人および早期ホモ・サピエンス化石頭蓋骨の工学的復元と 3次元形態分析」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 25-40.
- 久保大輔、田邊広樹、近藤 修、天野英輝、與儀 彰、村山貞之、石田 肇、荻原直道
2015「エンドキャストから小脳・大脳容積を推定する手法の開発と旧人・新人化石への応用」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 57-76.
- 久保大輔、田邊広樹、近藤 修、天野英輝、與儀 彰、村山貞之、石田 肇、荻原直道
2015「エンドキャストから小脳容積を推定する手法の開発とネアンデルタール及び更新世サピエンスへの応用」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 100.
- 小林 靖、松井利康、天野英輝、森田祐介、荻原直道
2015「ネアンデルタール人と現生人類のエンドキャストの比較—前頭前野の後縁を復元する」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 104.
- 近藤 修、久保大輔、鈴木宏正、荻原直道
2015「カフゼー9号（解剖学的現代人）頭蓋の左右歪み評価とエンドキャスト作成」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 41-55.
- 近藤 修、久保大輔、鈴木宏正、荻原直道
2015「カフゼー9号頭蓋の復元とエンドキャスト形態」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 102.
- 鈴木宏正、菱田寛之、道川隆士、荻原直道、近藤 修
2015「構造解析を利用した 3次元画像の領域分け手法」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 93-101.
- 松井利康、荻原直道、小林 靖
2015「頭蓋と脳形態の相関に関する研究：頭蓋形態を指標とした化石人類の脳区分推定」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 77-92.
- 道川隆士、森口昌樹、鈴木宏正、荻原直道
2015「CT画像を用いた化石頭蓋のポリゴン生成手法」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 103-125.
- 道川隆士、菱田寛之、鈴木宏正、森口昌樹、荻原直道
2015「化石頭蓋の定量解析のための幾何処理技術の開発」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 106.
- 森口昌樹、道川隆士、鈴木宏正、荻原直道、近藤 修
2015「曲面変形法に基づく準標識点の転写」荻原直道編『3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元 1』「交替劇」C01 班研究報告書 No. 1: 127-136.
- 森口昌樹、道川隆士、鈴木宏正、荻原直道、近藤 修
2015「剛体的な形状変形による準標識点の転写」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 108.

2014

- Amano, H., Y. Morita, H. Nagano, O. Kondo, H. Suzuki, M. Nakatsukasa, and N. Ogihara
2014 Statistical Interpolation of Missing Parts in Human Crania Using Regularized Multivariate Linear Regression Analysis. In T. Akazawa, N. Ogihara, H. C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 161-169. Tokyo: Springer Japan.
- Kobayashi, Y. and T. Matsui
2014 Relationship between the brain and the skull in primates including human: Research plan for the final year. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 117. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, and S. Kosuda
2014 Estimating the extent of brain subdivisions using skulls. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 113-114. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, Y. Haizuka, N. Ogihara, N. Hirai, and G. Matsumura
2014 Cerebral Sulci and Gyri Observed on Macaque Endocasts. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 131-137. Tokyo: Springer Japan.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, Y. Haizuka, N. Ogihara, N. Hirai, and G. Matsumura
2014 The Coronal Suture as an Indicator of the Caudal Border of the Macaque Monkey Prefrontal Cortex. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 139-143. Tokyo: Springer Japan.
- Kondo, O., D. Kubo, H. Suzuki, and N. Ogihara
2014 Virtual Endocast of Qafzeh 9: A Preliminary Assessment of Right-Left Asymmetry. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 183-190. Tokyo: Springer Japan.
- Kondo, O., D. Kubo, H. Suzuki, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of Qafzeh 9 braincase and its endocast morphology. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 164-165. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of the Brain from Skull Fossils Using Computational Anatomy. In Akazawa, T., Ogihara, N., Tanabe, H.C., and Terashima, H. (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2 Cognitive and Physical Perspectives*, pp.191-200. Tokyo: Springer Japan.
- Kubo, D., O. Kondo, and H.C. Tanabe
2014 Refinement and error evaluation in the endocranial reconstruction for some fossil skulls of Neanderthals and Homo sapiens. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 83. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Kubo, D., H.C. Tanabe, O. Kondo, N. Ogihara, A. Yogi, S. Murayama, and H. Ishida
2014 Cerebellar Size Estimation from Endocranial Measurements: An Evaluation Based on MRI Data. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 209-215. Tokyo: Springer Japan.
- Kubo, D., H. C. Tanabe, O. Kondo, H. Amano, A. Yogi, S. Murayama, H. Ishida and N. Ogihara
2014 Estimating the cerebral and cerebellar volumes of Neanderthals and Middle and Upper Paleolithic Homo sapiens. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 116-118. Kochi: Kochi University of Technology.
- Michikawa, T., H. Suzuki, Y. Kobayashi, N. Ogihara, and M. Moriguchi
2014 A Method for Extracting Endocast Surface from X-ray CT Volumetric Data of Crania. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 85. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Michikawa, T., M. Moriguchi, H. Suzuki, N. Ogihara, O. Kondo and Y. Kobayashi
2014 Endocast surface reconstruction from CT images. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 161-163. Kochi: Kochi University of Technology.
- Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2014 Transferring Semi-Landmarks by Minimizing Bending Energy on Surfaces. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 171-175. Tokyo: Springer Japan.

- Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2014 Surface deformation of crania by optimizing rigidity. In T. Akazawa, and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 166-167. Kochi: Kochi University of Technology.
- Morita, Y., H. Amano, M. Nakatsukasa, O.Kondo, and N. Ogihara
2014 A Geometric Morphometric Study of Neurocranial Shape Variations in the Crania of Modern Japanese, In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2 Cognitive and Physical Perspectives*, pp.153-160. Tokyo: Springer Japan.
- Ogihara, N.
2014 Computerized reconstruction of Neanderthal crania. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 12. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Ogihara, N. and H.C. Tanabe
2014 Reconstruction of fossil brain morphology and difference in brain function between Neanderthals and early modern humans: current state and challenge. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 7. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Ogihara, N., H. C. Tanabe, H. Terashima, and T. Akazawa
2014 Introduction. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 1-3. Tokyo: Springer Japan.
- Ogihara, N., Y. Morita, H. Amano, O. Kondo, H. Suzuki, and M. Nakatsukasa
2014 Application of Sliding Landmark Method for Morphological Analysis of Modern Japanese Neurocranial Shape. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 145-152. Tokyo: Springer Japan.
- Ogihara, N., H. Amano, Y. Morita, O. Kondo, D. Kubo, H. Suzuki, T. Michikawa, M. Moriguchi, H. Ishida and M. Nakatsukasa
2014 Endocasts of Neanderthals and early Modern Humans: Virtual reconstruction and geometric morphometric analyses. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 119-120. Kochi: Kochi University of Technology.
- Ponce de León, M. and C.P.E. Zollikofer
2014 Inferring fossil brains from endocasts: New methods and results. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 115. Kochi: Kochi University of Technology.
- Suzuki, H., H. Hishida, T. Michikawa, Y. Ohtake, S. Oota, N. Ogihara, and O. Kondo
2014 CT Image Segmentation for Bone Structures Using Image-Based FEM. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 177-182. Tokyo: Springer Japan.
- Tanabe, H.C., T. Kochiyama, , N. Ogihara, , N. Sadato
2014 Integrated Analytical Scheme for Comparing Neanderthal's Brain to Modern Human Brain Using Neuroimaging Techniques, In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe and, H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Vol. 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 203-207. Tokyo: Springer Japan.
- 荻原直道
2014 「ネアンデルタール人頭蓋骨の工学的復元」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 11.
- 荻原直道、田邊広樹
2014 「ネアンデルタール人の脳形態復元と新人との脳機能差：現状と課題」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 6.
- 荻原直道
2014 「ネアンデルタール化石頭蓋骨の高精度復元結果から考える」赤澤 威、荻原直道編『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』 2-3. 公開講演会予稿集.
- 久保大輔、近藤 修、荻原直道
2014 「ネアンデルタール及び新人化石標本の頭蓋腔鋳型復元の改良と誤差評価」西秋良宏編『ネ

アンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 82.

- 小林 靖、松井利康
2014 「ヒトを含む霊長類の脳と頭蓋の関係：最終年度の研究計画」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 116.
- 道川隆士、鈴木宏正、小林靖、荻原直道、森口昌樹
2014 「X 線 CT 画像からの脳鋳型ポリゴン抽出手法に関する研究」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 84.

2013

- Kobayashi, Y. and T. Matsui
2013 Relationship between the brain and the skull in primates including human-Research plan. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 87. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, and N. Ogihara
2013 Brain surface morphology inferred by intracranial impressions in primates. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 106. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Y. Kobayashi, T. Matsui, T. Michikawa, N. Ogihara, and H. Suzuki
2013 Inferring the extent of brain subdivisions based on cranial morphology. – Progress report. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 144-145. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kondo, O.
2013 Reviewing African fossil *Homo sapiens*. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 29. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kondo, O. and D. Kubo
2013 Semi-virtual reconstruction of the endocast for Qafzeh 9, and development of cerebellar size estimation from endocranial measurements. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 141. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kondo, O. and D. Kubo
2013 Assessment of right-left asymmetry and cerebellum-cerebrum volume ratio for fossil hominids. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 85. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kubo, D.
2013 Morphological traits of early *Homo sapiens* in Europe and the issue of admixture: a review. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 29. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kubo, D. and O. Kondo
2013 Estimating the cerebral and cerebellar volumes of Neanderthals and Middle Paleolithic modern humans: Preliminary study. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 101. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Michikawa, T., M. Moriguchi, H. Suzuki, Y. Kobayashi, and N. Ogihara
2013 Outermost surface restricted polygonization of CT images of crania. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 139. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Michikawa, T., H. Suzuki, M. Moriguchi, and N. Ogihara
2013 Endocast surface extraction from CT images. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 133. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2013 Constructing correspondences between two crania by minimizing bending energy of surface deformation. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 105. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.

- Ogihara, N.
2013 Statistical interpolation of missing parts in fossil crania based on reference database. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 137. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Ogihara, N.
2013 Digital reconstruction of Neanderthal fossil crania and estimation of fossil brain morphology. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 81. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Ogihara, N., H. Amano, and Y. Morita
2013 Digital reconstruction of Neanderthal fossil crania and estimation of fossil brain morphology. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 99. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Suzuki, H., T. Michikawa, and M. Moriguchi
2013 Shape modeling for fossil crania. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 83. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Suzuki, H., F. Miura, T. Michikawa, M. Moriguchi, and N. Ogihara
2013 A geodesic-based semi-landmark transfer method for shape analysis of crania. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 103. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- 荻原直道
2013 「形状データベースに基づく欠損化石頭蓋の数理的補間手法」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6:136-137.
- 荻原直道
2013 「ネアンデルタール化石頭蓋骨の復元と化石脳形態の推定」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 80-81.
- 荻原直道、天野英輝、森田祐介
2013 「ネアンデルタール化石頭蓋骨の復元と化石脳形態の推定」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 98.
- 久保大輔
2013 「ヨーロッパにおける初期ホモ・サピエンスの形質と交雑問題」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 29.
- 久保大輔、近藤 修
2013 「ネアンデルタールと中部旧石器時代ホモ・サピエンスの脳・小脳容積推定-予備的研究」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 100.
- 小林 靖、松井利康
2013 「ヒトを含む霊長類の脳と頭蓋の関係—研究計画」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 86-87.
- 小林 靖、松井利康、道川隆士、荻原直道、鈴木宏正
2013 「頭蓋形態に基づく脳区分の推定—これまでの成果」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 142-145.
- 小林 靖、松井利康、荻原直道
2013 「霊長類の頭蓋内面の圧痕から見る脳表面形態」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 106.
- 近藤 修
2013 「人類化石証拠を概観する」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 28-29.
- 近藤 修
2013 「ホモ・サピエンスの進化と拡散：アフリカを中心に」米田 穰編『ネアンデルタールとサ

ピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6:26-27.

- 近藤 修、久保大輔
2013 「「カフゼー9 号エンドキャスト復元」と「小脳容積推定方法の開発」」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 140-141.
- 近藤 修、久保大輔
2013 「化石頭蓋の左右非対称性評価と小脳—大脳容積比」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 84-85.
- 鈴木宏正、道川隆士、森口昌樹
2013 「頭蓋形状のモデリングに関する研究」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 82-83.
- 鈴木宏正、三浦史寛、道川隆士、森口昌樹、荻原直道
2013 「頭蓋の形態解析における測地距離に基づいた準標識点の転写手法に関する研究」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 102.
- 道川隆士、森口昌樹、鈴木宏正、小林 靖、荻原直道
2013 「頭蓋 CT データからの最外面制限付きポリゴン化手法」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 6:138-139.
- 道川隆士、鈴木宏正、森口昌樹、荻原直道
2013 「CT 画像からの脳鑄型ポリゴン抽出手法」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 132.
- 森口昌樹、鈴木宏正、道川隆士、荻原直道、近藤 修
2013 「曲面変形の曲げエネルギー最小化による頭蓋間の対応点計算」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 104.

2012

- Amano, H., Y. Morita, H. Nagano, O. Kondo, H. Suzuki, M. Nakatsukasa, and N. Ogihara
2012 Statistical Interpolation of Missing Parts in Fossil Crania. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 151-152. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hishida, H., H. Suzuki, T. Michikawa, Y. Ohtake, S. Oota, N. Ogihara, and O. Kondo
2012 CT Image Segmentation Using FEM with Optimized Boundary Condition. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 153-154. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kobayashi, Y.
2012 Developing Cranial Parameters that Delineate Subdivisions of the Brain. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 67. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kobayashi, Y., T. Matsui, Y. Haizaka, N. Ogihara, N. Hirai, and G. Matsumura
2012 Cerebral Sulci and Gyri Observed on Macaque Endocasts. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 72-73. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kochiyama, T., H. C. Tanabe, and N. Ogihara
2012 Reconstruction of the Brain from Skull Fossil Using Computational Anatomy. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 74-75. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kondo, O.
2012 Assessment of distortion and asymmetry in fossil hominid crania: a case of Qafzeh 9. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 77. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kondo, O., D. Kubo, and N. Ogihara
2012 Virtual Endocast of Qafzeh 9, A Representative of Early Modern Humans. Ogihara N., T. Kikuchi, Y.

- Morita, H. Amano, O. Kondo, M. Nakatsukasa, H. Suzuki, T. Michikawa, H. Ishida, T. Akazawa 2012 Digital Reconstruction of the Neanderthal Amud 1 Cranium. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 70-71. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kubo, D. and H. C. Tanabe
2012 Cerebellar volume estimation from endocranial measurements: a preliminary study. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 79. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Kubo, D. and H. C. Tanabe
2012 Cerebellar Size Estimation from Endocranial Measurements. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 155-156. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Michikawa, T., M. Moriguchi, H. Hishida, and H. Suzuki
2012 Geometry processing tools for reconstruction of fossil crania. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 75. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Matsui, T. and Y. Kobayashi
2012 Developing cranial parameters that delineate subdivisions of the brain – Skulls of human infants. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 81. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Moriguchi, M., H. Suzuki, T. Michikawa, N. Ogihara, and O. Kondo
2012 Transferring Semi-Landmarks on Surfaces. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 157-158. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Morita, Y., H. Amano, M. Nakatsukasa, O. Kondo, and N. Ogihara
2012 A Geometric Morphometric Study of Neurocranial Shape Variations in the Crania of Modern Japanese. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 159-160. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Ogihara, N. (ed.)
2012 *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Ogihara, N.
2012 Interpolation of fossil crania and reconstruction of fossil brain. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 73. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Ogihara, N.
2012 Reconstruction of Fossil Crania Based on Three-Dimensional Surface Modeling Techniques. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 26-27. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Ogihara, N.
2012 Digital Restoration of Fossil Crania. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 48-52. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Ogihara, N., T. Kikuchi, Y. Morita, H. Amano, O. Kondo, M. Nakatsukasa, H. Suzuki, T. Michikawa, H. Ishida, and T. Akazawa
2012 Digital Reconstruction of the Neanderthal Amud 1 Cranium. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 66-67. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Zollikofer, C.P.E. and M. Ponce de León
2012 The Reconstitution of the Neanderthal Brain. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 30-32. Kochi: Kochi University of Technology.
 - 青野友哉、永谷幸人、近藤 修
2012 「伊達市ポンマ遺跡における近世アイヌ文化期の小児の埋葬について」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』71.
 - 天野英輝、森田裕介、長野裕保、荻原直道
2012 「形状データベースを活用した化石頭蓋骨の欠損補間」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』70.

- ・ 石田 肇
2012 「骨が語る人類移動」 印東道子編『人類大移動-アフリカからイースター島へ』 149-154. 東京：朝日新聞出版.
- ・ 大石元治、荻原直道、清水大輔、菊池泰弘、平崎鋭矢、江木直子、甘崎 肇
2012 「大型類人猿の肘関節における一関節筋と二関節筋について」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 79-80.
- ・ 太田博樹、小金淵佳江、勝村啓史、河村正二、中込滋樹、石田 肇、アジア人古収集 DNA レポジトリーコンソーシアム
2012 「染色体および Y 染色体 STR 多型もとづく『アイヌ-沖縄同系論』の検証」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 59.
- ・ 荻原直道
2012 「化石頭蓋の欠損補間と化石脳の推定」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 72.
- ・ 荻原直道
2012 「3 次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 82-83.*
- ・ 荻原直道 (編)
2012 『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』
- ・ 荻原直道
2012 「化石頭蓋骨の仮想復元」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 94-96.*
- ・ 荻原直道、井出直彦
2012 「神経筋骨格モデルに基づくニホンザル二足歩行運動の順動力学シミュレーション」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 65.
- ・ 海部陽介、Y. Zaim, I. Kurniawan、久保大輔、Y. Rizal, J. Arif, F. Aziz、馬場悠男
2012 「保存良好なジャワ原人化石サンギラン 9 号頭蓋の形態」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 64.
- ・ 川口 亮、菅原広史、木村亮介、石田 肇
2012 「mtDNA 分析による出土魚骨の種判別：沖縄県勝連城跡からの魚骨を用いた可能性調査」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 78.
- ・ 菊池泰弘、中野良彦、中務真人、國松 豊、清水大輔、荻原直道、辻川 寛、高野 智、石田英實
2012 「ケニア北部産・中期中新世の類人猿 *Nacholapithecus kerioi* における下部胸椎形態」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 78.
- ・ 木村亮介、渡辺千晶、山口徹太郎、横宏太郎、武田麻耶子、川口 亮、石田 肇
2012 「WNT10A の多型は歯冠サイズと関連する」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 51.
- ・ 久高将臣、深瀬 均、木村亮介、埴原恒彦、松村博史、佐宗亜依子、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012 「日本およびアジア集団におけるヒト四肢骨の形態的特徴」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 69.
- ・ 久保大輔、田邊宏樹
2012 「頭蓋腔計測値からの小脳容積の推定：予備的研究」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 78.
- ・ 久保大輔、海部陽介、T. Sutikna, E.W. Saptomo、JATMIKO
2012 「マイクロ CT データと三次元プリンターモデルを用いた LB1 の頭蓋腔容積の修正」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 64.
- ・ 小林 靖
2012 「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 104.*

- ・ 小林 靖、松井利康、灰塚嘉典、荻原直道、平井直樹、松村謙兒
2012「マカクザルにおける頭蓋内面の圧痕と脳表面との相関」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』78-79.
- ・ 米須学美、川口 亮、佐藤丈寛、石田 肇、山口今日子、渡邊千晶、木村亮介
2012「2D：4D 比は性ホルモン関連形質の指標として妥当なのか？」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』65.
- ・ 近藤 修
2012「化石頭蓋のひずみと左右非対称性の評価：カフゼー9 号」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 76.
- ・ 近藤 修
2012「ネアンデルタールの成長」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』119.
- ・ 佐宗亜依子、近藤 修
2012「縄文人骨の歯周疾患に関する予備的調査：千葉県姥山人骨を例に」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』75.
- ・ 佐藤丈寛、川口 亮、石田 肇、山口徹太郎、山本亮健、河村正二、中込滋樹、間野修平、埴原恒彦、太田博樹、渡辺千晶、山口今日子、木村亮介
2012「ゲノムワイド SNP データに基づく琉球列島の人の集団構成」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』47.
- ・ 染田英利、譜久嶺忠彦、石田 肇
2012「国内の遺骨収集事例：沖縄」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』105.
- ・ 中込滋樹、間野修平、知念亮寛、伊良波淳、金城福則、藤田次郎、石田 肇、木村亮介、竹山康章、向坂彰太郎、松井敏行、J.R. Kidd、K.K. Kidd、森田英利、H.S. Said、須田 互、河村正二、服部正平、埴原恒彦、太田博樹
2012「琉球諸島と北部九州におけるクローン病の遺伝と環境の相互作用に関する人類学的考察」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』46.
- ・ 濱野理貴、荻原直道
2012「運動学データのみに基づくニホンザル二足歩行運動の逆動力学的解析」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』43.
- ・ 深瀬 均、分部哲秋、弦本敏行、佐伯和信、藤田祐樹、石田 肇
2012「日本列島における縄文時代人の体形の地域変異とその生態地理学的意義」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』49.
- ・ 松井利康、小林 靖
2012「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発—ヒト幼児の頭蓋」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 80.
- ・ 松村秋芳、米田 穰、近藤 修、日本人類学会教育普及委員会
2012「日本人類学会教育普及委員会活動報告 2012」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』83.
- ・ 道川隆士、森口昌樹、菱田寛之、鈴木宏正
2012「化石頭蓋の高精度復元のための幾何学処理技術」荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 74.
- ・ 宮里絵理、石田 肇、河内まき子、持丸正明、山口今日子、木村亮介
2012「相同モデリングを用いたヒト顔面の三次元形態解析」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』69.
- ・ 諸見里恵一、石田 肇、深瀬 均、山口今日子、木村亮介
2012「若年成人における関節可動域に見られる全身的共変動パターン」荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』82.

- 矢野 航、江木直子、高野 智、荻原直道、西村 剛
2012 「霊長類 3 種の頭蓋顔面形態形成の比較研究」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』68-69.
- 山口今日子、川口 亮、石田 肇、青木健一、渡辺千晶、木村亮介
2012 「候補遺伝子アプローチによる日本人皮膚色の関連遺伝子多型の同定」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』57.

2011

- Kobayashi, Y.
2011 Developing cranial parameters that delineate subdivision of the brain ? The cranium and the brain of *Macaca fascicularis*. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 123-124. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Kobayashi, Y.
2011 Developing cranial parameters that delineate subdivisions of the brain ? Research Plan. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 67. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Kondo, O.
2011 Toward assessment of the fossil cranial distortion: an application to Qafzeh 9. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 120. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Kondo, O.
2011 Morphological studies on brains/endocasts of fossil hominids. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 53. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Kondo, O. and D. Kubo
2011 Endocast of Qafzeh 9, a representative of Levantine early modern *Homo sapiens*. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 48. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Kondo O., M. Nakayama, and P. Pirttiniemi
2011 Craniofacial integrity: Co-variation between facial flatness and craniofacial shape in humans from Lapps (Saami) and Japanese. In P. Lestrel (ed.) *Biological Shape Analysis*, pp. 172-190.
- Ogihara, N.
2011 Computerized assembly of fossil cranial fragments and reconstruction of fossil brain. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 115-116. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Ogihara, N., H. Suzuki, T. Michikawa, O. Kondo, and H. Ishida
2011 Assembly of fossil cranial fragments based on surface shape information. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 49. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
- Ogihara, N., T. Kikuchi, Y. Morita, H. Suzuki, T. Michikawa, O. Kondo, and H. Ishida
2011 Assembly of fossil cranial fragments based on global shape information. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 49. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Suzuki, H., T. Michikawa, and M. Moriguchi
2011 Volumetric image segmentation method for fossil cranial. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 118. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Suzuki, H., T. Michikawa, and M. Moriguchi
2011 Volumetric image segmentation method for fossil cranial. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 47. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- 石田 肇 (訳)
2011 「ヒト族からヒト属へ」 「ホモ・サピエンスと現代人的行動の進化」 R.ボイド、J.B.シルク (著)、松本晶子、小田 亮 (監訳) 『人はどのように進化してきたか』475-596. 京都：ミネルヴァ書房.
- 荻原直道
2011 「次元形状モデリングに基づく化石頭蓋の組立と化石脳の推定」 田邊宏樹編『ネアンデルタ

ールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 114.

- 荻原直道、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇
2011「形状情報に基づく化石頭蓋破片組み立てシステムの開発」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 48.
- 荻原直道、菊池起夫、森田祐介、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇
2011「大域的形状情報を活用した頭蓋組み立て支援システムの開発」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 49.
- 小林 靖
2011「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発—カニクイザルの頭蓋と脳」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 121.
- 小林 靖
2011「頭蓋形態から脳区分を推測するための指標の開発-研究計画」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 66.
- 近藤 修
2011「カフゼー9 号頭蓋の歪み評価へ向けて」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 119.
- 近藤 修
2011「化石人類の脳・脳鋳方の形態学的研究について」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 52.
- 近藤 修、久保大輔
2011「カフゼー9 号エンドキャスト、レバント地方早期現代型新人の例」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 48.
- 鈴木宏正、道川隆士、森口昌樹
2011「頭蓋化石 CT 画像のセグメンテーション」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 117.
- 鈴木宏正、道川隆士、森口昌樹
2011「頭蓋化石 CT 画像のセグメンテーション手法」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 47.
- 中條利一郎、酒井英男、石田 肇（編）
2011『考古学を科学する』116-132. 京都：臨川書店.

2010

- Kondo, O., H. Ishida, and N. Ogihara
2010 Morphological Descriptions of Endcasts from *Homo sapiens* and *Homo Neanderthalensis*. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 65. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Ogihara, N., H. Suzuki, T. Michikawa, O. Kondo, and H. Ishida
2010 Development of Fossil Crania Reconstruction Methods Based on Three-Dimensional Surface Modeling Techniques. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 62-63. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Ogihara, N., E. Hirasaki, and M. Nakatsukasa
2010 Experimental and computational studies of bipedal locomotion in the bipedally-trained Japanese macaque. In K. D'Aout, and E.E. Vereecke, (eds.) *Studying Primate Locomotion: Linking Field and Laboratory Research*. New York, Springer.
- Suzuki, H., N. Ogihara, and T. Michikawa
2010 A Segment method for Decomposing Fossil Skull into Fragment Based on Structural Mechanics. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 64. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.

- ・ 荻原直道、鈴木宏正、道川隆士、近藤 修、石田 肇
2010 「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の復元手法の開発」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 62.
- ・ 近藤 修、石田 肇、荻原直道
2010 「新人・旧人化石頭蓋・脳鋳型の形態学的記載」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 65.
- ・ 鈴木宏正、荻原直道、道川隆士
2010 「構造力学的特性を用いた復元頭蓋の化石片セグメンテーション手法」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 64.

計画研究 C02 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」

【雑誌論文】

2015

- ・ Koike, T., H.C. Tanabe, S. Okazaki, E. Nakagawa, A.T. Sasaki, K. Shimada, S. Sugawara, H.K. Takahashi, K. Yoshihara, J. Bosch-Bayard, and N. Sadato *equally contributed.
2015 Neural substrates of shared attention as social memory: A hyperscanning functional magnetic resonance imaging study. *NeuroImage* (ePub ahead of print). (査読)
- ・ Kawamichi, H., K. Yoshihara, S.K. Sugawara, M. Matsunaga, K. Makita, Y.H. Hamano, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2015 Helping behavior induced by empathetic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. *Soc Neurosci* (ePub ahead of print). (査読)
- ・ Kawamichi, H., R. Kitada, K. Yoshihara, H. Takahashi, and N. Sadato
2015 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli. *Front Hum Neurosci* 9: 164. (査読)
- ・ Kawamichi, H., K. Yoshihara, A.T. Sasaki, S.K. Sugawara, H.C. Tanabe, R. Shinohara, Y. Sugisawa, K. Tokutake, Y. Mochizuki, T. Anme, and N. Sadato
2015 Perceiving active listening activates the reward system and improves the impression of relevant experiences. *Soc Neurosci* 10: 16-26. (査読)
- ・ Koike, T., H.C. Tanabe, and N. Sadato
2015 Hyperscanning neuroimaging technique to reveal the "two-in-one" system in social interactions. *Neurosci Res* 90: 25-32. (査読)
- ・ Matsuyoshi, D., T. Morita, T. Kochiyama, H.C. Tanabe, N. Sadato, and R. Kakigi
2015 Dissociable cortical pathways for qualitative and quantitative mechanisms in the face inversion effect. *J Neurosci* 35(10): 4268-4279. (査読)
- ・ Ogihara, N., H. Amano, T. Kikuchi, Y. Morita, K. Hasegawa, T. Kochiyama, and H.C. Tanabe
2015 Towards digital reconstruction of fossil crania and brain morphology. *Anthropol Sci* 123(1): 57-68. (査読)
- ・ Sato, W., Y. Kubota, T. Kochiyama, S. Uono, S. Yoshimura, R. Sawada, M. Sakihama, and M. Toichi
2015 Increased putamen volume in adults with autism spectrum disorder. *Front Hum Neurosci* 8: 1. (査読)

2014

- ・ Nakajima, K., T. Minami, H.C. Tanabe, N. Sadato, and S. Nakauchi
2014 Facial color processing in the face-selective regions: An fMRI study. *Hum Brain Mapp* 35(9): 4958-4964. (査読)
- ・ Okamoto, Y., R. Kitada, H.C. Tanabe, M.J. Hayashi, T. Kochiyama, T. Munesue, M. Ishitobi, D.N. Saito, H.T. Yanaka, M. Omori, Y. Wada, H. Okazawa, A.T. Sasaki, T. Morita, S. Itakura, H. Kosaka, and N. Sadato
2014 Attenuation of the contingency detection effect in the extrastriate body area in autism spectrum disorder. *Neurosci Res* 87: 66-76. (査読)
- ・ Sasai, S., Homae, F., Watanabe, H., Sasaki, A.T., Tanabe, H.C., Sadato, N., Taga, G.
2014 Frequency-specific network topologies in the resting human brain. *Front Hum Neurosci* 8: 1022. (査読)
- ・ Sato, W., T. Kochiyama, S. Uono, K. Matsuda, K. Usui, Y. Inoue, and M. Toichi

2014 Rapid, high-frequency, and theta-coupled gamma oscillations in the inferior occipital gyrus during face processing. *Cortex* 60: 52-68. equally contributed. (査読)

- Taminato, T., N. Miura, M. Sugiura, and R. Kawashima
2014 Neuronal substrates characterizing two stages in visual object recognition. *Neurosci Res* 89: 61-68. (査読)
- 定藤規弘
2014 「私たち」の脳科学に向けて：2 個人同時計測 MRI 研究『臨床神経科学』32(7): 797-799. (査読)
- 定藤規弘
2014 「機能的 MRI による社会能力発達における神経基盤の解明」『脳神経外科ジャーナル』23(4): 318-324. (査読)

2013

- Iida, S., H.C. Tanabe, T. Nakao, and H. Ohira
2013 Modulation of emotion by cognitive activity. *Psychol Topics* 2: 205-219. (査読)
- Kawamichi, H, A.T. Sasaki, M. Matsunaga, K. Yoshihara, H.K. Takahashi, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 Medial prefrontal cortex activation is commonly invoked by reputation of self and romantic partners. *PLoS One* 8(9): e74958. (査読)
- Kitada, R., Y. Okamoto, A.T. Sasaki, T. Kochiyama, M. Miyahara, S.J. Lederman, and N. Sadato
2013 Early visual experience and the recognition of basic facial expressions: involvement of the middle temporal and inferior frontal gyri during haptic identification by the early blind. *Front Hum Neurosci* 7: 7. (査読)
- Makita, K., M. Yamazaki, H.C. Tanabe, T. Koike, T. Kochiyama, H. Yokokawa, H. Yoshida, and N. Sadato
2013 A functional magnetic resonance imaging study of foreign-language vocabulary learning enhanced by phonological rehearsal: the role of the right cerebellum and left fusiform gyrus. *Mind Brain Education* 7(4): 213-224. (査読)
- Miyahara, M., R. Kitada, A. Sasaki, Y. Okamoto, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 From gestures to words: Spontaneous verbal labeling of complex sequential hand movements reduces fMRI activation of the imitation-related regions. *Neurosci Res* 75: 228-238. (査読)
- Miyahara, M., T. Harada, T. Ruffman, N. Sadato, and T. Iidaka
2013 Functional connectivity between amygdala and facial regions involved in recognition of facial threat. *Soc Cogn Affect Neurosci* 8(2): 181-189. (査読)
- Morita, T., H.C. Tanabe, A.T. Sasaki, K. Shimada, R. Kakigi, and N. Sadato
2013 The anterior insular and anterior cingulate cortices in emotional processing for self-face recognition. *Soc Cogn Affect Neurosci* 9(5): 570. (査読)
- Sato, W., T. Kochiyama, S. Uono, K. Matsuda, K. Usui, Y. Inoue, and M. Toichi
2013 Rapid and multiple-stage activation of the human amygdala for processing facial signals. *Commun Integr Biol* 6: e24562. (査読)
- Yoshida, Y., H.C. Tanabe, M.J. Hayashi, H. Kawamichi, T. Kochiyama, and N. Sadato
2013 The neural substrates of the warning effect: A functional magnetic resonance imaging study. *Neurosci Res* 76: 230-239. (査読)

2012

- Kawamichi, H., H.C. Tanabe, H. Takahashi, and N. Sadato
2012 Activation of the reward system during sympathetic concern is mediated by two types of empathy in a familiarity-dependent manner. *Soc Neurosci* 8: 90-100. (査読)
- Mizuno, K., Tanaka M, H.C. Tanabe, N. Sadato, and Y. Watanabe
2012 The neural substrates associated with attentional resources and difficulty of concurrent processing of the two verbal tasks. *Neuropsychologia* 50: 1998-2009. (査読)
- Sasaki, A.T., T. Kochiyama, M. Sugiura, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2012 Neural networks for action representation: a functional magnetic-resonance imaging and dynamic causal modeling study. *Front Hum Neurosci* 6: 236. (査読)
- Sato, W., M. Toichi, S. Uono, and T. Kochiyama
2012 Impaired social brain network for processing dynamic facial expressions in autism spectrum disorders. *BMC Neurosci* 13: 99. (査読)
- Sugawara, S.K., S. Tanaka, S. Okazaki, K. Watanabe, and N. Sadato

- 2012 social rewards enhance offline improvements in motor skills. *PLoS One* 7: e48174. (査読)
- Tanabe, H.C., H. Kosaka, D.N. Saito, T. Koike, M.J. Hayashi, K. Izuma, H. Komeda, M. Ishitobi, M. Omori, T. Munesue, H. Okazawa, Y. Wada, and N. Sadato
2012 Hard to “tune in”: neural mechanisms of live face-to-face interaction with high-functioning autistic spectrum disorder. *Front Hum Neurosci* 6(268): 1-15. (査読)
 - Uchiyama, H., D.N. Saito, H.C. Tanabe, T. Harada, A. Seki, K. Ohno, T. Koeda, and N. Sadato
2012 Distinction between the literal and intended meanings of sentences: A functional magnetic resonance imaging study of metaphor and sarcasm. *Cortex* 48: 563-583. (査読)

2011

- Iidaka, T., T. Harada, and N. Sadato
2011 Forming a negative impression of another person correlates with activation in medial prefrontal cortex and amygdala. *Social Cognitive & Affective Neuroscience* 6(4): 516-525. (査読)
- Kambara, T., S. Yokoyama, K. Takahashi, N. Miura, T. Miyamoto, D. Takahashi, S. Sato, and R. Kawashima
2011 Lexical Categories and the Human Brain: An fMRI Study. *Studies Lang Sci* 10: 187-199. (査読)
- Morita, T, H. Kosaka, D.N. Saito, M. Ishitobi, T. Munesue, S. Itakura, M. Omori, H. Okazawa, Y Wada, and N. Sadato
2011 Emotional responses associated with self-face processing in individuals with autism spectrum disorders: An fMRI study. *Soc Neurosci* 7(3-4): 223-239. (査読)
- Sato, W., T. Kochiyama, S. Uono, K. Matsuda, K. Usui, Y. Inoue, and M. Toichi
2011 Temporal Profile of Amygdala Gamma Oscillations in Response to Faces. *J Cogn Neurosci* 24(6): 1420-1433. (査読)
- Sato, W., T. Kochiyama, and S. Yoshikawa
2011 The inversion effect for neutral and emotional facial expressions on amygdala activity. *Brain Res* 1378: 84-90. (査読)
- Sato, W., T. Kochiyama, S. Uono, K. Matsuda, K. Usui, Y. Inoue, and M. Toichi
2011 Rapid amygdala gamma oscillations in response to fearful facial expressions. *Neuropsychologia* 49: 612-617. (査読)
- Sato, W., T. Kochiyama, S. Uono, K. Matsuda, K. Usui, Y. Inoue, and M. Toichi
2011 Rapid amygdala gamma oscillations in response to eye gaze. *PLoS One* 6: e28188. (査読)
- Tanabe, H.C., T. Sakai, Y. Morito, , T. Kochiyama, and N. Sadato
2011 Neural Correlates and Effective Connectivity of Subjective Colors during the Benham's Top Illusion: A Functional MRI Study. *Cereb Cortex* 21(1): 124-133. (査読)
- Yusa, N., M. Koizumi, J. Kim, N. Kimura, S. Uchida, S. Yokoyama, N. Miura, R. Kawashima, and H. Hagiwara
2011 Second-language Instinct and Instruction Effects: Nature and Nurture in Second-language Acquisition. *Journal of Cognitive Neuroscience* 23(10): 2716-2730. (査読)
- 河内山隆紀
2011 「機能的磁気共鳴画像法による領域間結合分析」『神経心理学』 27(1): 35-46.

2010

- Aramaki, Y., R. Osu, and N. Sadato
2010 Resource-demanding versus cost-effective bimanual interaction in the brain. *Exp Brain Res* 203: 407-418. (査読)
- Bosch-Bayard, J., J. Riera-Diaz, R. Biscay-Lirio, K. F. Wong, A. Galka, O. Yamashita, N. Sadato, R. Kawashima, E. Aubert-Vazquez, R. Rodriguez-Rojas, P. Valdes-Sosa, F. Miwakeichi, and T. Ozaki
2010 Spatio-temporal correlations from fmri time series based on the NN-ARx model. *J Integr Neurosci* 9(4): 381-406. (査読)
- Chiao, J.Y., T. Harada, H. Komeda, Z. Li, Y. Mano, D. Saito, T.B. Parrish, N. Sadato, and T. Iidaka
2010 Dynamic cultural influences on neural representations of the self. *J Cogn Neurosci* 22(1): 1-11. (査読)
- Chiao, J.Y., A.R. Hariri, T. Harada, Y. Mano, N. Sadato, T.B. Parrish, and T. Iidaka
2010 Theory and methods in cultural neuroscience. *Soc Cogn Affect Neurosci* 5(2-3): 356-361. (査読)
- Iidaka, T., D.N. Saito, H. Komeda, Y. Mano, N. Kanayama, T. Osumi, N. Ozaki, and N. Sadato
2010 Transient neural activation in human amygdala involved in aversive conditioning of face and voice. *J Cogn Neurosci* 22(9): 2074-2085. (査読)

- Izuma, K., M. Matsumoto, K. Murayama, K. Samejima, N. Sadato, and K. Matsumoto
2010 Neural correlates of cognitive dissonance and choice-induced preference change. *Proc Natl Acad Sci USA* 107(51): 22014-22019. (査読)
- Izuma, K., D.N. Saito, and N. Sadato
2010 Processing of the Incentive for Social Approval in the Ventral Striatum during Charitable Donation. *J Cogn Neurosci* 22(4): 621-631. (査読)
- Izuma, K., D.N. Saito, and N. Sadato
2010 The roles of the medial prefrontal cortex and striatum in reputation processing. *Soc Neurosci* 5(2): 133-147. (査読)
- Koeda, T., A. Seki, H. Uchiyama, and N. Sadato
2010 Dyslexia: Advances in clinical and imaging studies. *Brain Dev* 33(3):268-275. (査読)
- Kosaka, H., M. Omori, T. Munesue, M. Ishitobi, Y. Matsumura, T. Takahashi, K. Narita, T. Murata, D. N. Saito, H. Uchiyama, T. Morita, M. Kikuchi, K. Mizukami, H. Okazawa, N. Sadato, and Y. Wada
2010 Smaller insula and inferior frontal volumes in young adults with pervasive developmental disorders. *Neuroimage* 50(4): 1357-1363. (査読)
- Miura, N., M. Sugiura, M. Takahashi, Y. Sassa, A. Miyamoto, S. Sato, K. Horie, K. Nakamura, and R. Kawashima
2010 Effect of motion smoothness on brain activity while observing a dance: an fMRI study using a humanoid robot. *Social Neuroscience* 5: 40-58. (査読)
- Oshio, R., S. Tanaka, N. Sadato, M. Sokabe, T. Hanakawa, and M. Honda
2010 Differential effect of double-pulse TMS applied to dorsal premotor cortex and precuneus during internal operation of visuospatial information. *Neuroimage* 49(1): 1108-1115. (査読)
- Saito, D.N.*, H.C. Tanabe*, K. Izuma, M. J. Hayashi, Y. Morito, H. Komeda, H. Uchiyama, H. Kosaka, H. Okazawa, Y. Fujibayashi, and N. Sadato
2010 "Stay tuned": inter-individual neural synchronization during mutual gaze and joint attention. *Front Integr Neurosci* 4: 127. (査読)
- Sugiura, M., Y. Mano, A. Sasaki, and N. Sadato
2010 Beyond the Memory Mechanism: Person-selective and Nonselective Processes in Recognition of Personally Familiar Faces. *J Cogn Neurosci* 23(3): 699-715. (査読)
- Yokoyama O, N. Miura, J. Watanabe, A. Takemoto, S. Uchida, M. Sugiura, K. Horie, S. Sato, R. Kawashima, and K. Nakamura
2010 Right frontopolar cortex activity correlates with reliability of retrospective rating of confidence in short-term recognition memory performance. *Neurosci Res* 68: 199-206. (査読)

【学会発表】

2015

- 荻原直道、田邊宏樹
2015 「化石脳から見た学習仮説」『なぜネアンデルタール人はいなくなったのか-学習仮説からの展望』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2015.7.5. 東京：東京大学.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、長谷川国大、荻原直道
2015 「計算論的解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 定藤規弘、田邊宏樹
2015 「現代人脳機能地図作成—社会認知能力のベースとしての共同注意における小脳の役割」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 杉浦元亮
2015 「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性との関連」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 田邊宏樹
2015 「ネアンデルタール人の中身を探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会.

2015.3.7-8. 高知：高知会館.

- 長谷川国大、河内山隆紀、田邊宏樹
2015「脳機能イメージデータのメタ解析による現代人脳機能マップの作成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2015「ハノイの塔を用いた社会学習と固体学習差の検証実験」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 三浦直樹
2015「メタ解析に基づく道具使用の神経基盤の推定」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.
- 水野 敬
2015「学習意欲および疲労耐性の神経基盤と脳形態情報」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第10回研究大会. 2015.3.7-8. 高知：高知会館.

2014

- Abe, S., T. Koike, B. Bosch, and N. Sadato
2014 The pathway of inter-individual synchronization during eye contact enhanced by joint attention. *Human Brain Mapping 2014 Conference*. 2014.6.8-12. Hamburg, Germany.
- Hasegawa, K., T. Kochiyama, H.C. Tanabe, and N. Ogiwara
2014 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Nagai
2014 fMRI experiment about executive function by difference of learning methods: Using Tower of Hanoi. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Koike, T., S. Abe, B. Bosch, and N. Sadato
2014 Social interaction represented by inter-individual neural synchronization. *Neural Oscillation Conference 2014*. 2014.7.17-18. Okazaki, Aichi, Japan.
- Miura, N., Y. Sasaki, K. Hasegawa, and H.C. Tanabe
2014 Neural underpinning of creative thinking: A meta-analysis for neuroimaging data. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Miura, N., N. Shirasawa, and S. Kanoh
2014 Cortical activity reflecting a tactical thinking to follow a rule: An fNIRS study. *Society for Neuroscience 2014 Annual Meeting*. 2014.11.15-19. Washington D.C., USA.
- Miura, N., H.C. Tanabe, A.T. Sasaki, T. Harada, and N. Sadato
2014 An fMRI study to clarify the nature of human's play. *Human Brain Mapping 2014 Conference*. 2014.6.8-12. Hamburg, Germany.
- Mizuno, K.
2014 Brain structural and functional analyses for motivation to learn, fatigue and cognitive function. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Sugiura, M., S. Hanawa, T. Nozawa, R. Nouchi, R. Yokoyama, Y. Kotozaki, T. Araki, and R. Kawashima
2014 Neural correlates of coping strategy for boredom: Its relationship with creativity. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.
- Sumiya, M., T. Koike, S. Okazaki, and N. Sadato
2014 Listener's positive responses recruit reward-related neural circuitry of the speaker: an fMRI study. *Society for Neuroscience 2014 Annual Meeting*. 2014.11.15-19. Washington D.C., USA.
- Tanabe, H.C., T. Kochiyama, N. Sadato, and O. Naomichi
2014 Exploring the difference of brain anatomy and function between Neanderthals and Modern Humans:

Neuroanatomical and functional neuroimaging approach. *RNMH2014: The Second International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2014.11.30-12.6. Date, Hokkaido, Japan.

- Tanabe, H.C., T. Kochiyama, H. Amano, K. Hasegawa, O. Kondo, and N. Ogihara
2014 Comparing shape of cranium between Neanderthal and modern humans using computational anatomy. *Human Brain Mapping 2014 Conference*. 2014.6.8-12. Hamburg, Germany.
- 小池耕彦、田邊宏樹、岡崎俊太郎、J. Bosch、定藤規弘
2014「個体間での脳活動共振として表現される「社会性」」第 37 回日本神経科学大会. 2014.9.11-13. 横浜：パシフィコ横浜.
- 河内山隆紀
2014「計算解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元と形態分析」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1-3. 浜松：アクトシティ浜松.
- 河内山隆紀
2014「神経考古学における計算解剖学—化石頭蓋からの脳復元」第 37 回日本神経科学大会. 2014.9.11-13. 横浜：パシフィコ横浜.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2014「計算論的解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 定藤規弘
2014「社会脳：共感と光社会行動の神経基盤：脳機能画像法によるアプローチ」第 11 回日本うつ病学会総会. 2014.7.19. 広島：広島国際会議場. (招待講演)
- 定藤規弘
2014「「私たち」の脳科学に向けて：2 個人同時計測 MRI 研究」日本発達心理学会第 25 回大会. 2014.3.22. 京都：京都大学.
- 定藤規弘、田邊宏樹
2014「現代人脳機能地図作成：向社会行動のベースとしての共同注意の神経基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 杉浦元亮
2014「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 田邊宏樹
2014「旧人ネアンデルタールと新人ホモ・サピエンスのエンドキャスト形態差から考える脳機能差」第 68 回日本人類学会大会. 2014.11.1-3. 浜松：アクトシティ浜松.
- 田邊宏樹
2014「ネアンデルタール人の脳の仮想復元結果から考える」『ネアンデルタール人の脳機能と学習行動を探る』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講演会. 2014.9.28. 東京：東京大学.
- 田邊宏樹
2014「旧人と新人の頭蓋形態差から考える脳機能差」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2014「ハノイの塔を用いた社会学習と個体学習差の検証実験」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.
- 三浦直樹
2014「創造性の神経基盤：メタ解析による機能地図の描出」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.

- 三谷慶太、星野孝総、三浦直樹、田邊宏樹
2014「学習方法の違いに関する fMRI 解析」第 30 回ファジィシステムシンポジウム 2014. 2014.9.1-3. 高知：高知城ホール.
- 水野 敬
2014「学習意欲・疲労の神経基盤と脳形態解析」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 9 回研究大会. 2014.5.10-11. 東京：東京大学.

2013

- Koike, T., H.C. Tanabe, S. Okazaki, and N. Sadato
2013 Cerebral and cerebellar involvement in joint attention. *Society for Neuroscience 2013 Annual Meeting*. 2013.11.9-13. San Diego, USA.
- Makita, K., H. Oishi, T. Kinoshita, K. Shimada, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 The impact of second language proficiency on an automatic process of written words: an fMRI study. *Society for Neuroscience 2013 Annual Meeting*. 2013.11.9-13. San Diego, USA.
- Mizuno, K.
2013 Study strategy for the neural bases associated with motivation to learn and fatigue resistance. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Mizuno, K.
2013 Investigations of neural and anatomical bases of motivation to learn and fatigue. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Sadato, N.
2013 "We-mode" neuroscience using dual fMRI. *The 36th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society*. 2013.6.22. Kyoto, Japan.
- Sugiura, M.
2013 Neural correlates of boredom and boredom-coping strategies; possible relationship with creativity and learning ability. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Sugiura, M.
2013 Neural correlates of coping strategy for boredom and its relationship with creativity and learning ability. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- Tanabe, H.C.
2013 Diversity of learning abilities in modern humans: Psychological and cognitive neuroscientific perspectives. *The 7th Conference on the RNMH Project*. 2013.5.11-13. The University of Tokyo, Tokyo, Japan.
- Tanabe, H.C.
2013 Neural basis of metacognition. *The 8th Conference on the RNMH Project*. 2013.12.21-23. Kyoto University, Kyoto, Japan.
- 川道拓東
2013「社会学習を支える社会能力の神経基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2013「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 6 回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 定藤規弘
2013「「私たち」の脳科学に向けて：2 個人同時計測 MRI 研究」日本心理学会第 77 回大会. 2013.9.20. 札幌：札幌コンベンションセンター.
- 杉浦元亮
2013「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 7 回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 杉浦元亮
2013「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」『ネアンデルター

ルとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

- 田邊宏樹
2013「心理学・認知神経科学からみたヒトの学習能力・社会能力の多様性」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 田邊宏樹
2013「メタ認知の神経基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.
- 田邊宏樹
2013「二台のMRIを繋げて共同注意の神経メカニズムを探る：We-mode neuroscienceの第一歩」日本心理学会第77回大会. 2013.9.20. 札幌：札幌コンベンションセンター.
- 田邊宏樹
2013「二台のMRIを使って目と目で見つめ合っている時の脳活動を調べる」東海若手実験心理学研究会. 2013.2.23. 名古屋：名古屋大学. (招待講演)
- 田邊宏樹
2013「知能のモジュール性と認知的流動性を脳機能イメージングから考える」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 田邊宏樹、定藤規弘
2013「現代人脳機能地図生成：二つのタイプの共同注意の神経基盤を探る」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 三浦直樹、田邊宏樹、定藤規弘
2013「ヒト特有の「遊び」と内発的報酬の神経基盤との関係性の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 水野 敬
2013「学習意欲と抗疲労に関する神経基盤研究」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第6回研究大会. 2013.1.12-14. 東京：東京大学.
- 水野 敬
2013「学習意欲と疲労耐性による強化学習の神経基盤研究政略」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第7回研究大会. 2013.5.11-13. 東京：東京大学.
- 水野 敬
2013「学習意欲と疲労に関する神経基盤と脳形態についての検討」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第8回研究大会. 2013.12.21-23. 京都：京都大学.

2012

- Hoshino, Y., N. Miura, and K. Nagai
2012 Motion Analysis for Stone-Knapping of the Skilled Levallois Technique. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kawamichi, H., K. Yoshihara, R. Kitada, M. Matsunaga, A. Sasaki, Y. Yoshida, H. Takahashi, and N. Sadato
2012 Study Implication Related to Sense of Acceptance: Key Factor of Social Learning. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, N. Ogihara
2012 Reconstruction of the Brain from Skull Fossil Using Computational Anatomy. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.

- Kudo, D. and H.C. Tanabe
2012 Cerebellar Size Estimation from Endocranial Measurements. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Miura, N., K. Nagai, M. Yamazaki, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, T. Akazawa, and N. Sadato
2012 Brain Activation Related to the Imitative Learning of Bodily Actions Observed during the Construction of a Mousterian Stone Tool: A Functional Magnetic Resonance Imaging Study. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Mizuno, K.
2012 Neural Substrates of Motivation to Learn and Fatigue. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Sadato, N. and H.C. Tanabe
2012 Neural substrates and inter-individual functional connectivity during mutual gaze and joint attention using dual functional MRI. *ICME International Conference on Complex Medical Engineering*. 2012.7.2. Kobe, Hyogo, Japan.
- Sadato, N.
2012 Inter-individual neural synchronization during eye-contact and joint attention. *Social Cognition, Engagement and the Second-Person-Perspective International Conference*. 2012.5.25-27. Koln, Germany. (招待講演)
- Sadato, N.
2012 Inter-individual neural synchronization eye-contact and joint attention. *42nd NIPS International Symposium*. 2012.3.6. Okazaki, Aichi.
- Sasaki, A.T., T. Kochiyama, M. Sugiura, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2012 Brain networks for automatic mimicry: an fMRI and DCM study. *Social Cognition, Engagement and the Second-Person-Perspective International Conference*. 2012.5.25-27. Koln, Germany.
- Tanabe, H.C.
2012 Innovative Society and Social Brains. *RNMH2012: The First International Conference of the Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. 2012.11.18-24. Tokyo, Japan.
- Tanabe, HC, T. Koike, N. Sadato
2012 Inter- and intra-brain functional connectivity during eye contact and joint attention: a hyper-scanning functional MRI study. *Social Cognition, Engagement and the Second-Person-Perspective International Conference*. 2012.5.25-27. Koln, Germany.
- 川道拓東
2012 「模倣行為と動機付けの連関における神経基盤の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 河内山隆紀、田邊宏樹
2012 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 定藤規弘
2012 「脳機能画像法をもちいた社会能力発達過程へのアプローチ」第52回脳の医学・生物学研究会. 2012.3.10. 名古屋：名城大学名駅サテライト会議室. (招待講演)
- 定藤規弘
2012 「社会能力の神経基盤：脳機能画像法によるアプローチ」第7回日本統合失調症学会. 2012.3.17. 名古屋：愛知県産業労働センター. (招待講演)
- 田邊宏樹
2012 「旧人ネアンデルタールの脳を復元して新人サピエンスの脳と比べる」『旧人と新人のもの作りとその心』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」公開講座第3回. 2012. 9.15. 東京：慶應義塾大学三田キャンパス.
- 田邊宏樹、定藤規弘
2012 「現代人脳機能地図生成：創造性をめぐる諸能力とその神経基盤」『ネアンデルタールとサ

ピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

- 三浦直樹
2012「人の発達過程における脳の構造・認知機能の変化」第66回日本人類学会大会. シンポジウム15. 2012.11.4. 横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス.
- 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2012「問題解決のための創造的適応的行動の選択に關与する神経基盤の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.
- 水野 敬
2012「内発的報酬による強化学習の神経基盤解明に向けて」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第5回研究大会. 2012.4.14-16. 東京：学術総合センター.

2011

- Kawamichi, H., H.C. Tanabe, H.K. Takahashi, K. Shimada, and N. Sadato
2011 Directed altruism induced by "warm-glow" through empathy: an fMRI study. *17th Annual Meeting of the Organization on Human Brain Mapping*. 2011.6.27. Quebec, Canada.
- Kawamichi, H., R. Kitada, K. Yoshihara, H.K. Takahashi, and N. Sadato
2011 Activation of the reward system by joining hands with familiar person: an fMRI study. 2011.07.17. *The 8th IBRO World Congress of Neuroscience*. Florence, Italy.
- Kawamichi, H., A.T. Sasaki, H.K. Takahashi, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2011 Empathy for social positive emotion activates cognitive empathy network. *The 41th Annual Meeting of the Society for Neuroscience*. 2011.11.16. Washington DC, USA.
- Makita, K., H., Yokokawa, H.C. Tanabe, H. Yoshida, M. Murase, and N. Sadato
2011 The role of the right cerebellum during foreign language vocabulary learning enhanced by the phonological loop: an fMRI study. *The 41th Annual Meeting of the Society for Neuroscience*. 2011.11.22. Washington DC, USA.
- Miura, N., T. Akazawa, M. Yamazaki, K. Nagai, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2011 Learning effect on cortical activity during implicit imitation of bimanual tool production and word speech. *17th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*. 2011.6.27. Quebec, Canada.
- Miura, N., K. Nagai, M. Yamazaki, T. Akazawa, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2011 Learning effect on cortical activity during implicit imitation of bimanual tool production and word speech. *The 17th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*. 2011.6.26-30. The Centre des Congres de Quebec, Quebec City, Canada.
- Mizuno, K., M. Tanaka, H.C. Tanabe, J. Kawatani, T. Jodoi, A. Tomoda, T. Miike, K. Imai-Matsumura, N. Sadato, and Y. Watanabe
2011 Divided Attention and Childhood Chronic Fatigue Syndrome (CCFS). *The 34th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Neuroscience 2011)*. 2011.9.17. Pacifico Yokohama, Kanagawa, Japan.
- Sasaki, A.T., T. Kochiyama, M. Sugiura, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2011 Neural networks for action representation. *The 15th annual meeting of the Association for the Scientific Study of Consciousness*. 2011.6.11. Kyoto, Japan.
- Sadato, N.
2011 The Neural Basis of Social Reward and Decision-Making. *The First International Society for Social Neuroscience Symposium*. 2011.1. Shanghai, China.
- Tanabe, H.C., H. Kosaka, D.N. Saito, T. Munesue, H. Okazawa, Y. Wada, N. Sadato
2011 Joint attention between individuals with normal and autism spectrum disorders using dual fMRI. *17th Annual Meeting of the Organization on Human Brain Mapping*. 2011.6.27. Quebec, Canada.
- 赤松美穂、菊池赳夫、荻原直道、近藤 修、田邊宏樹、深瀬 均、石田 肇、與儀 彰、村山貞之
2011「現代人における頭蓋骨と脳形態の対応関係の定量化」第65回日本人類学会大会.ポスター発表. 2011.11.4. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- 岡本悠子、小坂浩隆、北田 亮、田邊宏樹、棟居俊夫、石飛 信、林正道、齋藤大輔、河内山隆紀、谷中久和、大森晶夫、和田有司、岡沢秀彦、定藤規弘
2011「自閉症スペクトラムにおける EBA の機能低下-相互模倣時の自他の動作の比較に關わる神経基盤」第13回日本ヒト脳機能マッピング学会. 2011.9.2. 京都：京都国際会議場.

- ・ 岡本悠子、小坂浩隆、北田 亮、田邊宏樹、棟居俊夫、石飛 信、林 正道、齋藤大輔、谷中久和、河内山隆紀、大森昌夫、和田有司、岡沢秀彦、定藤規弘
 2011「自閉症スペクトラムにおける Extrastriate body area (EBA) の機能低下—相互模倣時の自他の動作の比較にかかわる神経基盤」第 34 回日本神経科学大会. 2011.9.16. 横浜：パシフィコ横浜.
- ・ 川道拓東
 2011「模倣行為と動機付けの連関における神経基盤の解明」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 川道拓東、田邊宏樹、高橋陽香、定藤規弘
 2011「温情効果を介して向社会行動の動因となる共感に親密さが与える影響」第 34 回日本神経科学大会. 2011.09.17. 横浜：パシフィコ横浜.
- ・ 川道拓東、北田 亮、吉原一文、佐々木章宏、高橋陽香、定藤規弘
 2011「fMRI を用いた手つなぎ時の脳活動計測」第 16 回認知神経科学学会学術集会. 2011.10.22. 北九州：産業医科大学.
- ・ 河内山隆紀
 2011「SPM による脳機能画像データ解析」第 14 回日本光脳機能イメージング研究会. 2011.7.23. 東京：星陵会館. (招待講演)
- ・ 河内山隆紀、田邊宏樹
 2011「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成の試み」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 佐々木章宏、河内山隆紀、杉浦元亮、田邊宏樹、定藤規弘
 2011「視覚運動的な動作表象を担う脳内ネットワーク」第 13 回日本ヒト脳機能マッピング学会. 2011.9.2. 京都：京都国際会議場.
- ・ 定藤規弘
 2011「社会能力の発達過程：脳機能画像法によるアプローチ」第 58 回中部日本生理学会. 2011.11.1. 福井：福井県民ホール. (招待講演)
- ・ 定藤規弘
 2011「社会能力の発達過程：脳機能画像法によるアプローチ」第 26 回日本生体磁気学会. 2011.6.3. 福岡：九州大学百年講堂.
- ・ 定藤規弘
 2011「意図理解の神経基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 兵庫：神戸学院大学.
- ・ 田邊宏樹、河内山隆紀
 2011「現代人脳機能地図の化石脳への写像法への第一歩」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 2 回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- ・ 田邊宏樹、定藤規弘
 2011「現代人脳機能地図生成：共同注意の神経基盤と社会的文脈における学習の関係」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第 3 回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- ・ 田邊宏樹、定藤規弘
 2011「二台の機能的 MRI 同時計測による見つめ合い(mutual gaze)および共同注意(joint attention)の神経基盤と二个体間の機能的結合」第二回名古屋大学・生理学研究所合同シンポジウム 2011.8.20. 名古屋：名古屋大学医学部.
- ・ 田邊宏樹、定藤規弘
 2011「社会的文脈における学習—社会的認知能力と創造性—」2011.11.6. 第 65 回日本人類学会大会. シンポジウム 6. 那覇：沖縄県立博物館・美術館.
- ・ 田邊宏樹、定藤規弘、川道拓東
 2011「見て聞いて感じてみよう！心と体の不思議」生理学研究所一般公開. 2011.11.5. 岡崎：生理

学研究所.

- 三浦直樹、長井謙治、星野孝総
2011「三次元動作計測を用いた熟練者の石器制作工程の身体動作解析」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第2回研究大会. 2011.2.19-20. 神戸：神戸学院大学.
- 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2011「ルヴァロア剥片制作における熟練行動の運動的特徴抽出」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.
- 水野 敬
2011「内発的報酬による意欲喚起の神経基盤」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第4回研究大会. 2011.12.10-11. 岡崎：岡崎コンファレンスセンター.
- 水野 敬
2011「内発的報酬による社会・個体学習強化の神経基盤解明のための研究戦略」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第3回研究大会. 2011.4.23-24. 東京：学術総合センター.

2010

- 定藤規弘
2010「ネアンデルタール人の脳、新人との違いを探る：イメージング手法による学習と創造性へのアプローチ」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 田邊宏樹
2010「現代人脳の学習機能地図作成と化石脳への写像法の確立へ向けて」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.
- 田邊宏樹
2010「脳科学の最前線：教育学への可能性を探る—神経科学の立場から」佛教大学開学100周年記念事業総合研究所公開シンポジウム. 2010.10.20. 京都：佛教大学常照ホール. (招待講演)
- 田邊宏樹、定藤規弘、赤澤 威
2010「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』第64回日本人類学会大会シンポジウム. 2010.10.2. 伊達：だて歴史の杜カルチャーセンター.
- 三浦直樹
2010「三次元動作解析を用いた熟練者および初心者の石器製作工程の身体動作比較」『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』科学研究費補助金新学術領域研究「交替劇」第1回研究大会. 2010.10.23-24. 東京：学術総合センター.

【図書】

2015

- Hasegawa, K., T. Kochiyama, H.C. Tanabe
2015 Meta-analysis of functional brain maps in modern humans employing activation-likelihood estimation (ALE). In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 116. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Nagai
2015 Verification experiment of social learning and individual learning using Tower of Hanoi. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 118. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, K. Hasegawa, and N. Ogiwara
2015 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 111-112. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.

- Miura, N.
2015 Functional brain map of human's tool-use; meta-analysis for neuroimaging data. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 120. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Mizuno, K.
2015 Neural and structural substrate associated with motivation to learn and fatigue. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 122. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Sadato, N. and H.C. Tanabe
2015 Functional Brain Mapping of modern humans: The role of cerebellum in joint attention as a base of social cognitive ability. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 113. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Sugiura, M.
2015 The neural basis of coping strategies for boredom and their association with creativity. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 114: 30. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C.
2015 Exploring Neanderthal's brain: Neuro-cognitive and comparative anatomical approach. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 10: 30. Proceedings of the 10th Conference on RNMH.
 - 河内山隆紀、田邊宏樹、長谷川国大、荻原直道
2015 「計算論的解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 110.
 - 定藤規弘、田邊宏樹
2015 「現代人脳機能地図作成—社会認知能力のベースとしての共同注意における小脳の役割」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 113.
 - 杉浦元亮
2015 「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性との関連」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 114.
 - 長谷川国大、河内山隆紀、田邊宏樹
2015 「脳機能イメージデータのメタ解析による現代人脳機能マップの作成」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 115.
 - 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2015 「ハノイの塔を用いた社会学習と固体学習差の検証実験」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 117.
 - 三浦直樹
2015 「メタ解析に基づく道具使用の神経基盤の推定」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 119.
 - 水野 敬
2015 「学習意欲および疲労耐性の神経基盤と脳形態情報」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 10: 121.
- 2014**
- Hasegawa, K., T. Kochiyama, H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 176-178. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Hasegawa, K., T. Kochiyama, H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 fMRI experiment about executive function by difference of learning methods: Using Tower of Hanoi.

- In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 171-173. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Nagai
2014 Verification Experiment of Social Learning and Individual Learning using Tower of Hanoi. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 121. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Nagai
2014 Motion Analysis for Stone-Knapping of the Skilled Levallois Technique. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 79-90. Tokyo: Springer Japan.
 - Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 14. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2014 Reconstruction of the Brain from Skull Fossils Using Computational Anatomy. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 191-220. Tokyo: Springer Japan.
 - Kobayashi, Y. and T. Mtsui
2014 Relationship between the brain and the skull in primates including human: Research plan for the final year. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 117. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Kubo D, H.C. Tanabe, O. Kondo, N. Ogihara, A. Yogi, S. Murayama, and H. Ishida
2014 Cerebellar size estimation from endocranial measurements: An evaluation based on MRI data. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 209-215. Springer Tokyo.
 - Miura, N.
2014 Depiction of functional brain map of creativity: meta-analysis for neuroimaging data. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 119. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Miura, N., Y. Sasaki, K. Hasegawa, and H.C. Tanabe
2014 Neural underpinning of creative thinking: A meta-analysis for neuroimaging data. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 176-178. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Miura, N., K. Nagai, M. Yamazaki, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, T. Akazawa, and N. Sadato
2014 Brain Activation Related to the Imitative Learning of Bodily Actions Observed During the Construction of a Mousterian Stone Tool: A Functional Magnetic Resonance Imaging Study. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 221-232. Tokyo: Springer Japan.
 - Mizuno, K.
2014 Analyses for neural and structural bases of motivation to learn and fatigue. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 93. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Mizuno, K.
2014 Neural Substrates Associated with Motivation to Learn in Modern. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 233-236. Tokyo: Springer Japan.
 - Mizuno, K.
2014 Brain structural and functional analyses for motivation to learn, fatigue and cognitive function. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 174-175. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Sadato, N. and H.C. Tanabe
2014 Functional Brain Mapping of modern humans: Neural basis of joint attention as a base of prosocial behavior. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 89. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Sugiura, M.
2014 Neural correlates of coping strategy for boredom and its relationship with creativity and learning

- ability. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 91. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
- Sugiura, M., S. Hanawa, T. Nozawa, R. Nouchi, R. Yokoyama, Y. Kotozaki, T. Araki, and R. Kawashima
2014 Neural correlates of coping strategy for boredom: Its relationship with creativity. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 109-111. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Tanabe, H.C.
2014 Difference of brain function between Neanderthals and Modern Humans based on the cranial morphometry. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 9: 15. Proceedings of the 9th Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C., T. Kochiyama, O. Naomichi, and N. Sadato
2014 Integrated Analytical Scheme for Comparing the Neanderthal Brain to Modern Human Brain Using Neuroimaging Techniques. In T. Akazawa, N. Ogihara, H.C. Tanabe, and H. Terashima (eds.) *Dynamics of Learning in Neanderthals and Modern Humans Volume 2: Cognitive and Physical Perspectives*, pp. 203-207. Tokyo: Springer Japan.
 - Tanabe, H.C., T. Kochiyama, N. Sadato, and O. Naomichi
2014 Exploring the difference of brain anatomy and function between Neanderthals and Modern Humans: Neuroanatomical and functional neuroimaging approach. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 003: 121-123. Kochi: Kochi University of Technology.
 - 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2014 「計算論的解剖学による復元頭蓋骨を用いた脳形態復元」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 13.
 - 定藤規弘、田邊宏樹
2014 「現代人脳機能地図作成：向社会行動のベースとしての共同注意の神経基盤」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 88.
 - 杉浦元亮
2014 「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 90.
 - 田邊宏樹
2014 「旧人と新人の頭蓋形態差から考える脳機能差」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 15.
 - 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2014 「ハノイの塔を用いた社会学習と個体学習差の検証実験」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 120.
 - 三浦直樹
2014 「創造性の神経基盤：メタ解析による機能地図の描出」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 118.
 - 水野 敬
2014 「学習意欲・疲労の神経基盤と脳形態解析」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 9: 92.
- 2013**
- Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Ngai
2013 The relevance of the learning reward system and the action plan to be verified from the characteristic body motion in the stone-tool making process. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 95. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
 - Hoshino, Y., K. Mitani, N. Miura, H.C. Tanabe, and K. Ngai
2013 Productivity verification by 3D motion data analysis of recurrent Levallois method. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 115. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.

- Kawamichi, H.
2013 Neural mechanisms of social ability underlying social learning. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 155. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2013 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 153. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2013 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 91. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2013 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 113. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Miura, N., H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 Neural basis of intrinsic reward which arises by a play indigenous to human. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 151. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Miura, N., H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 Relationship between neural mechanism for of intrinsic reward and a human's playing behavior with social characteristics. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 93. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Miura, N., H.C. Tanabe, and N. Sadato
2013 Neural mechanism of human's playing and relation with the mental faculties to drive play. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 111. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Mizuno, K.
2013 In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 157. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Mizuno, K.
2013 Study strategy for the neural bases associated with motivation to learn and fatigue resistance. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 99. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Mizuno, K.
2013 Investigation of neural and anatomical bases of motivation to learn and fatigue. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 117. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Sugiura, M.
2013 Neural correlates of boredom and boredom-coping strategies; possible relationship with creativity and learning ability. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 97. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Sugiura, M.
2013 Neural correlates of coping strategy for boredom and its relationship with creativity and learning ability. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 8: 119. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.
- Tanabe, H.C.
2013 Modular intelligences and cognitive fluidity: from neuroimaging perspective. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 41. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- Tanabe, H.C.
2013 Diversity of learning abilities in modern humans: Psychological and cognitive neuroscientific perspectives. In K. Aoki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 7: 19. Proceedings of the 7th Conference on RNMH.
- Tanabe, H.C.
2013 Neural basis of metacognition. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern*

Humans: Testing Evolutionary Models of Learning. No. 8: 29. Proceedings of the 8th Conference on RNMH.

- Tanabe, H.C. and N. Sadato
2013 Functional brain mapping of modern humans: Exploring the neural mechanisms of two types of joint attention. In M. Yoneda (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 6: 149. Proceedings of the 6th Conference on RNMH.
- 川道拓東
2013 「社会学習を支える社会能力の神経基盤」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 154-155.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2013 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 152-153.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2013 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 90-91.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2013 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨からの脳実質の再構成」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 112.
- 杉浦元亮
2013 「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 96-97.
- 杉浦元亮
2013 「飽きに対する対処戦略の神経基盤と創造性・学習能力との関連の解明」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 118.
- 田邊宏樹
2013 「心理学・認知神経科学からみたヒトの学習能力・社会能力の多様性」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 18-19.
- 田邊宏樹
2013 「メタ認知の神経基盤」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 28.
- 田邊宏樹、定藤規弘
2013 「現代人脳機能地図生成：二つのタイプの共同注意の神経基盤を探る」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 148-149.
- 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2013 「石器製作過程での身体動作の特徴から検証する行動計画と学習報酬系の関連性について」青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 7: 94-95.
- 星野孝総、三谷慶太、三浦直樹、田邊宏樹、長井謙治
2013 「反復ルヴァロワ方式の身体動作データ解析による生産性の検証」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 8: 114.
- 三浦直樹、田邊宏樹、定藤規弘
2013 「ヒト特有の「遊び」と内発的報酬の神経基盤との関係性の解明」米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」研究大会報告書 No. 6: 150-151.

- 三浦直樹、田邊宏樹、定藤規弘
2013 「ヒトの社会行動における遊びと創造性の神経基盤」 青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 7: 92-93.
- 三浦直樹、田邊宏樹、定藤規弘
2013 「ヒト特有の遊びを神経基盤とそれを駆動する知的能力との関係」 寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 110.
- 水野 敬
2013 「学習意欲と抗疲労に関する神経基盤研究」 米田 穰編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 6: 156-157.
- 水野 敬
2013 「学習意欲と疲労耐性による強化学習の神経基盤研究戦略」 青木健一編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 7: 98-99.
- 水野 敬
2013 「学習意欲と疲労に関する神経基盤と脳形態についての検討」 寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 8: 116.

2012

- Hoshino, Y., N. Miura, and K. Nagai
2012 Motion Analysis for Stone-Knapping of the Skilled Levallois Technique. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 161-163. Kochi: Kochi University of Technology.
- Hoshino, Y., N. Miura, and K. Nagai
2012 A motion analysis of an expert's action during a construction of stone-tool by the Levallois technique. 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』 「交替劇」 C02 班研究報告書 No. 1: 28.
- Kawamichi, H.
2012 Investigation of neural mechanisms underlying linkage between imitation and motivation. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 91. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kawamichi, H.
2012 Investigation of Neural Mechanisms Underlying Linkage Between Imitation and Motivation. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 68. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kawamichi, H., K. Yoshihara, R. Kitada, M. Matsunaga, A. Sasaki, Y. Yoshida, H. Takahashi, and N. Sadato
2012 Study Implication Related to Sense of Acceptance: Key Factor of Social Learning. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 79-81. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kochiyama, T. and H.C. Tanabe
2012 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 89. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T., H.C. Tanabe, and N. Ogihara
2012 Reconstruction of the Brain from Skull Fossil Using Computational Anatomy. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 74-75. Kochi: Kochi University of Technology.
- Kudo, D. and H.C. Tanabe
2012 Cerebellar Size Estimation from Endocranial Measurements. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 155-156. Kochi: Kochi University of Technology.
- Miura, N., Y. Hoshino, and K. Nagai
2012 Neural basis of creative and adaptive behavior for problem solving. In N. Ogihara (ed.) *Replacement*

- of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 87. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
- Miura, N., T. Akazawa, M. Yamazaki, K. Nagai, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, and N. Sadato
2012 Learning effect on cortical activity during implicit imitation of bimanual tool production and word speech. 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』「交替劇」C02 班研究報告書 No. 1: 20-22.
 - Miura, N., K. Nagai, M. Yamazaki, Y. Yoshida, H.C. Tanabe, T. Akazawa, and N. Sadato
2012 Brain Activation Related to the Imitative Learning of Bodily Actions Observed during the Construction of a Mousterian Stone Tool: A Functional Magnetic Resonance Imaging Study. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 164-166. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Miura, N., K. Nagai, H.C. Tanabe, T. Akazawa, and N. Sadato
2012 「A neural mechanism of social learning through an observation of other's behavior」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』「交替劇」C02 班研究報告書 No. 1: 19.
 - Mizuno, K.
2012 Research plan for clarifying the effect of intrinsic reward on the neural basis of enforced learning. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 93. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Mizuno, K.
2012 The Neural Substrates of Social and Individual Enforced Learning by Intrinsic Rewards. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 69-70. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Mizuno, K.
2012 Neural Substrates of Motivation to Learn and Fatigue. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 82-83. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Tanabe, H.C.
2012 Functional Mapping of Learning Activities in Archaic and Modern Human Brains. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 28-30. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Tanabe, H.C.
2012 Functional Mapping of Learning Activities in Archaic and Modern Human Brains. In T. Akazawa (ed.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 53-55. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Tanabe, H.C.
2012 Innovative Society and Social Brains. In T. Akazawa and Y. Nishiaki (eds.) *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 002: 76-77. Kochi: Kochi University of Technology.
 - Tanabe, H.C. and N. Sadato
2012 Functional brain mapping of modern humans: Abilities surrounding the creativity and their neural basis. In N. Ogihara (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 5: 85. Proceedings of the 5th Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C., H. Kosaka, D.N. Saito, T. Munesue, H. Okazawa, Y. Wada, and N. Sadato
2012 Joint attention between individuals with normal and autism spectrum disorders using dual fMRI. 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』「交替劇」C02 班研究報告書 No. 1: 12-14.
 - 川道拓東
2012 「模倣行為と動機づけの関連における神経基盤」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』「交替劇」C02 班研究報告書 No. 1: 37-41.
 - 川道拓東
2012 「模倣行為と動機づけの関連における神経基盤の解明」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 5: 90.
 - 川道拓東
2012 「模倣行為と動機づけの関連における神経基盤の解明」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series*. No. 001: 105.

- 河内山隆紀、田邊宏樹
2012 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 88.
- 河内山隆紀、田邊宏樹、荻原直道
2012 「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』 「交替劇」 C02 班研究報告書 No. 1: 29-36.
- 田邊宏樹
2012 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 83-84.*
- 田邊宏樹
2012 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 96-97.*
- 田邊宏樹、定藤規弘
2012 「現代人脳機能地図作成：創造的社会的神経基盤」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』 「交替劇」 C02 班研究報告書 No. 1: 4-11.
- 田邊宏樹、定藤規弘
2012 「現代人脳機能地図生成：創造性をめぐる諸能力とその神経基盤」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 84.
- 田邊宏樹、定藤規弘
2012 「現代人脳機能地図生成：創造性をめぐる諸能力とその神経基盤」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 84.
- 星野孝総、三浦直樹、長井謙治
2012 「打製石器作成時の熟練技術者の身体動作解析」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』 「交替劇」 C02 班研究報告書 No. 1: 23-27.
- 三浦直樹
2012 「人の発達過程における脳の構造・認知機能の変化」 荻原直道編『第 66 回日本人類学会大会プログラム・抄録集』 118.
- 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2012 「問題解決のための創造的適応的行動の選択に関与する神経基盤の解明」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 86.
- 水野 敬
2012 「内発的報酬による社会・個体学習強化の神経基盤に関する研究」 田邊宏樹編『交替劇-旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成』 「交替劇」 C02 班研究報告書 No. 1: 42-46.
- 水野 敬
2012 「内発的報酬による強化学習の神経基盤解明に向けて」 荻原直道編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』 「交替劇」 研究大会報告書 No. 5: 92.
- 水野 敬
2012 「内発的報酬による社会・個体学習強化の神経基盤に関する研究」 赤澤 威編『RNMH プロジェクト 2010-2014』 *RNMH PROJECT 2010-2014. RNMH Project Series. No. 001: 105-106.*

2011

- Kawamichi, H.
2011 Investigation of neural mechanisms underlying linkage between imitation and motivation. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 68. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
- Kawamichi, H.
2011 Investigation of neural mechanisms underlying linkage between imitation and motivation. In H.

- Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 138. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
- Kochiyama, T.
2011 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In H. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 135-136. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Kochiyama, T. and H.C. Tanabe
2011 Reconstruction of the brain from skull fossil using computational anatomy. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 55. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Miura, N., Y. Hoshino, and K. Nagai
2011 An estimation of a constituent of learning of stone-tool making on Neanderthals based on 3D motion analysis. In H.C. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 140. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Miura, N., Y. Hoshino, and K. Nagai
2011 Extracting kinematic features of skilled behavior on Levallois flake production. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 53. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Miura, N., K. Nagai, and Y. Hoshino
2011 3D body motion analysis of stone tool making by a skilled subject. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 2: 62. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Mizuno, K.
2011 Strategy for clarifying the neural substrates of social and individual enforced learning by intrinsic rewards. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 3: 69. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - Mizuno, K.
2011 The neural substrates of motivational arousal by intrinsic reward. In H.C. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 86. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Sadato, N.
2011 The neural basis of social reward and decision-making. In R. Kawashima, M. Sugiura, and T. Tsukiura (eds.) *New Frontiers in Social Cognitive Neuroscience*, pp.137-145. 仙台：東北大学出版会.
 - Sadato, N.
2011 Neuroimaging approaches to the learning and creativity. In H.C. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 4: 130. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Sadato, N.
2011 Neural basis for understanding other's intention. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No.2: 60. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C.
2011 Functional brain mapping of modern humans: Joint Attention as a precursor of social cognitive ability—exploring its neural mechanisms. In H.C. Tanabe (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No.4: 127. Proceedings of the 4th Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C. and T. Kochiyama
2011 A step for extrapolation the modern humans' functional maps to the reconstructed skull images. In H. Terashima (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No.2: 57. Proceedings of the 2nd Conference on RNMH.
 - Tanabe, H.C. and N. Sadato
2011 Functional brain mapping of modern humans; Explore the relationship between joint attention and learning in social context. In Y. Nishiaki (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No.3: 52. Proceedings of the 3rd Conference on RNMH.
 - 川道拓東
2011 「模倣行為と動機付けの連関における神経基盤の解明」 田邊宏樹編『ネアンデルタールとサ

- ピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4:137.
- ・ 川道拓東
2011「模倣行為と動機付けの連関における神経基盤の解明」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 68.
 - ・ 河内山隆紀
2011「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成の試み」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 133.
 - ・ 河内山隆紀、田邊宏樹
2011「計算論的解剖学を利用した化石脳頭蓋骨から脳実質の再構成の試み」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 54.
 - ・ 定藤規弘
2011「イメージング手法による学習と創造性へのアプローチ」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 128.
 - ・ 定藤規弘
2011「意図理解の神経基盤」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 59.
 - ・ 田邊宏樹
2011「現代人脳機能地図作成：社会的認知能力の萌芽としての共同注意-その神経基盤を探る-」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 126.
 - ・ 田邊宏樹、河内山隆紀
2011「現代人脳機能地図の化石脳への写像法への第一歩」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 56.
 - ・ 田邊宏樹、定藤規弘
2011「現代人脳機能地図生成：共同注意の神経基盤と社会的文脈における学習の関係」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 51.
 - ・ 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2011「3次元身体動作解析データに基づく、旧人の石器製作における学習要素の推定」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 131.
 - ・ 三浦直樹、星野孝総、長井謙治
2011「ルヴァロア剥片制作における熟練行動の運動的特徴抽出」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 53.
 - ・ 三浦直樹、長井謙治、星野孝総
2011「三次元動作計測を用いた熟練者の石器製作工程の身体動作解析」寺嶋秀明編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 2: 62.
 - ・ 水野 敬
2011「内発的報酬による意欲喚起の神経基盤」田邊宏樹編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 4: 139.
 - ・ 水野 敬
2011「内発的報酬による社会・個体学習強化の神経基盤解明のための研究戦略」西秋良宏編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 3: 69.

2010

- Miura, N.
2010 An Expert-Novice Comparison of Body Motions in Stone Tool Making Using 3D Motion Analysis. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 69. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Sadato, N.
2010 A Neuroimaging Approach to Learning and Creativity. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 68. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- Tanabe, H.C.
2010 Toward A Functional Mapping of Learning in Modern Humans and an Extrapolation of the Maps to Reconstructed Skull Images. In T. Akazawa (ed.) *Replacement of Neanderthals by Modern Humans: Testing Evolutionary Models of Learning*. No. 1: 66-67. Proceedings of the 1st Conference on RNMH.
- 定藤規弘
2010 「ネアンデルタール人の脳、新人との違いを探る：イメージング手法による学習と創造性へのアプローチ」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 68.
- 田邊宏樹
2010 「現代人脳の学習機能地図作成と化石脳への写像法の確立へ向けて」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 66.
- 田邊宏樹、定藤規弘、赤澤 威
2010 「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」『第 64 回日本人類学会大会抄録集』83.
- 三浦直樹
2010 「三次元動作解析を用いた熟練者および初心者の石器製作工程の身体動作比較」赤澤 威編『ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究』「交替劇」研究大会報告書 No. 1: 69.

4. 研究成果

はじめに

本研究は、文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相—学習能力の進化に基づく実証的研究」（2010 平成 22 年度～2014 平成 26 年度）の課題名のもとに行なったものである。

研究の目的は、20 万年前アフリカで誕生した新人サピエンスがその後(10 万年前以降)、ユーラシア大陸各地へ移住拡散する先々で遭遇した旧人ネアンデルタール人たちと交替していった経緯を「交替劇」と呼び、その舞台のシナリオを書くことであった。

旧人と新人の間で演じられた交替劇の真相、その経緯については、20 世紀の後半から人類学、考古学、遺伝学など関連する分野の専門家のあいだで、とりわけ欧米研究者の世界で脚光を浴びるテーマとなり盛んに研究されてきた。その背景は以下の通りである。

ヒトの進化の道筋に関する認識は20世紀後半の遺伝研究の発展によって劇的に展開した。その好例のひとつが、ヒトの起源問題とともに論争が絶えなかった現代人の起源問題が決着したことである。現代人起源論争の舞台には二つの対立仮説、「多地域進化説」と「新人アフリカ起源説」があった。つ

まるところ、ネアンデルタール人など旧人からわれわれ新人サピエンスが生まれたのか、われわれの祖先はアフリカで誕生し、ネアンデルタール人は絶滅したのかがメインテーマであった。化石や考古資料の研究にもとづく論争は決着がつかなかった。その状況を劇的に変え、決着をつけたのが遺伝学であった。

そして、新人サピエンスは唯一アフリカの地で誕生(20万年前)したという進化モデル「新人アフリカ起源説」に軍配があがる。1987年のことである。ネアンデルタール人登場から131年後のこと、やっと彼等と我々との間柄について結論がついた。それでネアンデルタール人論争は下火になるかと思いきや、以前にも増して沸騰することになる。「新人アフリカ起源説」に軍配が上がったために持ち上がった新たな謎である。いったいネアンデルタール人はどうなったのか。そして始まったのがネアンデルタール人論争の第二ラウンド、ネアンデルタール人と新人サピエンスの交替劇という新たな舞台である。

交替劇論争とは、アフリカで誕生して新人サピエンスがアウト・オブ・アフリカを演じてユーラシア各地に移住拡散し、先々で出会った先住民と交替してゆく、その交替劇の真相がメインテーマとなった。なかでも、ヨーロッパに入植してきた新人サピエンスたち(クロマニオンと称する)が遭遇した先住ネアンデルタール人と交替して行くという舞台である。ネアンデルタール人、なぜ絶滅した。なぜネアンデルタール人だったのか。彼らの社会にいったい何が起こったのか。何が両者の命運をわけたのか。その真相は、現代人起源論争に残された最大の謎として考古学者、人類学者、遺伝学者が競い合う一大研究テーマとなった。

このような世界的な交替劇論争の世界にわれわれは、これまで誰も唱えたことのない作業仮説を定義し、チャレンジしたのである。その作業仮説が、「学習仮説」(Learning Hypothesis)である。

学習仮説について

学習仮説の最大のポイントは、交替劇を演じた新人サピエンスと旧人ネアンデルタールのあいだには、人間が生きてゆく上で欠かせないもともと基本的な能力、「学習」能力にもともと(生得的)違いがあったとする主張(=仮説)に基づいている。その違いが結局、両者の命運を分けることになった。以上が学習仮説の骨子である。この「学習仮説」を定義提唱するに至った背景は以下の通りである。

舞台は 4~5 万年前、ちょうど最後の氷河時代のヨーロッパ大陸である。ネアンデルタール人が唯一の住人だったヨーロッパ世界に中東西アジアから新人サピエンス(新人クロマニオン)が入植してくる。それがこの始まりである。それ以降共存することになった両者の間には、同じ資源環境を巡る「生態学的競争」関係が起こった。競争の顛末を考古学的証拠に基づいて推測すると次のようになる。

ヨーロッパ世界で共存することになった旧人ネアンデルタールと新人クロマニオンの関係を両者の足跡である遺跡の分布や密度に基づいて調べて見る。入植後繁栄し、拡大し続ける新人社会にたいして、衰亡の途を歩み、消えて行く旧人社会という構図となる。競争関係は新人クロマニオン社会が優位だったということだ。何が原因で両社会の間に優劣が生じたのか。両社会のあいだでいったい何が違っていったのか。その背景を考古学的証拠から推測してみる。

旧人ネアンデルタール社会と新人クロマニオン社会の道具の種類内容や製作技術を比べると、新人クロマニオンは入植後、新天地の資源環境をより効率的に利用できる狩猟具などの新技術(=道具の改良改変や新規文化要素)をつぎつぎと開発していることが分かる。ところが先住ネアンデルタール人の遺跡では同じような技術革新や文化進化の兆候はきわめて貧弱であり、新人社会と比べると明らかに停滞気味である。対峙することになった二つの社会の間で文化の発展の様態と文化進化のスピードが明らかに違う。なぜこのような違いが起こったのか。ここで、学習仮説の根幹をなすキーワード、「学習能力」が登場する。

学習能力には通常ふたつの種類がある。ひとつは模倣や教示によって他者から学ぶ能力である。伝統技術や文化を学び継承する能力で、それを「社会学習能力」と称する。ところが、これだけでは社会や文化は変化しない。そこにはもう一つの能力が働いている。試行錯誤や洞察によって新たな知識を

生みだし、新たな技術を創造する能力である。自ら学習し新技術や新文化を創出する能力だから通常、「**個体学習能力**」と称する。このふたつの能力の組み合わせの濃淡によって社会文化の発展の様態が当然変わることになる。その濃淡差が旧人ネアンデルタールと新人クロマニョンの間に存在し、それが両社会の文化進化のスピードや文化発展の様態の違いとなったと仮定できる。

すなわち、新人クロマニョン社会と旧人ネアンデルタール社会の間に存在する文化発展の違いは、両者の学習能力の質の濃淡、とりわけイノベーション(革新的な道具や技術等)を創出する個体学習能力(=創造性)の濃淡が原因となって生じた。クロマニョン社会の文化進化のスピードが旧人社会より速いということは、彼らが個体学習能力により長けていたということだ。クロマニョン社会は、旧人ネアンデルタール社会にくらべてより速く、より高い文化水準に達した。そして起こったのが、クロマニョン社会とネアンデルタール社会との間に生じた文化格差であり社会格差そして人口格差である。ネアンデルタール社会は隣接のクロマニョン社会の隆盛に圧倒され衰退し消滅していったというシナリオとなる。交替劇の真相、その背景には学習能力の違いがあったと考えるのがもっとも妥当である。

以上要約した作業仮説を検証することがわれわれのプロジェクトの目的であった。

学習仮説の検証作業に取り組んだ研究体制は以下の通りである。

研究組織について(挿図参照)

旧人と新人サピエンスの交替劇は両者の間に存在した学習能力の質的な違いが主因で起こった。この作業仮説を具体的に検証するために欠かせないデータを調査分析する専門分野を考え、考古学、文化人類学、数理生物学、環境科学、化石工学、脳神経科学諸分野からなる異分野連携を基盤とする研究モデルを立案した。それが、三つの研究項目A・B・Cからなる以下の研究体制である。研究体制と研究チームの研究内容の要点は以下の通りである。

研究項目A「学習行動復元研究：旧人・新人学習行動差の実証的研究」

計画研究A01「考古資料に基づく旧人・新人の学習行動の実証的研究」

先史時代にあっても学習の質は人類の生存戦略を決定的に左右したに違いない。したがって、旧人と新人の間の生存戦略、技術の違い、ひいては交替劇の背景を考察するにあたって学習行動の差異は重要な着眼点となる。考古資料は交替劇の真相を考察する上でもっとも基本的なデータとなる。

具体的な研究項目として以下のテーマに取り組んだ。①交替劇データベースの作成：旧人・新人交替劇の具体的舞台となったアフリカ、ユーラシア大陸について、関連する旧石器遺跡のデータベースを作成して、交替劇の時空間プロセス同定し、学習行動のパターン解析を行った。②学習の産物たる石器製作伝統の解析：道具製作伝統の継承は社会学習を、新規伝統技術の出現は個体学習をそれぞれ反映する。そこで、石器製作伝統の消長、時空間分布のあり方を長期的・広域的視野をもって比較し、旧人・新人学習行動の違いを考察した。③学習の場としての遺跡事例分析：旧人と新人の生活面を良好に残した遺跡について石器製作痕跡の分布・構造、製作伝統の通時的变化等进行分析し、両者の学習行動を物的証拠にもとづいて再構築した。④現代人観察にもとづく学習モデル作り：物的証拠にもとづいて過去の行動を再構築するには、行動と証拠の対応がわかる現代の事例を参照モデルとするのが有効である。石器製作実験や民族考古学的観察を実施し、学習戦略の違いが文化形成プロセスに与える影響を明らかにした。⑤「学習仮説」の検証と構築：以上の結果をもとに旧人と新人の学習行動の性状、差異を明らかにし、さらに、他の研究チームの成果をふまえて旧人・新人間で技術格差が生じたメカニズムを考察した。

計画研究A02「狩猟採集民の調査に基づくヒトの学習行動の特性の実証的研究」

旧人と新人の考古学的証拠をかれらの学習能力と結びつけて考察し、解釈するには、学習行動と物的証拠との関係を具体的に説明するモデルが必要である。それに有用な手法が現生狩猟採集民社会に於ける学習行動と、その所産である物質文化の関係を明らかにする民族考古学的調査である。

アフリカ大陸カメルーン及び中央アフリカ共和国森林地帯のバカ・ピグミーとアカ・ピグミー、旧ザ

イール(現コンゴ民主共和国)イトウリの森のエフェ・ピグミーとムブティ・ピグミー、ボツワナ共和国とナミビア共和国の半砂漠地帯のブッシュマン、オーストラリア北部森林地帯及び中央部砂漠地帯のオーストラリア原住民、カナダ極北地帯のイヌイト社会において文化・社会人類学及び生態人類学的調査を行い、子どもの発達や遊び集団を中心とした子どもの諸活動の観察を通して、各狩猟採集民における遊び集団の実態、技術・技能・知識などの学習過程、創造性の出現と普及の様態、教示行動と学習行動の関係を明らかにした。

具体的に狩猟採集民の学習行動を実態調査し、①子ども期における模倣学習、②子ども遊び集団での主体的な学習行動の存在と独創的思考基盤の形成過程、③独創的思考に基づく文化革新は思春期スパークを経て発現する過程、④技術革新や文化革新の継承が広範な社会的ネットワークで促進される過程を記述・分析した。以上により、狩猟採集社会における文化的行動の継承には模倣学習、創造性を生み出す主体的学習、それらを涵養する子どもの遊び集団の実態を明らかにした。

研究項目B「学習能力進化研究：旧人・新人学習能力差の理論的根拠」

計画研究B01「ヒトの学習能力の進化モデルの研究」

交替劇の真相を説明しようとする仮説は乱立している。その中には、学習仮説に近い発想に基づくもの、すなわち、両者の文化水準の違いにその原因を求める仮説も存在する。それはしかし、明確かつ厳密な理論によって裏付けられた仮説ではない。社会が到達する文化水準は文化進化のあり方に依存し、文化進化のあり方はこれを支える学習戦略によって左右される。その理論的根拠を明らかにする必要がある。

モデルシミュレーション研究によって、①急速な分布拡大による頻繁な環境変化に対する適応の必要が原動力となってヒトに特異的な創造性が進化すること、②イノベーション率(新文化創出・出現率)、伝達経路・様式(移住・婚姻・交易など)、集団サイズなどが文化進化速度に影響することを数理モデルを用いて明らかにした。また、③ゲノム多様性データの多変量解析から、出アフリカ時の分岐や移動の様式、集団サイズなどを統計的に推定する方法を開発した。以上によって、旧人と新人の間で生得的学習戦略の違いが形成される過程を理論的に裏付けた。

計画研究B02「旧人・新人時空間分布と気候変動の関連性の分析」

旧人と新人の交替劇は、更新世の寒冷化がすすむ気候変動が激しい時代状況のなかで起こったと考えられていたが、気候変動の影響がなぜ旧人の絶滅に結びつき、新人は生き延びることができたのか、具体的な証拠に基づいた議論はなされてこなかった。その理由のひとつは、高解像度の気候変動が氷床コアや鍾乳石など、年縞やウラン系列年代などによって絶対年代が決定された資料から復元されているのに対し、旧人の絶滅や新人の拡散の証拠となる考古学遺跡の年代決定は放射性炭素年代に依拠しており、それについては大気中の放射性炭素濃度の変化によって数千年ずれているからである。

交替劇の経緯を時代状況に対する適応行動と結びつけて記述・分析する上で有用な交替期環境情報基盤を創出した。そのために、①既報理化学年代値を搭載する旧人・新人遺跡データベースを構築した。②交替期の古気候分布図の作成と、その高分解化に取り組んだ。また、③地域的な環境変動を記録するデータベースを構築した。④旧人・新人の分布変動と気候要素との関係を定量的に評価する生態学的ニッチモデルの考古学データへの応用方法を確立した。以上によって、旧人・新人遺跡時空分布、時代状況に対する両者の適応行動の違いを高精度で記述・分析するために有用な古環境情報基盤を整備構築した。

研究項目C「化石脳復元研究：旧人・新人学習能力差の解剖学的証拠」

計画研究C01「3次元モデリング技術に基づく化石頭蓋の高精度復元」

旧人と新人の交替劇が、両者の学習能力差に起因するとなれば、脳の神経基盤に相応の機能差が存在することになる。この作業仮説を解剖学的に検証するには、化石脳、とりわけ旧人ネアンデルタールの脳の形を正確に復元し、旧人と新人の脳の間で道具製作等の学習行動を制御する局部領域についての形態差を突き止めることが必要となる。そのためには旧人・新人の化石頭蓋とその脳鋳型を精密に復元する手法を開発し、その中に収まっていたはずの脳(化石脳)の仮想復元を行うことが不可欠であ

る。

通常断片化状況で発見される化石頭蓋の組立や補間等を行う新しい高精度復元手法を開発し、旧人・新人の化石頭蓋および脳鋳型の正確な三次元形状モデルを生成する。この復元頭蓋モデルに基づいて化石脳の復元と詳細な形態学的分析を行い、頭蓋と脳形態の進化プロセスを考察する。出土する化石の多くは、化石生成過程において破片に分断され、また土圧等の影響により変形を受ける。化石脳から旧人の学習能力を司る脳領域を正しく推定し、新人のそれと比較するためには、最新の工学的手法を援用して断片化石の組み立てと歪み補正を行い、その生前の姿を正しく復元することが不可欠である。

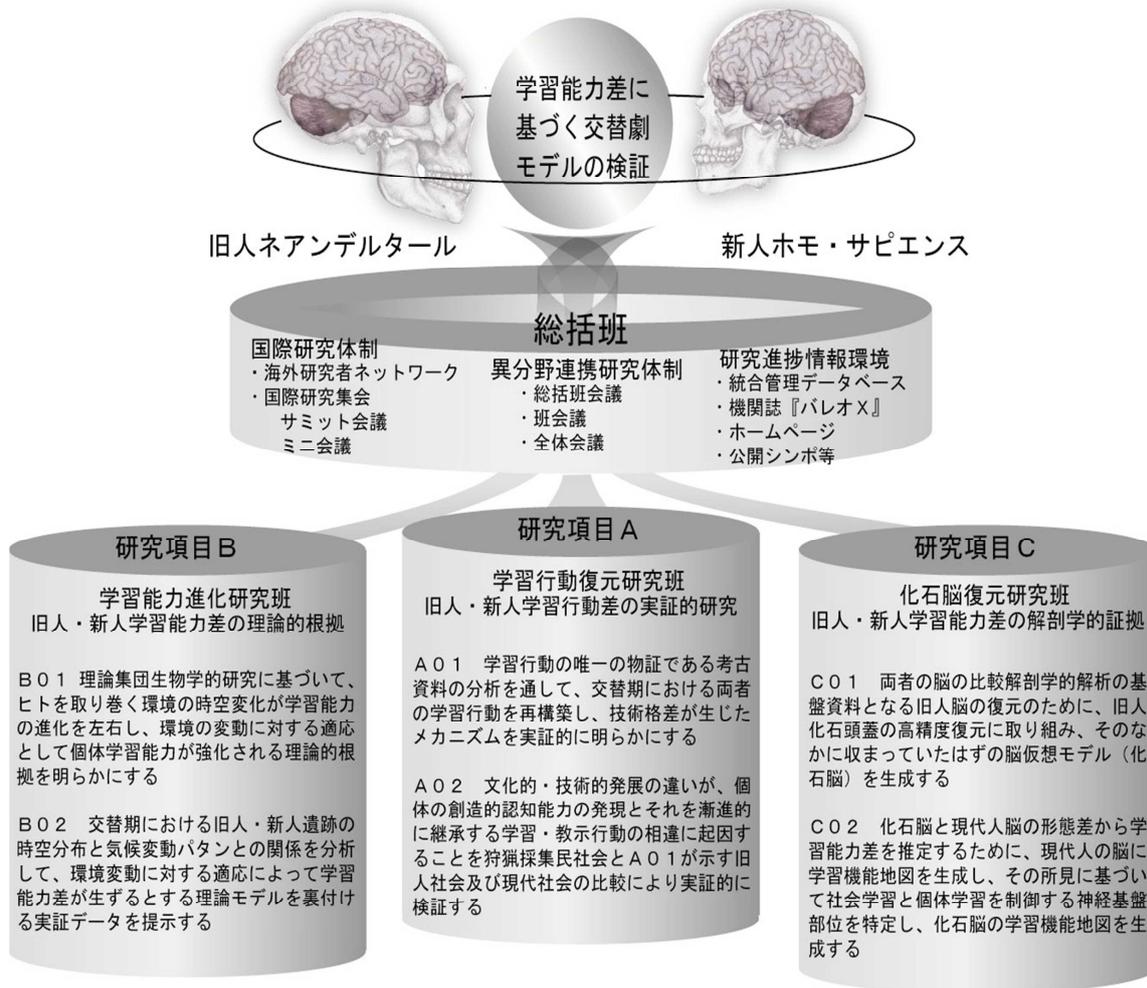
そして、学習能力の解剖学的証拠検出の基盤資料となる化石頭蓋の復元システムの構築とその高精度復元に取り組んだ。具体的には、①断片化した状態で発見される頭蓋破片の組立・歪み補正・欠損部分補完の工学的手法を確立し、②当該手法をネアンデルタール頭蓋の復元に応用し、当頭蓋の工学的、数理的復元手法を確立した。また、③化石頭蓋に収まっていた化石脳の形を、脳と頭蓋の比較形態学的解析によって推定する方法を検討し(C02 班と連携)、化石脳を数理的に復元する手法を開発した。

計画研究C02「旧人・新人の学習行動に関する脳機能マップの作成」

現在の古神経学では、能力(脳力)差の推定、解釈は両者の頭蓋容量の比較にもとづいて行うことが主流であり、その比較分析は当然その内容物である脳の機能推定に依拠したものである。ただし、脳容量については、頭蓋骨の形状からラフに計算されているものがほとんどであり、頭蓋の厳密なフィッティングによる差異の検出を行っている研究はほぼ皆無である。そこで、磁気共鳴画像法(MRI)等を用いたヒト脳イメージング研究手法の分野で開発された脳形状を標準化した上で定量的に差異を見いだす分析法を化石脳に適応する。

ヒト脳イメージング手法を用いて、旧人および旧人と同時代に生きた新人の脳を仮想的に復元し、両者の比較、さらには新人の末裔である現代人と脳形態を定量的に比較し、加えて現代人から作られた様々な認知能力に対する脳機能マップとの対応関係を悉に検討することで、神経科学的見地から作業仮説である「両者の運命を分けたのは学習能力差である」を検討した。

そして、現代人脳の学習機能マップ生成に向けて、①「創造性」をキーワードに個体学習、社会学習に関与する神経基盤の同定実験と分析を行い、②脳機能マップを、計算論的解剖学の手法を用いて化石脳へ写像する方法を開発した。さらに、以上の結果をシームレスに繋ぐ解析法を検討し、③高精度脳形状推定に基づく旧人・新人化石脳の比較分析によって、ヒトの創造性の神経基盤の同定・記述・分析という全く未開拓な分野解明に繋がる手法を開発した。



研究体制図

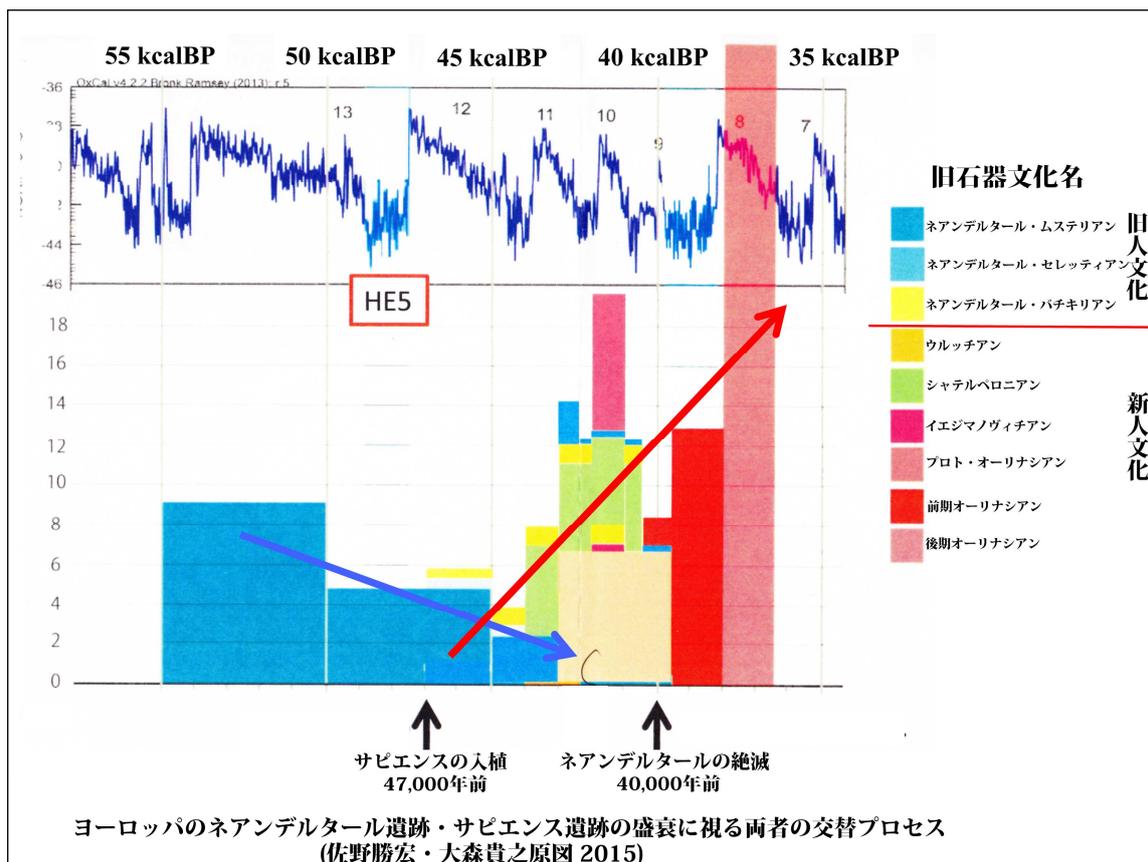
研究成果について

旧人・新人交替劇の具体的舞台となったアフリカ、ユーラシア大陸について、関連する旧石器遺跡のデータベース NeanderDB(2015年3月31日現在:遺跡総数 3216,文化層情報 7170,年代値情報 6235,石器伝統情報 1703,文献情報 827)を作成した(入力継続中)。当データベースの活用によって交替劇の経過を具体的証拠に依拠して検証するとともに、交替劇の経緯を、旧人・新人両者の学習行動や文化の進化速度などの視点から記述・分析し、学習仮説を実証的に検証した。そして、ヨーロッパ大陸中心に進められてきた交替劇研究を全地球規模に拡大し、交替劇の経緯をより普遍的に考察し、新知見を得た。

- (1) 新人クロマニヨンのヨーロッパ入植はほぼ4万7000年前となった(下図参照)。それ以降共存することになった旧人・新人社会は、ほぼ7000年のあいだ対峙した後、ほぼ40,000年前に旧人社会は消えていった。20万年前出現以来、盛衰を繰り返してきた旧人社会が、ついに回復できずに消えていった。引導渡したのは入植してきた新人だった。それには新人クロマニヨンが4万2000年前頃に開発したプロト・オーリナシアン文化が決定的な役割を果たしたことも判明した。
- (2) 共存期間7000年の間の旧人・新人社会の盛衰状況を比較すると(下図参照)、両社会の間で文化の進化速度が違うことが分かる。新人文化の進化速度は速く、それだけ速くより高い文化水準に到達し、しかも多様に展開し、両社会の間で文化格差が拡大することになった。その結果が両社会

の命運を分けたとするシナリオとなる。この仮説と学習能力との関係については以下の考察が可能である。

- (3) 両社会の文化格差を拡大させた主因は文化進化のスピードの違いである。文化進化の基本的要因は、新文化の素材となるイノベーションを創出する個体学習能力と、イノベーションを共有し、社会化して行く社会学習能力の存在である。そこで、両社会の間に生じた文化格差の拡大は、主としてイノベーション創出に関わる個体学習能力の違いに基づくと推定され、学習仮説を支持する結果である。



- (4) 新人行動が示唆するイノベーション能力が生得的に優れていたとする作業仮説については、補足説明が必要である (Kadowaki, Omori, Nishiaki 2015)。新人クロマニオンが先住のネアンデルタール人とは異なる新技術や新文化をもって入植してきた証拠はなく、かれらが革新的行動を発達させるのはヨーロッパ入植後であった可能性が高いことが明らかになった。その契機となったのはヨーロッパという新天地の物理的環境への適応と同時に、引き続き経験することになった急激な気候変動への適応であったと推測される。学習仮説が提唱する学習能力の進化モデルを支持する結果だが、新人の学習能力が移住拡散する先々で対峙することになった物理的環境への適応過程で促進開花されることになったということである。さらに、拡大し複雑化する社会的環境への適応が加わり、情報処理能力により長けていた新人サピエンスにおいて文化発展がますます促進されたというモデルである。
- (5) 文化格差、社会格差の拡大は旧人ネアンデルタール社会により深刻な事態をもたらすことになった。隣接の新人社会の隆盛によって自らの生存戦略上の基盤となる経済システム等さまざまな社会システムが弱体化することになったに相違ない。とりわけ、情報ネットワークや繁殖ネ

ネットワークが狭隘化し、集団の継続的な維持存続が弱体化した事態が想定できる。言い方を替えば、旧人社会集団の分断と地域的孤立である。その状況が結局、旧人社会の経済環境や社会環境を決定的に弱体化することになったに相違ない。

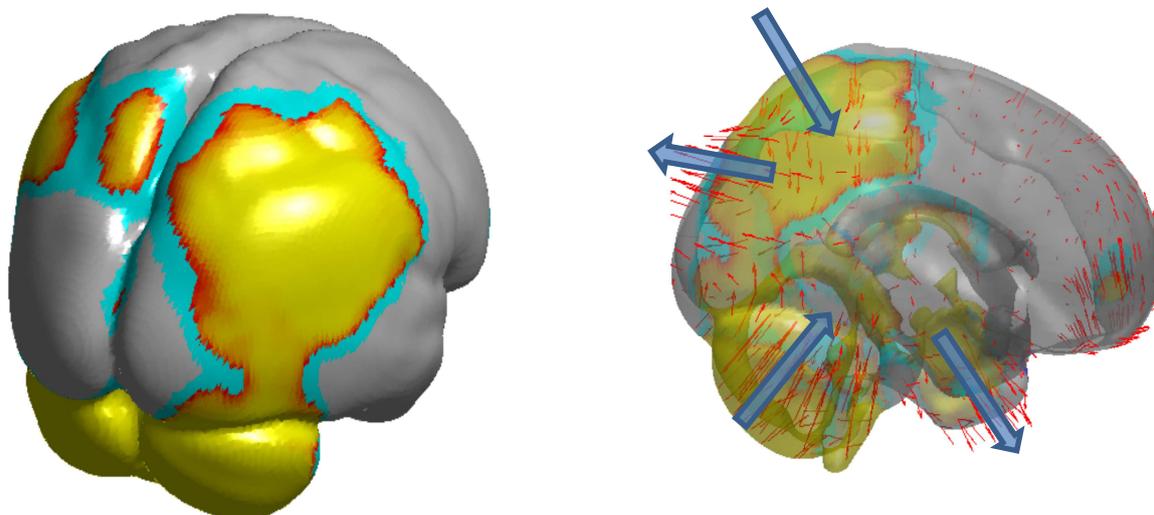
- (6) 相次ぐ技術開発を成就し、人口増と相まって分布拡大路線を歩む新人社会では、広域化する集団間ネットワーク網のもとで、生存戦略上有用な情報の多様化と複雑性は促進され、その共有化のもとに社会経済システムはよりダイナミックに機能することになったに相違ない。この状況のもとで社会集団間の結びつきは促進され、新人社会の継続的發展を支える社会的、経済的複雑性はより発展した。そして、技術革新に長けた新人社会に軍配が上がったということである。
- (7) 以上の論点は、現生狩猟採集民社会における学習行動に関する文化人類学的・民族考古学的調査と分析結果によって裏付けられた。現生人類では個体学習と社会学習は密接に関連している。個体学習によるイノベーションは社会学習のネットワークによって伝播・普及・定着し、一方、社会学習による知識・技能のレポジトリは個体学習の推進の基盤であることが分かった。また、累積的文化継承は旧人や新人の特徴であるが、新人ではいったん習得した文化複合を客体化・要素化した上で、改めてメタレベルで再構築することができる。その能力は生物学的認知能力とともに社会・文化的制度を通して発現することが判明した。
- (8) 旧人と新人の学習能力についてのより直裁的な証拠の検出に取り組んだ工学・脳神経科学連携研究も同様に両者の学習能力差の存在を裏付けた。旧人化石頭蓋の高精度復元、その中に収まっていたはずの化石脳を抽出する手法を開発した。そして、化石脳の古神経学的分析のベースとなるヒトの脳学習機能マップ作成に取り組み、旧人・新人の学習能力差の解剖学的証拠を同定・記述することに世界ではじめて成功し、小脳・頭頂葉・後頭葉において形態差が存在することを実証した。
- (9) 小脳は内部モデルに基づく学習を、頭頂葉は、身体イメージの形成や、道具使用、空間認知、数学的知識、象徴の表象、対象の操作、他者視点などに関する機能を司る領域であり、学習能力と密接に関係する。すなわち、旧人と新人の脳の間には、学習行動を司る神経基盤の形態差が存在することが示唆された。以上の解析を計算解剖学・脳イメージングの同一の枠組みでおこなった研究は今まで皆無であり、神経科学と人類学を融合する「化石工学」という新分野の創出につながった。

研究課題の学術的意義と展望

共通祖先ハイデルベルゲンシスをいただき、その後受けた自然淘汰の違いから別人種となったネアンデルタール人と新人サピエンスが再会し、しばらくは共存するが、結局、ネアンデルタール人は生き残れなかった。いったい何が両者の命運を分けたのか。

これまでの交替劇論争では、新人サピエンスの方が賢かった、コミュニケーション能力に優れていた、より優れた社会的戦略を産み出すほどに創造的だったと、その違いが両者の命運を分けたと謳ってきた。そして今回われわれは、そのような違いの背景を学習能力という視点から論じ、その能力が旧人ネアンデルタールと新人サピエンスの間で進化し、違うことを検証したのである。そして最後に学習行動差の証拠を、それを司る脳の進化と結びつけることを試みたのである。

脳のはたらきの変化は行動に反映され、その行動の発達が今度は脳の進化を促し、それに応えて、脳を収めている容器＝頭蓋骨が拡大あるいは変形することになる。化石頭蓋の形態変化のようすは、脳が、さまざまな行動と刺激し合いながら進化してきた証しというわけである。すなわち、旧人ネアンデルタールと新人サピエンスの間に学習行動差が存在すれば、両者の脳の神経基盤の間に相応の機能差が存在することになり、その機能差は脳に形態差として記録(＝頭蓋形態差)されるはずである。実際に、小脳半球、頭頂葉、後頭葉において形態差が存在することが明らかになった。



現代人とネアンデルタール人の脳形態比較結果
 黄色が差のあった領域。矢印は現代人を基準とした変化の方向
 (田邊宏樹・荻原直道原図 2015)

具体的には、ネアンデルタール人に比べ現代のホモ・サピエンスの方が小脳半球および頭頂葉が大きく、通常指摘されてきた前頭葉に関しては差がないことが明らかになった。この傾向はネアンデルタール人と同時代に生きた新人とネアンデルタール人の比較でも見られ、特に小脳半球のサイズに違いが顕著である。逆に旧人は新人に比べ大きな後頭葉を持っていたことが明らかになった。この形態差がどのような機能差と結びつくのか。

脳機能イメージング研究ならびにメタ解析の結果から、小脳半球がさまざまな認知機能に関与していることが明らかとなった。さらに多くの既存研究において、頭頂葉や小脳半球が社会生活への適応や創造性に関わる行動に関与することが指摘されている。とりわけ小脳半球に関する解釈の進展が注目される。従来小脳は運動の調整が大きな役割であると考えられてきたが、近年、「学習マシン」と呼ばれ、学習によって取得される情報が小脳半球に蓄えられていくと考えられている。その小脳半球が新人サピエンスでより発達しているという証拠は、交替劇の真相を考察する上で重要である。そして新たな疑問が起こる。

共通祖先ハイデルベルゲンシスをいただき、その後受けた自然淘汰の違いから別人種として登場したネアンデルタール人と新人サピエンス、その両者の頭蓋＝脳形態の違いが起こった背景である。とりわけ、新人サピエンスで相対的に発達する小脳半球と頭頂葉は、何があって新人サピエンスで発達したのか。小脳半球と頭頂葉のはたらきは行動に反映され、その行動がその脳部位の発達を促し、それに応えて、拡大あるいは変形することになった。いったい、小脳半球と頭頂葉を刺激した行動とは何だったのか。

その上で知りたいのは、脳のはたらきを刺激し、脳の進化を方向づけた時代状況と淘汰要因の種類内容である。それがわかれば、直近のターニングポイントを境にして、唯一生き残ったわれわれ新人サピエンスの子孫、今日の地球人の行く末はどうなるのか、その中にわれわれの行く末を考えるためのヒントが見つかるかもしれません。

以上